



おじどうさん

Robotic Process Automation

ユーザーマニュアル

User Manual

※本マニュアルは、Ver.1.38.0 以降
が対象となります。

内容

1. おじどうさん実行環境.....	8
2. はじめに.....	9
2.1. インストール方法	9
2.2. 起動方法.....	9
2.3. 終了方法.....	10
2.4. 自動アップデート	11
2.5. ファイアウォールの例外設定（ライセンス認証ができない場合）	12
2.6. Internet Explorer v11 操作の設定.....	16
2.6.1. IE の保護モードを有効にする	16
2.6.2. 拡張保護モードを無効にする.....	18
2.6.3. IE のズームレベルを 100%に設定する.....	19
2.6.4. ディスプレイのテキストサイズを 100%に設定する	19
2.6.5. レジストリ設定	20
2.6.6. Microsoft Edge の IE モードやユーザ情報引継でブラウザ起動できない場合.....	21
3. 単語表.....	22
4. おじどうさん画面説明.....	23
4.1. ライセンス認証画面.....	23
4.1.1. ライセンス認証手順（通常）	23
4.1.2. ライセンス認証手順（オフライン）	24
4.2. スケジュール画面	25
4.2.1. シナリオ一覧メニュー	26
4.2.2. シナリオ操作メニュー	26
4.2.3. メニューボタン	27
4.3. シナリオ編集画面	35
4.3.1. コマンドカテゴリ.....	36
4.3.2. メニューボタン（シナリオ編集画面）	38
4.3.3. シナリオ操作メニュー	39
4.3.4. ログの一覧表示	40
4.3.5. コマンドのブックマーク	41
4.3.6. コマンドの無効化・有効化	42
4.3.7. キーワード検索	43
4.3.8. 設定した参照 ID で一部実行.....	44
5. 基本操作.....	46
5.1. シナリオ作成方法	46
5.2. シナリオ保存.....	47
5.3. シナリオ実行.....	47
5.4. シナリオ実行の停止.....	48

5.5. シナリオ名の変更	49
5.6. スケジュール実行設定	50
5.6.1. シナリオ別スケジュール設定.....	50
5.6.2. スケジュール一覧.....	55
5.6.3. スケジュールのカレンダー表示.....	56
5.6.4. スケジュール実行結果の表示.....	58
6. コマンド説明	59
6.1. アプリ・画面.....	59
6.1.1. アプリ > 起動	59
6.1.2. 画面 > 最前画面を覚える	60
6.1.3. 画面 > 画面を覚える (名前)	61
6.1.4. 画面 > 切り替え (参照 ID)	61
6.1.5. 画面 > 切り替え (名前)	62
6.1.6. 画面 > 画面の名前を取得	64
6.1.7. 画面 > 移動	65
6.1.8. 画面 > 最大化/最小化.....	66
6.1.9. 画面 > スクリーンショットを撮る.....	67
6.2. 待機・終了・エラー	68
6.2.1. 秒	68
6.2.2. 画像出現を待つ	69
6.2.3. 続行確認	72
6.2.4. タイマー付き続行確認 (秒)	73
6.2.5. コマンド間待機時間を変更	74
6.2.6. 作業強制終了	75
6.2.7. エラー発生.....	75
6.2.8. エラー確認・処理.....	76
6.3. マウス.....	78
6.3.1. 移動 > 座標	78
6.3.2. 移動 > 距離	79
6.3.3. 移動 > 画像認識.....	80
6.3.4. ドラッグ&ドロップ > 座標 (D&D)	81
6.3.5. ドラッグ&ドロップ > 距離 (D&D)	82
6.3.6. ドラッグ&ドロップ > 画像認識 (D&D)	84
6.3.7. マウスクリック	87
6.3.8. スクロール.....	87
6.4. キーボード	88
6.4.1. 入力 > 文字	88
6.4.2. 入力 > 文字 (貼り付け)	89
6.4.3. 入力 > パスワード	90

6.4.4. ショートカット	91
6.5. 記憶	94
6.5.1. 文字.....	94
6.5.2. パスワード.....	95
6.5.3. 環境情報	96
6.5.4. 日付.....	97
6.5.5. 日付（営業日）	98
6.5.6. 日付（曜日）	101
6.5.7. 日付計算	103
6.5.8. 曜日.....	106
6.5.9. 時刻.....	108
6.5.10. 時刻計算	109
6.5.11. 計算.....	111
6.5.12. 乱数.....	114
6.5.13. コピー内容.....	116
6.5.14. クリップボードへコピー	117
6.5.15. 実行中に入力	118
6.5.16. ファイル更新日時.....	119
6.5.17. ファイルサイズ	120
6.5.18. 最新ファイル・フォルダ名	122
6.6. 文字抽出.....	124
6.6.1. 括弧・引用符号から	124
6.6.2. 区切り文字から	126
6.6.3. 改行・空白を削除.....	129
6.6.4. ファイルパスから.....	131
6.6.5. ルールにマッチ	132
6.6.6. 置換.....	138
6.6.7. 文字変換	140
6.6.8. 日付形式変換.....	141
6.6.9. 1行ずつループ	143
6.7. 分岐	145
6.7.1. 文字列.....	145
6.7.2. 数値.....	147
6.7.3. 日付.....	149
6.7.4. ファイル・フォルダの有/無を確認.....	149
6.7.5. 画像.....	151
6.8. 繰り返し	153
6.8.1. 繰り返し	153
6.8.2. 繰り返しを抜ける	155

6.8.3. 繰り返しの最初に戻る	156
6.9. ファイル・フォルダ.....	160
6.9.1. ファイル > 開く	160
6.9.2. ファイル > 移動.....	161
6.9.3. フォルダ > 開く	162
6.9.4. フォルダ > 作成.....	163
6.9.5. フォルダ > ループ	164
6.9.6. ファイル・フォルダ名の変更.....	165
6.9.7. ファイル・フォルダをコピー.....	166
6.9.8. ファイル・フォルダを削除	167
6.9.9. 圧縮・解凍 > ファイル・フォルダを圧縮.....	168
6.9.10. 圧縮・解凍 > ファイル・フォルダに解凍.....	170
6.9.11. ファイル名変更(挿入) > 文字	171
6.9.12. ファイル名変更(挿入) > 日付	172
6.9.13. ファイル名変更(挿入) > 参照 ID	173
6.10. エクセル.....	176
6.10.1. ブック > ブックを開く	176
6.10.2. ブック > ブックを覚える	177
6.10.3. ブック > ブックを保存.....	179
6.10.4. ブック > ブックを閉じる	181
6.10.5. シート操作 > 新規作成.....	181
6.10.6. シート操作 > 削除.....	182
6.10.7. シート操作 > 切り替え.....	183
6.10.8. シート操作 > 移動・コピー.....	185
6.10.9. シート操作 > 名前取得.....	186
6.10.10. シート操作 > 名前変更.....	186
6.10.11. セル操作 > 範囲指定.....	187
6.10.12. セル操作 > 指定範囲の移動.....	189
6.10.13. セル操作 > 指定範囲の削除.....	190
6.10.14. セル操作 > 指定範囲にセルを挿入.....	192
6.10.15. セル操作 > 値を取得.....	194
6.10.16. セル操作 > 値を入力.....	197
6.10.17. セル操作 > セルをコピー	198
6.10.18. セル操作 > セルを貼り付け.....	200
6.10.19. セル操作 > 位置を取得	201
6.10.20. セル操作 > 最終行取得	203
6.10.21. セル操作 > 最終列取得	203
6.10.22. セル操作 > 最終列取得	206
6.10.23. セル操作 > 列計算	207

6.10.24. セル操作 > マクロ実行	208
6.10.25. セル操作 > 行ループ.....	210
6.10.26. セル操作 > 列ループ.....	211
6.10.27. CSV 読込ループ	212
6.11. スプレッドシート	215
6.11.1. スプレッドシート > 作成	215
6.11.2. スプレッドシート > 読み込む	216
6.11.3. スプレッドシート > 削除	218
6.11.4. スプレッドシート > 名前変更.....	219
6.11.5. スプレッドシート > URL 取得	220
6.11.6. シート > 新規作成.....	220
6.11.7. シート > 削除.....	221
6.11.8. シート > 移動.....	222
6.11.9. シート > コピー	223
6.11.10. シート > 名前取得	224
6.11.11. シート > 名前変更	225
6.11.12. セル操作 > 指定範囲の削除.....	225
6.11.13. セル操作 > 指定範囲にセルを挿入.....	227
6.11.14. セル操作 > 値を取得.....	227
6.11.15. セル操作 > 値を入力.....	229
6.11.16. セル操作 > セルをコピー・貼り付け	232
6.11.17. セル操作 > 最終行取得.....	233
6.11.18. セル操作 > 行ループ.....	235
6.11.19. セル操作 > 列ループ.....	237
6.12. ウェブブラウザ	239
6.12.1. 起動.....	239
6.12.2. 起動（ユーザ情報引継）	243
6.12.3. 閉じる	246
6.12.4. 派生ブラウザ画面記憶.....	246
6.12.5. URL 移動.....	248
6.12.6. URL 移動（Basic 認証）	249
6.12.7. Cookie を追加.....	251
6.12.8. ページ操作 > HTML クリック	252
6.12.9. ページ操作 > HTML ショートカットキー	253
6.12.10. ページ操作 > HTML 選択.....	255
6.12.11. ページ操作 > HTML チェック確認.....	258
6.12.12. ページ操作 > HTML キーボード入力	259
6.12.13. ページ操作 > HTML キーボード入力（パスワード）	261
6.12.14. ページ操作 > HTML ドロップダウン操作	263

6.12.15. ページ操作 > HTML 文字列抽出.....	264
6.12.16. ページ操作 > HTML リンク抽出.....	268
6.12.17. ページ操作 > HTML 画像 URL 抽出.....	270
6.12.18. ページ操作 > HTML 画像ダウンロード.....	272
6.12.19. ページ操作 > HTML 表ダウンロード (CSV)	273
6.12.20. ページ操作 > HTML 属性抽出	275
6.12.21. ページ操作 > HTML ポップアップクリック.....	277
6.12.22. ページ操作 > HTML ポップアップ内容抽出.....	278
6.12.23. ページ操作 > HTML エLEMENT 出現を待つ.....	280
6.12.24. ページ操作 > JavaScript 実行.....	282
6.12.25. IFrame 移動 > IFrame に入る	285
6.12.26. IFrame 移動 > IFrame から出る	287
6.13. メール.....	288
6.13.1. 送信.....	288
6.13.2. 受信.....	290
6.13.3. 送信 (Gmail)	293
6.13.4. 受信 (Gmail)	294
6.13.5. 送信 (Microsoft)	296
6.13.6. 受信 (Microsoft)	297
6.14. 特殊アプリ操作	298
6.14.1. クリック	299
6.14.2. 文字入力	302
6.14.3. 座標取得	304
6.14.4. 文字取得	307
6.14.5. 操作記録	309
6.15. API.....	315
6.15.1. Web API.....	315
6.15.2. JSON > JSON 値取得.....	317
6.15.3. JSON > JSON 型確認.....	319
6.16. シナリオ整理.....	322
6.16.1. グループ化.....	322
6.16.2. メモ.....	323
6.16.3. 通知音を再生	323
6.17. 別シナリオ実行・継承.....	324
6.17.1. 別シナリオ実行	324
6.17.2. 親シナリオからデータを継承.....	326
6.17.3. 親シナリオからパスワードを継承	329
6.17.4. 親シナリオからウィンドウを継承	329
6.17.5. 親シナリオからエクセルを継承.....	334

6.17.6. 親シナリオからブラウザを継承.....	337
7. ブラウザ操作	340
7.1. おじどうさんブラウザ起動方法	340
7.2. おじどうさんブラウザ画面説明	340
7.3. おじどうさんブラウザの調査モード	341
7.4. おじどうさんブラウザ以外の調査モード	342
8. アクセス制御機能	343
8.1. 管理・制限モード	343
8.2. シナリオロック	344
8.2.1. シナリオロックの権限とデフォルト設定	344
8.2.2. 制御レベル	345
8.2.3. シナリオロックの設定と初期化.....	345
8.2.4. 管理・制限モードとシナリオロック UI.....	347
9. 上級者向け操作.....	349
9.1. 高度データ参照 ID 呼び出し機能	349
9.2. ワイルドカード (*)	351
9.3. ブラウザプロファイルの使い方	352
9.3.1. デフォルト以外のプロファイルを利用したい場合.....	353
9.3.2. その他のブラウザでプロファイルを読み込みたい場合	354
10. おじどうさん利用における注意点.....	355
10.1. シナリオ行数の推奨値は 1,000 行	355
10.2. デスクトップの背景色を単色に.....	355
10.3. 画像探索系コマンドのざっくり検索について解説	355
10.3.1. ざっくり検索% (色: RGB) の考え方	355
10.3.2. ざっくり検索% (ピクセル) の考え方	356
10.4. 入力値の制限.....	357
11. Google Services (Self-Registration)の事前準備	358
11.1. 概要	358
11.2. 詳細手順.....	359
11.2.1. Google Cloud Console にログインする	359
11.2.2. おじどうさんを Google アプリとして登録します	360
11.2.3. 作成した Google プロジェクトの API を有効化する.....	362
11.2.4. OAuth クライアント ID を発行し、ダウンロードする	374
11.2.5. おじどうさんにクライアント ID を読み込ませ、OAuth 認証する	377

1. おじどうさん実行環境

【安全性宣言】

おじどうさんは「Robotic Process Automation (RPA)」を実装したものです。RPA の特性上、マウス、キーボード、ファイル操作、インターネット通信などの自動化を行いますが、ライセンスの自動認証を除き、原則ユーザが指定した動作しか自動化しません。なお、このソフトウェアには、スパイウェア、ウイルス、トロイの木馬、バックドアなど、マルウェアの形態は含まれませんのでご安心下さい。

【対応 OS】

- ・ Windows 8/8.1
 - ・ Windows 10
 - ・ Windows 11
- (32/64bit 対応)

【メモリ】

- ・ 4GB 以上

【CPU】

- ・ 1GHz 以上

【HDD】

- ・ 500MB 以上

【ディスプレイ】

- ・ 1024×768 以上
(デュアルディスプレイの場合、メインディスプレイのみ対応)
- ・ スリープモード、スクリーンセーバーが起動している状態だと、おじどうさんは動作できません。画面がロックされていない状態でお使いください。

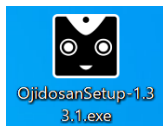
【その他】

- ・ ライセンス認証にはインターネット接続が必要です
- ・ おじどうさん実行中に画面解像度を変更すると、誤動作する可能性があります
- ・ バックグラウンドで動作させることは出来ません

2. はじめに

2.1. インストール方法

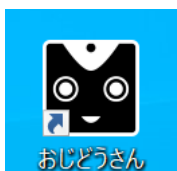
おじどうさん用インストーラーをダブルクリックして起動する。



セットアップウィンドウ（下図）が開くので、[インストール]をクリックして、インストール完了後に[完了]をクリックする。



インストール完了後、デスクトップ上におじどうさんアイコンが表示される。



2.2. 起動方法

デスクトップ上のおじどうさんアイコンをダブルクリックして起動する。
起動後はタスクトレイにおじどうさんが常駐する。

おじどうさん実行中



2.3. 終了方法

おじどうさんを終了する方法は2通りある。

1. [メニューボタン]から[終了]を選択する



2. タスクトレイに常駐しているおじどうさんアイコンを右クリックするとメニューが開く。そのメニューの[終了]を選択することでおじどうさんを終了できる。



※注意点

・おじどうさんウィンドウの[×(閉じるボタン)]をクリックするだけでは、おじどうさんは終了しません。



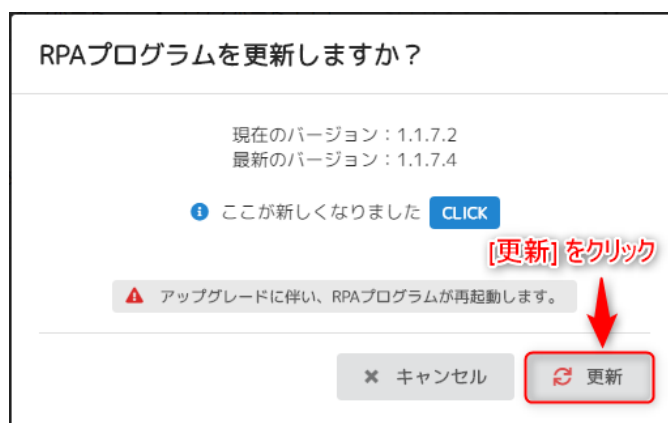
2.4. 自動アップデート

新しいバージョンがある場合はおじどうさん画面からアップデートすることができる。
アップデート可能な場合はスケジュール画面右上に更新ボタン（下図）が表示される。

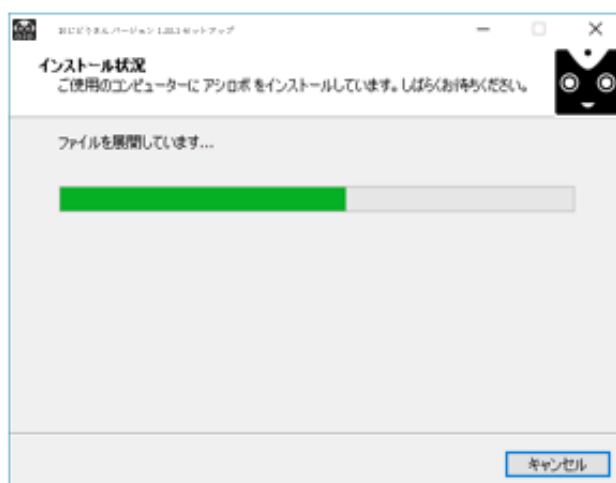


更新ボタンをクリックすると更新画面（下図）が表示される。[更新]をクリックすると自動アップデートを開始する。

※アップデートにはインストーラーのダウンロードを伴うため多少の時間がかかることがあります。



更新中は下記の画面が表示され、自動アップデート完了後は自動で下記画面を閉じる。

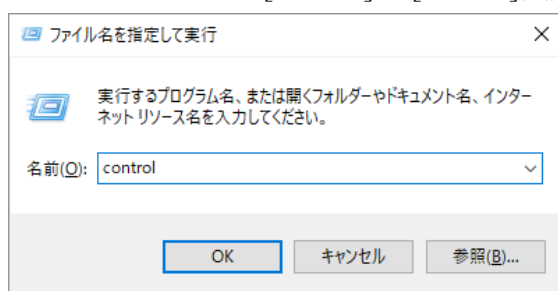


2.5. ファイアウォールの例外設定（ライセンス認証ができない場合）

※おじどうさんのライセンス認証ができない場合に下記の手順を実施してください。なお、本手順で解決しない場合は御社ファイアウォールにておじどうさんが拒否されている可能性があるため、情報システム部門にご確認ください。

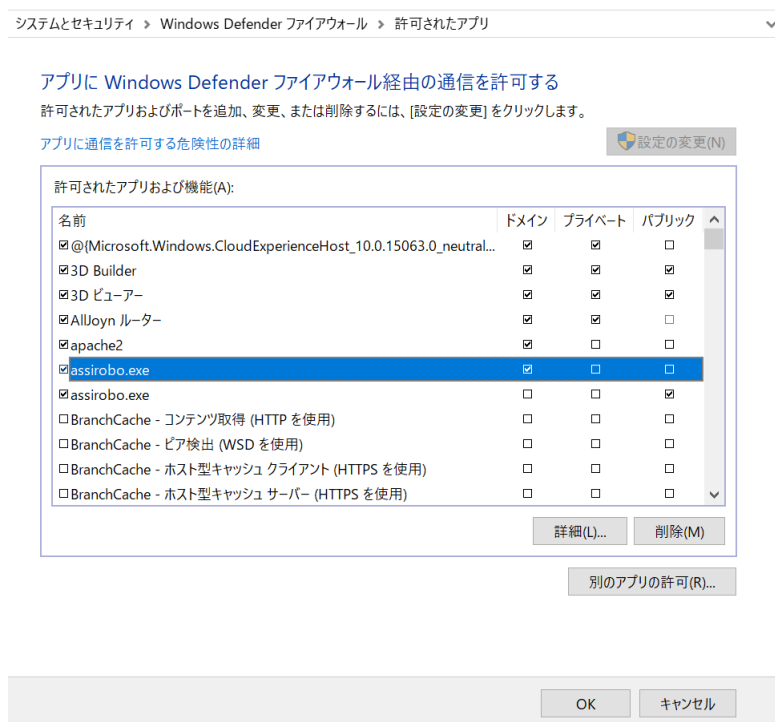
おじどうさんによる通信を許可するために Windows Defender ファイアウォールの例外としておじどうさんを追加する。

- (1) ショートカットキー[win + r] > [control]入力し、コントロールパネルを開く



- (2) [システムとセキュリティ] > [Windows Defender ファイアウォール] を選択する

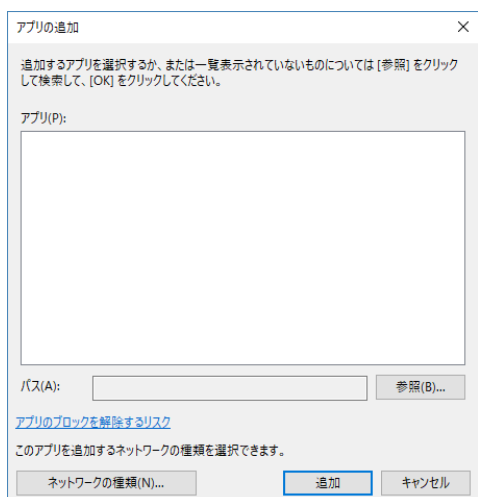
- (3) [Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可]から、「おじどうさん.exe」の通信が許可されているか確認する



「おじどうさん.exe」が許可されていない場合は [設定の変更]を選択し、「おじどうさん.exe」にチェックを入れて[OK]をクリックする。

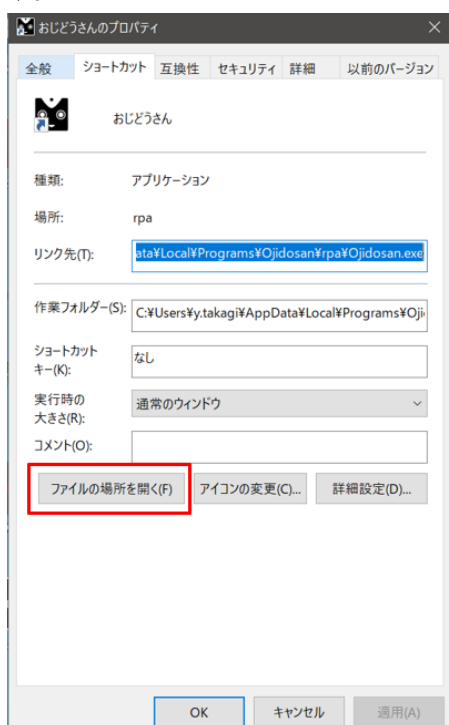
※それ以前に「おじどうさん.exe」が表示されていない場合

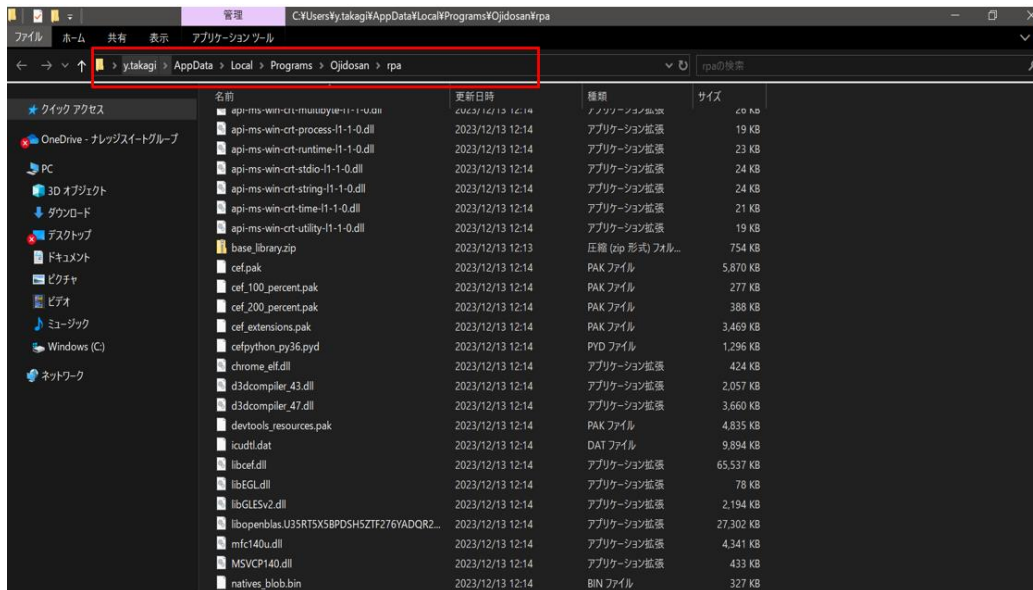
[設定の変更]を選択して[別のアプリの許可]をクリックするとウィンドウ（下図）が表示されます。[参照]から「おじどうさん.exe」を選択し、[追加]をクリックすることでファイアウォールの例外アプリケーションとしておじどうさんが追加されます。



「おじどうさん.exe」のファイルパスは次の手順から取得できます。

1. デスクトップ上のおじどうさんアイコンを右クリック>[プロパティ]を選択する>[ファイルの場所を開く]を選択する
2. 開かれたエクスプローラーのアドレスバーからファイルパスをコピーする

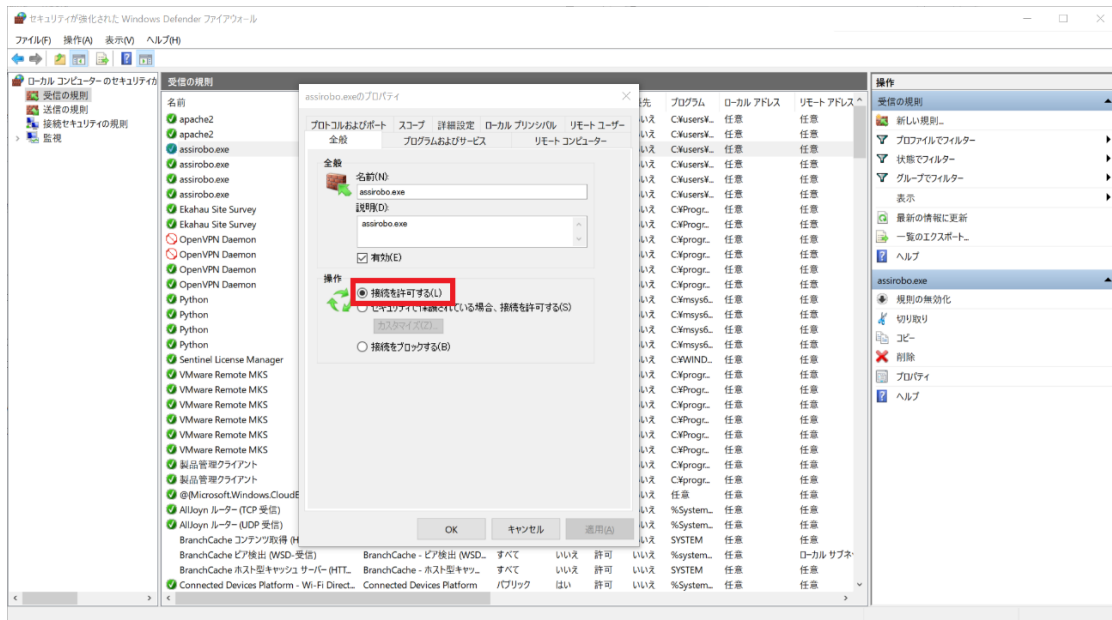




※この手順を踏まえてもライセンス認証が通らない場合は（例外追加の確認）の設定もお願いします。

(例外追加の確認)

[システムとセキュリティ] > [Windows Defender ファイアウォール] を選択し、[詳細設定] > [受信の規則] > おじどうさん.exe]をダブルクリックする。接続を許可されているか確認する（下図）。



※本手順で解決しない場合は御社ファイアウォールにておじどうさんが拒否されている可能性があるため、情報システム部門にご確認ください。

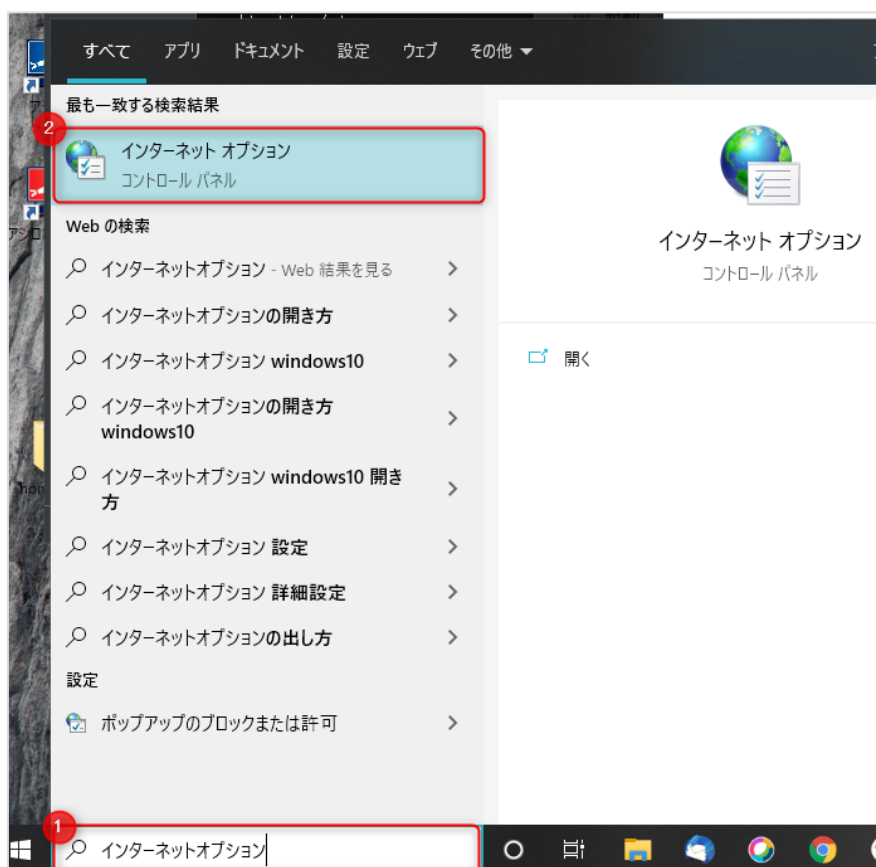
2.6. Internet Explorer v11 操作の設定

ブラウザ起動コマンドで Internet Explorer v11（以下、「IE」という）を操作するために以下を設定する。

- ・ IE の保護モードを有効にする
- ・ 拡張保護モードを無効にする
- ・ IE のズームレベルを 100% に設定する
- ・ ディスプレイのテキストサイズを 100% に設定する
- ・ レジストリ設定

2.6.1. IE の保護モードを有効にする

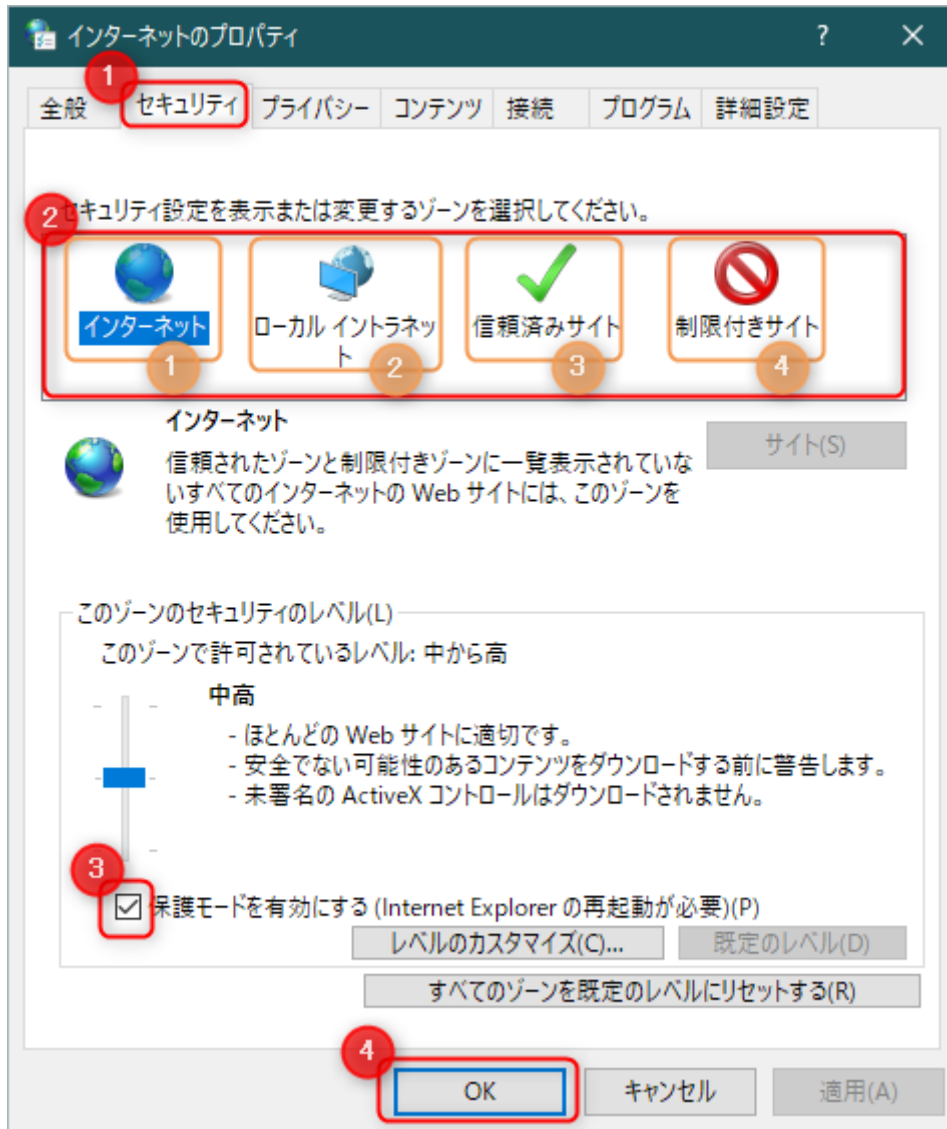
(1) タスクバーから「インターネットオプション」を検索して開く



(2) タブ「セキュリティ」を選択し、

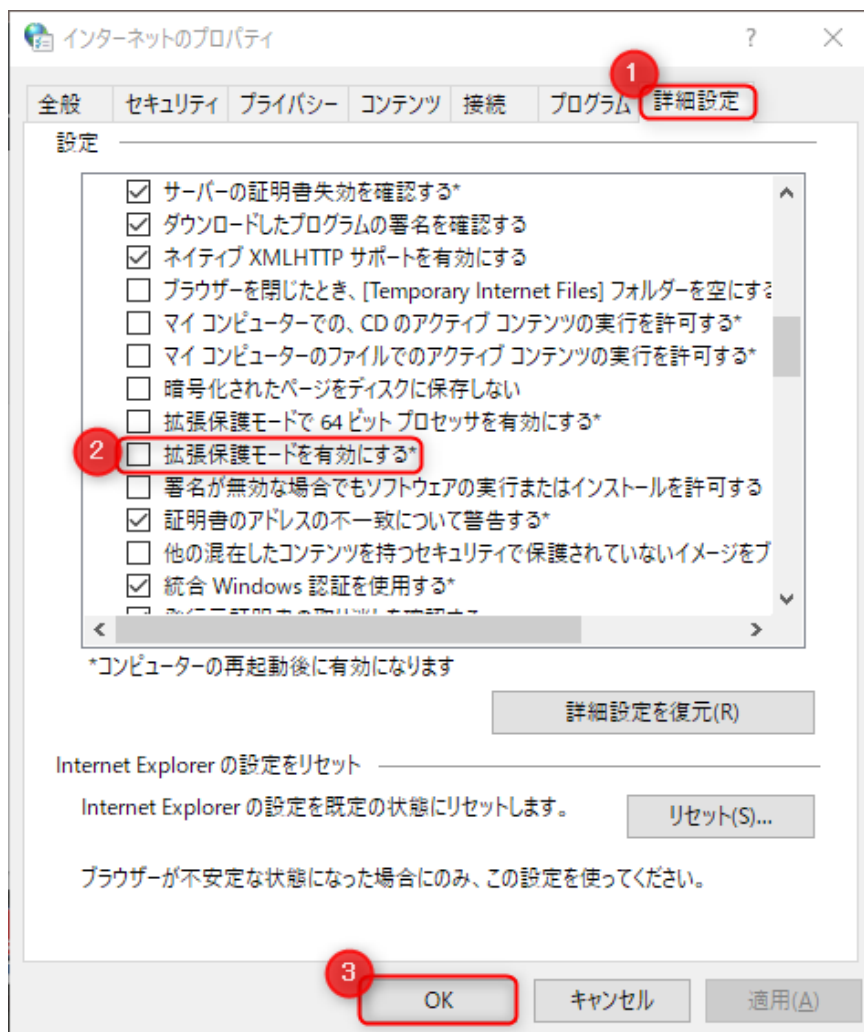
- ・インターネット
- ・ローカルイントラネット
- ・信用済みサイト
- ・制限付きサイト

の4つに対して「保護モードを有効にする」にチェックを入れ、OK を押す



2.6.2. 拡張保護モードを無効にする

- (1) 2.6.1.の(1)と同様にインターネットオプションを開く
- (2) タブ「詳細設定」を選択する
- (3) 設定>セキュリティ>「拡張保護モードを有効にする」のチェックを外して OK を押す

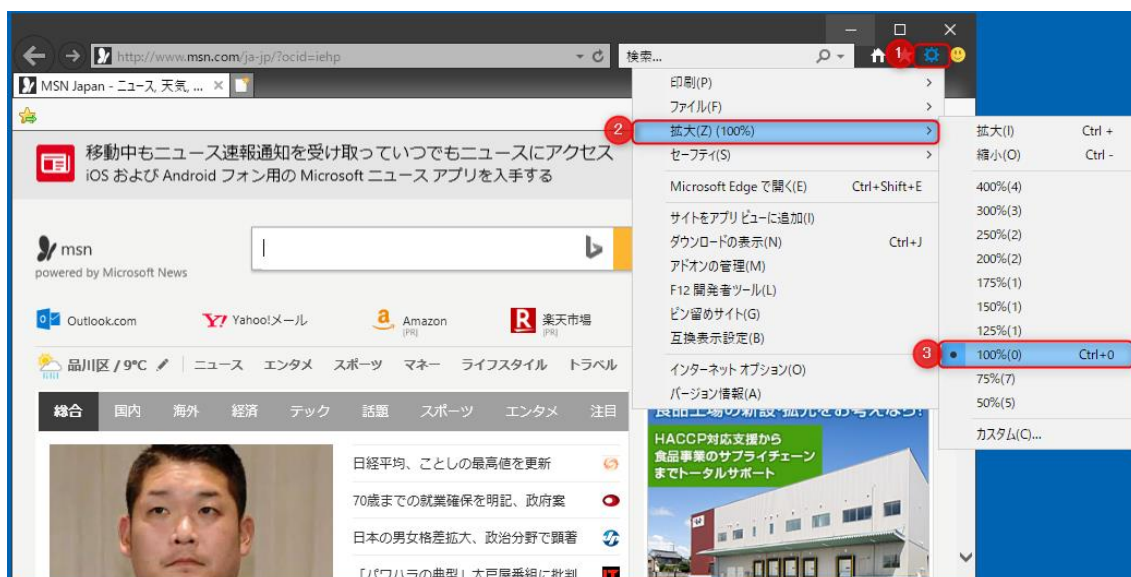


2.6.3. IE のズームレベルを 100%に設定する

IE を開き、以下の方法 1 または方法 2 を実行する。

方法 1：

- (1) [ツール] アイコンを選択する
- (2) [拡大(Z)] を選択する
- (3) [100%] を選択する



方法 2：

- (1) ショートカットキー [Ctrl + 0(ゼロ)] を入力する

2.6.4. ディスプレイのテキストサイズを 100%に設定する

- (1) スタートメニューを開く
- (2) [設定] アイコンを選択する
- (3) [システム] を選択する
- (4) [ディスプレイ] を選択する
- (5) [拡大縮小とレイアウト] > [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する] を [100%] に設定する

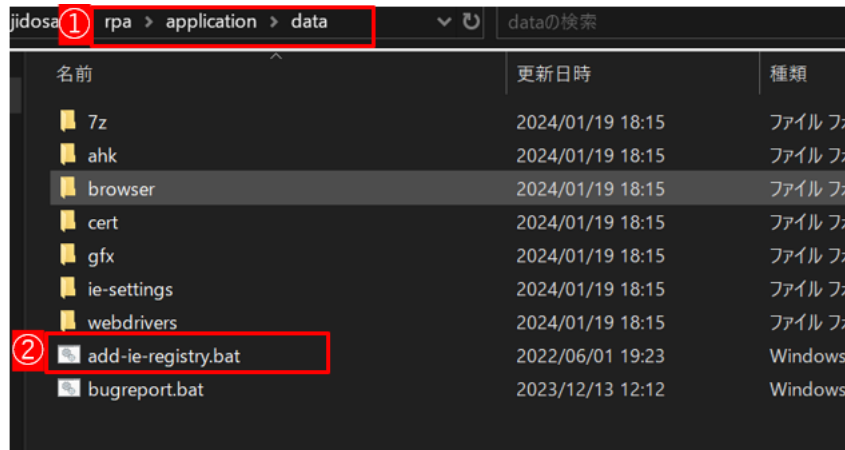
※上記を設定すると画面の解像度が変化するため、それまでに設定した座標系コマンドおよび画像認識系コマンドの再設定を推奨します。

2.6.5. レジストリ設定

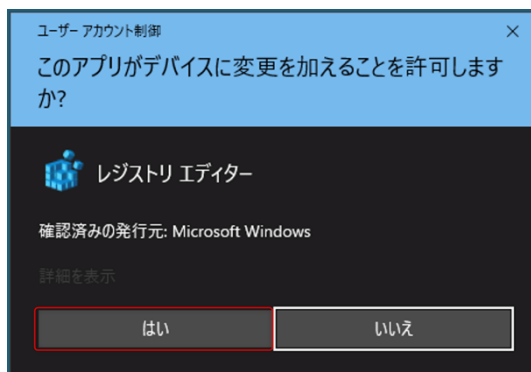
- (1) デスクトップ上のおじどうさんアイコンを右クリック>ファイルの場所を開く を選択する



- (2) rpa>application > data > add-ie-registry.bat を選択する



- (3) ユーザーアカウント制御の通知で「はい」を選択する



- (4) 以下のような結果が表示され、レジストリ設定が完了する

```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
Adding Registry entry for Internet Explorer (Windows 64-bit)...
Successfully enabled Internet Explorer in the Registry.
続行するには何かキーを押してください . . .
```

2.6.6. Microsoft Edge の IE モードやユーザ情報引継でブラウザ起動できない場合

Microsoft Edge の IE モードを設定したブラウザ起動コマンド、もしくは起動（ユーザ情報引継）コマンドで Edge を実行すると、Edge を閉じているにもかかわらず、下記エラーメッセージが出る場合があります。その現象の対処方法を下記に記す。

ブラウザ起動：ブラウザ起動中にエラーが発生しました。自動化以外の Edge を起動中の場合は、閉じてからもう一度お試しください。

[対処方法 1] スタートアップブースト機能を無効化する
手順

- (1) Microsoft Edge を開く
- (2) ブラウザの URL に「edge://settings/system」を入力する
- (3) 「スタートアップ ブースト」を無効化する
- (4) ブラウザを閉じる

[対処方法 2] バックグラウンドの拡張機能及びアプリの実行を無効化する

※稼働しているバックグラウンド機能/アプリを停止することで他のシステムに影響がないか、事前に確認するようお願いします。

手順

- (1) Microsoft Edge を開く
- (2) ブラウザの URL に「edge://settings/system」を入力する
- (3) 「Microsoft Edge が終了してもバック グラウンドの拡張機能およびアプリの実行を
続行する」を無効化する
- (4) ブラウザを閉じる

上記の対処方法を試してもブラウザ起動できない場合はテクニカルサポートにお問い合わせください。

3. 単語表

名称	説明
コマンド	おじどうさんで使用できる命令のこと 「アプリを起動する」コマンド、「マウスをクリックする」コマンド等、様々なものがある
シナリオ	特定の処理をおじどうさんで実現させるためにコマンドを組み合わせたもの コマンドの集合体ともいえる

4. おじどうさん画面説明

4.1. ライセンス認証画面

おじどうさん初回起動時またはライセンス有効期限が切れた場合は、ライセンス認証画面

(下図)が表示される。

ユーザ名
ユーザ名

ライセンスキー
ライセンスキー

ライセンスをインポート ライセンス認証

4.1.1. ライセンス認証手順 (通常)

発行されたおじどうさんのユーザ名とライセンスキーを入力後、[ライセンス認証]をクリックすることで認証が行われる。下図の①、②、③の手順となる。

認証後に有効期限が切れると自動更新処理を行う。自動更新処理時はインターネット接続が必要となる。

※インターネット接続ができていない状態でライセンス認証が通らない場合、クライアント端末や御社ファイアウォールにておじどうさんを許可する必要があります。詳細は『[2.5 Windows Defender ファイアウォールの例外設定](#)』をご参照ください。

※プロキシ設定が必要な場合、画面右上のメニューボタンからプロキシ設定 ([4.2.3.2. 一般設定](#) のプロキシ適用の設定例参照) を行ってください。

ユーザ名
ユーザ名 ①ユーザ名入力

ライセンスキー
ライセンスキー ②ライセンスキー入力

ライセンスをインポート ライセンス認証

③[ライセンス認証]をクリック

4.1.2. ライセンス認証手順（オフライン）

インターネットに接続せずにおじどうさんを利用する場合のライセンス認証手順は以下の通りである。

準備するもの： ライセンスファイル（ファイル名.rplz）

- (1) メニューボタンから [ライセンスをインポート] を選択する

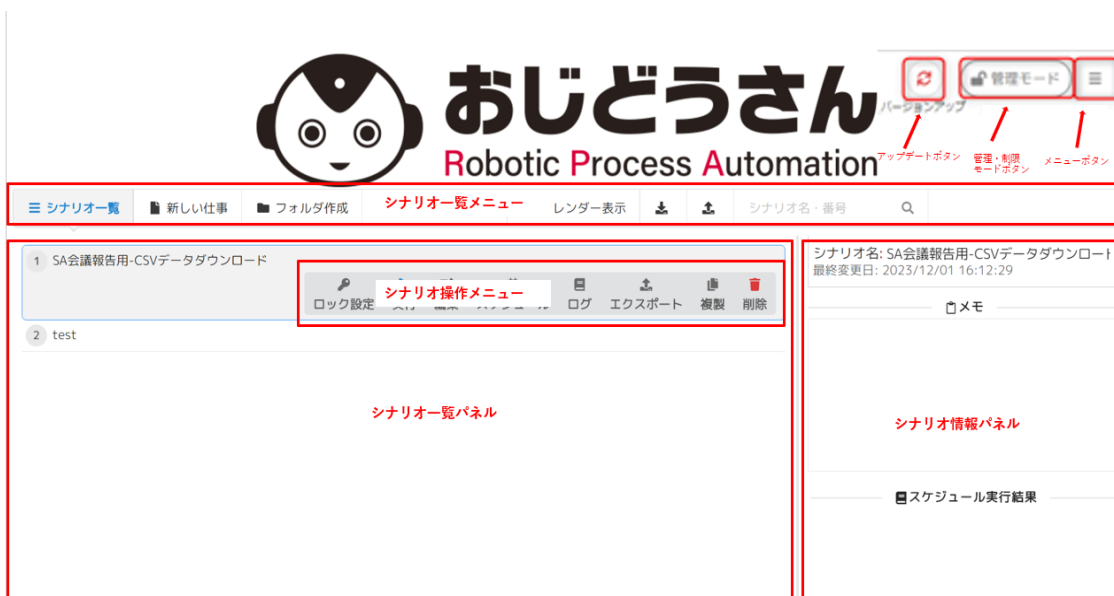


- (2) ライセンスファイル（ファイル名.rplz）を選択する



4.2. スケジュール画面

ライセンス認証後におじどうさんを起動するとスケジュール画面（下図）が表示される。



名称	内容
シナリオ一覧メニュー	シナリオ一覧パネルに対して操作する
シナリオ一覧パネル	作成したシナリオ一覧を表示する
シナリオ情報パネル	選択したシナリオの情報と実行ログを表示する
シナリオ操作メニュー	選択したシナリオに対して操作する
メニューボタン	おじどうさんについての情報、設定、サポート受付を表示する
管理・制限モードボタン	管理モード・制限モードを切り替える 詳細は 8.1. 管理・制限モード に記載
アップデートボタン	おじどうさんのアップデートボタン アップデートがあるときのみ表示される

4.2.1. シナリオ一覧メニュー

シナリオ一覧メニューではシナリオ一覧パネル内に対して操作を行う。

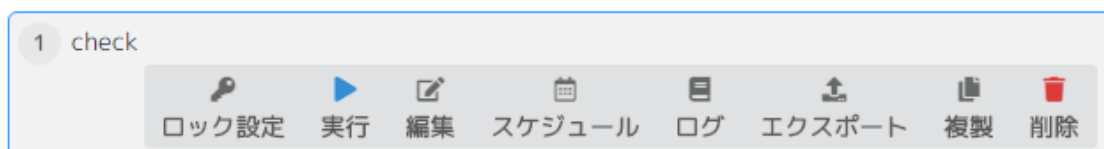
名称	説明
新しい仕事	新規のシナリオを作成する
フォルダ作成	新規フォルダを作成する
スケジュール一覧	全シナリオで設定したスケジュールを表示・編集する
カレンダー表示	スケジュールを週毎のカレンダー形式で表示する
インポート	シナリオファイル(.rpz)、シナリオフォルダ(.rpdz)をインポートする。 ver1.33.0 以降でエクスポートしたシナリオにはスケジュールが含まれる（注1）。
エクスポート（全）	シナリオ一覧パネル内のすべてのシナリオを一括エクスポート
シナリオ名・番号	シナリオ名や番号でシナリオを検索する

注意事項

- スケジュールはすべて無効化の状態でインポートされる。

4.2.2. シナリオ操作メニュー

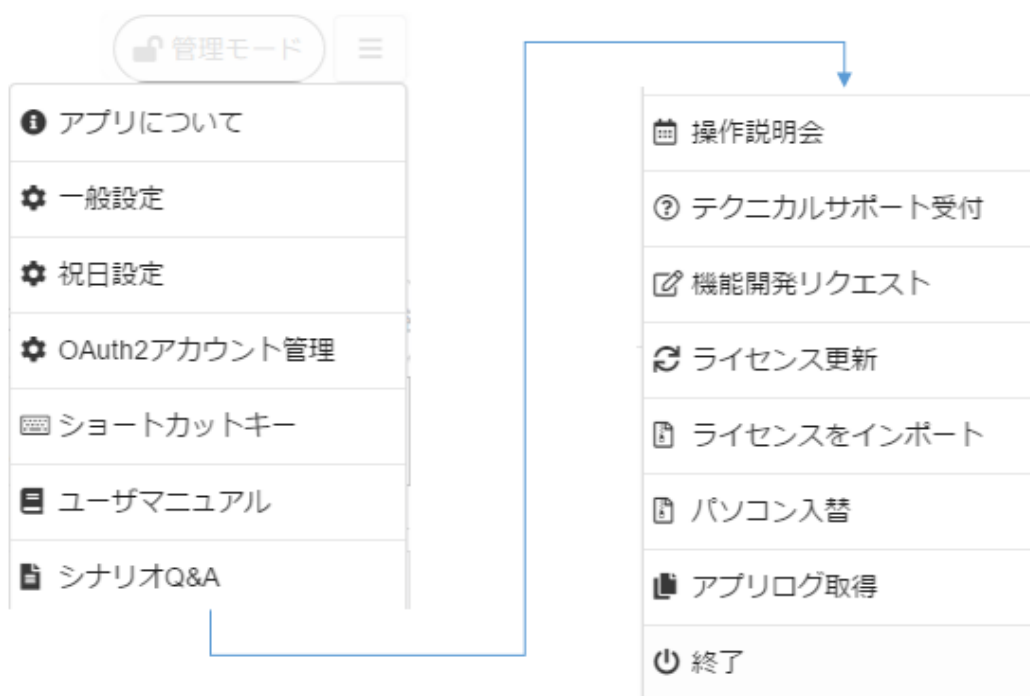
シナリオ操作メニューでは選択されたシナリオに対して操作を行う。



名称	説明
ロック設定	シナリオロックのレベルを設定する ※管理モードのときのみ表示されます
実行	対象シナリオを実行する
編集	対象シナリオのシナリオ編集画面に遷移する
スケジュール	対象シナリオのスケジュール実行設定を行う 設定した時間にシナリオが実行される おじどうさんが常駐していることが条件となる
ログ	実行ログを一覧で表示する。 詳細は「 4.3.4 ログの一覧表示 」を参照ください
エクスポート	対象シナリオのエクスポート（.rpz）を行う
複製	対象シナリオを複製する
削除	対象シナリオを削除する

4.2.3. メニューボタン

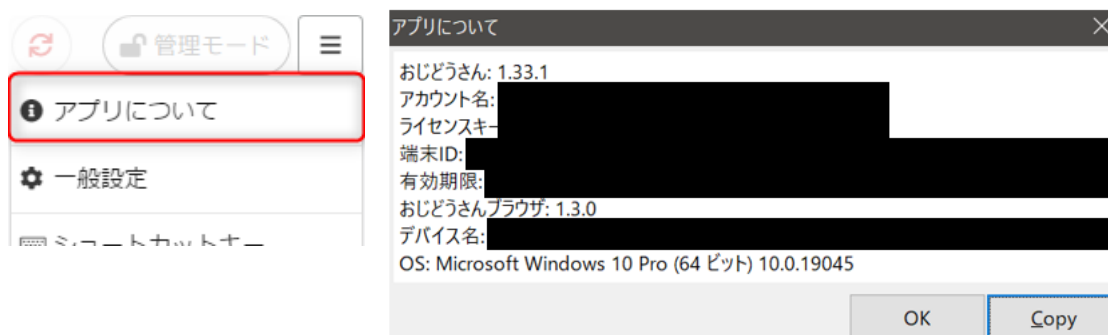
メニューボタンをクリックすると下図が表示される。



4.2.3.1. アプリについて

以下の項目を表示する。また、サポートの際に利用状況を共有できるように、おじどうさんについての情報をコピーできる。タスクトレイのおじどうさんアイコンから選択できる[アプリについて]も同様に機能する。

・おじどうさんのバージョン ・アカウント名 ・ライセンスキー ・端末 ID
・有効期限 ・おじどうさんブラウザのバージョン ・PC の OS



4.2.3.2. 一般設定

スケジュール画面から[メニューボタン]>[一般設定]をクリックするとおじどうさんの一般設定モーダル（下図）が開く。

一般設定

シナリオ実行時の設定

コマンド間待機時間（秒）	0.5
緊急停止オプション	マウス左上
データ参照IDのログ出力制限	<input type="checkbox"/>

シナリオ編集時の設定

コマンド挿入方法	シングルクリック
コマンド詳細設定方法	シングルクリック

言語

表示言語	日本語
------	-----

スケジュール実行後のメール通知適用

プロキシ適用

シナリオバックアップ

✕ キャンセル ✓ 適用

このモーダルから次の設定ができる。

1. シナリオ実行時の設定

コマンド間待機時間と緊急停止方法を指定する。

緊急停止方法の選択肢は以下のとおり。

マウス左上・ESC（長押し）・マウス左上+ESC（長押し）

データ参照 ID のログ出力制限にチェックを入れると、一部のコマンドにおいてログに出力される文字列の長さが制限される。

2. シナリオ編集時の設定

コマンド挿入方法を以下の選択肢から指定する。

シングルクリック・ダブルクリック

コマンド詳細設定方法を以下の選択肢から指定する。

シングルクリック・ダブルクリック

3. 言語

表示言語を切り替える。対応言語は以下の通り。

日本語・English

4. スケジュール実行後のメール通知適用の設定

スケジュールされたシナリオの実行結果をメールで送信できる。

通知結果の選択肢は以下の通り。

スケジュール実行結果すべて・エラー時のみ

5. プロキシ適用の設定

プロキシを通してネットワーク通信を利用したい場合に有効である。

6. シナリオバックアップの設定

シナリオを定期的にバックアップする。指定した保存場所に新しいフォルダ「YYYYMMDD_HHMM」が作成され、そのフォルダにシナリオが全て保存される。

※指定した保存場所が存在しない場合、バックアップされません。

フォルダ名の例：

2021/02/14の01時30分にバックアップを実行する場合、フォルダ「20210214_0130」を新規作成する。

ここで設定された内容は全てのシナリオに適用される。

スケジュール実行後のメール通知適用の設定例：

※メール設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

▼ <input checked="" type="checkbox"/> スケジュール実行後のメール通知適用	
アカウントの種類	送信サーバ ▼
送信サーバ	smtp.dova.co.jp
ポート	587
通信セキュリティ	STARTTLS ▼
送信者アカウント	xxxxx@dova.co.jp
パスワード
送信者アドレス	xxxxx@dova.co.jp
通知メール受信アドレス	xxxxx@dova.co.jp
ログファイル添付	<input checked="" type="checkbox"/>

プロキシ適用の設定例：

基本的には「アドレス」「ポート」のみを入力する。BASIC 認証の必要があれば「ユーザ

名」「パスワード」の項目も入力する。

※プロキシ情報についてはシステム管理者にお問い合わせください。

▼ <input checked="" type="checkbox"/> プロキシ適用	
アドレス	172.16.10.10
ポート	8080
ユーザ名	BASIC 認証用ユーザ名入力
パスワード	BASIC 認証用パスワード入力

× キャンセル

✓ 適用

4.2.3.3. 祝日設定

祝日を設定する。

祝日設定

カスタム祝日[+]

【説明】 カスタム祝日設定では、任意の日付を休日として設定することができます。

祝日名	日付設定	次回の祝日	削除

キャンセル 完了

- カスタム祝日設定

独自の祝日を登録できる。

[+]ボタンをクリックすると表にカスタム祝日情報が新しく追加される。

カスタム祝日[+] 1				
祝日名	日付設定	次回の祝日	削除	
2	-	1月1日	2023/01/01	🗑

追加された行をクリックすると、カスタム祝日編集画面が開く。

カスタム祝日編集

🗑 祝日名

祝日名 -

日付

1 月 1 日

キャンセル 完了

編集画面と設定画面の完了ボタンをクリックすることで、祝日設定が反映される。

4.2.3.4. OAuth2 アカウント管理

認証に OAuth2.0 を採用している外部サービスのアカウントを管理する。

OAuth2 対応サービス名	コマンド名
Google Gmail	メール送信 (Gmail) , メール受信 (Gmail)
Google Spreadsheet	スプレッドシートを作成 , スプレッドシートを読み込む スプレッドシートを削除 , スプレッドシート名を変更
Google Services (Self-Registration)	メール送信 (Gmail) , メール受信 (Gmail)、 スプレッドシートを作成 , スプレッドシートを読み込む スプレッドシートを削除 , スプレッドシート名を変更
Microsoft Mail	メール送信 (Microsoft) , メール受信 (Microsoft)

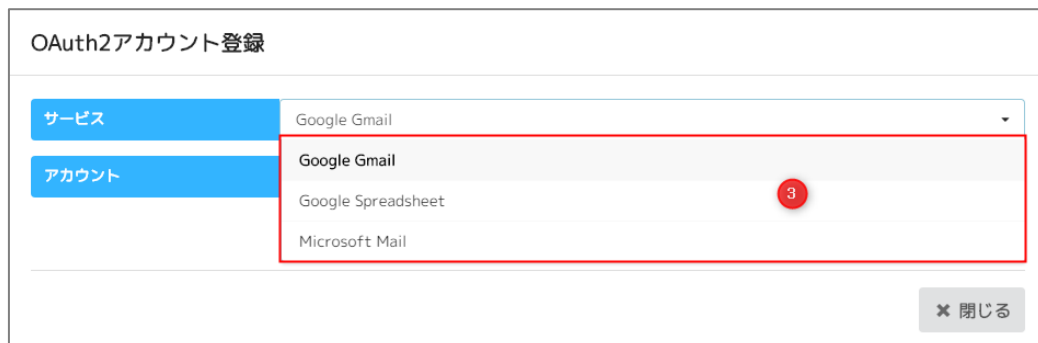
※Google Services (Self-Registration)でアカウント登録するには、Google 社の Google Cloud Services ポータルサイトで事前準備をしなければならない。詳しい手順は、本マニュアルの [11 章](#)を参照。

補足事項

- Google アカウントまたは Microsoft アカウントのパスワードを更新した場合、OAuth2 アカウントの再登録が必要になる。
- PC 名 (デバイス名) に日本語が含まれている場合、Google サービスの OAuth2 アカウントを登録できない。
- Microsoft Mail は、Microsoft Outlook と Microsoft Exchange に対応している。
- OAuth2 アカウントを登録する際、ブラウザが起動し対象アカウントへログインするよう求められる。このとき、指定したアカウントとは別のものを選択した場合、OAuth2 アカウント一覧に表示されるものと、実際に操作するアカウントにずれが発生する。

OAuth2 アカウント登録手順

- (1) メニューボタンから「OAuth2 アカウント管理」を選択する
- (2) [+]ボタンをクリックする
- (3) 利用するサービスを選択する



The screenshot shows the 'OAuth2アカウント登録' (OAuth2 Account Registration) screen. It features a 'サービス' (Service) dropdown menu set to 'Google Gmail' and an 'アカウント' (Account) dropdown menu with a red circle '3' next to it, containing options for 'Google Gmail', 'Google Spreadsheet', and 'Microsoft Mail'. A '× 閉じる' (Close) button is located at the bottom right.

- (4) 登録するアカウントを入力する
- (5) 「アプリの認証」ボタンをクリックする



The screenshot shows the 'OAuth2アカウント登録' (OAuth2 Account Registration) screen. The 'サービス' (Service) dropdown is set to 'Google Gmail'. The 'アカウント' (Account) field has a red circle '4' next to it. To the right is a button labeled '5 アプリの認証' (5 App Authentication). Below the fields, there is a message: 'メールアドレスを入力して、【アプリの認証】のボタンをクリックして認証を行います。ブラウザにてログイン後に「許可」選択してください。' (Enter the email address, click the [App Authentication] button to perform authentication. After logging in in the browser, please select 'Allow'). A '× 閉じる' (Close) button is at the bottom right.

- (6) 利用サービスの案内の通り進む
※おじょうさんが利用する権限を確認・許可をする
※OAuth 登録にあたり機能製造元の企業名が表示されますが、実際のお取引に関する企業名とは関与ございません。
- (7) アプリ画面に戻り OAuth2 アカウント管理にアカウントが表示されていることを確認する



The screenshot shows the 'OAuth2アカウント管理' (OAuth2 Account Management) screen. It displays a message: 'OAuth2アカウント登録完了しました' (OAuth2 Account Registration Completed). At the bottom right, there is a button with a checkmark and the text 'OK'.

4.2.3.5. ショートカットキー

おじどうさんではシナリオ作成の際、ショートカットがいくつか使用できる。[メニューボタン]から[ショートカットキー]を選択するとその一覧が表示される。

このショートカットキーとは別で、コマンド一覧パネルに対応した英字キーを入力すると、そのパネルが開閉する。パネルをすべて閉じるショートカットキーは0(ゼロ)である。



The image shows two parts of the application interface. On the left is a settings menu with the 'Shortcut Key' option highlighted. On the right is a dialog box titled 'Shortcut Key List' containing a table of shortcuts and their functions.

キー	操作
Ctrl s	シナリオ保存
F5	シナリオ実行
F6	シナリオ・チェックのみ実行
F12	シナリオ一覧へ戻る
Ctrl z	元に戻す
Ctrl y	やり直す
Ctrl f	キーワード検索
Ctrl h	参照ID置換
Click	コマンド1つ選択
Ctrl Click	コマンド追加選択
Shift Click	コマンド連続選択
Ctrl a	コマンド全て選択
ESC	コマンド選択解除
DEL	選択コマンド削除
Ctrl c	選択コマンドコピー
Ctrl x	選択コマンドカット
Ctrl v	選択コマンドペースト
Ctrl d	選択コマンド複製
Ctrl e	選択コマンド無効化・有効化
Ctrl b	選択コマンドをブックマーク
Ctrl g	選択コマンドをグループ化・グループ解除
Ctrl ←	ネストコマンド最小化
Ctrl →	ネストコマンド最大化
Ctrl ↑	選択コマンド移動(上)
Ctrl ↓	選択コマンド移動(下)

4.2.3.6. ユーザマニュアル

おじどうさんのユーザマニュアルを表示する。

4.2.3.7. サポートサイト

よく使用するおじどうさんのシナリオがダウンロードできる WEB サイトを開く。

4.2.3.8. ライセンス更新

おじどうさんを製品版ライセンスに変更した際に利用する。製品版への手続き完了後に本ボタンをクリックすることで、スケジュール画面右上に表示される体験版情報の表示が消える。



4.2.3.9. ライセンスをインポート

インターネットに接続せずにライセンス認証する場合に利用する。詳しい説明は [4.1.2. ライセンス認証手順 \(オフライン\)](#) を参照すること。

4.2.3.10. パソコン入替

おじどうさんを別のパソコンへ入れ替えるための手順とライセンスのディアクティベート機能を提供する。

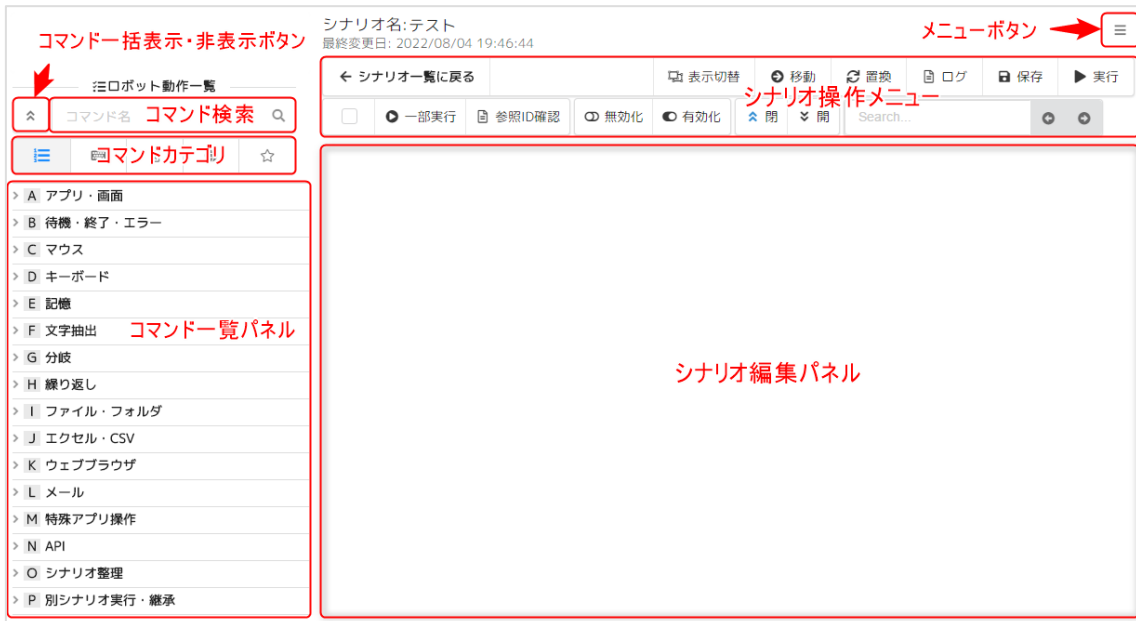
4.2.3.11. アプリログ取得

おじどうさんのログファイル「rpa.log」と「error.log」をダウンロードする。これらのログはおじどうさんの動作不具合を調査、または運営へ不具合を問い合わせる際に有用な情報となる。

4.2.3.12. 終了

おじどうさんを終了する。

4.3. シナリオ編集画面

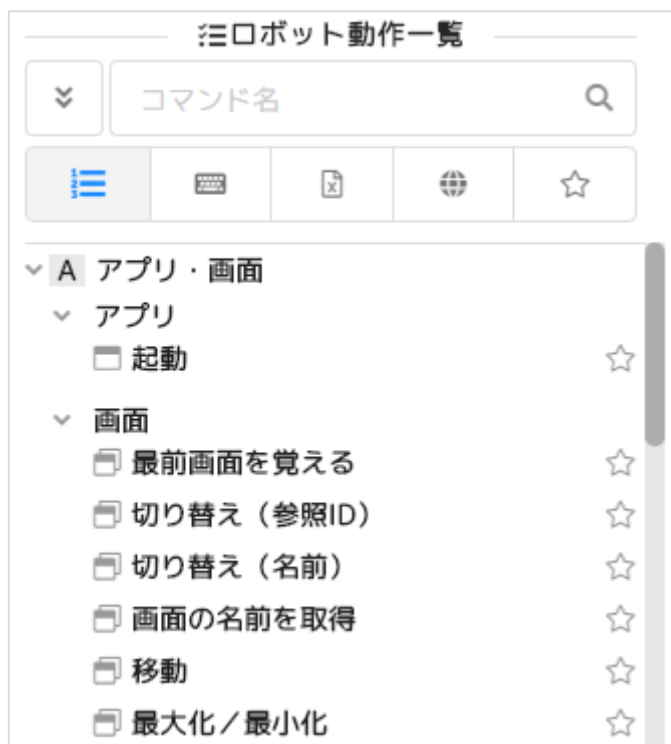


名称	内容
コマンド一括表示・非表示ボタン	コマンドを一括で表示または非表示にする
コマンド検索	コマンド一覧パネル内にあるコマンドを検索する
コマンドカテゴリ	選択したカテゴリに該当するコマンドを表示する
コマンド一覧パネル	おじどうさんで実行可能なコマンドのリスト ※各パネルに対応する英字キーを入力すると、そのパネルを開閉できる ※すべてのパネルを閉じる場合は0（ゼロ）を入力
メニューボタン	スケジュール画面のメニューボタンと同様。
シナリオ編集パネル	おじどうさんで実行されるコマンドのリスト
シナリオ操作メニュー	シナリオを操作する

4.3.1. コマンドカテゴリ

コマンド一覧をカテゴリごとに、タブで切り替えて表示できる。

機能とカテゴリに応じたコマンドだけを表示して、探す手間を省くことができる。



各カテゴリのタブアイコンおよびカテゴリ名、意味、ショートカットキーを下の表に示す。

アイコン	カテゴリ名	ショートカットキー	カテゴリの意味
	すべて	1	全てのコマンド
	基本	2	一般的によく使うコマンド
	エクセル/CSV	3	エクセル CSV のコマンド
	ブラウザ	4	ブラウザコマンド
	お気に入り	5	自分が星マークをつけたコマンド

4.3.1.1. 「お気に入り」カテゴリ

「お気に入り」カテゴリには、ユーザがお気に入り登録したコマンドが表示される。コマンドをお気に入り登録するにはコマンド名横にある☆アイコンをクリックすることで登録できる。登録すると、☆アイコンは青色になる。



また、再度クリックすることでお気に入りを解除できる。未登録になると、☆アイコンは白色になる。

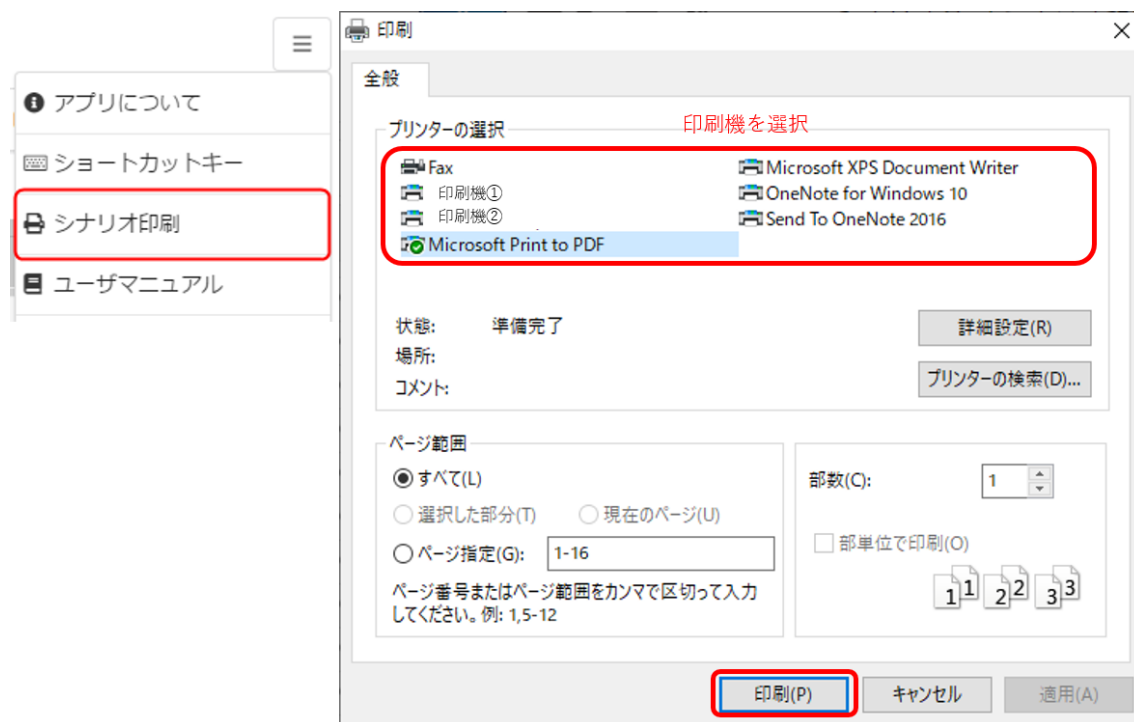


4.3.2. メニューボタン (シナリオ編集画面)

シナリオ編集画面のメニューボタンには、スケジュール画面のものの簡易版+シナリオ編集機能が備わっている。本項ではシナリオ編集用の機能のみ紹介する。

- シナリオ印刷

表示されているシナリオを印刷する。



4.3.3. シナリオ操作メニュー

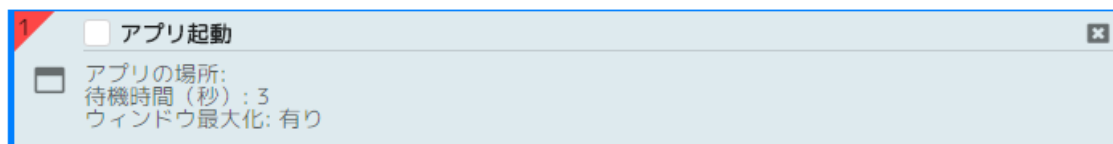
シナリオ操作メニューではシナリオに対して操作を行う。



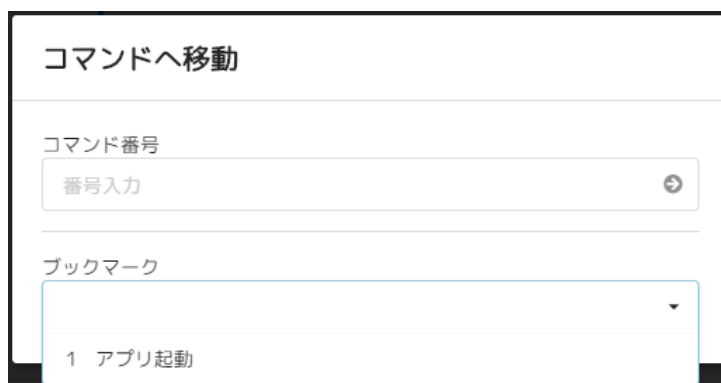
名称	内容
シナリオ一覧に戻る	スケジュール画面に遷移する
表示切替	シナリオ編集パネル上のコンテンツ表示モードを切り替える
移動	コマンド番号やブックマークしているコマンドの位置に移動する
置換	参照 ID を一括で置換する
ログ	対象シナリオを実行した日時・コマンド・実行結果を記憶したログを表示またはダウンロードする。実行結果がエラーの場合には、その時のスクリーンショットも表示またはダウンロードする。
保存	シナリオを保存する
実行	シナリオ編集パネル内のすべてのコマンドを実行する
一括チェック	すべてのコマンドにチェックを入れる
一部実行	シナリオ編集パネル内のチェックされたコマンドのみ実行する
参照 ID 確認	カーソルを合わせると下記のメニューが表示される 参照 ID 確認: 参照 ID の値を確認または設定する (詳細は 4.3.6. を参照) 設定した値で一部実行: 「参照 ID 確認」の内容を利用して、チェックされたコマンドのみ実行する (詳細は 4.3.6. を参照)
コマンド無効化	選択したコマンドを無効化する 無効化されたコマンドは実行されない
コマンド有効化	無効化したコマンドを有効化する
全て閉じる	ネストコマンド (コマンドの中にコマンドを入れることができるもの) を全て閉じる
全て開く	ネストコマンドを全て開く
キーワード検索	キーワードを含むコマンドを検索する

4.3.5. コマンドのブックマーク

おじどうさんにはコマンドにブックマークをつける機能がある。コマンドを選択した状態でショートカットキー [Ctrl + b] を入力すると、下図のように見た目が変わる。



ブックマークされたコマンドはシナリオ操作メニューの[移動]のブックマークに表示される。これにより、コマンドの移動が容易になる。

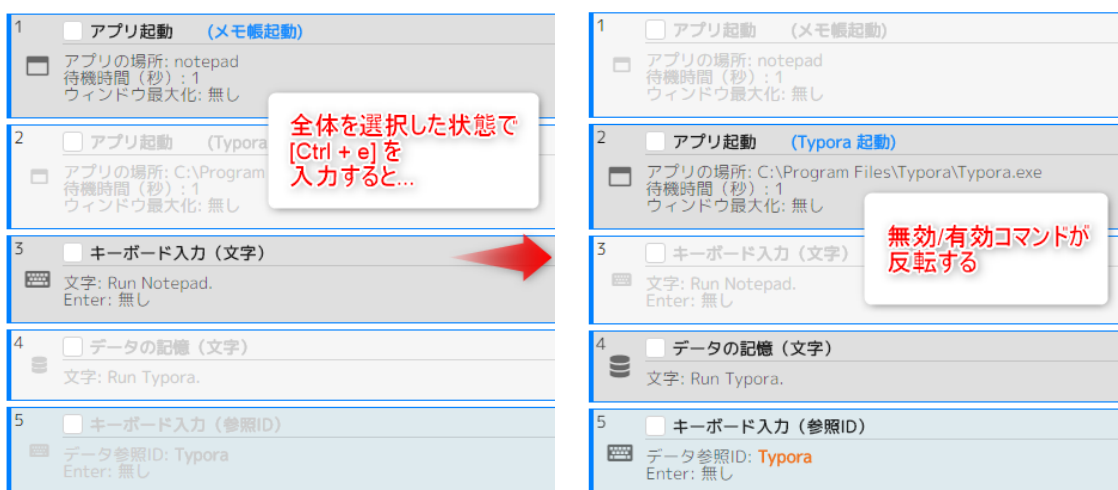


4.3.6. コマンドの無効化・有効化

コマンドを選択した状態で[コマンド無効化][コマンド有効化]をクリック、または、ショートカットキー [ctrl + e] を入力すると、コマンドの実行を無効化／有効化することができる。



全体を選択した状態で [Ctrl + e] を入力するとコマンドの無効／有効化が反転する。



4.3.7. キーワード検索

キーワードを含むコマンドを検索する。検索対象は以下の通りである。

- コマンドのタイトル
- コマンドのテキスト入力項目（ドロップダウン等の入力項目は除く）
- コマンドのメモ

検索に一致したコマンドは、枠左側が水色に変化する。（下図）

The screenshot shows the 'おじどうさん' (Ojidosan) RPA software interface. The search bar at the top contains the keyword 'キーボード'. The search results are displayed in a list on the right side of the screen. The list includes several commands, with the 'キーボード入力 (文字)' (Keyboard Input (Text)) command highlighted in blue on the left side of the list. The interface also shows a sidebar on the left with a tree view of the scenario structure, and a top navigation bar with various icons and a search bar.

キーワード検索のショートカットキー（検索欄フォーカス時に有効）

- ・ Enter: 次の検索一致コマンドへ移動
- ・ Shift+Enter: 前の検索一致コマンドへ移動

4.3.8. 設定した参照 ID で一部実行

「参照 ID 確認」ボタンでシナリオ内の参照 ID の一覧が表示され、それらの値のデフォルト値を一時的に設定できる。「設定した参照 ID で実行」ボタンをクリックすることで、その画面で設定した参照 ID を利用してシナリオを一部実行できる。

この機能は、シナリオ実行後やエラー終了時の参照 ID の値を確認したり、様々な参照 ID の値でシナリオを試験したりすることができるため、シナリオ作成時のサポートとして役立つ。

「参照 ID 確認」及び「設定した参照 ID で実行」ボタンは、シナリオ操作メニューの「参照 ID 確認」にカーソルを合わせると表示される。そのメニューから「参照 ID 確認」をクリックすると、下図の「参照 ID を確認・設定する」モーダルが表示される。

シナリオ名: テスト
最終変更日: 2022/08/04 19:46:44

参照ID確認 (2. クリック)

設定した参照IDで一部実行

参照ID確認 (1. カーソルを合わせる)

一括チェック 一部実行 参照ID確認 コマンド無効化 コマンド有効化 全て閉じる 全て開く Search...

参照IDを確認・設定する

【注意】値は自動的に、前回のシナリオ終了時の値に更新されます

データ参照ID	値
データ1	
データ2	
ウィンドウ参照ID	
ウィンドウ1	未設定
ウィンドウ2	未設定
エクセル参照ID	
エクセル1	未設定
エクセル2	未設定
ブラウザ参照ID	
ブラウザ1	未設定
ブラウザ2	未設定

キャンセル 変更

この「参照 ID を確認・設定する」モーダルでは、シナリオ一部実行前の参照 ID を確認および設定ができる。表示される参照 ID は下記の通りである。

- そのシナリオで定義されている参照 ID
- そのシナリオの親シナリオから継承する参照 ID

これらの参照 ID の値はシナリオが実行終了する度に、終了時点の値に更新される。

「設定した参照 ID で一部実行」ボタンからシナリオ実行したときのみ、参照 ID の値がこの設定に基づいたものに一時的に変化する。「実行」「一部実行」「スケジュール実行」ではこの設定は反映されない。

この設定の有効期限について、「シナリオ一覧画面」に移動する、もしくはおじどうさんを終了すると設定内容はすべてリセットされる。ただし、ブラウザ参照 ID については「シナリオ一覧画面」に移動しても保持される。

5. 基本操作

5.1. シナリオ作成方法

シナリオ作成方法は以下の2通りある。

(8) コマンド

(9) 操作記録

基本的には (1)コマンド を利用するが、それに(2)操作記録を加えることができる。

(1) コマンドでのシナリオ作成方法

シナリオ編集画面にてコマンド一覧パネル内のコマンドをクリックすると、そのコマンドがシナリオ編集パネルに配置される。

下図の例の場合、起動コマンドをクリックする (①) とコマンドがシナリオ編集パネルに配置される (②)。



全コマンドにはそれぞれ設定用のモーダルが用意されている。シナリオ編集パネルに配置されたコマンドをクリックすると、そのコマンドの設定モーダルが開く。

アプリ起動コマンド (上図②) をクリックすると下図のような設定モーダルが開く。

アプリ起動

アプリの場所	notepad
待機時間 (秒)	3
ウィンドウ最大化	<input checked="" type="checkbox"/>

[詳細表示]

メモ	メモです
----	------

× キャンセル ✓ OK

全てのコマンドにはメモを残すことができる。メモの文字数上限は 128 文字で、コマン

ド名の右側に青文字でメモが表示される（下図）。



(2) 操作記録でのコマンド作成

6.13.4. 操作記録を御覧ください。

5.2. シナリオ保存

シナリオに変更が加わった場合は [保存] が赤くなる。その状態で [保存] をクリックするとシナリオを保存できる。

- シナリオが編集されている状態



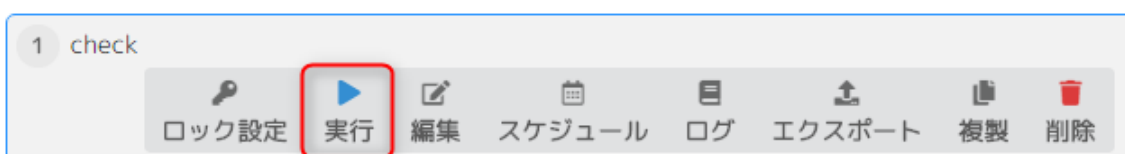
- シナリオが保存されている状態



5.3. シナリオ実行

[スケジュール画面] の [実行] または [シナリオ編集画面] の [実行] をクリックすると、シナリオが実行される。シナリオ実行中はおじどうさんウィンドウが非表示となる。

- [スケジュール画面] の対象シナリオの [実行] をクリック



- [シナリオ編集画面]の[シナリオ操作メニュー]上の[実行]をクリック

※[シナリオ編集パネル]上のコマンドにチェックを入れると、チェックしたコマンドに対してのみ実行することもできます。



シナリオ実行完了後はシナリオ実行終了モーダルが表示される。下図（左）は正常終了、下図（右）は失敗を表す。失敗内容は失敗したコマンド毎によって異なる。



5.4. シナリオ実行の停止

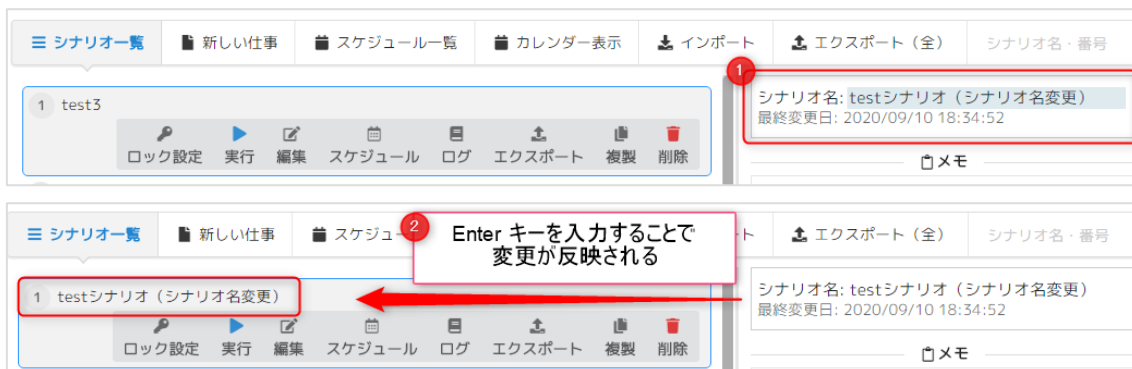
デフォルトの実行中シナリオの停止方法は、マウスポインタを画面の左上へ移動させる方法である。シナリオ停止方法は一般設定の「緊急停止オプション」から変更できる。

緊急停止のタイミングはコマンド実行前または待機 10 秒間毎である。停止後は緊急停止モーダル（下図）が表示され、停止箇所のコマンドに黄色のラベルが表示される。



5.5. シナリオ名の変更

方法 1： スケジュール画面より変更



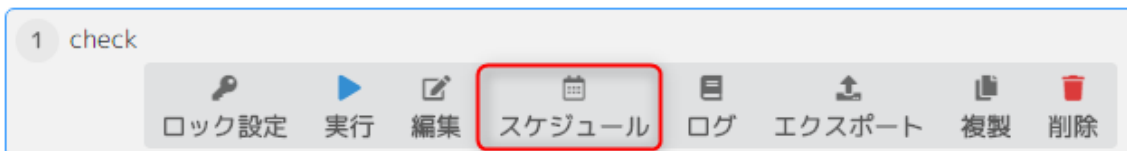
方法 2： シナリオ編集画面より変更



5.6. スケジュール実行設定

5.6.1. シナリオ別スケジュール設定

[スケジュール画面]にて対象シナリオの[シナリオ操作メニュー]から[スケジュール]をクリックすると[シナリオ別スケジュール一覧モーダル]が開く。



モーダル上の[+]をクリックすることで新規スケジュールを追加する。

シナリオ別スケジュール一覧: check

日付指定スケジュール[+]

有効	実行日	開始時間	実行回数	繰返し間隔	削除
----	-----	------	------	-------	----

毎週スケジュール[+]

有効	毎週実行曜日	開始時間	実行回数	繰返し間隔	有効期間	削除
----	--------	------	------	-------	------	----

毎月スケジュール[+]

有効	毎月実行日	開始時間	実行回数	繰返し間隔	有効期間	削除
----	-------	------	------	-------	------	----

営業日スケジュール[+]

有効	実行営業日	開始時間	実行回数	繰返し間隔	有効期間	削除
----	-------	------	------	-------	------	----

自動実行スケジュールの追加ボタン

× キャンセル ✓ 完了

スケジュール有効・無効を切り替える場合は、左のチェックボックスをクリックする
削除する場合は対象スケジュールの削除項目（右赤枠）をクリックする。

有効	実行日	開始時間	実行回数	繰返し間隔	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	2020/04/23	00:00	1	1	削除

追加されたスケジュール項目をクリックすることで詳細なスケジュール編集モーダルに遷移する。

日付指定スケジュール例：

日付指定スケジュール[+] クリック

有効	実行日	開始時間	実行回数	繰返し間隔	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	2020/04/23	00:00	1	1	削除



スケジュール編集: check

実行日設定

スケジュールタイプ 日時設定

実行日

2020 年 04 月 23 日

実行時間設定

当日の開始時間

00 時 00 分

当日の実行回数設定

1 回 1 分おきに

毎週スケジュール例：

毎週スケジュール[+]

クリック

有効	毎週実行曜日	開始時間	実行回数	繰返し間隔	有効期間	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	日 月 火 水 木 金 土	00:00	1	1	2021/10/08 ~ ずっと	🗑️ 削除



スケジュール編集: check

実行日設定

スケジュールタイプ 毎週

実行曜日

日 月 火 水 木 金 土

実行時間設定

当日の開始時間

00 時 00 分

当日の実行回数設定

1 回 1 分おきに

スケジュール有効期間

期間開始

2022 年 10 月 06 日

期間終了

無期限 年 無期限 月 無期限 日

休日設定

休日 日 月 火 水 木 金 土 祝日 カスタム祝日

次のスケジュールが休日だったら 実行しない

例外日設定 [+]

× キャンセル ✓ 完了

毎月スケジュール例：

有効	毎月実行日	開始時間	実行回数	繰返し間隔	有効期間	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	1日	00:00	1	1	2021/10/08 ~ ずっと	削除



スケジュール編集: check

実行日設定

スケジュールタイプ 毎月

毎月の実行日

1 日

実行時間設定

当日の開始時間

00 時 00 分

当日の実行回数設定

1 回 1 分おきに

スケジュール有効期間

期間開始

2022 年 10 月 06 日

期間終了

無期限 年 無期限 月 無期限 日

休日設定

休日 日 月 火 水 木 金 土 祝日 カスタム祝日

次のスケジュールが休日だったら 実行しない

例外日設定 [+]

× キャンセル ✓ 完了

営業日スケジュール例：

有効	実行営業日	開始時間	実行回数	繰返し間隔	有効期間	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	第1日	00:00	1	1	2022/06/09 ~ ずっと	削除

クリック



スケジュール編集: check

実行日設定

スケジュールタイプ

毎月の実行営業日

実行時間設定

当日の開始時間 時 分

当日の実行回数設定 回 分おきに

スケジュール有効期間

期間開始 年 月 日

期間終了 年 月 日

休日設定

休日 日 月 火 水 木 金 土 祝日 カスタム祝日

例外日設定 [+]

追加したスケジュールの日時を設定し、[完了]をクリックすることで設定完了となる。

※補足

- ・ 休日設定で再計算された日付が例外日だった場合、そのスケジュールは無効化される
- ・ 例外日を設定すると、その日のスケジュールを無効化する
- ・ 営業日スケジュール設定において、実行月に存在しない営業日のスケジュールは無効化される

※注意点

・複数のシナリオのスケジュールを同時刻に設定した場合、カレンダーに表示されている順序でシナリオを実行します。

5.6.2. スケジュール一覧

シナリオ一覧メニューの[スケジュール一覧]から次の操作が可能である。

1. シナリオ検索

2. スケジュール設定の編集

※シナリオ名をクリックするとスケジュール編集モーダルが表示されます

※一覧にないシナリオのスケジュールを設定することはできません

※無効化したスケジュールは説明内容が灰色になります

シナリオ一覧 新しい仕事 **スケジュール一覧** カレンダー表示 インポート エクスポート(全) シナリオ名・番号

スケジュール一覧

シナリオ名 ▾	設定内容
check	2020/04/23に、00:00から1回実行
test	2021/10/08に、00:00から1回実行
test	毎週の月/水に、05:00から3回、10分おきに実行
test	毎週の火/木に、05:00から3回、10分おきに実行
test	毎月の1日に、08:00から1回実行
スケジュール登録数: 5	

× 閉じる

5.6.3. スケジュールのカレンダー表示

シナリオ一覧メニューの[カレンダー表示]から次の内容が確認できる。

- スケジュールの開始時間（繰り返しを含む）

	日 2020/4/19	月 2020/4/20	火 2020/4/21	水 2020/4/22	木 2020/4/23	金 2020/4/24	土 2020/4/25
00:00							
01:00							
02:00							
03:00							
04:00							
05:00							
06:00							
07:00							
08:00							

以下のスケジュール一覧の内容をカレンダー表示すると次のようになる（2020/04/26 開始の週）。

※2020/04/23 のみ実行のシナリオ「check」は 2020/04/26 週のカレンダーには表示されません

※無効化したスケジュールはカレンダーには表示されません

シナリオ名 ▾	設定内容
check	2020/04/23に、00:00から1回実行
<u>check</u>	<u>毎週の日/土に、08:00から6回、60分おきに実行</u>
<u>check</u>	<u>毎月の月末に、12:30から1回実行</u>
<u>demo</u>	<u>毎週の木/火/水/木/金に、10:00から1回実行</u>
スケジュール登録数: 4	

	日 2020/4/26	月 2020/4/27	火 2020/4/28	水 2020/4/29	木 2020/4/30	金 2020/5/1	土 2020/5/2
00:00							
01:00							
02:00							
03:00							
04:00							
05:00							
06:00							
07:00							
08:00	08:00 check						08:00 check
09:00	09:00 check						09:00 check
10:00	10:00 check	10:00 demo	10:00 demo	10:00 demo	10:00 demo	10:00 demo	10:00 check
11:00	11:00 check						11:00 check
12:00	12:00 check				12:30 check		12:00 check
13:00	13:00 check						13:00 check
14:00							

5.6.4. スケジュール実行結果の表示

スケジュール実行されたシナリオの結果はシナリオ情報パネルの[スケジュール実行結果]に最大 100 件表示される。

※注意点

- スケジュール実行結果は保存されず、画面が切り替わると表示がリセットされます。ログファイルは保存されますのでご安心ください。



6. コマンド説明

6.1. アプリ・画面

6.1.1. アプリ > 起動

アプリケーションを起動するコマンド。

アプリ起動

アプリの場所	例) C:\Program Files(x86)\...	
待機時間 (秒)	3	
ウィンドウ最大化	<input checked="" type="checkbox"/>	

[詳細表示]

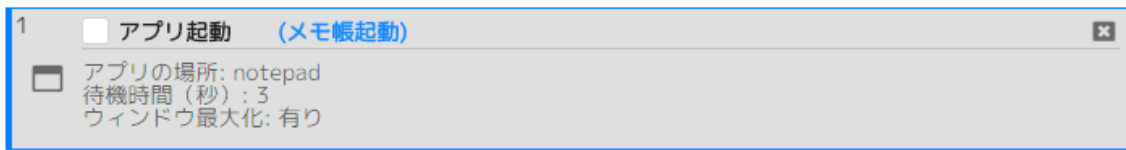
メモ	
----	--

[詳細非表示]

オプション引数	必要な場合は入力	
---------	----------	--

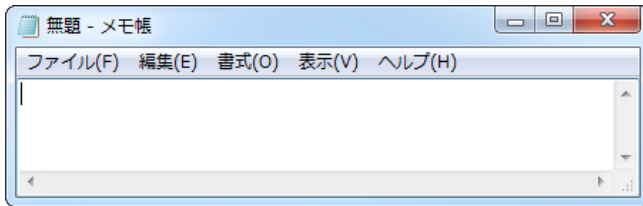
名称	内容
アプリの場所	起動したいアプリケーションを指定する ファイルアイコンから実行するアプリを選択できる 下記のような Windows 標準で名前のみで実行できるアプリケーションは直接入力で行える (excel : エクセル、notepad : メモ帳、chrome : Google Chrome 等)
待機時間 (秒)	アプリ起動後に待機する時間を指定する アプリ全体が表示されるまで待機する場合に有効である
ウィンドウ最大化	アプリのウィンドウを最大化する
オプション引数	アプリ起動時のオプション (引数) を入力する [詳細表示]をクリックすると表示される

シナリオ例（アプリ＞起動）：



シナリオ例（アプリ＞起動）の実行結果：

メモ帳が起動する。



6.1.2. 画面 > 最前画面を覚える

画面の最前面にあるウィンドウを記憶するコマンド。[ウィンドウ参照 ID]に定義したウィンドウ参照 ID を別のコマンドで指定することで、記憶したウィンドウを呼び出せる。

最前画面を覚える

ウィンドウ参照ID	ウィンドウ
メモ	

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ウィンドウ参照 ID	ウィンドウ参照 ID を定義する

6.1.3. 画面 > 画面を覚える（名前）

指定した名前の画面（ウィンドウ）を記憶するコマンド。[ウィンドウ参照 ID]に定義したウィンドウ参照 ID を別のコマンドで指定することで、記憶したウィンドウを呼び出せる。なお、同じ名前の画面が複数ある場合は、最初にマッチしたウィンドウが記憶される。

画面を覚える（名前）

ウィンドウ名	ウィンドウ	☰
ウィンドウ参照ID	ウィンドウ	
メモ		

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ウィンドウ名	記憶したい画面（ウィンドウ）を指定する。ウィンドウ名は部分一致での指定に対応している。
ウィンドウ参照 ID	ウィンドウ参照 ID を定義する

6.1.4. 画面 > 切り替え（参照 ID）

定義したウィンドウ参照 ID を指定し、画面の最前に呼び出すコマンド。

最前画面切り替え

ウィンドウ参照ID	
メモ	

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ウィンドウ参照 ID	定義したウィンドウ参照 ID を指定する

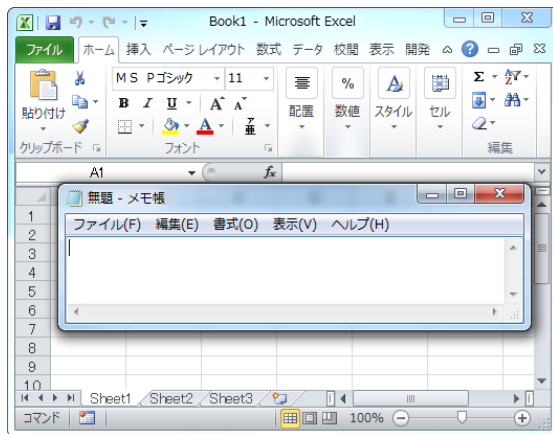
シナリオ例（画面 > 切り替え（参照 ID））：

メモ帳、エクセルの順に起動した後、メモ帳を最前面に表示するシナリオ。



シナリオ例（画面 > 切り替え（参照 ID））の実行結果：

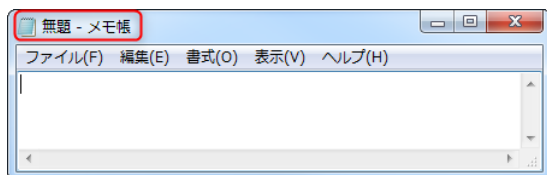
メモ帳が最前面に表示される。



6.1.5. 画面 > 切り替え（名前）

指定したウィンドウ名が含まれるウィンドウを最前面に呼び出すコマンド。

下図のメモ帳は[無題 - メモ帳]がウィンドウ名となるため、[無題 - メモ帳]、[無題]、[メモ帳]のいずれかでウィンドウ名を指定することで、画面の最前面に表示することができる。また、同一のウィンドウ名が複数ある場合は最初にマッチしたウィンドウが最前面に表示される。



画面切り替え（名前）

文字列

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ウィンドウ名	ウィンドウ名を指定する

シナリオ例（画面 > 切り替え（名前））：

メモ帳、エクセルの順に起動した後、メモ帳を最前面に表示するシナリオ。

1 アプリ起動 **（メモ帳を開く）** ×

アプリの場所: notepad
 待機時間（秒）: 0
 ウィンドウ最大化: 無し

2 アプリ起動 **（エクセルを起動）** ×

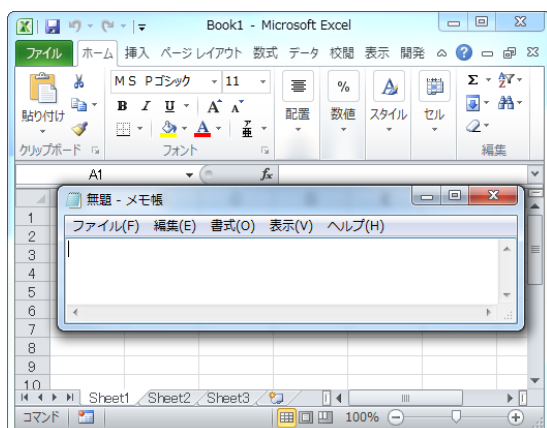
アプリの場所: excel
 待機時間（秒）: 0
 ウィンドウ最大化: 無し

3 画面切り替え（名前） **（メモ帳を最前面に移動）** ×

文字列: メモ帳

シナリオ例（画面 > 切り替え（名前））の実行結果：

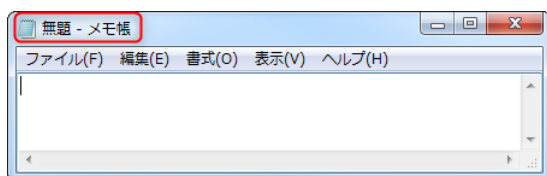
[メモ帳]ウィンドウが最前面に表示される。



6.1.6. 画面 > 画面の名前を取得

指定したウィンドウの名前を記憶するコマンド。

下図のメモ帳の場合、「無題 - メモ帳」という文字がデータ参照 ID に記憶される。



画面の名前を取得

ウィンドウ参照ID	[最初のウィンドウ]
データ参照ID	ウィンドウ名
メモ	

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ウィンドウ参照 ID	記憶したいウィンドウ名をウィンドウの参照 ID または [最初のウィンドウ] から指定する。
データ参照 ID	ウィンドウ参照 ID を定義する。

6.1.7. 画面 > 移動

最前面のウィンドウを任意の位置に配置するコマンド。

ウィンドウを移動

移動先

メモ

名称	内容
移動先	最前面ウィンドウを移動する位置の指定

シナリオ例（画面 > 移動）：

メモ帳を起動して、画面左下に移動するシナリオ。

1	<input type="checkbox"/> アプリ起動 (メモ帳を開く)	<input type="button" value="×"/>
	実行パス: notepad	
2	<input type="checkbox"/> ウィンドウを移動	<input type="button" value="×"/>
	移動先: 左下	

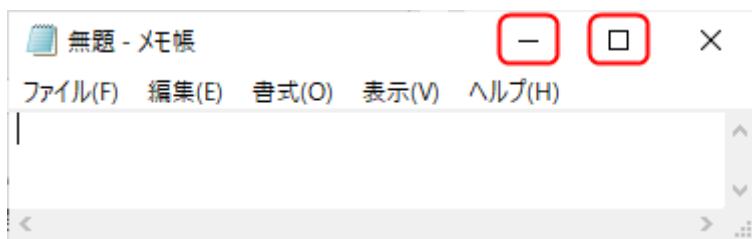
シナリオ例（画面 > 移動）の実行結果：

メモ帳が画面左下に移動する。



6.1.8. 画面 > 最大化/最小化

ウィンドウを最大化、または最小化する。下図赤枠の最大化と同じ挙動になる。



ウィンドウ最大化/最小化	
動作	<input checked="" type="radio"/> 最大化 <input type="radio"/> 最小化
メモ	<input type="text"/>
<input type="button" value="× キャンセル"/> <input type="button" value="✓ OK"/>	

名称	内容
動作	最大化または最小化を選択する

6.1.9. 画面 > スクリーンショットを撮る

指定した撮影範囲のスクリーンショットを撮るコマンド。

スクリーンショットを撮る

保存場所	例) C:\Users\...	 
ファイル名	例) screenshot.png ※拡張子の指定がない場合は、自動的に.pngを付与します	
撮影範囲	<input checked="" type="radio"/> 全画面 <input type="radio"/> 最前ウィンドウ	
メモ	<input type="text"/>	

【注意】ファイル名が空の場合、スクリーンショット撮影日時を命名します。(例：20230201_103000.png)

 キャンセル  OK

名称	内容
保存場所	スクリーンショットの保存場所を指定する
ファイル名	スクリーンショットのファイル名を指定する
撮影範囲	撮影範囲を選択する

6.2. 待機・終了・エラー

6.2.1. 秒

指定した秒数の間、待機するコマンド。ウィンドウ全体が表示されるまで待機する必要がある場合や、ネットワーク上のファイルアクセスで待ち時間がある場合にこのコマンドが有効である。

待機（秒）

待機時間（秒）	3
メモ	メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
待機時間（秒）	待機秒数を指定する

6.2.2. 画像出現を待つ

指定した秒数の間、画像切り取りで登録した画像出現を待機するコマンド。

画像が出現した場合と出現しない場合で処理を分けることができる。

※画像出現を待つコマンドと画像を探す（分岐）コマンドは同一です。

画像出現を待つ

一定時間後に画面が少し暗くなり画像切り取りモードに移行する

画像切り取り

切り取りまでの待ち時間（3秒）

85

100

画像切り取りモードに切り替わるまでの時間を3秒・10秒・30秒から選択できる

ざっくり検索%（色：RGB）

ざっくり検索%（ピクセル）

【注意】色/ピクセルともに、設定バーが左寄りになると検索時間がかかります。

検索範囲 全画面 検索範囲指定

検索時間（秒） 5

メモ

× キャンセル ✓ OK

検索範囲 全画面 検索範囲指定

(0, 0) ~ (0, 0)

検索範囲切り取り

切り取りまでの待ち時間（3秒）

名称	内容
画像切り取り	出現を待つ画像を指定する。 Ctrl キーを押しながらドラッグ&ドロップすると座標が表示される。
切り取りまでの待ち時間	画像切り取りモードに切り替わるまでの時間を選択する。
ざっくり検索% (色: RGB)	画像を画面上で検索する際、色のズレをどれくらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色のズレがあっても容認する。
ざっくり検索% (ピクセル)	画像を画面上で検索する際、色が完全に不一致のピクセルをどれくらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色が完全不一致のピクセルがあっても容認する。
検索範囲	画像を検索する範囲を指定する。[検索範囲指定]を選択すると、本項目直下に検索範囲切り取りが表示される。
検索範囲切り取り	画像の検索範囲を指定する。 Ctrl キーを押しながらドラッグ&ドロップすると座標が表示される。
検索時間 (秒)	検索時間を指定する。最大検索時間は 3600 秒。画像が出現した場合は検索時間の経過を待たずに次の処理を実行する。

シナリオ例 (画像出現を待つ) :

デスクトップからゴミ箱を探し、その結果をメモ帳に入力する

The screenshot displays a workflow editor with the following steps:

- 1 画像出現を待つ** (Wait for image appearance)
 - 画像検索精度: 85%
 - 検索時間 (秒): 5
 - 画像が出現した場合 (TRUE) :
 - 2 アプリ起動** (Start application)
 - アプリの場所: notepad
 - 待機時間 (秒): 1
 - ウィンドウ最大化: 無し
 - 3 キーボード入力 (文字)** (Keyboard input (text))
 - 文字: ゴミ箱を発見しました
 - Enter: 無し
 - 画像が出現しなかった場合 (FALSE) :
 - 4 アプリ起動** (Start application)
 - アプリの場所: notepad
 - 待機時間 (秒): 1
 - ウィンドウ最大化: 無し
 - 5 キーボード入力 (文字)** (Keyboard input (text))
 - 文字: ゴミ箱を見つけられません
 - Enter: 無し

画像出現を待つ


画像切り取り
 切り取りまでの待ち時間 (3秒) ▼

ざっくり検索% (色 : RGB)

85
100

ざっくり検索% (ピクセル)

100

【注意】 色/ピクセルともに、設定バーが左寄りになると検索時間がかかります。

検索範囲
 全画面
 検索範囲指定

(0, 0) ~ (176, 178)

検索範囲切り取り
 切り取りまでの待ち時間 (3秒) ▼

検索時間 (秒)

シナリオ例（画像出現を待つ）の実行結果：



6.2.3. 続行確認

おじどうさん実行中に続行確認ウィンドウを表示するコマンド。

続行の場合は通常通りシナリオ実行を継続し、そうでない場合は緊急停止する。

続行確認

表示内容

続行しますか?

メモ

× キャンセル

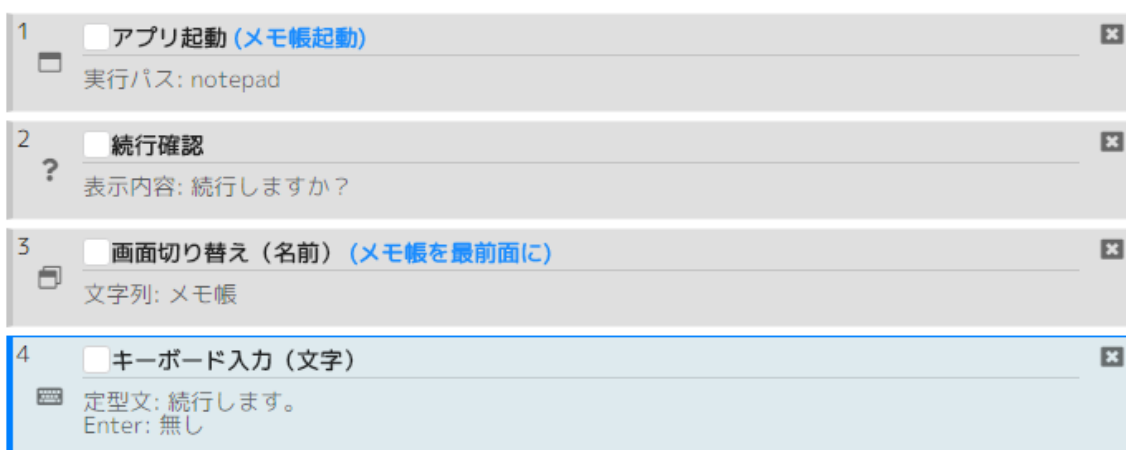
✓ OK

名称	内容
表示内容	入力画面に表示する説明文を入力する

おじどうさん

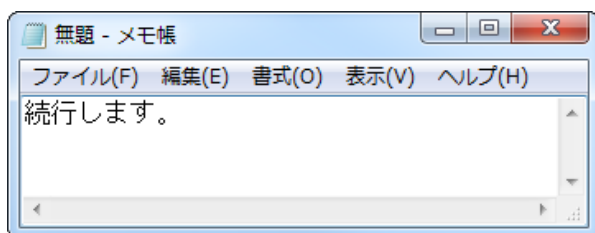
続行しますか?

シナリオ例（続行確認）：



シナリオ例（続行確認）の実行結果：

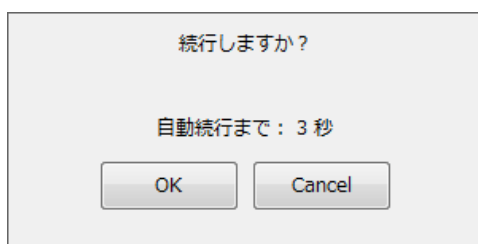
シナリオ続行確認ウィンドウで[はい]を選択した場合、メモ帳に「続行します。」と入力された。



6.2.4. タイマー付き続行確認（秒）

おじどうさん実行中に続行確認モーダル（下図）を表示するコマンド。

続行の場合は通常通りシナリオ実行を継続し、そうでない場合は緊急停止する。設定した時間以内に続行選択をしなかった場合は通常通りシナリオが処理される。



タイマー付き続行確認

表示内容 続行しますか？

待機時間 (秒) 3

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
表示内容	入力画面に表示する説明文を入力する
待機時間 (秒)	続行確認の待機秒数を指定する

6.2.5. コマンド間待機時間を変更

コマンド間の待機時間を変更するコマンド。
一部のコマンド群の待機時間を変更する際に有用である。

コマンド間の待機時間を変更

待機時間 (秒) 0.2

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
待機時間 (秒)	コマンド間の待機時間を指定する

6.2.6. 作業強制終了

シナリオ実行途中に停止させるコマンド。

作業強制終了

終了時の扱い 緊急停止 正常終了 エラー終了

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
終了時の扱い	終了時の扱いを選択する。 別シナリオ実行にて本コマンドが緊急停止だった場合はエラー終了扱いとなる。

6.2.7. エラー発生

エラーを発生させるコマンド。このコマンドで発生させたエラーは「[6.2.8. エラー確認・処理](#)」でキャッチすることができる。

エラーを発生させる

エラーメッセージ 例) エラーメッセージ

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
エラーメッセージ	エラーメッセージを指定する。

6.2.8. エラー確認・処理

直前コマンドでエラーが発生した場合でもシナリオ実行を継続可能にするコマンド。直前コマンドのエラー発生確認とリトライができる。

直前のコマンドがグループ化や分岐などのネストコマンド（コマンドの中にコマンドを入れることができるもの）の場合、直前コマンド対象となるのはネストコマンドとなり、ネスト配下全てのコマンドがエラー処理確認対象かつリトライ対象となる。

エラーが発生したコマンド、エラーメッセージなどは、エラー処理コマンド内の参照 ID に記憶される。

直前のコマンドのエラーを確認・処理

リトライ回数	0
待機時間（秒）	1
メモ	メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
リトライ回数	直前のコマンドでエラーが発生したとき、指定したリトライ回数分直前のコマンドをリトライする
待機時間（秒）	リトライの待機時間を指定する

1
⌵ 直前のコマンドのエラーを確認・処理
✕

1秒後にリトライ（最大0回）

[ERR_CMD]
[ERR_MEMO]
[ERR_MSG]
[ERR_PARAM]

名称	内容
[ERR_CMD]	エラーが出たコマンド名
[ERR_MEMO]	エラーが出たコマンドのメモ
[ERR_MSG]	エラーメッセージ
[ERR_PARAM]	エラーが出たコマンドのパラメータ

シナリオ例（エラー確認・処理）：

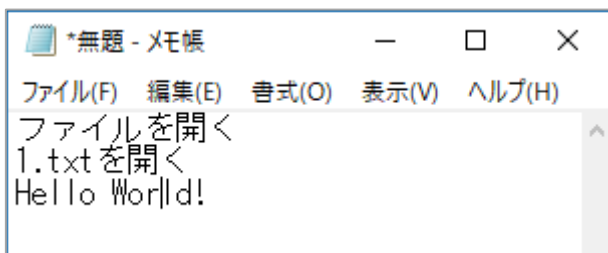
下図フォルダ内から存在しない 1.txt を開き、メモ帳にエラー内容を入力するシナリオ。

名前	更新日時	作成日時
2019-01-28_1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2019-01-28_2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
2019-01-28_3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2019-01-28_4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2019-01-28_5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17

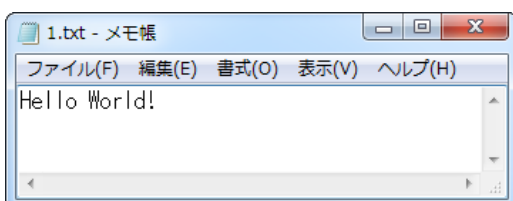


シナリオ例（エラー確認・処理）の実行結果：

メモ帳にエラー内容が入力された。



1.txt が存在した時の結果は以下のようになる。



6.3. マウス

マウス操作コマンドの座標切り取りは座標を表示する。

6.3.1. 移動 > 座標

マウスポインタを指定の座標へ移動するコマンド。座標は画面左上を原点としたピクセル値で表すことができる。座標の指定方法は以下の2通りである。

1. ピクセル値を直接入力する
2. [座標を取得]を利用する

マウス移動（座標）

クリックして3秒経過すると画面が少し暗くなり、座標取得モードに移行する

 座標を取得（3秒）

X（横）	100	☰
Y（縦）	100	☰
移動後のクリック	<input type="radio"/> 無し <input checked="" type="radio"/> シングル <input type="radio"/> ダブル <input type="radio"/> トリプル <input type="radio"/> 右	
メモ		

✕ キャンセル ✓ OK

名称	内容
座標を取得（3秒）	クリックして3秒後に座標取得モードになる 座標取得モードで移動したい場所をクリックすると、 X座標値とY座標値が自動的に入力される
X（横）	X座標値（画面左上から右への移動ピクセル値）
Y（縦）	Y座標値（画面左上から下への移動ピクセル値）
移動後のクリック	マウス移動後のクリックの動作を選択する （無し・シングル・ダブル・トリプル・右）

※クラウドシステムなどで、同じデザインのボタンが羅列している際などの使用に便利です。

※座標を取得したパソコンと画面解像度が異なる別のパソコンにシナリオをインポートすると、インポート先のパソコンで再度座標の取得をやり直す必要があります。

6.3.2. 移動 > 距離

現在のマウスポインタの位置を原点とし、マウスを移動するコマンド。X=横（右方向）、Y=縦（下方向）への値を指定して移動することができ、逆方向に移動させる場合は、「-（マイナス）」の値を入力する。

マウス移動（距離）

クリックして3秒経過すると画面が少し暗くなり、移動距離取得モードに移行する

 移動距離を取得（3秒）

X（横）	100	☰
Y（縦）	100	☰
移動後のクリック	<input type="radio"/> 無し <input checked="" type="radio"/> シングル <input type="radio"/> ダブル <input type="radio"/> トリプル <input type="radio"/> 右	
メモ		

✕ キャンセル✓ OK

名称	内容
移動距離を取得（3秒）	クリックして3秒後に移動距離取得モードになる 取得モードで移動したい場所をドラッグ&ドロップすると、 Xの移動距離とYの移動距離が自動的に入力される
X（横）	マウスポインタの現在位置から右への移動ピクセル値
Y（縦）	マウスポインタの現在位置から下への移動ピクセル値
移動後のクリック	マウス移動後のクリックの動作を選択する (無し・シングル・ダブル・トリプル・右)

※座標を取得したパソコンと画面解像度が異なる別のパソコンにシナリオをインポートすると、インポート先のパソコンで再度座標の取得をやり直す必要があります。

6.3.3. 移動 > 画像認識

指定画像にマウスを移動するコマンド。画像切り取り機能を使用して画像を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ&ドロップすると座標が表示される。

マウス移動（画像認識）

一定時間後に画面が少し暗くなり画像切り取りモードに移行する

画像切り取り

切り取りまでの待ち時間（3秒）

85

100

画像切り取りモードに切り替わるまでの時間を3秒・10秒・30秒から選択できる

ざっくり検索%（色：RGB） ||

ざっくり検索%（ピクセル） ||

【注意】色/ピクセルともに、設定バーが左寄りになると検索時間がかかります。

検索範囲 全画面 検索範囲指定

移動後のクリック 無し シングル ダブル トリプル 右

メモ

✕ キャンセル ✓ OK

検索範囲 全画面 検索範囲指定

(0, 0) ~ (0, 0)

検索範囲切り取り

切り取りまでの待ち時間（3秒）

名称	内容
画像切り取り	出現を待つ画像を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ&ドロップすると座標が表示される。
切り取りまでの待ち時間	画像切り取りモードに切り替わるまでの時間を選択する。
ざっくり検索%（色：RGB）	画像を画面上で検索する際、色のズレをどれくらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色のズレがあっても容認する。
ざっくり検索%（ピクセル）	画像を画面上で検索する際、色が完全に不一致のピクセルをどれくらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色が完全に不一致のピクセルがあっても容認する。

名称	内容
検索範囲	画像を検索する範囲を指定する。[検索範囲指定]を選択すると、本項目直下に検索範囲切り取りが表示される。
検索範囲切り取り	画像の検索範囲を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ&ドロップすると座標が表示される。
移動後のクリック	マウス移動後のクリックの動作を選択する

6.3.4. ドラッグ&ドロップ > 座標 (D&D)

現在位置から指定の座標へマウสดラッグ&ドロップをするコマンド。座標は画面左上を原点としたピクセル値で表すことができる。座標の指定方法は以下の2通りである。

1. ピクセル値を直接入力する
2. [座標取得]を利用する

現在位置からドラッグ&ドロップ (座標)

クリックして3秒経過すると画面が少し暗くなり、座標取得モードに移行する

📷 座標を取得 (3秒)

X (横)	100	☰
Y (縦)	100	☰
メモ		

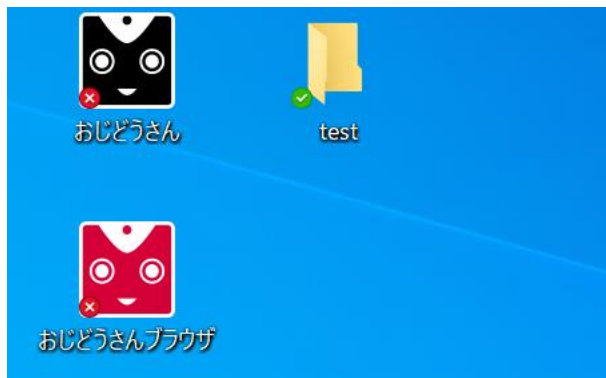
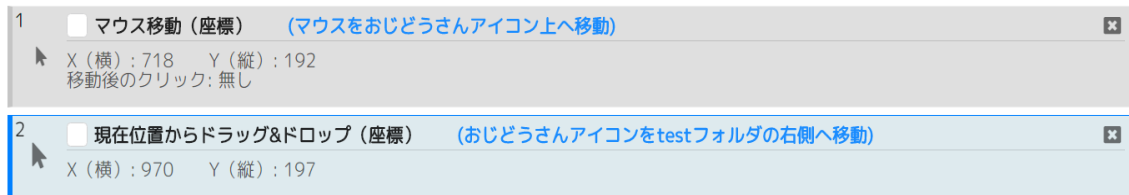
✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
座標を取得 (3秒)	クリックして3秒後に座標取得モードになる 座標取得モードで移動したい場所をドラッグ&ドロップすると、座標が自動的に入力される
X (横)	マウสดロップする X 座標値
Y (縦)	マウสดロップする Y 座標値

※座標を取得したパソコンと画面解像度が異なる別のパソコンにシナリオをインポートすると、インポート先のパソコンで再度座標の取得をやり直す必要があります。

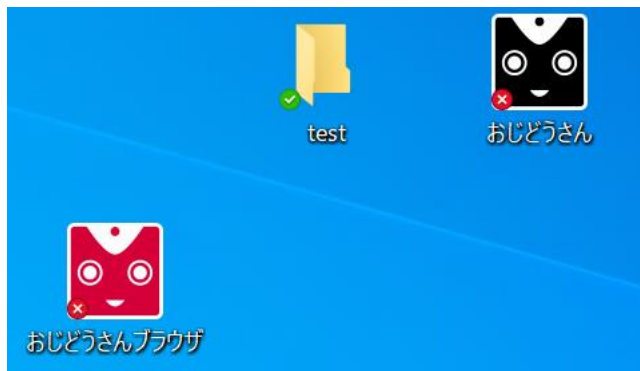
シナリオ例（ドラッグ&ドロップ>座標（D&D））：

デスクトップ画面上のおじどうさんアイコンを test フォルダの右側に移動（ドラッグ&ドロップ）するシナリオ。



シナリオ例（ドラッグ&ドロップ>座標（D&D））の実行結果：

おじどうさんアイコンが test フォルダの右側へ移動した。



6.3.5. ドラッグ&ドロップ > 距離（D&D）

現在位置から指定の距離までマウスドラッグ&ドロップをするコマンド。距離は X=横（右方向）、Y=縦（下方向）と考えて値を指定する。逆方向に移動させる場合は、「-（マイナス）」の値を入力する。

現在位置からドラッグ&ドロップ (距離)

クリックして3秒経過すると画面が少し暗くなり、ドラッグ距離取得モードに移行する

📷 ドラッグ距離を取得 (3秒)

X (横)	100	☰
Y (縦)	100	☰
メモ		

✕ キャンセル ✓ OK

名称	内容
ドラッグ距離を取得 (3秒)	クリックして3秒後にドラッグ距離取得モードになる 取得モードで移動したい場所をドラッグ&ドロップすると、 Xの移動距離とYの移動距離が自動的に入力される
X (横)	現在位置からマウสดロップする横方向の距離
Y (縦)	現在位置からマウสดロップする縦方向の距離

シナリオ例 (ドラッグ&ドロップ>距離 (D&D)) :

デスクトップ画面上のおじどうさんアイコンを test フォルダの左側に移動 (ドラッグ&ドロップ) するシナリオ。

- 1** **マウス移動 (座標)** (マウスをおじどうさんアイコン上へ移動)

 X (横) : 1033 Y (縦) : 207

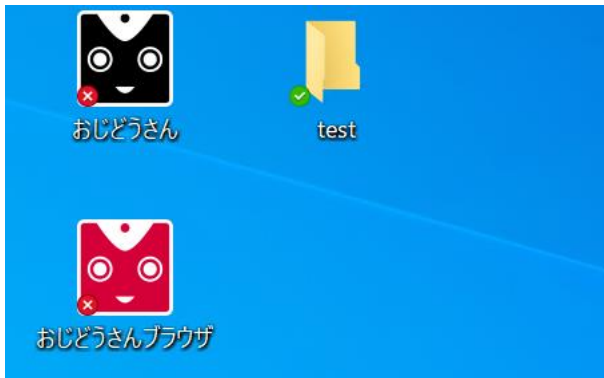
 移動後のクリック: 無し
- 2** **現在位置からドラッグ&ドロップ (座標)** (おじどうさんアイコンをtestフォルダの左側へ移動)

 X (横) : 708 Y (縦) : 194



シナリオ例 (ドラッグ&ドロップ>距離 (D&D)) の実行結果 :

おじどうさんアイコンが test フォルダの左側へ移動した。



6.3.6. ドラッグ&ドロップ > 画像認識 (D&D)

現在位置から指定画像へマウスドラッグ&ドロップをするコマンド。画像切り取り機能を使用して画像を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ&ドロップすると座標が表示される。

現在位置からドラッグ&ドロップ (画像認識)

一定時間後に画面が少し暗くなり画像切り取りモードに移行する

画像切り取り

切り取りまでの待ち時間 (3秒)

画像切り取りモードに切り替わるまでの時間を3秒・10秒・30秒から選択できる

ざっくり検索% (色 : RGB) 85

ざっくり検索% (ピクセル) 100

【注意】色/ピクセルともに、設定バーが左寄りになると検索時間がかかります。

検索範囲 全画面 検索範囲指定

メモ

✕ キャンセル ✓ OK

検索範囲 全画面 **検索範囲指定**

(0, 0) ~ (0, 0)

検索範囲切り取り

切り取りまでの待ち時間 (3秒)

名称	内容
----	----


画像切り取り	出現を待つ画像を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ&ドロップすると座標が表示される。
切り取りまでの待ち時間	画像切り取りモードに切り替わるまでの時間を選択する。
ざっくり検索% (色:RGB)	画像を画面上で検索する際、色のズレをどれくらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色のズレがあっても容認する。
ざっくり検索% (ピクセル)	画像を画面上で検索する際、色が完全に不一致のピクセルをどれくらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色が完全不一致のピクセルがあっても容認する。
検索範囲	画像を検索する範囲を指定する。[検索範囲指定]を選択すると、本項目直下に検索範囲切り取りが表示される。
検索範囲切り取り	画像の検索範囲を指定する。

シナリオ例 (ドラッグ&ドロップ>画像認識 (D&D)) :

デスクトップ画面上 test フォルダをゴミ箱へ移動 (ドラッグ&ドロップ) するシナリオ。ゴミ箱があるエリアを検索範囲として指定する。



現在位置からドラッグ&ドロップ (画像認識)


 画像切り取り
 切り取りまでの待ち時間 (3秒) ▼

ざっくり検索% (色 : RGB) 85

ざっくり検索% (ピクセル) 99

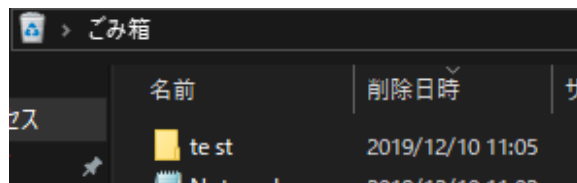
【注意】色/ピクセルともに、設定バーが左寄りになると検索時間がかかります。

検索範囲指定

(8, 11) ~ (259, 591)
 検索範囲切り取り
 切り取りまでの待ち時間 (3秒) ▼

- 1 マウス移動 (座標) (マウスをおじどうさんアイコン上へ移動)
 X (横) : 718 Y (縦) : 192
 移動後のクリック: 無し
- 2 現在位置からドラッグ&ドロップ (座標) (おじどうさんアイコンをtestフォルダの右側へ移動)
 X (横) : 970 Y (縦) : 197

シナリオ例 (ドラッグ&ドロップ>画像認識 (D&D)) の実行結果 :
 おじどうさんアイコンが test フォルダの左側へ移動した。



6.3.7. マウスクリック

マウスクリックするコマンド。

マウスクリック

クリックタイプ シングル ダブル トリプル 右

オプションキー 無し

メモ メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
クリックタイプ	クリックのタイプを選択する
オプションキー	シングルクリックまたは右クリックの場合は、 クリック前に入力するキーを選択できる。 選択肢は次の3つである： 無し・ctrl・shift

6.3.8. スクロール

画面を上下にスクロールさせるコマンド。スクロール回数は使用するパソコンに依存するため調整が必要である。

マウススクロール

スクロール回数 3

スクロール方向

上
 下

メモ メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
スクロール方向	スクロールする方向を指定する
スクロール回数	スクロール回数を指定する

6.4. キーボード

6.4.1. 入力 > 文字

指定した文字をキーボード入力するコマンド。アプリケーションに対しての文字入力、ブラウザでの検索文字、URL 入力等に利用することができる。

キーボード入力 (文字)

文字

入力後に「Enter」

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
文字	キーボード入力する文字を指定する 上限：1024 文字
入力後に「Enter」	定型文を入力した後にエンターキーを押す

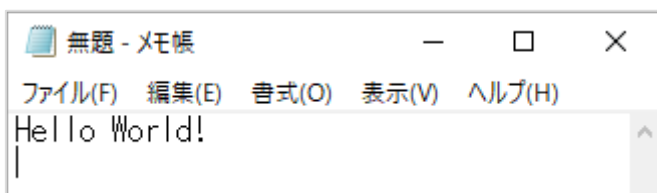
シナリオ例 (入力>文字) :

メモ帳に「Hello World!」を入力し、改行するシナリオ。

1 アプリ起動 (メモ帳起動) ✕
実行パス: notepad

2 キーボード入力 (文字) ✕
文字: Hello World!
Enter: 有り

シナリオ例 (入力>文字) の実行結果 :



6.4.2. 入力 > 文字（貼り付け）

指定した文字を貼り付けるコマンド。

キーボード入力（貼り付け）

文字

入力後に「Enter」

メモ

× キャンセル ✓ OK

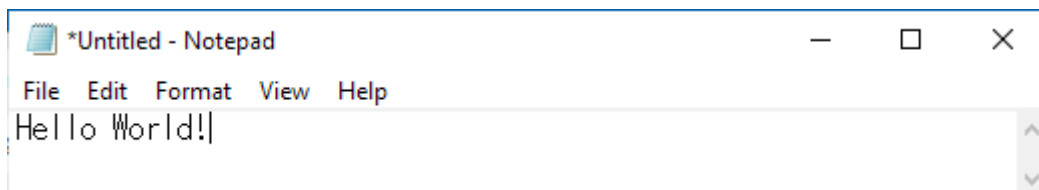
名称	内容
文字	キーボード入力する文字を指定する 上限：31999 文字
入力後に「Enter」	定型文を入力した後にエンターキーを押す

シナリオ例（入力>文字（貼り付け））：

メモ帳に「Hello World!」を入力し、改行するシナリオ。

1	<input type="checkbox"/> アプリ起動 (メモ帳起動)	×
	<input type="checkbox"/> 実行パス: notepad 待機時間 (秒): 0.5 ウィンドウ最大化: 無し	
2	<input type="checkbox"/> キーボード入力（貼り付け）	×
	<input type="checkbox"/> 文字: Hello World! Enter: 無し	

シナリオ例（入力>文字（貼り付け））の実行結果：



6.4.3. 入力 > パスワード

パスワードを入力するコマンド。シナリオ上で表示させたくない数値や文字列を入力する際に使用する。入力した数値や文字列はマスク処理され、入力内容が全て「●」となる。

キーボード入力 (パスワード)

パスワード設定方法 直接入力

パスワード パスワード

入力後に「Enter」

メモ

× キャンセル ✓ OK

パスワード設定方法 **パスワード参照IDから**

パスワード参照ID パスワード

名称	内容
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1. 直接入力 2. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される パスワード等の表示させたくない数値や文字列を入力する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する
入力後に「Enter」	パスワード入力後にエンターキーを押す

シナリオ例 (入力>パスワード) :

ブラウザ起動後、Google にログインするシナリオ。

- 1 ブラウザ起動 (Google のログインフォームページへアクセス) ✕
 ブラウザ: アシロボブラウザ
 開始URL: https://accounts.google.com/signin browser
- 2 キーボード入力 (文字) (ユーザー名を入力) ✕
 文字: assirobo@gmail.com
 Enter: 有り
- 3 待機 (秒) (アクセス待機) ✕
 待機時間: 1秒
- 4 キーボード入力 (パスワード) (パスワード入力) ✕
 パスワード:
 Enter: 有り

シナリオ例 (入力>パスワード) の実行結果:



6.4.4. ショートカット

ショートカットキーを入力するコマンド。

自動入力フォームにショートカットキーを入力すると自動的にキーが選択される。

ショートカットキーを入力

自動入力フォーム

キー 1

キー 2

キー 3

キー 4

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
自動入力フォーム	入力したキーを自動的にキー1~キー4へ挿入する

キー1～キー3	特殊キーを1つ指定する (F1-F12、 Enter、 ctrl、 alt、 win 等)
キー4	キーを1文字のみ入力する

シナリオ例（ショートカット）：

メモ帳に文字を入力してデスクトップに保存し、メモ帳終了する。

保存ショートカット：ctrl + s

アプリ終了ショートカット：alt + F4

The screenshot shows a macro editor with 6 steps:

- 1** **アプリ起動 (メモ帳起動)** ✕
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し
- 2** **キーボード入力 (文字)** ✕
文字: Hello World!
Enter: 無し
- 3** **ショートカットキーを入力 (保存)** ✕
ショートカット: ctrl+s
- 4** **待機 (秒)** ✕
待機時間 (秒): 2
- 5** **キーボード入力 (文字) (ファイル名を入力&Enterキーで保存決定)** ✕
文字: C:\Users\user\Desktop\test.txt
Enter: 有り
- 6** **ショートカットキーを入力 (メモ帳を閉じる)** ✕
ショートカット: alt+f4

シナリオ例（ショートカット）の実行結果：

メモ帳に文字を入力して保存し、メモ帳終了した。

6.5. 記憶

6.5.1. 文字

文字をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。シナリオ内で何度も利用したい文字をこのコマンドで記憶させ、他のコマンドでデータ参照 ID を指定することで使用できる。

データの記憶 (文字)

文字	例) データ
データ参照ID	データ
メモ	

× キャンセル ✓ OK

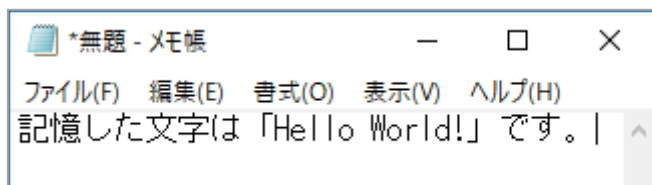
名称	内容
文字	記憶する文字を入力する 上限：31999 文字
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例 (文字) :

文字を記憶して、メモ帳に入力するシナリオ。

- アプリ起動 (メモ帳起動) ×
□ アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し
- データの記憶 (文字) ×
≡ 文字: Hello World! data
- キーボード入力 (文字) ×
☞ 文字: 記憶した文字は「data」です。
Enter: 無し

シナリオ例 (文字) の実行結果 :



6.5.2. パスワード

パスワードを、パスワード参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。シナリオ内で利用するパスワードをこのコマンドで記憶し、他のコマンドでパスワード参照 ID を指定する事で使用できる。文字記憶コマンドと違い、パスワード記憶コマンドで記憶したパスワードは、シナリオを実行する際にログに表示されない。

パスワードの記憶

パスワード設定方法	直接入力
パスワード	
パスワード参照ID	パスワード
メモ	

× キャンセル ✓ OK

パスワード設定方法	データ参照IDから
パスワード	

パスワード設定方法	クリップボードから
パスワード参照ID	パスワード

名称	内容
パスワード設定方法	パスワードを記憶する方法を設定する。選べる設定方法は、以下の通り。 1. 直接入力 2. データ参照 ID から 3. クリップボードから
パスワード	直接入力、またはデータ参照 ID からを選択した時に表示される。記憶するパスワードを入力する。
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID を定義する

シナリオ例（パスワード）：

パスワードをパスワード参照 ID に記憶し、メモ帳に出力するシナリオ。

6.5.3. 環境情報

コンピュータ環境の情報を記憶するコマンド。

データの記憶（環境情報）

環境情報 ▼

データ参照ID

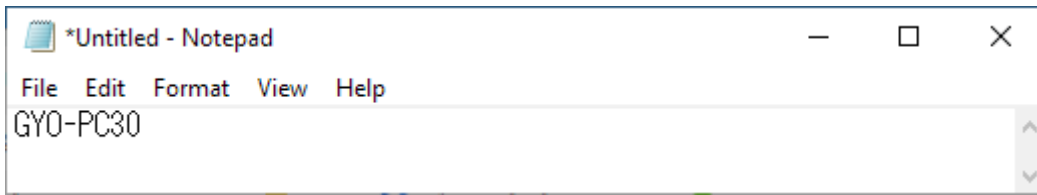
メモ

名称	内容
環境情報	環境情報を選択する。
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（環境情報・シンプル）：

コンピュータ名をメモ帳に貼り付けるシナリオ。

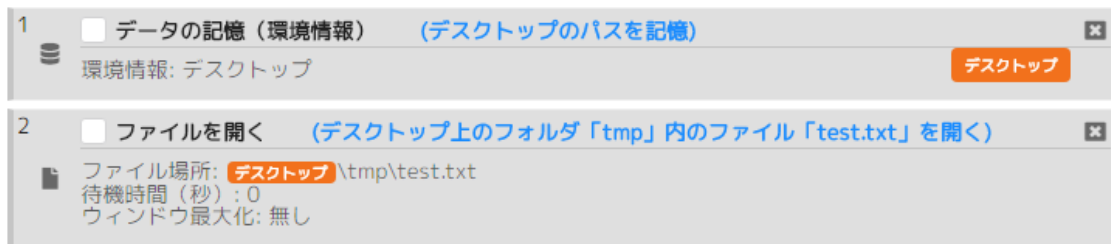
シナリオ例（環境情報・シンプル）の実行結果：



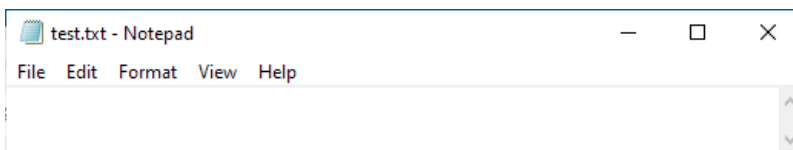
シナリオ例（環境情報・ファイル）：

デスクトップにあるフォルダ[tmp]内の test.txt を開く。このようなシナリオにすると、別 PC にインポートした場合にファイルパスを書き換える必要が無くなるため便利である。

※この例の場合、インポート先のデスクトップに同一のフォルダ[tmp]が存在すること



シナリオ例（環境情報・ファイル）の実行結果：



6.5.4. 日付

日付をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。実行日からの前後 7 日の日と、日付形式の指定できる。

日付を記憶

日	今日
日付の形式	yyyy-mm-dd
先頭の0削除	<input type="checkbox"/>
データ参照ID	日付
メモ	

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
日	実行日からの前後 7 日の指定をする

日付の形式	日付の形式を指定する 形式で表される記号の意味は以下の通り yyyy:年 mm:月 dd:日
先頭の0削除	月日が1桁の場合に先頭の0を削除するオプション
データ参照ID	データ参照IDを定義する

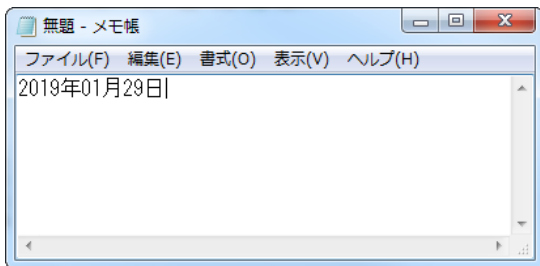
シナリオ例（日付）：

明日の日付を取得してメモ帳に入力するシナリオ。（実行日：2019/1/28）

The screenshot shows a scenario editor with three steps:

- 1 アプリ起動 (メモ帳起動)**
 アプリの場所: notepad
 待機時間 (秒): 0
 ウィンドウ最大化: 無し
- 2 日付を記憶 (明日の日付を取得)**
 本日より (日): +1, 日付の形式: yyyy年mm月dd日, 先頭の0削除: 無し
 data
- 3 キーボード入力 (文字)**
 文字: data
 Enter: 無し

シナリオ例（日付）の実行結果：



6.5.5. 日付（営業日）

営業日をデータ参照IDと紐づけて記憶する。月初と月末の営業日を容易に記憶できる。

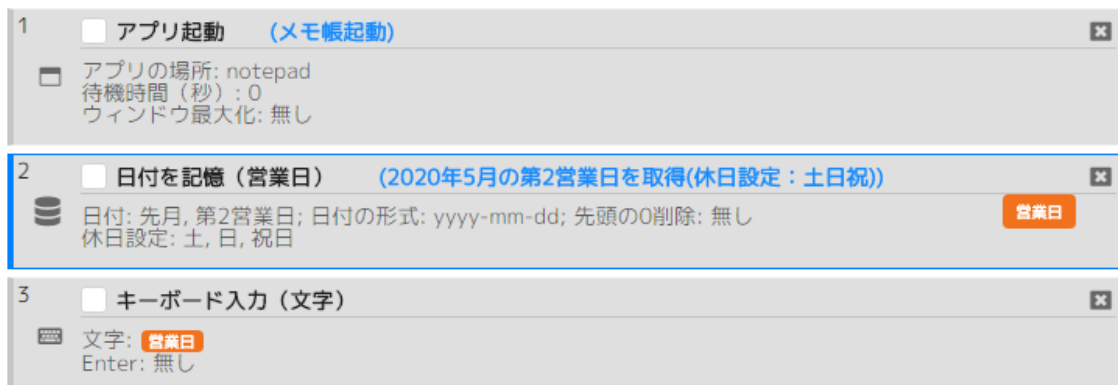
日付を記憶（営業日）

月	今月
営業日	第1営業日
休日設定	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 祝日 <input type="checkbox"/> カスタム祝日
日付の形式	yyyy-mm-dd
先頭の0削除	<input type="checkbox"/>
データ参照ID	日付
メモ	

名称	内容
月	実行月～前後 2 ヶ月の間から月を選択する
営業日	以下から営業日を選択する： 第 1～第 5 営業日・月末営業日
休日設定	休日の曜日を設定する 第 1～第 5 営業日の曜日が休日設定と一致した場合は後倒し、 月末営業日の場合は前倒しの日付を取得する
日付の形式	日付の形式を指定する 形式で表される記号の意味は以下の通り yyyy:年 mm:月 dd:日
先頭の 0 削除	月日が 1 桁の場合に先頭の 0 を削除するオプション
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

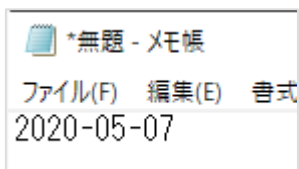
シナリオ例（日付（営業日））：

2020 年 5 月の第 2 営業日を取得してメモ帳に入力するシナリオ。休日設定を土日祝とする。（実行日：2020/6/10）



シナリオ例（日付（営業日））の実行結果：

2020 年 5 月 2 日が土曜日であるため、後倒しした日付「2020 年 5 月 7 日」を取得した。



6.5.6. 日付（曜日）

曜日指定の日付をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。第 1 月曜日、第 3 水曜日などの指定ができる。

日付を記憶（曜日）

月
今月 ▼

回
第1 ▼

曜日
月 ▼

休日設定

 月 火 水 木 金 土 日
 祝日 カスタム祝日

取得曜日が休日時
前倒し ▼

日付の形式
yyyy-mm-dd ▼

先頭の0削除

データ参照ID
日付

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
月	実行月～前後 2 ヶ月の間から月を選択する
回	第 1～第 5 回から選択する
曜日	取得する曜日を指定する
休日設定	休日の曜日を設定する 取得曜日が休日設定と一致した場合は「取得曜日が休日時」の設定に従って日付が変動する
取得曜日が休日時	取得曜日が休日の場合の日付変動方法を以下から選択する： 前倒し・後倒し
日付の形式	日付の形式を指定する 形式で表される記号の意味は以下の通り yyyy:西暦 mm:月 dd:日
先頭の 0 削除	月日が 1 桁の場合に先頭の 0 を削除する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（日付（曜日））：

2019年9月の第3月曜を取得してメモ帳に入力するシナリオ。休日設定を土日祝とする。
（実行日：2019/8/30）

1 アプリ起動 (メモ帳起動) ✕

アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し

2 日付を記憶 (曜日) ✕

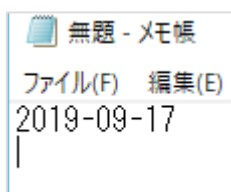
曜日: 来月,第3月曜日; 日付の形式: yyyy-mm-dd; 先頭の0削除: 無し date
休日設定: 土, 日, 祝日; 取得曜日が休日時: 前倒し

3 キーボード入力 (文字) ✕

文字: date
Enter: 無し

シナリオ例（日付（曜日））の実行結果：

2019年9月16日が祝日であるため、後倒しした日付「2019年9月17日」を取得した。



6.5.7. 日付計算

日付を計算し、その結果をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。

日付計算結果を記憶	
日にちの数え方	毎日
日付	2020-04-28
日付形式	yyyy-mm-dd
演算子	+
計算日付	1 年 0 ヶ月 0 日
計算後の日付形式	yyyy-mm-dd
休日設定	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 祝日 <input type="checkbox"/> カスタム祝日
取得曜日が休日時	前倒し
先頭の0削除	<input type="checkbox"/>
データ参照ID	日付
メモ	
【ヒント】「日にちの数え方」で「営業日のみ」を選択した場合は、「休日設定」で設定した日が休日となります。	
<input type="button" value="× キャンセル"/> <input type="button" value="✓ OK"/>	

日付計算結果を記憶

日にちの数え方 営業日のみ

日付 2020-04-28

日付形式 yyyy-mm-dd

演算子 +

計算日付 0 日

計算後の日付形式 yyyy-mm-dd

休日設定 月 火 水 木 金 土 日
 祝日 カスタム祝日

先頭の0削除

データ参照ID 日付

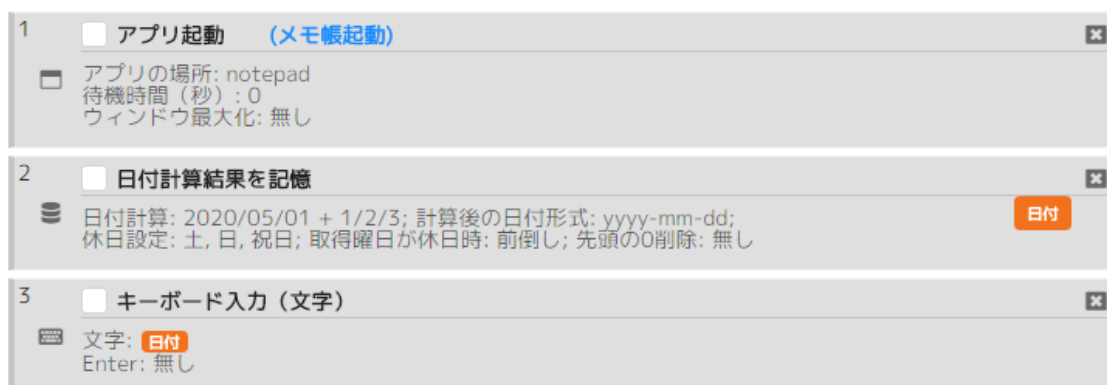
メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
日にちの数え方	日にちの数え方を指定する
日付	日付を指定する
日付の形式	日付の形式を指定する
計算後の日付形式	形式で表される記号の意味は以下の通り yyyy:西暦 mm:月 dd:日
演算子	加算または減算記号を選択する
計算日付	計算する年月日を指定する
休日設定	休日の曜日を設定する 取得曜日が休日設定と一致した場合は「取得曜日が休日時」の設定に従って日付が変動する
取得曜日が休日時	取得曜日が休日の場合の日付変動方法を以下から選択する 前倒し・後倒し
先頭の0削除	月日が1桁の場合に先頭の0を削除する
データ参照ID	データ参照IDを定義する

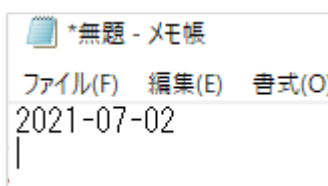
シナリオ例 1 (日付計算・前倒し) :

2020年5月1日から1年2ヶ月3日を加算する。休日設定を土日祝し、計算結果が休日であった場合は日付を前倒しする。



シナリオ例 1 (日付計算・前倒し) の実行結果 :

計算結果の2021年7月4日は日曜日であるため、前倒しした日付「2021年7月2日」を取得した。




シナリオ例 2 (日付計算・営業日のみ) :

2023年9月11日から第5営業日を計算する。休日設定は土、日、祝日とする。



シナリオ例 2 (日付計算・営業日のみ) の実行結果 :

休日が土、日、祝日の場合、2023年9月7日からの第5営業日は、「2023年9月19日」である。なお、2023年9月18日は祝日である。

 *無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O)
2023/09/19

6.5.8. 曜日

曜日を記憶する。

曜日を記憶	
取得方法	<input checked="" type="radio"/> 今日 <input type="radio"/> 指定日
日	今日 ▼
曜日の形式	月曜日、火曜日、etc ▼
データ参照ID	曜日
メモ	
<input type="button" value="× キャンセル"/> <input type="button" value="✓ OK"/>	

名称	内容
取得方法	今日または指定日を選択する
日	取得方法が「今日」の場合に表示される 実行日～前後 1 週間から日を選択する
指定日	取得方法が「指定日」の場合に表示される 日付を入力する
日付の形式	取得方法が「指定日」の場合に表示される 入力した日付の形式を選択する
曜日の形式	曜日の形式を選択する。
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

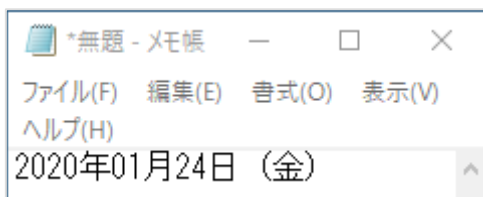
シナリオ例（曜日・今日）：

2020 年 1 月 27 日から 3 日前の日付と曜日を記憶してメモ帳に入力するシナリオ。

The screenshot shows a configuration window for a scenario with four steps:

- 1 アプリ起動 (メモ帳起動)**: アプリの場所: notepad, 待機時間 (秒): 0, ウィンドウ最大化: 無し
- 2 日付を記憶**: 本日より (日) : -3, 日付の形式: yyyy-mm-dd, 先頭の0削除: 無し. Includes a **date** button.
- 3 曜日を記憶**: 本日より (日の曜日) : -3, 曜日の形式: 月. Includes a **day_of_week** button.
- 4 キーボード入力 (文字)**: 文字: **date** **day_of_week**, Enter: 無し

シナリオ例（曜日・今日）の実行結果：



シナリオ例（曜日・指定日）：

2020年8月1日の曜日をメモ帳に入力するシナリオ。



シナリオ例（曜日・指定日）の実行結果：



6.5.9. 時刻

現在の時刻を取得するコマンド。

現在の時刻を記憶	
時刻の形式	hh:mm:ss
先頭の0削除	<input type="checkbox"/>
データ参照ID	時刻
メモ	
<input type="button" value="× キャンセル"/> <input type="button" value="✓ OK"/>	

名称	内容
時刻の形式	時刻の形式を指定する 形式で表される記号の意味は以下の通り hh: 時 mm: 分 ss: 秒
先頭の0削除	時刻が1桁の場合に先頭の0を削除するオプション
データ参照ID	データ参照IDを定義する

シナリオ例（時刻）：

現在の時刻を取得してメモ帳に入力するシナリオ。

1 アプリ起動

アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し

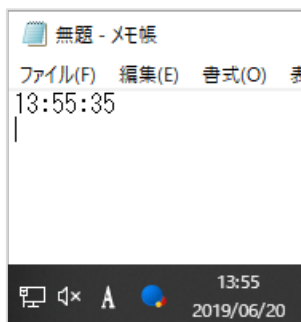
2 現在の時刻を記憶

時刻の形式: hh:mm:ss, 先頭の0削除: 無し 時刻

3 キーボード入力（文字）

文字: 時刻
Enter: 無し

シナリオ例（時刻）の実行結果：



6.5.10. 時刻計算

時刻を計算し、その結果をデータ参照 ID に紐づけて記憶するコマンド。

時刻計算結果を記憶

時刻	15:30:23	≡
時刻形式	hh:mm:ss	▼
演算子	+	▼
計算時刻	8 時 ≡ 0 分 ≡ 0 秒 ≡	
計算後の時刻形式	hh:mm:ss	▼
先頭の0削除	<input type="checkbox"/>	
データ参照ID	時刻	
メモ		

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
時刻	時刻を指定する
時刻の形式 計算後の時刻形式	時刻の形式を指定する 形式で表される記号の意味は以下の通り hh: 時 mm: 分 ss: 秒
演算子	加算または減算記号を指定する
計算時刻	計算する時間を指定する
先頭の 0 削除	時刻が 1 桁の場合に先頭の 0 を削除するオプション
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

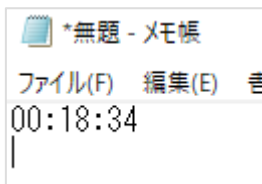
シナリオ例（時刻計算）：

15:06:00 に 9:12:34 を加算し、その結果をメモ帳に入力するシナリオ。

The screenshot shows a scenario editor with three steps:

- 1 アプリ起動** (App Start): アプリの場所: notepad, 待機時間 (秒): 0.1, ウィンドウ最大化: 無し
- 2 時刻計算結果を記憶** (Remember Time Calculation Result): 時刻計算: 15:06:00 + 9:12:34, 計算後の時刻形式: hh:mm:ss, 先頭の0削除: 無し. Includes an orange button labeled "時刻".
- 3 キーボード入力 (文字)** (Keyboard Input (Text)): 文字: 時刻, Enter: 有り. Includes an orange button labeled "時刻".

シナリオ例（時刻計算）の実行結果：



6.5.11. 計算

2つの値を四則演算（足す・引く・掛ける・割る）するコマンド。

計算した結果を計算結果 ID に記憶する。

計算結果を記憶

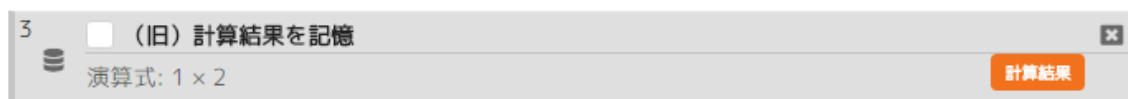
数値 1	例) 57
演算子	+
数値 2	例) 0.1
計算結果 ID	計算結果
メモ	

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
数値 1	数値を入力する
演算子	演算子 (+・-・×・÷ (小数点以下:切り捨て)) を選択する
数値 2	数値を入力する
データ参照 ID	計算結果 ID を定義する 計算結果を記憶する
小数点の桁数	小数点の桁数を指定する
四捨五入の種類	四捨五入 (何もしない、四捨五入、切り上げ、切り捨て) の種類を選択する

注意事項

- ver1.32.3 以前の「計算結果を記憶」コマンドは旧コマンドとして扱われる。旧コマンドは下記画像のようにコマンド名が変化する。旧コマンドでは正しく計算されないケースがあるため、ver1.33.0 以降の「計算結果を記憶」コマンドの使用を推奨する。



シナリオ例（シンプルな計算）：

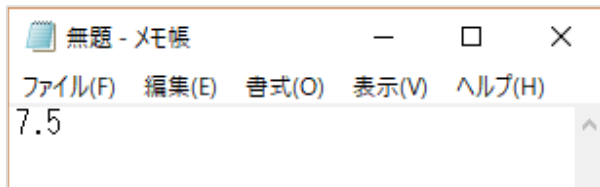
15 ÷ 2 の計算結果をメモ帳に入力する。

The screenshot shows a scenario editor with three steps:

- 1 アプリ起動 (メモ帳起動)**
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し
- 2 計算結果を記憶**
演算式: 15 ÷ 2
計算結果
- 3 キーボード入力 (文字)**
文字: 計算結果
Enter: 有り

シナリオ例の結果（シンプルな計算）：

15 ÷ 2 の計算結果がメモ帳に入力された。



シナリオ例（高度な計算）：

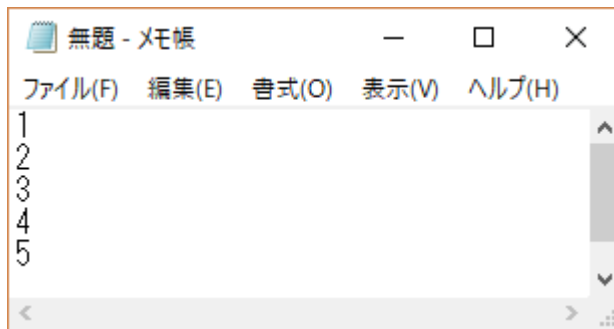
メモ帳に 1~5 の数字を入力するシナリオ。4.1. 高度データ参照 ID 呼び出し機能 ($\{\}$) を利用している。

The screenshot shows a scenario editor with three main steps, including a loop:

- 1 アプリ起動**
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し
- 2 データの記憶 (文字)**
文字: 1
カウンター
- 3 繰り返し (メモ帳に1~5の数字を入力する)**
回数: 5
4 **キーボード入力 (文字)**
文字: カウンター
Enter: 無し
5 **計算結果を記憶**
演算式: カウンター + 1
カウンター

シナリオ例の結果（高度な計算）：

メモ帳に 1~5 の数字が入力された。



6.5.12. 乱数

乱数をデータ参照 ID と紐付けて記憶する。開始値～終了値からいずれかの数値を記憶する。

乱数を記憶

開始値	0	☰
終了値	100	☰
小数点以下の桁数	0	
データ参照ID	データ	
メモ		

✕ キャンセル ✓ OK

名称	内容
開始値	数値を入力する
終了値	
小数点以下の桁数	小数点桁数を指定する（最大 9 桁）
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（記憶>乱数・整数）：

ランダムな整数をメモ帳に入力する。

1 アプリ起動 ✕

☐ アプリの場所: notepad
待機時間 (秒) : 0
ウィンドウ最大化: 無し

2 乱数を記憶 ☰ データ ✕

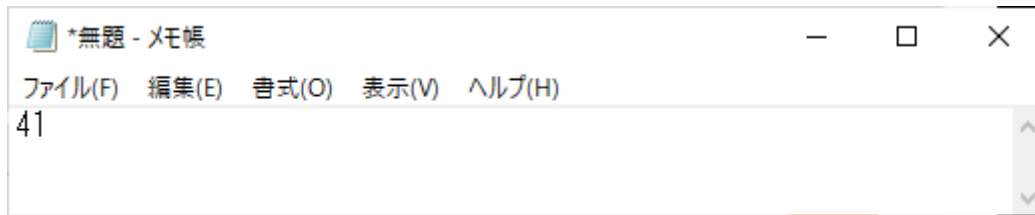
☰ 開始値: 0
終了値: 100
小数点以下の桁数: 0

3 キーボード入力 (貼り付け) ✕

☒ 文字: データ
Enter: 無し

シナリオ例（記憶＞乱数・整数）の実行結果：

0~100 からランダムな整数が入力された。



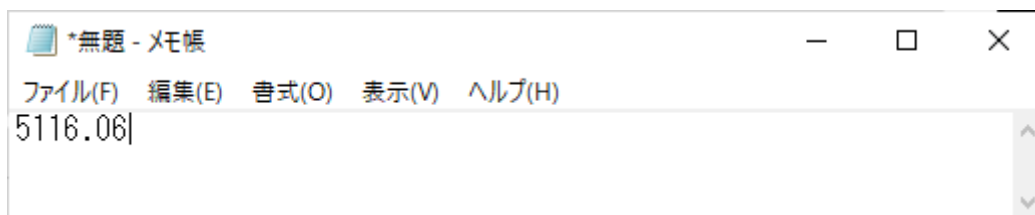
シナリオ例（記憶＞乱数・小数）：

ランダムな小数（小数点以下の桁数：2）をメモ帳に入力する。



シナリオ例（記憶＞乱数・小数）の実行結果：

8888~1111 からランダムな小数が入力された。



6.5.13. コピー内容

クリップボードの内容をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。テキスト選択時に (Ctrl + c) にてクリップボードにコピーすることができる。

クリップボードへコピー

文字 | 列) データ

メモ

× キャンセル ✓ OK

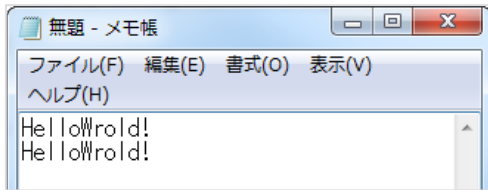
名称	内容
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（記憶 > コピー内容）：

メモ帳に文字を入力し、その内容をすべてコピーして末尾に貼り付けるシナリオ。

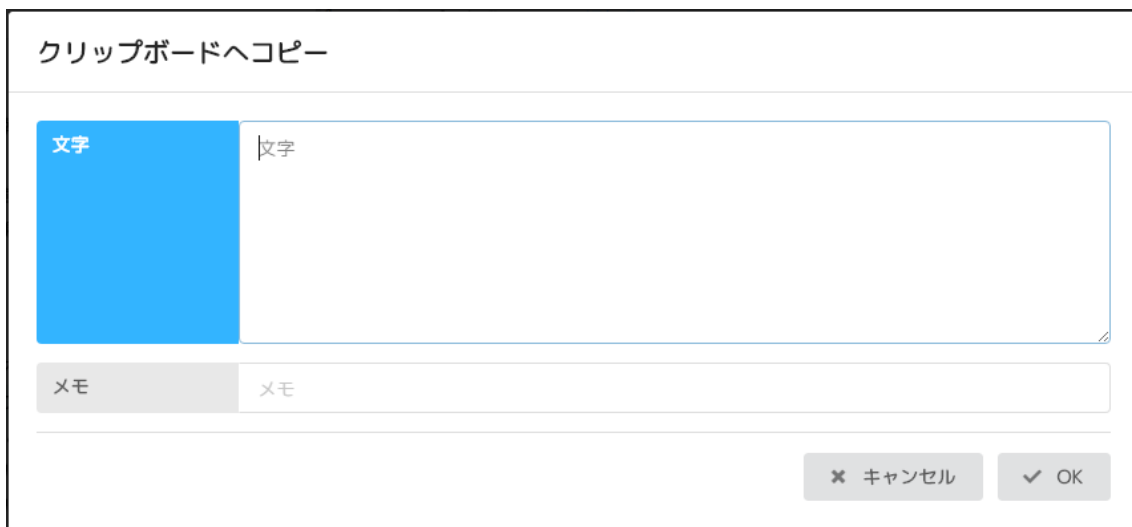
- アプリ起動 **(メモ帳起動)** ×
□ アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し
- キーボード入力 (文字) ×
☞ 文字: Hello World!
Enter: 有り
- ショートカットキーを入力 **(全選択)** ×
☞ ショートカット: ctrl+a
- ショートカットキーを入力 **(クリップボードにコピー)** ×
☞ ショートカット: ctrl+c
- ショートカットキーを入力 **(選択解除)** ×
☞ ショートカット: ↓
- コピー内容を記憶 data ×
- キーボード入力 (文字) ×
☞ 文字: data
Enter: 無し

シナリオ例（記憶>コピー内容）の実行結果：



6.5.14. クリップボードへコピー

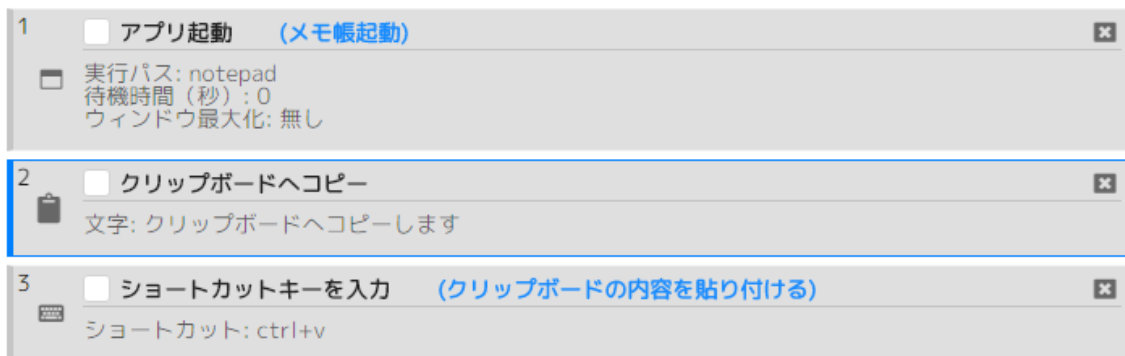
文字をクリップボードへコピーするコマンド。



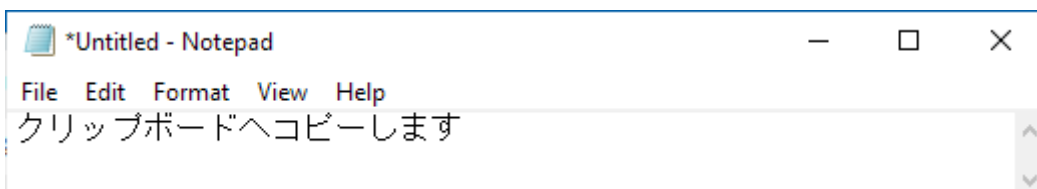
名称	内容
文字	記憶する文字を入力する

シナリオ例（記憶>クリップボードへコピー）：

クリップボードに文字を記憶させメモ帳に貼り付けるシナリオ。



シナリオ例（記憶>クリップボードへコピー）の実行結果：



6.5.15. 実行中に入力

シナリオ実行中に手入力した値をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。入力した値が記憶される。

実行中に入力

表示内容	
データ参照ID	データ
メモ	

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
表示内容	入力画面に表示する説明文を入力する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（記憶>実行中に入力）：

データ入力ウィンドウに入力した値をメモ帳に記入するシナリオ。

1 アプリ起動

2 実行中に入力

3 キーボード入力 (文字)

シナリオ例（記憶>実行中に入力）の実行結果：

データ入力ウィンドウに入力した値がメモ帳に記入された。

アシロボ

メモ帳に記入する値を入力してください

Hello World!

①文字入力

OK ②[OK]をクリック

無題 - メモ帳

Hello World!

6.5.16. ファイル更新日時

ファイルまたはフォルダの更新または作成日時をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。

ファイル更新日時を記憶

ファイル・フォルダ	例) C:\Users\...	<input style="width: 100px;" type="text"/> <input type="button" value="📁"/> <input type="button" value="📄"/> <input type="button" value="☰"/>
取得情報	更新日時 <input style="width: 100px;" type="text"/>	
日時形式	yyyy-mm-dd hh:mm:ss <input style="width: 100px;" type="text"/>	
データ参照ID	日時 <input style="width: 100px;" type="text"/>	
メモ	<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>	

名称	内容
ファイル・フォルダ	ファイルまたはフォルダを指定する
取得情報	ファイル作成日時またはファイル作成日時を指定する
日時形式	日時の形式を指定する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（記憶>ファイル更新日時）：

test.txt の更新日時と作成日時をメモ帳に入力する。

1 アプリ起動 ✕

📁 アプリの場所: notepad
待機時間(秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し

2 データの記憶（環境情報） ✕

📁 環境情報: デスクトップ デスクトップ

3 ファイル更新日時を記憶 ✕

📁 ファイル・フォルダ: デスクトップ \tmp\test.txt 更新日時

📄 取得情報: 更新日時
日時形式: yyyy-mm-dd hh:mm:ss

4 ファイル更新日時を記憶 ✕

📁 ファイル・フォルダ: デスクトップ \tmp\test.txt 作成日時

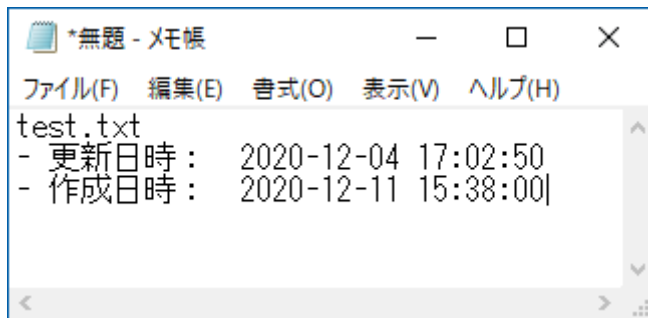
📄 取得情報: 作成日時
日時形式: yyyy-mm-dd hh:mm:ss

5 キーボード入力（文字） ✕

🗨️ 文字: test.txt - 更新日時: 更新日時 - 作成日時: 作成日時
Enter: 無し

シナリオ例（記憶>ファイル更新日時）の実行結果：

test.txt の更新日時をメモ帳に入力した。



6.5.17. ファイルサイズ

指定したファイルのサイズを取得し、データ参照 ID と紐付けて記憶するコマンド。

ファイルサイズを記憶

ファイル	例) C:\Users\...	<input type="button" value="📄"/>	<input type="button" value="☰"/>	
サイズ単位	<input checked="" type="radio"/> バイト	<input type="radio"/> KB	<input type="radio"/> MB	<input type="radio"/> GB
データ参照ID	サイズ			
メモ				

名称	内容
ファイル	ファイルを指定する
サイズ単位	ファイルサイズの単位を指定する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

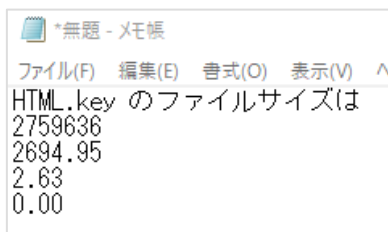
シナリオ例（記憶>ファイルサイズ）：

HTML.key の、すべての単位のファイルサイズをメモ帳に入力する。



シナリオ例（記憶>ファイルサイズ）の実行結果：

HTML.key のファイルサイズをメモ帳に入力した。単位は上から順にバイト, KB, MB, GB。



6.5.18. 最新ファイル・フォルダ名

指定した確認基準に則って検索フォルダからファイルまたはフォルダのパスを取得し、データ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。

確認基準フォームと何番目の組み合わせ次第で最新以外のパスも取得できる。

最新ファイル・フォルダを取得

取得対象	ファイル
検索フォルダ	例) C:\Users\...
確認基準	更新日時が新しい順
何番目	1
データ参照ID	ファイル保存場所
メモ	

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
取得対象	ファイルまたはフォルダを選択する
検索フォルダ	検索するフォルダを指定する
確認基準	パス取得の基準を以下から指定する ・更新日時が新しい順 ・更新日時が古い順 ・作成日時が新しい順 ・作成日時が古い順
何番目	確認基準の何番目から取得するか指定する
データ参照ID	データ参照 ID を定義する

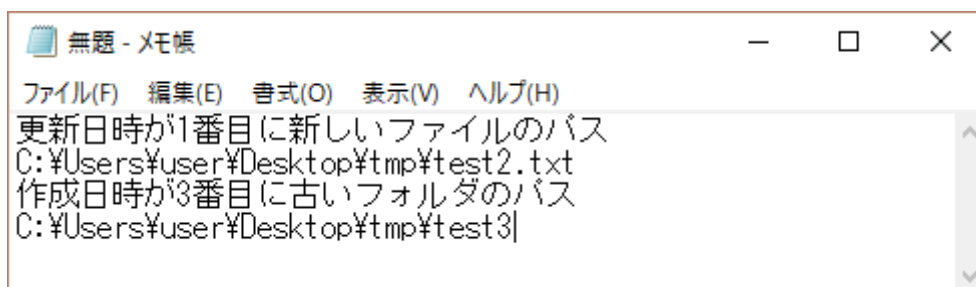
シナリオ例（記憶>フォルダ内の最新ファイル）：

下図のフォルダを対象に、更新日時が最新のファイルパスと作成日時が3番目に古いフォルダパスをメモ帳に入力するシナリオ。

名前	更新日時	作成日時
folder1	2019/06/20 15:20	2019/06/20 15:20
folder2	2019/06/20 15:20	2019/06/20 15:20
folder3	2019/06/20 15:20	2019/06/20 15:20
folder4	2019/06/20 15:21	2019/06/20 15:21
test1.txt	2019/06/20 15:13	2019/06/20 15:13
test2.txt	2019/06/20 15:19	2019/06/20 15:14
test3.txt	2019/06/20 15:14	2019/06/20 15:14

- 1 アプリ起動
 - アプリの場所: notepad
 - 待機時間(秒): 0
 - ウィンドウ最大化: 無し
- 2 データの記憶（環境情報）
 - 環境情報: デスクトップ デスクトップ
- 3 最新ファイル・フォルダを取得
 - 検索フォルダ: デスクトップ\tmp 更新が新1
 - 取得対象: ファイル, 確認基準: 更新日時が新しい順, 何番目: 1
- 4 最新ファイル・フォルダを取得
 - 検索フォルダ: デスクトップ\tmp 作成が古3
 - 取得対象: フォルダ, 確認基準: 作成日時が古い順, 何番目: 3
- 5 キーボード入力（文字）
 - 文字: 更新日時が1番目に新しいファイル: 更新が新1 作成日時が3番目に古いフォ ...
 - Enter: 無し

シナリオ例（記憶>フォルダ内の最新ファイル）実行結果：



6.6. 文字抽出

6.6.1. 括弧・引用符号から

データ参照 ID の値から、括弧等の記号内の文字列を抽出するコマンド。抽出した文字列は抽出先データ参照 ID に格納される。抽出文字列が複数ある場合、何マッチ目の値を抽出するか指定することができる。

文字列抽出（括弧・引用符号）

元データ参照ID

何マッチ目 1

対応記号
半角: () <> [] {} " ""
全角: () < > [] 「 」 『 』

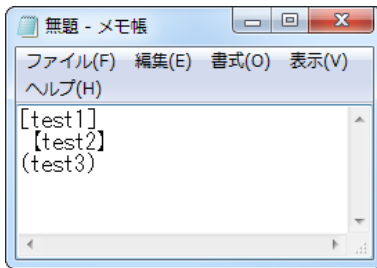
抽出先データ参照ID 抽出文字

メモ

名称	内容
元データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する
何マッチ目	何マッチ目の抽出データを取得するか指定する
対応記号	抽出対象の記号を指定する
抽出先データ参照 ID	抽出先データ参照 ID を定義する

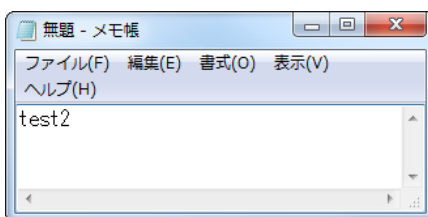
シナリオ例（括弧・引用符号から）：

下図メモ帳から test2 を取得するシナリオ。



1	<input type="checkbox"/> 画面切り替え（名前） （メモ帳を最前面に移動）	文字列: メモ帳	✕
2	<input type="checkbox"/> ショートカットキーを入力 （全選択）	ショートカット: ctrl+a	✕
3	<input type="checkbox"/> ショートカットキーを入力 （コピー）	ショートカット: ctrl+c	✕
4	<input type="checkbox"/> コピー内容を記憶		data
5	<input type="checkbox"/> 文字列抽出（括弧・引用符号）	元データ参照ID: data 対応記号: (), [], [], 何マッチ目: 2	output
6	<input type="checkbox"/> アプリ起動 （新しいメモ帳を起動）	アプリの場所: notepad 待機時間（秒）: 0 ウィンドウ最大化: 無し	✕
7	<input type="checkbox"/> キーボード入力（文字） （文字列抽出したテキストを入力する）	文字: output Enter: 無し	✕

シナリオ例（括弧・引用符号から）の実行結果：



6.6.2. 区切り文字から

データ参照 ID の値から、特定の文字で区切った文字列を抽出するコマンド。抽出した文字列は抽出先データ参照 ID に格納される。

文字抽出（区切り文字）

元データ参照ID

区切り文字 カンマ(,) タブ コロン(:) セミコロン(;) その他の区切り文字

その他の区切り文字

何番目 ☰

抽出先データ参照ID

メモ

✕ キャンセル ✓ OK

名称	内容
元データ参照 ID	抽出元のデータ参照 ID を選択する
区切り文字	区切り文字を指定する。「その他の区切り文字」を選択した場合のみ、「その他の区切り文字」のフォームが有効になる。
その他の区切り文字	「区切り文字」フォーム以外の区切り文字を指定する
何番目	区切った文字のなかから、取得したい文字の位置を指定する
抽出先データ参照 ID	抽出先のデータ参照 ID を定義する

シナリオ例（区切り文字から・カンマ区切り）：

カンマ区切りの文字を抽出するシナリオ。

データの記憶（文字）

文字	a,b,c d,e,f g,h,i
データ参照ID	データ

1 アプリ起動 (メモ帳起動) ✕

📄 アプリの場所: notepad
 待機時間 (秒): 0
 ウィンドウ最大化: 無し

2 データの記憶 (文字) ✕

📄 文字: a,b,c d,e,f g,h,i データ

3 文字抽出ループ (1行ずつ) ✕

抽出元データ参照ID: データ ライン

4 文字抽出 (区切り文字) ✕

📄 元データ参照ID: ライン 1番目
 カンマ(,)で区切った文字の1番目を抽出

5 文字抽出 (区切り文字) ✕

📄 元データ参照ID: ライン 2番目
 カンマ(,)で区切った文字の2番目を抽出

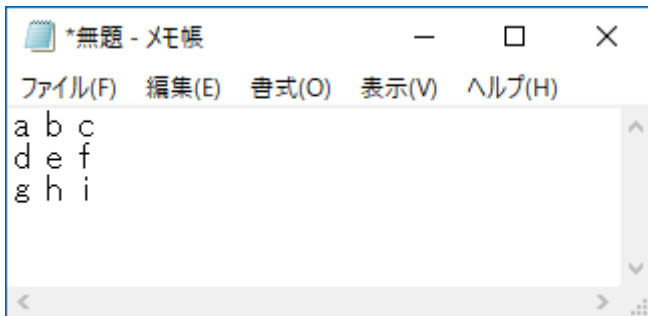
6 文字抽出 (区切り文字) ✕

📄 元データ参照ID: ライン 3番目
 カンマ(,)で区切った文字の3番目を抽出

7 キーボード入力 (貼り付け) ✕

📄 文字: 1番目 2番目 3番目
 Enter: 有り

シナリオ例 (区切り文字から・カンマ区切り) の実行結果 :



シナリオ例（区切り文字から・その他の区切り文字）：

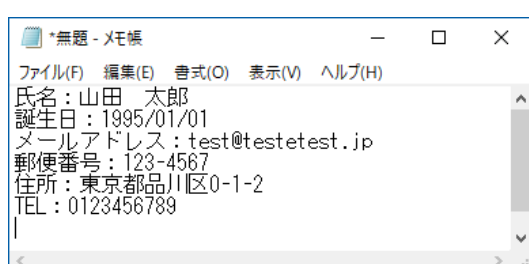
データ参照 ID「data」から”<div dir="ltr">”より前の文字を取得してメモ帳に入力する。

データの記憶（文字）	
文字	氏名：山田 太郎 誕生日：1995/01/01 メールアドレス：test@testetest.jp 郵便番号：123-4567 住所：東京都品川区0-1-2 TEL：0123456789 <div dir="ltr"></div>
データ参照ID	データ

文字抽出（区切り文字）	
元データ参照ID	データ
区切り文字	<input type="radio"/> カンマ(,) <input type="radio"/> タブ <input type="radio"/> コロン(:) <input type="radio"/> セミコロン(;) <input checked="" type="radio"/> その他の区切り文字
その他の区切り文字	<div dir="ltr">
何番目	1
抽出先データ参照ID	抽出文字

- 1 アプリ起動 (メモ帳起動) ✕
 アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し
- 2 データの記憶 (文字) ✕
文字: 氏名: 山田 太郎 誕生日: 1995/01/01 メールアドレス: test@tes ... データ
- 3 文字抽出 (区切り文字) ✕
元データ参照ID: データ
(<div dir="ltr">)で区切った文字の1番目を抽出 抽出文字
- 4 キーボード入力 (貼り付け) ✕
文字: 抽出文字
Enter: 無し

シナリオ例（区切り文字から・その他の区切り文字）の実行結果：



6.6.3. 改行・空白を削除

文字列内の改行・空白を削除するコマンド。

文字列抽出（改行・空白を削除）

操作内容 改行のみ

データ参照ID

全て（行間含む）

行頭

行末

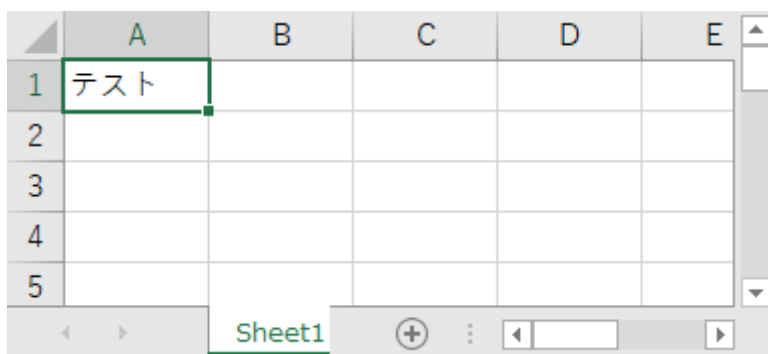
メモ メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
操作内容	削除対象を選択する（改行のみ・空白のみ・改行と空白）
データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する
全て（行間含む）	文字列全体から改行・空白を削除したい場合を選択する
行頭	文字列の先頭から改行・空白を削除したい場合を選択する
行末	文字列の末尾から改行・空白を削除したい場合を選択する

シナリオ例（改行・空白を削除）：

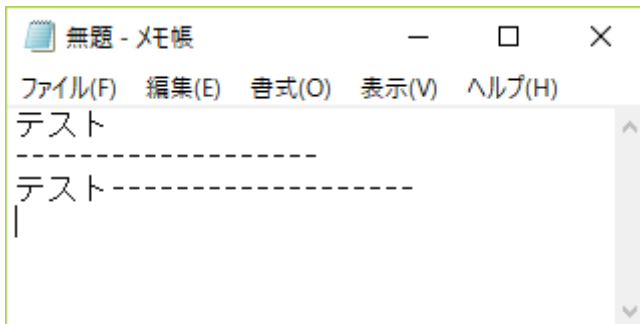
Excel からコピーしたセルの末尾にある改行を削除してメモ帳に入力する。比較のためにセルをコピーしてそのままの文字列もメモ帳に入力する。





シナリオ例（改行・空白を削除）の実行結果：

元データには改行が含まれたまま入力され、抽出データは改行が削除されてメモ帳に入力された。



6.6.4. ファイルパスから

ファイルパスからファイル名またはフォルダ名を抽出するコマンド。

ファイル・フォルダ名抽出 (ファイルパス)

元データ参照ID

拡張子あり

抽出先データ参照ID

メモ

× キャンセル ✓ OK

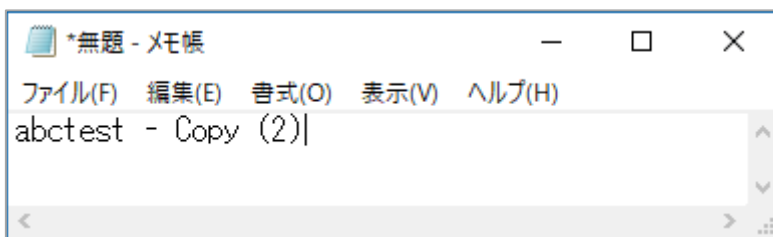
名称	内容
元データ参照 ID	ファイルパスが定義されているデータ参照 ID を指定する
拡張子あり	チェックすると拡張子ごと抽出する
抽出先データ参照 ID	抽出したファイル名またはフォルダ名を記録するためのデータ参照 ID を定義する

シナリオ例 (ファイルパスから) :

フォルダ内のテキストファイルのファイル名を抽出し、メモ帳に入力する

名前	更新日時	種類	サイズ
abctest - コピー (2).txt	2019/07/12 11:51	テキストドキュメント	0 KB
bcweetest - コピー (4).txt	2019/07/12 11:51	テキストドキュメント	0 KB
test - コピー (5).txt	2019/07/12 11:51	テキストドキュメント	0 KB
test - コピー.txt	2019/07/12 11:51	テキストドキュメント	0 KB
test.txt	2019/07/12 11:51	テキストドキュメント	0 KB
testbcde - コピー (3).txt	2019/07/12 11:51	テキストドキュメント	0 KB

シナリオ例（ファイルパスから）の実行結果：



6.6.5. ルールにマッチ

ルール（正規表現）に一致する文字列を抽出するコマンド。ルールに括弧がある場合、その中身だけを抽出する。

文字列抽出（ルールにマッチする）

元データ参照ID

ルール（正規表現）

抽出先データ参照ID

メモ

名称	内容
元データ参照 ID	ファイルパスが定義されているデータ参照 ID を指定する
ルール（正規表現）	ルールを定義する
抽出先データ参照 ID	抽出したファイル名またはフォルダ名を記録するためのデータ参照 D を定義する

正規表現とは、簡単に説明すると、「ある定義に沿った形式で文字列を表現する方法」である。その定義を一部抜粋したものを以下に示す。

記号	記号の読みと意味
.	ドット、任意の一文字
*	アスタリスク、直前の文字の 0 回以上の繰り返し
+	プラス、直前の文字の 1 回以上の繰り返し
[]	[]内のどれか 1 文字 例：[a-z] だと、a, b, c, …, z からどれか 1 文字があればマッチする
{n}	直前の文字を n 回繰り返し
{min, max}	直前の文字を min 以上 max 以下の繰り返し
A B	パターン A またはパターン B のどちらか 例：『.*道 .*県』 だと、～道または～県にマッチする
¥w	アルファベット、数字、アンダースコアのどれか 1 文字
¥W	アルファベット、数字、アンダースコア <u>以外</u> のどれか 1 文字
¥d	数字 1 文字
¥s	半角スペース、タブ、改行のどれか 1 文字
¥	エンまたはバックスラッシュ 特殊文字をマッチさせるために、特殊文字の直前に入力する記号。 特殊文字：.(ドット), *, +, -, ¥ など 使い方：「abc¥def」で「¥d」にマッチするルールは「¥¥d」

※この他にも様々な定義があるので「正規表現 一覧」や「正規表現 郵便番号」などで検索してください。

シナリオ例（ルールにマッチ・電話番号）：

ハイフンある場合とない場合の電話番号両方を抽出するシナリオ。

ハイフン有り電話番号	(0¥d{9,10} 0¥d{1,3}-¥d{1,4}-¥d{4})
ハイフン無し電話番号	

1 アプリ起動

アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 1
ウィンドウ最大化: 無し

2 データの記憶 (文字)

文字: 電話番号 : 012-345-6789 電話番号1

3 データの記憶 (文字)

文字: 電話番号09876543210ですよ 電話番号2

4 文字列抽出 (ルールにマッチする)

元データ参照ID: 電話番号1
ルール (正規表現) : (0\d{9,10}|0\d{1,3}-\d{1,4}-\d{4}) output1

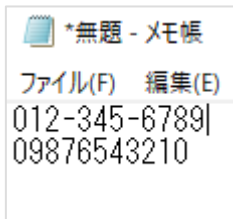
5 文字列抽出 (ルールにマッチする)

元データ参照ID: 電話番号2
ルール (正規表現) : (0\d{9,10}|0\d{1,3}-\d{1,4}-\d{4}) output2

6 キーボード入力 (文字)

文字: output1 output2
Enter: 有り

シナリオ例 (ルールにマッチ・電話番号) の実行結果 :



シナリオ例 (ルールにマッチ・電話番号 ver シンプルルール) :

電話番号 (数字-数字-数字) を抽出しメモ帳に入力する。

電話番号	(\d+-\d+-\d+)
------	---------------

1 アプリ起動

アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し

2 データの記憶 (文字)

文字: こんにちは。電話番号は012-345-6789です。 電話番号

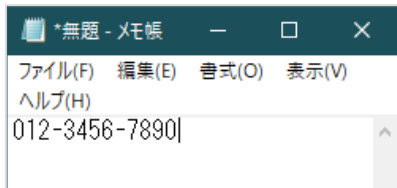
3 文字列抽出 (ルールにマッチする) (電話番号を抽出)

抽出先データ参照ID: 電話番号
ルール (正規表現) : (\d+-\d+-\d+) output

4 キーボード入力 (文字)

文字: output
Enter: 無し

シナリオ例（ルールにマッチ・電話番号 ver シンプルルール）の実行結果：

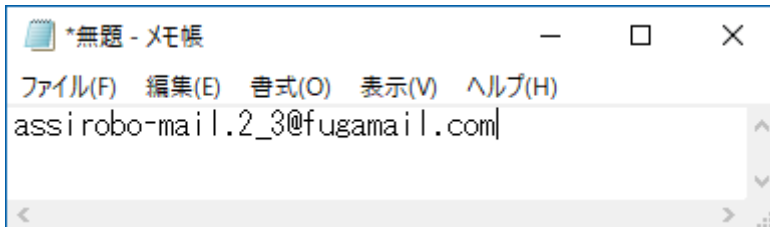


シナリオ例（ルールにマッチ・メールアドレス）：

メールアドレスを抽出してメモ帳に入力するシナリオ。

メールアドレス	[¥w¥.¥-]+@[¥w¥.¥-]+
1	<input type="checkbox"/> アプリ起動 <input type="checkbox"/> アプリの場所: notepad 待機時間 (秒): 0 ウィンドウ最大化: 無し
2	<input type="checkbox"/> データの記憶 (文字) 文字: E-mail: assirobo-mail.2_3@fugamail.com メールアドレス情報
3	<input type="checkbox"/> 文字列抽出 (ルールにマッチする) (メールアドレス取得) 抽出先データ参照ID: メールアドレス情報 ルール (正規表現): [\w\.-]+@[¥w¥.¥-]+ メールアドレス
4	<input type="checkbox"/> キーボード入力 (文字) 文字: メールアドレス Enter: 無し

シナリオ例（ルールにマッチ・メールアドレス）の実行結果：



シナリオ例（ルールにマッチ・都道府県）：

住所から都道府県を抽出してメモ帳に入力するシナリオ。

都道府県	.*[都道府県]
都道府県	[あ-んー-霽]+[都道府県]

1 アプリ起動

アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し

2 データの記憶 (文字)

文字: 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 住所

3 データの記憶 (文字)

文字: かながわ県横浜市西区みなとみらい2-2-1 じゅうしょ

4 文字列抽出 (ルールにマッチする)

元データ参照ID: 住所
ルール (正規表現): .*[都道府県] 都道府県

5 文字列抽出 (ルールにマッチする)

元データ参照ID: じゅうしょ
ルール (正規表現): [あ-ん-ー-齋]+[都道府県] とどうふけん

6 キーボード入力 (文字)

文字: 都道府県 とどうふけん
Enter: 無し

シナリオ例 (ルールにマッチ・都道府県) の実行結果:

無題 - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 表示(O) 形式(M) ヘルプ(H)

東京都
かながわ県

シナリオ例 (ルールにマッチ・テンプレート):

下図のようにフォーマットが決まっている文字列から会社名、部署、氏名を抽出し、メモ帳に入力する。

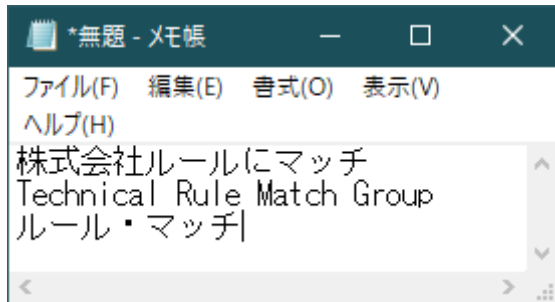
文字

会社名: 株式会社ルールにマッチ
部署: Technical Rule Match Group
氏名: ルール・マッチ

()内のすべての文字列	会社名: (.*)
()内のすべての文字列	部署: (.*)
()内のすべての文字列	氏名: (.*)



シナリオ例 (ルールにマッチ・テンプレート) の実行結果 :



6.6.6. 置換

検索文字をすべて置換する。

文字を置換

元データ参照ID	
検索文字	
置換文字	
置換後データ参照ID	置換結果
メモ	

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
元データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する
検索文字	検索する文字を入力する
置換文字	置換する文字を入力する
置換後データ参照 ID	置換後のデータ参照 ID を定義する

シナリオ例（置換）：

「商品の合計は 1,800 円です。」 から「1800」を抽出する。

1 アプリ起動

2 データの記憶 (文字)

3 文字を置換

4 文字列抽出 (ルールにマッチする)

5 キーボード入力 (文字)

文字を置換

元データ参照ID	データ
検索文字	,
置換文字	
置換後データ参照ID	置換結果
メモ	

× キャンセル ✓ OK

シナリオ例（置換）の実行結果：

*無題 - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

元データ： 商品の合計は1,800円です。

置換後： 商品の合計は1800円です。

ルールにマッチで抽出後： 1800|

6.6.7. 文字変換

文字を全角↔半角、大文字↔小文字と変換するコマンド。

文字変換

変換対象

変換方法 (全て) 全角 → 半角

変換後の参照ID 例) データ

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
変換対象	変換したい文字を入力する
変換方法	変換対象の文字タイプと変換後の文字タイプを選択する。 変換方法一覧：(※A→B, B→A を A↔B とまとめて表記) (全て) 全角↔半角, (数字) 全角↔半角, (英字) 全角↔半角, (英字) 大文字↔小文字, (カタカナ) 全角↔半角,
変換後の参照 ID	変換後の文字を記憶するデータ参照 ID を定義する

6.6.8. 日付形式変換

日付の形式を変換するコマンド。

日付の形式を変換

変換対象	2022/01/01	☰
変換前の形式	yyyy-mm-dd	▼
変換後の形式	yyyy-mm-dd	▼
変換後の参照ID	変換結果	
メモ		

× キャンセル ✓ OK

変換前の形式	カスタム形式	▼
変換前のカスタム形式	yyyy/mm/dd	
変換後の形式	カスタム形式	▼
変換後のカスタム形式	yyyy-mm-dd	

名称	内容
変換対象	変換したい日付を入力する。
変換前の形式	変換対象の形式を選択する。
変換前のカスタム形式	カスタム形式の日付を入力する。 変換前の形式「カスタム形式」のときに表示される。
変換後の形式	変換後の形式を選択する。
変換後のカスタム形式	カスタム形式の日付を入力する。 変換後の形式「カスタム形式」のときに表示される。
変換後の参照 ID	変換後の日付を記憶するデータ参照 ID を定義する。

※注意点

「変換前の形式」にはない情報が「変換後の形式」にある場合、変換はできない。例えば、「mm 月 dd 日」を「yyyy 年 mm 月 dd 日」に変換することはできない。

カスタム形式について

「変換前の形式」と「変換後の形式」の選択肢に「カスタム形式」がある。この形式を利用することで、選択肢にない日付形式へ変換することができる。

下記にカスタム形式の仕様と具体例を記載する。

カスタム形式の仕様表

表記	意味	例
yyyy	年	2022
yy	年（下2桁）	22
wwww	年（和暦）	令和4
WW	年（和暦）	R4
ww	年（和暦）	r4
mm	月	02
m	月（0削除）	2
bb	月（英語）	February
b	月（英語の略語）	Feb
dd	日	09
d	日（0削除）	9

なお、上記の文字を通常の意味として扱いたい場合は直前に円記号「¥」を挿入する。例えば m を文字として扱いたいときは、¥m と入力する。

具体例

日付	表記
2022/01/09	yyyy/mm/dd
22/01/09	yy/mm/dd
31/01/09	dd/mm/yy
令和4年1月9日	wwww年m月d日
R4年1月9日	WW年m月d日
r4年1月9日	ww年m月d日

6.6.9. 1 行ずつループ

複数行の文字を 1 行ずつ記憶してループするコマンド。

文字抽出ループ (1行ずつ)

元データ参照ID	
抽出先データ参照ID	ライン
メモ	

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
元データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する
抽出先データ参照 ID	抽出先データ参照 ID を定義する

シナリオ例 (1 行ずつループ) :

データ参照 ID 「data」 から () の中の文字を抽出してメモ帳に入力する。

文字	(a1)(a2)(a3) (b1)(b2)(b3) (c1)(c2)(c3)
----	--

1 アプリ起動

アプリの場所: notepad
 待機時間 (秒): 0
 ウィンドウ最大化: 無し

2 データの記憶 (文字)

文字: (a1)(a2)(a3) (b1)(b2)(b3) (c1)(c2)(c3)

3 文字抽出ループ (1行ずつ)

抽出元データ参照ID: data

4 文字列抽出 (括弧・引用符号)

元データ参照ID: line
 対応記号: (), 何マッチ目: 1

5 文字列抽出 (括弧・引用符号)

元データ参照ID: line
 対応記号: (), 何マッチ目: 2

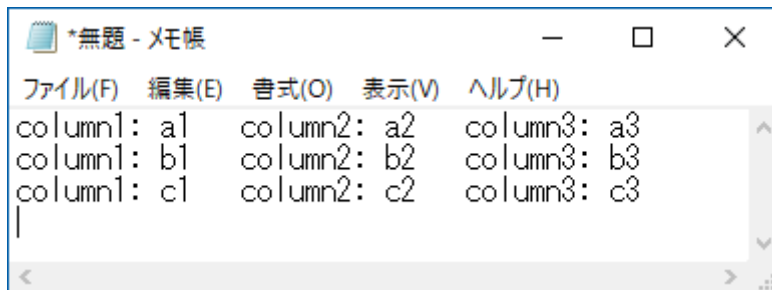
6 文字列抽出 (括弧・引用符号)

元データ参照ID: line
 対応記号: (), 何マッチ目: 3

7 キーボード入力 (文字)

文字: column1: column1 column2: column2 ...
 Enter: 有り

シナリオ例 (1行ずつループ) の実行結果:



6.7. 分岐

6.7.1. 文字列

文字列を比較するコマンド。

※文字列①から②を検索します

文字列比較

文字列①

文字列②

比較条件 完全一致

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
文字列①	文字を入力します
文字列②	文字列①から検索したい文字を入力する
比較条件	以下の4つから比較の条件を選択する ・完全一致 ・前方一致 ・部分一致 ・後方一致

比較して一致する場合とそうでない場合で処理を分けることができる。

16 文字列比較

文字列①: , 文字列②: , 比較条件: 完全一致

一致した時 (TRUE) :

17 一致する場合の処理をここに

一致しなかった時 (FALSE) :

18 一致しない場合の処理をここに

シナリオ例 (文字列) :

データ参照 ID「data」に対して、完全一致、前方一致、部分一致、後方一致する条件を設定しメモ帳に結果を入力する。

1 メモ帳起動&data=「testだよ」

4 文字列比較

文字列①: data, 文字列②: testだよ, 比較条件: 完全一致

一致した時 (TRUE) :

5 キーボード入力 (文字)

文字: dataは「testだよ」と完全一致する
Enter: 有り

一致しなかった時 (FALSE) :

6 キーボード入力 (文字)

文字: dataは「testだよ」と完全一致しない
Enter: 有り

7 文字列比較

文字列①: data, 文字列②: te, 比較条件: 前方一致

一致した時 (TRUE) :

8 キーボード入力 (文字)

文字: dataは「te」と前方一致する
Enter: 有り

一致しなかった時 (FALSE) :

9 キーボード入力 (文字)

文字: dataは「te」と前方一致しない
Enter: 有り

10 文字列比較

文字列①: data, 文字列②: tだ, 比較条件: 部分一致

一致した時 (TRUE) :

11 キーボード入力 (文字)

文字: dataは「tだ」と部分一致する
Enter: 有り

一致しなかった時 (FALSE) :

12 キーボード入力 (文字)

文字: dataは「tだ」と部分一致しない
Enter: 有り

13 文字列比較

文字列①: data, 文字列②: だよ, 比較条件: 後方一致

一致した時 (TRUE) :

14 キーボード入力 (文字)

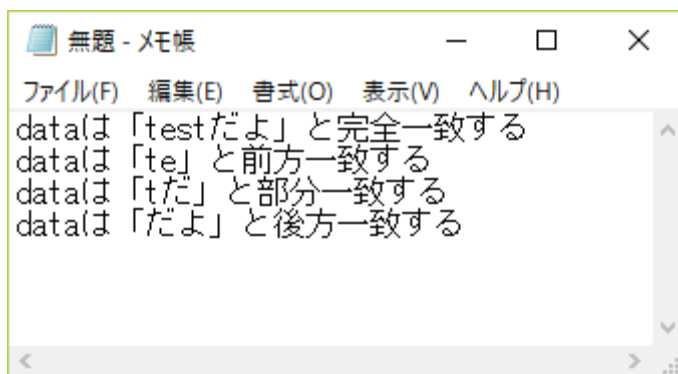
文字: dataは「だよ」と後方一致する
Enter: 有り

一致しなかった時 (FALSE) :

15 キーボード入力 (文字)

文字: dataは「だよ」と後方一致しない
Enter: 有り

シナリオ例（文字列）の実行結果：



6.7.2. 数値

データ参照 ID の値と、指定した文字列を比較するコマンド。等しい場合と等しくない場合の処理を分けることができる。

数値比較

データ参照ID

比較記号

=
 ≠
 <
 ≦
 >
 ≧

数値

メモ

名称	内容
データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する
比較記号	比較する内容を入力する
数値	比較する数値を入力する

シナリオ例（数値）：

データ参照 ID「data」に格納した 1000 と数値比較をするシナリオ。

1 アプリ起動 (メモ帳起動)

アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し

2 データの記憶 (文字)

文字: 1000

3 数値比較

数式: `data < 100`

そうだった時 (TRUE) :

4 キーボード入力 (文字)

文字: dataは100未満
Enter: 有り

そうではなかった時 (FALSE) :

5 キーボード入力 (文字)

文字: dataは100以上
Enter: 有り

6 数値比較

数式: `data = 1000`

そうだった時 (TRUE) :

7 キーボード入力 (文字)

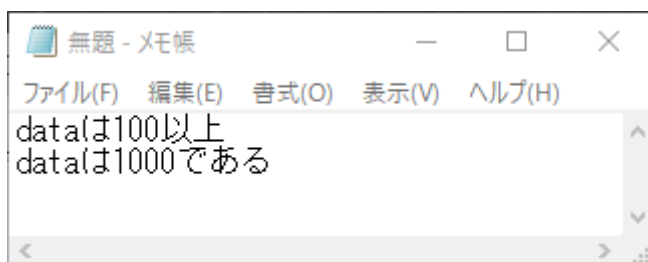
文字: dataは1000である
Enter: 有り

そうではなかった時 (FALSE) :

8 キーボード入力 (文字)

文字: dataは1000ではない
Enter: 有り

シナリオ例（数値）の実行結果：



6.7.3. 日付

指定した 2 つの日付を比較するコマンド。条件に合う場合と合わなかった場合で処理を分けることができる。

日付比較

日付①	例) 2023-01-01	☰
日付形式①	yyyy-mm-dd	▼
比較記号	=	▼
日付②	例) 2023-01-01	☰
日付形式②	yyyy-mm-dd	▼
メモ		

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
日付①	日付を指定する
日付形式①	日付①の日付形式を指定する
比較記号	比較記号を選択する
日付②	日付を指定する
日付形式②	日付②の日付形式を指定する

6.7.4. ファイル・フォルダの有/無を確認

対象フォルダ内に指定ファイルまたはフォルダが存在するか確認するコマンド。存在する場合と存在しない場合の処理を分けることができる。

ファイル・フォルダの有/無を確認

フォルダ場所	例) C:\Users\...	📁 ☰
検索対象	<input checked="" type="radio"/> ファイル <input type="radio"/> フォルダ	
ファイル/フォルダ名	例) file.txt	☰
メモ		

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
フォルダ場所	検索フォルダの指定
検索対象	検索対象（ファイルまたはフォルダ）を選択
ファイル/フォルダ名	検索ファイル/フォルダ名の指定

シナリオ例（ファイル・フォルダの有/無を確認）：

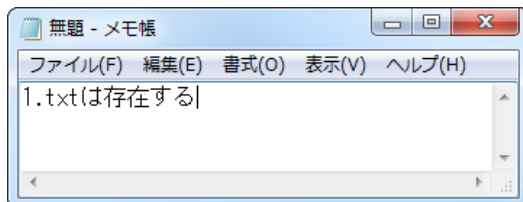
下図のフォルダから 1.txt を検索し、結果をメモ帳に記載するシナリオ。

名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17

The screenshot shows a scenario editor with the following steps:

- 1 アプリ起動 (メモ帳起動)**
 - アプリの場所: notepad
 - 待機時間 (秒): 0
 - ウィンドウ最大化: 無し
- 2 ファイル・フォルダの有/無を確認**
 - 検索対象: ファイル, ファイル/フォルダ名: 1.txt
 - フォルダ場所: C:\Users\anri\Desktop\test
 - ファイルがあった時 (TRUE) :
- 3 キーボード入力 (文字)**
 - 文字: 1.txtは存在する
 - Enter: 無し
- 4 キーボード入力 (文字)**
 - 文字: 1.txtは存在しない
 - Enter: 無し

シナリオ例（ファイル・フォルダの有/無を確認）の実行結果：



6.7.5. 画像

指定画像を探す。画像が存在する場合と存在しない場合の処理を分けることができる。
 ※画像出現を待つコマンドと画像を探す（分岐）コマンドは同一です。

画像を探す

一定時間後に
画面が少し暗くなり
画像切り取りモードに
移行する

画像切り取り

切り取りまでの待ち時間 (3秒) ▼

画像切り取りモードに
切り替わるまでの時間を
3秒・10秒・30秒
から選択できる

ざっくり検索% (色 : RGB) 85

ざっくり検索% (ピクセル) 100

【注意】色/ピクセルともに、設定バーが左寄りになると検索時間がかかります。

検索範囲 全画面 検索範囲指定

検索時間 (秒)

メモ

✕ キャンセル ✓ OK

検索範囲 全画面 検索範囲指定

(0, 0) ~ (0, 0)

検索範囲切り取り

切り取りまでの待ち時間 (3秒) ▼

名称	内容
画像切り取り	探索したい画像を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ&ドロップすると座標が表示される。
切り取りまでの待ち時間	画像切り取りモードに切り替わるまでの時間を選択する。
ざっくり検索% (色 : RGB)	画像を画面上で検索する際、色のズレをどれぐらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色のズレがあっても容認する。
ざっくり検索% (ピクセル)	画像を画面上で検索する際、色が完全に不一致のピクセルをどれぐらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色が完全に不一致のピクセルがあっても容認する。

名称	内容
検索時間（秒）	検索時間を指定する。最大検索時間は 3600 秒。画像が出現した場合は検索時間の経過を待たずに次の処理を実行する。
検索範囲	画像を検索する範囲を指定する。[検索範囲指定]を選択すると、本項目直下に検索範囲切り取りが表示される。
検索範囲切り取り	画像の検索範囲を指定する。

6.8. 繰り返し

6.8.1. 繰り返し

指定した回数分だけ、または無限回動作を繰り返すコマンド。繰り返したい動作をこのコマンド内にドラッグ&ドロップする。

繰り返し

繰り返しタイプ 回数指定 無限

回数 1 ☰

メモ

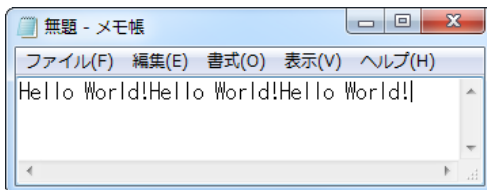
× キャンセル ✓ OK

名称	内容
繰り返しタイプ	回数指定または無限を選択する
回数	回数指定の場合、処理を繰り返す回数を指定する

シナリオ例（繰り返し）：

メモ帳に定型文を3回入力するシナリオ。

シナリオ例（繰り返し）の実行結果：



シナリオ例（回数・無限）：

メモ帳に定型文を無限に入力するシナリオ。もし「繰り返し回数」が「終了条件」と一致した場合は繰り返しを抜ける。

※「計算結果を記憶」コマンドで高度データ参照 ID 呼び出し機能を利用しています。

The screenshot displays a scenario editor with the following steps:

- 1 アプリ起動**
 - アプリの場所: notepad
 - 待機時間 (秒): 0
 - ウィンドウ最大化: 無し
- 2 データの記憶 (文字)**
 - 文字: 1
 - ボタン: 繰り返し回数
- 3 データの記憶 (文字)**
 - 文字: 5
 - ボタン: 終了条件
- 4 繰り返し**
 - 回数: 無限
 - 5 キーボード入力 (文字)**
 - 文字: Hello World!
 - Enter: 有り
 - 6 文字列比較**
 - 文字列①: 繰り返し回数, 文字列②: 終了条件, 比較条件: 完全一致
 - 一致した時 (TRUE):
 - 7 繰り返しを抜ける**
 - 一致しなかった時 (FALSE):
 - 8 計算結果を記憶 (繰り返し回数に1足す)**
 - 演算式: 繰り返し回数 + 1
 - ボタン: 繰り返し回数
- 9 キーボード入力 (文字)**
 - 文字: 繰り返し回数が終了条件に一致したため、繰り返しを終了します。
 - Enter: 有り

シナリオ例（回数・無限）の実行結果：

The screenshot shows a Notepad window titled "*無題 - メモ帳" with the following text:

```
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
Hello World!
Hello World!
Hello World!
Hello World!
Hello World!
繰り返し回数が終了条件に一致したため、繰り返しを終了します。
```

6.8.2. 繰り返しを抜ける

繰り返し系コマンドを終了して、次の処理へ移行するコマンド。

繰り返し系コマンド一覧

- 「文字抽出 > 1 行ずつループ」コマンド
- 「繰り返し > 繰り返し」コマンド
- 「ファイル・フォルダ>フォルダ>ループ」コマンド
- 「エクセル・CSV > セル操作 > 行ループ」コマンド
- 「エクセル・CSV > セル操作 > 列ループ」コマンド
- 「エクセル・CSV > CSV 読込ループ」コマンド
- 「スプレッドシート > セル操作 > 行ループ」コマンド
- 「スプレッドシート > セル操作 > 列ループ」コマンド
- 「メール > 受信」コマンド
- 「メール > 受信 (Gmail)」コマンド
- 「メール > 受信 (Microsoft)」コマンド

シナリオ例（繰り返しを抜ける）：

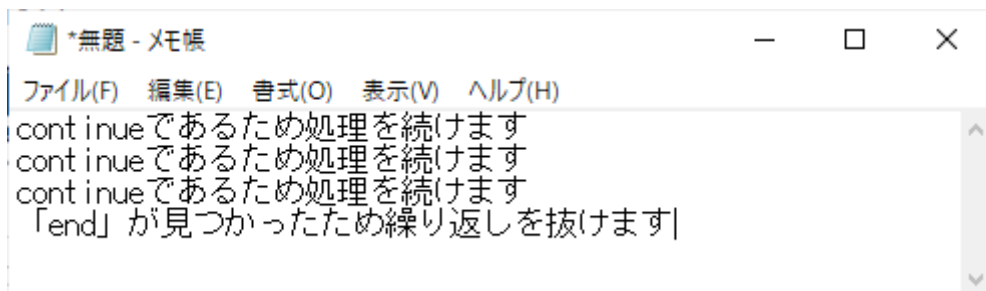
「end」の行の場合は繰り返しを抜けるシナリオ。動作の違いをメモ帳に入力する。

データの記憶（文字）	
データ参照ID	text
文字	continue continue continue end continue continue continue



シナリオ例（繰り返しを抜ける）の実行結果：

4行目の「end」に完全一致したため、繰り返しは4回で終了したことがわかる。



6.8.3. 繰り返しの最初に戻る

繰り返し系コマンド内の最初の処理へ移行するコマンド。対応している繰り返し系コマンドは[こちら](#)と同様である。

シナリオ例（繰り返しの最初に戻る）：

セルの内容が「記録する」場合のみ、メモ帳にセルを入力するシナリオ。行末のセルが空白の場合は次の行へ移動して繰り返しの最初の処理に戻る。また、行頭のセルが空白の場合にシナリオを終了する。

	A	B	C	D	E	
1	データを	記録する	記録する	記録しない	記録する	
2	データを	記録しない	記録しない	記録する		
3	データを	記録しない	記録する	記録する	記録しない	
4	データを	記録する	記録しない			
5	データを	記録しない				
6	データを	記録しない	記録する	記録しない		
7						

1 アプリ起動 (×モーション)

アプリの場所: notepad
 待機時間 (秒): 0
 ウィンドウ最大化: 無し

2 ファイルを開く (Excelを開く)

ファイルの場所: C:\Users\user\Desktop\繰り返しtest2.xlsx
 待機時間 (秒): 0
 ウィンドウ最大化: 無し

3 ショートカットキーを入力 (Excel: A1へ移動)

ショートカット: ctrl+home

4 繰り返し (繰り返しA)

回数: 10

5 セルを取得(先頭チェック)

6 ショートカットキーを入力 (Excel: コピー)

ショートカット: ctrl+c

7 コピー内容を記憶

先頭チェック

8 文字列抽出 (改行・空白を削除)

データ参照ID: 先頭チェック
 操作内容: 改行のみ, 行末

9 文字列比較

文字列①: 先頭チェック, 文字列②: データを, 比較条件: 完全一致

一致した時 (TRUE):

10 繰り返し (繰り返しB)

回数: 20

11 セル取得

12 ショートカットキーを入力 (Excel: 右へセル移動)

ショートカット: tab

13 ショートカットキーを入力 (Excel: コピー)

ショートカット: ctrl+c

14 コピー内容を記憶

セルの内容

15 文字列抽出 (改行・空白を削除)

データ参照ID: セルの内容
 操作内容: 改行のみ, 行末

16 文字列比較 (True: セルの内容「記録する」)

文字列①: セルの内容, 文字列②: 記録する, 比較条件: 完全一致

一致した時 (TRUE):

17 画面切り替え (名前)

文字列: ×モーション

18 キーボード入力 (文字)

文字: セルの内容
 Enter: 有り

19 画面切り替え (名前)

文字列: Excel

一致しなかった時 (FALSE):

20 文字列比較 (True: 「記憶しない」 False: 空白セル)

文字列①: セルの内容, 文字列②: 記憶しない, 比較条件: 完全一致

一致した時 (TRUE):

21 繰り返しの最初に戻る

一致しなかった時 (FALSE):

22 ショートカットキーを入力 (Excel: 選択解除)

ショートカット: esc

23 ショートカットキーを入力 (Excel: 次の行頭へ移動)

ショートカット: enter

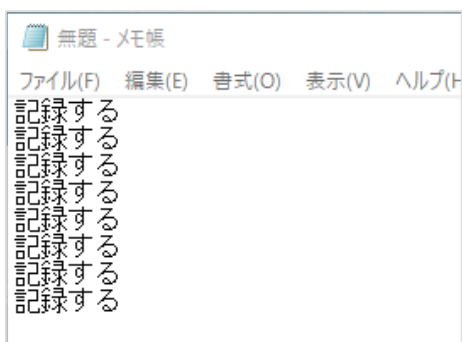
24 繰り返しを抜ける (繰り返しBから抜ける)

一致しなかった時 (FALSE):

25 繰り返しを抜ける (繰り返しAから抜ける)

シナリオ例（繰り返しの最初に戻る）の実行結果：

エクセル内の「記録する」セルの全てがメモ帳に記録された。







6.9. ファイル・フォルダ

6.9.1. ファイル > 開く

ファイルを開くコマンド。

ファイルを開く


ファイル場所	例) C:\Users\...	 
待機時間 (秒)	3	
ウィンドウ最大化	<input checked="" type="checkbox"/>	
メモ	<input type="text"/>	


 キャンセル  OK

名称	内容
ファイル場所	ファイルパスを指定する ファイルアイコンからファイルを選択することができる
待機時間 (秒)	待機秒数を指定する
ウィンドウ最大化	ウィンドウを最大化する

シナリオ例 (ファイル > 開く) :

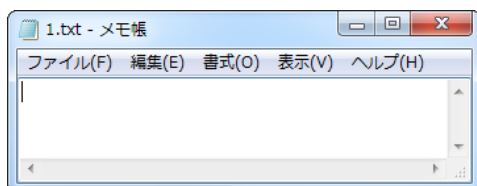
1.txt を開くシナリオ。

1 ファイルを開く (ファイル名) 

 ファイル場所: C:\Users\user\Desktop\1.txt
待機時間 (秒): 1
ウィンドウ最大化: 無し

シナリオ例 (ファイル > 開く) の実行結果 :

1.txt が起動した。



6.9.2. ファイル > 移動

ファイルをフォルダに移動するコマンド。

ファイルを移動

ファイル場所
例) C:\Users\...
📁
☰

移動先フォルダ場所
例) C:\Users\...
📁
☰

移動後のデータ参照ID
data

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
ファイル場所	移動するファイルを指定する。 ファイルアイコンからファイルを選択することができる。
移動先フォルダ場所	移動先フォルダを指定する。 フォルダアイコンから移動先フォルダを選択することができる。
移動後のデータ参照 ID	入力有り：ファイル移動後のファイルパスを記憶するデータ参照 ID を定義する。 入力無し：データ参照 ID を定義しない。

シナリオ例（ファイル > 移動）：

下の左図にある 1.txt を右図のフォルダに移動するシナリオ。

名前	更新日時	作成日時
📄 1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
📄 2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
📄 3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
📄 4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
📄 5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17

名前	更新日時	作成日時
このフォルダーは空です。		

1
 データの記憶（環境情報）
 ✕

環境情報: デスクトップ
desktop

2
 ファイルを移動
 ✕

ファイル場所: desktop \tmp\1.txt
移動先フォルダ場所: desktop \tmp2

シナリオ例（ファイル > 移動）の実行結果：

1.txt が移動した。

名前	更新日時	作成日時
2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17

名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12

6.9.3. フォルダ > 開く

フォルダを開く。

フォルダを開く

フォルダ場所

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
フォルダ場所	開くフォルダを指定する フォルダアイコンからフォルダを選択できる

シナリオ例（フォルダ > 開く）：

フォルダを開くシナリオ。

1 フォルダを開く（固定フォルダ名）

フォルダ場所: C:\Users\user\Desktop\test

シナリオ例（フォルダ > 開く）の実行結果：

指定したフォルダを開いた。




名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17



6.9.4. フォルダ > 作成

フォルダを新しく作る。

※すでに同名のフォルダが存在する場合はエラーとなります

フォルダを作成


フォルダ場所	例) C:\Users\...		
新規フォルダ名			
新規フォルダのデータ参照ID	data		
メモ			



 キャンセル  OK


名称	内容
フォルダ場所	新規フォルダの作成場所を指定する。 フォルダアイコンからフォルダを選択できる。
新規フォルダ名	新しいフォルダの名前を指定する。
新規フォルダのデータ参照 ID	入力有り: 新規フォルダのパスを記憶するデータ参照 ID を定義する。 入力無し: データ参照 ID を定義しない。


シナリオ例（フォルダ > 作成）：

デスクトップに新規フォルダ「test」を作成するシナリオ。

1 データの記憶（環境情報） 

 環境情報: デスクトップ 

2 フォルダを作成 

 フォルダ場所: **デスクトップ**
新規フォルダ名: test



シナリオ例（フォルダ > 作成）の実行結果：



6.9.5. フォルダ > ループ

フォルダ内から指定した拡張子のファイルまたはフォルダのパス（保存場所）を全て取得し、それら一つ一つに対して繰り返し処理を行うコマンド。取得したパスはデータ参照 ID に記憶される。繰り返したい動作をこのコマンド内にドラッグ&ドロップする。

フォルダ内をループ

フォルダ場所
例) C:\Users\...
📁
☰

取得対象
ファイルのみ
▼

ループ順序
名前順
▼

拡張子
.txt
☰

データ参照ID
ファイル保存場所

[詳細非表示]

大文字小文字の区別

 する
 しない

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
フォルダ場所	フォルダを指定する。 フォルダアイコンからフォルダを選択できる。
取得対象	ファイルもしくはフォルダを指定する。
ループ順序	フォルダループの順序を選択する。選択肢は以下の 5 つ： ・ファイルの名前順/名前順(Windows) ・更新日が新しい/古い順 ・作成日時が新しい/古い順
拡張子	ファイルの拡張子を指定する。
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する。この参照 ID にパスが記憶される。
大文字小文字の区別	無効： 拡張子の大文字小文字を区別しない (例) 拡張子：.txt test.txt -> 検知 test.TXT -> 検知 有効： 拡張子の大文字小文字を区別する (例) 拡張子：.txt test.txt -> 検知 test.TXT -> 検知しない [詳細表示]をクリックすると表示される

6.9.6. ファイル・フォルダ名の変更

ファイルまたはフォルダの名前を変更するコマンド。

※注意点

- ・作業強制終了を利用するとスケジュール実行は正常終了となります

ファイル・フォルダ名の変更

変更対象
例) C:\Users\...

📁
📄
☰

変更名
例) rename.txt

☰

拡張子の自動付与

 する
 しない

同じ名前がある場合

 上書き（ファイルのみ）
 作業強制終了

改名後のデータ参照ID

メモ

【注意】作業強制終了を利用するとスケジュール実行は**正常終了**となります。

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
変更対象	名前変更したいファイルまたはフォルダを指定する
変更名	変更後の名前を入力する
拡張子の自動付与	する : 変更対象の拡張子を自動付与する しない: 変更名に拡張子を明記する
同じ名前がある場合	同じ名前のファイル・フォルダが存在する場合の処理を選択する
改名後のデータ参照ID	入力有り: 名前変更後のファイルパスを記憶するデータ参照 ID を定義する 入力無し: データ参照 ID を定義しない

シナリオ例（ファイル・フォルダ名の変更）：

test.txt を test2.md に変更する

1
✕

☰
データの記憶（環境情報）

環境情報: デスクトップ
デスクトップ

2
✕

📄
ファイル・フォルダ名の変更

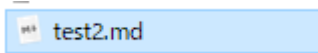
変更対象: デスクトップ \test.txt
 変更名: test2.md, オプション: 上書き, 拡張子の自動付与: しない

📄
test.txt

Page 165

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ファイル・フォルダ名の変更）の実行結果：
test.txt が test2.md へと、ファイル名と拡張子に変更された。



6.9.7. ファイル・フォルダをコピー

ファイルまたはフォルダをコピーするコマンド。

※注意点

1. コピー先に同一ファイルがある場合は上書きされます。
2. コピー先に同一フォルダがある場合は統合及びファイル上書きされます。

ファイル・フォルダをコピー

コピー元

例) C:\Users\...

📁
📄
☰

コピー先

例) C:\Users\...

📁
☰

コピー後のデータ参照ID

data

メモ

【注意1】 コピー先に同一ファイルがある場合は**上書き**されます

【注意2】 コピー先に同一フォルダがある場合は**統合及びファイル上書き**されます。

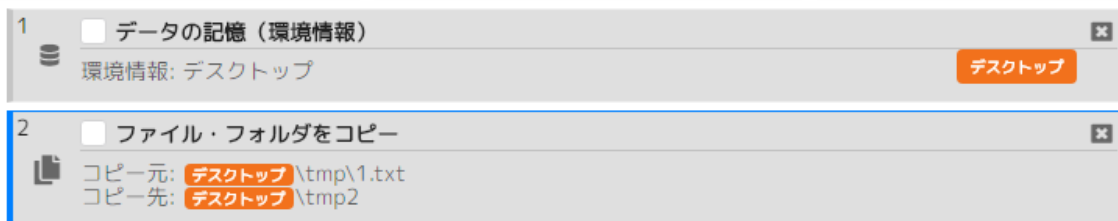
✕ キャンセル

✓ OK

名称	内容
コピー元	コピーしたいファイルまたはフォルダを指定する。
コピー先	コピー元を保存するフォルダを指定する。
コピー後のデータ参照 ID	入力有り：コピー先のパスを記憶するデータ参照 ID を定義する。 入力無し：データ参照 ID を定義しない。

シナリオ例（ファイル・フォルダをコピー）：

ファイルをコピーするシナリオ。



シナリオ例（ファイル・フォルダをコピー）の実行結果：

ファイルがコピーされた。

6.9.8. ファイル・フォルダを削除

ファイルまたはフォルダを削除するコマンド。

削除方法はゴミ箱に移動・完全に削除の2通りある。

※注意点

- ・ネットワーク上のファイルを削除する場合は「完全に削除」しか選択できません。

ファイル・フォルダを削除

削除対象

完全に削除

メモ

【注意】ゴミ箱へ移動しますが、完全に削除にチェックを入れるとPCから**完全削除**されます。

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
削除対象	削除したいファイルまたはフォルダを指定する
完全に削除	チェックなし：削除対象をゴミ箱へ移動する チェックあり：削除対象を完全に削除する

シナリオ例（ファイル・フォルダを削除）：

test.txt をゴミ箱へ移動し、test2.txt を完全に削除するシナリオ。

1 ファイル・フォルダを削除

削除対象: C:\Users\user\Desktop\test.txt
削除方法: ゴミ箱へ移動

2 ファイル・フォルダを削除

削除対象: C:\Users\user\Desktop\test2.txt
削除方法: 完全に削除

シナリオ例（ファイル・フォルダを削除）の実行結果：

test.txt はゴミ箱へ移動され、test2.txt は完全に削除された。



6.9.9. 圧縮・解凍 > ファイル・フォルダを圧縮

ファイルやフォルダを圧縮し、保存先に圧縮ファイル（zip）を作成するコマンド。

作成される zip ファイルの名前は、下記のルールによって決まる：

1. 保存先がフォルダだった場合は、そのフォルダに「<圧縮対象名>.zip」が作成される
2. 保存先が「.zip」拡張子をもつファイル名だった場合は、そのままの名前になる。
3. 保存先が「.zip」拡張子を持たないファイル名だった場合は、「.zip」が付け足される。
4. 保存先が相対パスの場合は、圧縮対象と同フォルダに相対したパスに zip ファイルが作成される。

また、保存先に同名の zip ファイルがすでにあった場合は、圧縮対象ファイル・フォルダは、その既存の zip ファイルに追加される。さらに、その zip ファイルの中に同名のファイルがあった場合は、圧縮パスワードごと上書きする。

ファイル・フォルダを圧縮	
圧縮対象	例) C:\Users\... 📁 📄 ☰
圧縮ファイルの保存先	例) C:\Users\...\output.zip 📁 📄 ☰
パスワード設定方法	パスワード無し ▼
保存先のデータ参照ID	利用しない場合は設定の必要はありません
メモ	
✕ キャンセル ✓ OK	

パスワード設定方法	直接入力 ▼
パスワード	

パスワード設定方法	パスワード参照IDから ▼
パスワード参照ID	パスワード ▼

名称	内容
圧縮対象	圧縮したいファイルまたはフォルダを指定する
圧縮ファイルの保存先	圧縮ファイル (zip) の保存先を指定する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1. パスワード無し 2. 直接入力 3. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される 圧縮対象を解凍する際に必要なパスワードを設定する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する
保存先のデータ参照 ID	圧縮ファイルの保存先の絶対パスを記憶するための データ参照 ID を定義する

6.9.10. 圧縮・解凍 > ファイル・フォルダに解凍

圧縮ファイル（zip）ファイルを指定の場所に解凍するコマンド。

解凍先のフォルダが相対パスの場合は、圧縮ファイルの親フォルダに相対したパスに解凍する。また、解凍先のフォルダが存在しない場合、自動的に作成される。

※注意点

- ・解凍先フォルダを自動的に作成する際に、アクセス権がない場合はエラーになる。

ファイル・フォルダに解凍

圧縮ファイル	例) C:\Users\...\assirobo.zip	📁 ☰
解凍先	例) C:\Users\...	📁 ☰
パスワード設定方法	パスワード無し	▼
解凍先のデータ参照ID	利用しない場合は設定の必要はありません	
メモ		

✕ キャンセル
✓ OK

パスワード設定方法	直接入力	▼
解凍パスワード		

パスワード設定方法	パスワード参照IDから	▼
パスワード参照ID	パスワード	

名称	内容
圧縮ファイル	解凍したい圧縮ファイル（zip）を指定する
解凍先	解凍先のフォルダを指定する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1. パスワード無し 2. 直接入力 3. パスワード参照 ID から
解凍パスワード	直接入力を選択すると表示される 解凍パスワードを指定する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定

	する
解凍先のデータ参照 ID	解凍先の絶対パスを記憶するためのデータ参照 ID を定義する

6.9.11. ファイル名変更(挿入) > 文字

データ参照 ID に記憶したファイル名の先頭または末尾に文字列を追加するコマンド。

ファイル名の表記は

- 先頭に挿入： 文字_記憶しているファイル名
- 末尾に挿入： 記憶しているファイル名_文字

となる。

文字をファイル名に挿入

ファイル参照ID

文字列

挿入位置
 先頭 末尾

改名後にID更新





メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
ファイル参照 ID	ファイルパスを記憶したデータ参照 ID を指定する
文字列	ファイル名の先頭に追加する文字列を指定する
挿入位置	文字を挿入する位置を選択する
改名後に ID 更新	チェックすると対象のファイル参照 ID のファイルパスが改名後のものに更新される

シナリオ例 (名前変更 (挿入) > 文字) :

下図フォルダ内から更新日時が最新のファイルパスを取得して、そのファイル名の先頭に[`test_`]を付けるシナリオ。

名前	更新日時	作成日時
 1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
 2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
 3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
 4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
 5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17

1
✕

最新ファイル・フォルダ名を取得
f-path

検索フォルダ: C:\Users\user\Desktop\test
 取得対象: 更新日時が1番目に新しいファイル

2
✕

文字をファイル名の先頭に

ファイル参照ID: f-path
 文字列: test
 改名後のファイル参照ID更新: あり

シナリオ例（名前変更（挿入）>文字）の実行結果：

更新日時が最新である 2.txt のファイル名が変更された。

名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17
test_2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12

6.9.12. ファイル名変更(挿入) > 日付

記憶したファイル名の先頭または末尾に、日付を追加するコマンド。

ファイル名の表記は

- 先頭に挿入： 年-月-日_記憶したファイル名
- 末尾に挿入： 記憶したファイル名_年-月-日

となる。

日付をファイル名に挿入

ファイル参照ID

挿入位置

先頭
 末尾

改名後にID更新

メモ

※YYYY-MM-DDの日付形式が挿入されます。

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
ファイル参照 ID	ファイルパスを記憶したデータ参照 ID を指定する
挿入位置	文字を挿入する位置を選択する
改名後に ID 更新	チェックすると対象のファイル参照 ID のファイルパスが改名後のものに更新される

シナリオ例（名前変更（挿入）>日付）：

下図フォルダ内から更新日時が最新のファイルパスを取得して、そのファイル名の先頭に日付を付けるシナリオ。

名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17

1 最新ファイル・フォルダ名を取得 ✕

検索フォルダ: C:\Users\user\Desktop\test f-path

取得対象: 更新日時が1番目に新しいファイル

2 日付をファイル名の先頭に ✕

ファイル参照ID: **f-path**

改名後のファイル参照ID更新: なし

シナリオ例（名前変更（挿入）>日付）の実行結果：

更新日時が最新である 2.txt のファイル名が変更された。

名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17
2019-01-28_2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12

6.9.13. ファイル名変更(挿入)>参照 ID

ファイル名の先頭または末尾に、データ参照 ID に記憶した文字を追加するコマンド。

ファイル名の表記は

- 先頭に挿入： データ参照 ID_指定ファイル名
- 末尾に挿入： 指定ファイル名_データ参照 ID

となる。

参照IDをファイル名に挿入

ファイル場所

データ参照ID

挿入位置 先頭 末尾

改名後のデータ参照ID

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ファイル場所	ファイルを指定する。ファイルアイコンからファイルを選択できる。
データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する。
挿入位置	文字を挿入する位置を選択する。
改名後のデータ参照 ID	入力有り：名前変更後のファイルパスを記憶するデータ参照 ID を定義する。 入力無し：データ参照 ID を定義しない。

シナリオ例（名前変更（先頭に挿入）>参照 ID）：

1.txt のファイル名の先頭に、データ参照 ID 「data」 の値「test」を付けるシナリオ。

名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17

1 データの記憶（環境情報）
環境情報: デスクトップ デスクトップ

2 データの記憶（文字）
文字: test data

3 参照IDをファイル名に挿入
ファイル場所: デスクトップ \tmp\1.txt
データ参照ID: data
挿入位置: 先頭

シナリオ例（名前変更（先頭に挿入）>参照 ID）の実行結果：

1.txt のファイル名が変更された。

名前	更新日時	作成日時
2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17
test_1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12

6.10. エクセル



6.10.1. ブック > ブックを開く

エクセルブックを開く。

※注意点

・セル編集状態でエクセルコマンドを実行するとエラーが発生します。セル編集状態を解除して（Esc キーを押す）でコマンドを実行してください。

エクセルブックを開く

ファイル場所	例) C:\Users\...	 
パスワード設定方法	パスワード無し	▼
ウィンドウ最大化	<input checked="" type="checkbox"/>	
エクセル参照ID	エクセル	

[詳細表示]

メモ

【注意】ファイル場所が指定されていない場合、新規ブックを作成します。

パスワード設定方法	直接入力	▼
パスワード	パスワード	

パスワード設定方法	パスワード参照IDから	▼
パスワード参照ID	パスワード	▼

名称	内容
ファイル場所	エクセルファイルを指定する 新規ブックを作成する場合は指定なしにする
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1. パスワード無し 2. 直接入力 3. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される ブックの保護を設定している場合にパスワードを入力する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する

ウィンドウ最大化	エクセルウィンドウを最大化する
エクセル参照 ID	エクセル参照 ID を定義する
リンクの更新	[詳細設定]を選択すると表示される。「外部ソースへのリンクの更新ダイアログ」に対する操作を選択する

6.10.2. ブック > ブックを覚える

既にかかれている状態のエクセルブックを覚えるコマンド。アクティブな (=ウィンドウが選択されている状態の) エクセルブック、または特定のエクセルブックをエクセル参照 ID に紐付ける。

開いているエクセルブックを覚える

覚える対象 [アクティブなブック] ▼

エクセル参照ID エクセル

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

覚える対象 ブック名 ▼

ブック名 Book1 ☰

エクセル参照ID エクセル

メモ

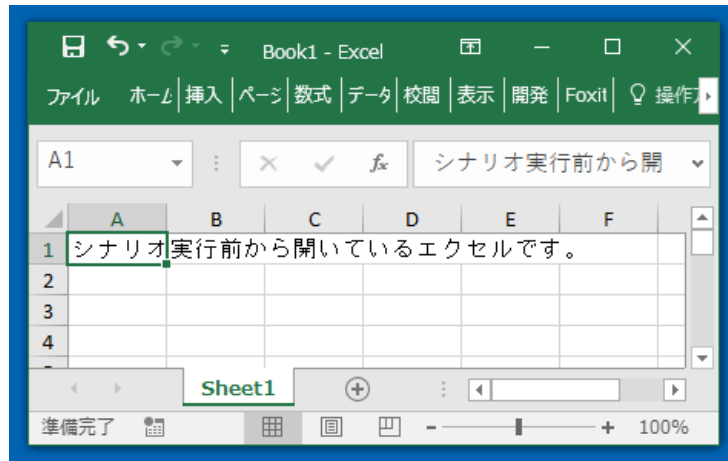
名称	内容
覚える対象	エクセルブックを覚える方法を選択する。選択肢は下記の2つ。 (方法1) アクティブなブックを覚える (方法2) ブック名を指定して覚える
ブック名	覚える方法対象が「ブック名」のときに表示される。 エクセルブックの名前を入力する。
エクセル参照 ID	エクセル参照 ID を定義する。

シナリオ例 (ブック > ブックを覚える (アクティブ)):

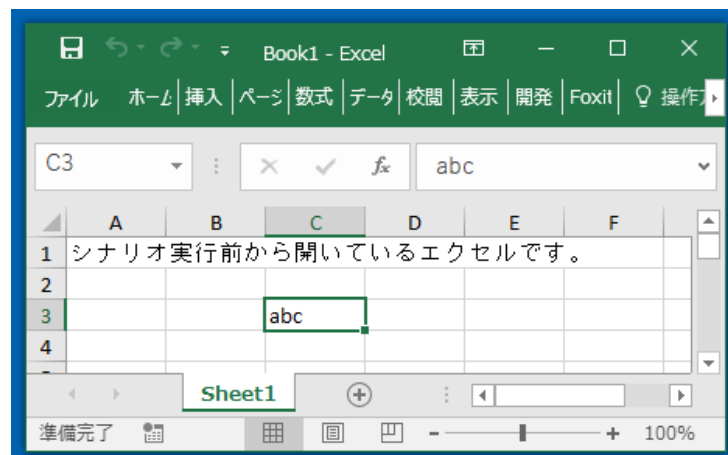
シナリオ実行前から開いているエクセルブックを覚え、C3セルに値を入力する。

1 開いているエクセルブックを覚える
覚える対象: [アクティブなブック] [x] **エクセル**

2 エクセルのセル値を入力
[x] エクセル参照ID: **エクセル**
セル数: 単一セル
指定セル: C3



シナリオ例（ブック > ブックを覚える（アクティブ））の実行結果：

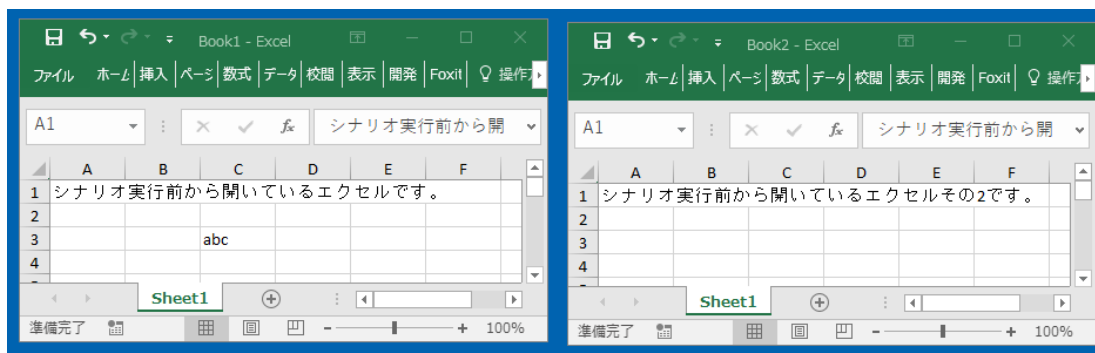


シナリオ例（ブック > ブックを覚える（ブック名））：

シナリオ実行前から開いているエクセルブック「Book2」を覚えて、C3セルに値を入力する。

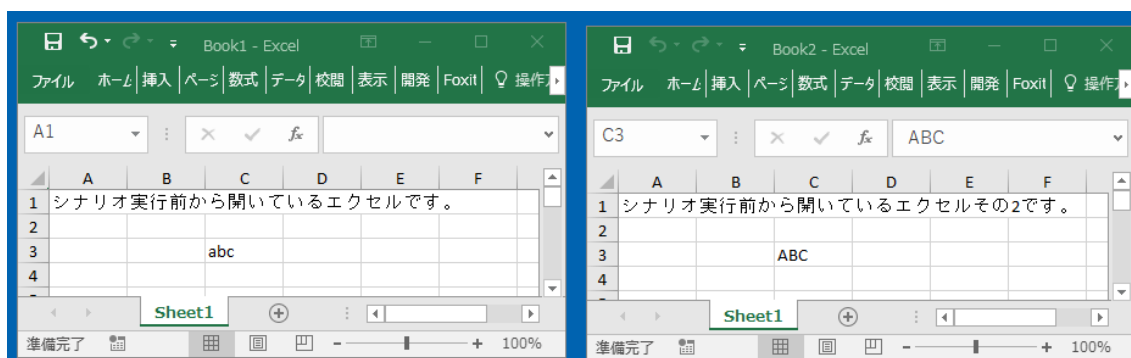
1 開いているエクセルブックを覚える
[x] 覚える対象: ブック名
ブック名: Book2 [x] **エクセル**

2 エクセルのセル値を入力
[x] エクセル参照ID: **エクセル**
セル数: 単一セル
指定セル: C3



シナリオ例（ブック > ブックを覚える（ブック名））の実行結果：

右側の Book2 の C3 セルに文字入力された。



6.10.3. ブック > ブックを保存

エクセルブックを保存する。

エクセルブックを保存

エクセル参照ID

保存ファイル名 📁 ☰

メモ

【注意】 保存ファイル名が指定されていない場合、ユーザのドキュメントフォルダに上書き保存します

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
保存ファイル名	エクセルのファイル名を指定する。指定がない場合はユーザのドキュメントフォルダに Book1.xlsx が上書き保存される。

※保存ファイル名が既存の場合は上書き保存されます。

※保存ファイル名が

「C:¥Users¥user¥Desktop¥」の場合は「C:¥Users¥user¥Desktop¥Book1.xlsx」、

「C:¥Users¥user¥Desktop」の場合は「C:¥Users¥user¥Desktop.xlsx」

と保存されます。

6.10.4. ブック > ブックを閉じる

エクセルブックを閉じる。

エクセルブックを閉じる

エクセル参照ID

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する

6.10.5. シート操作 > 新規作成

エクセルシートを新規作成する。

新規エクセルシート

エクセル参照ID

シート名 ☰

メモ

【注意】シート名が指定されていない場合、エクセルのデフォルトのシート名が適用されます

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
シート名	シート名を定義する。シート名が定義されていない場合、エクセルのデフォルトシート名が適用される。

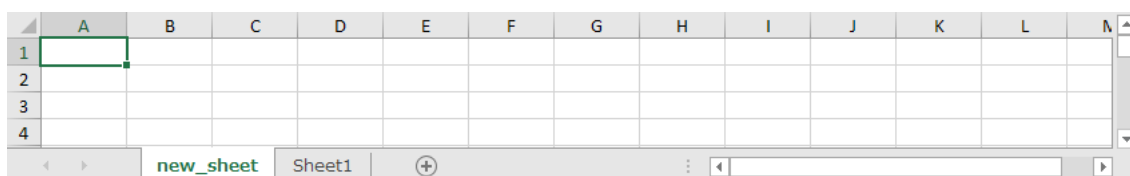
シナリオ例（シート操作 > 新規作成）：

新規エクセルブックを開いてシート「new_sheet」を新規作成するシナリオ。

1 エクセルブックを開く
ファイル場所: excel

2 新規エクセルシート
Excel参照ID: excel
シート名: new_sheet

シナリオ例（シート操作 > 新規作成）の実行結果：



6.10.6. シート操作 > 削除

エクセルシートを削除する。

※注意点

- ・シート名が指定されていない場合、現在使用中のシートが削除されます

Excelシート削除

Excel参照ID

シート名 例) シート名

メモ

【注意】シート名が指定されていない場合、現在使用中のシートが削除されます

キャンセル OK

名称	内容
Excel参照 ID	定義したExcel参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する

シナリオ例（シート操作 > 削除）：

新規シート「new_sheet」作成後にシート「Sheet1」を削除するシナリオ。

※シート削除を目視確認するために待機コマンドを入れています

1	<input type="checkbox"/> エクセルブックを開く	ファイル場所: ウィンドウ最大化: 無し	エクセル
2	<input type="checkbox"/> 新規エクセルシート	エクセル参照ID: エクセル シート名: new_sheet	
3	<input type="checkbox"/> 待機（秒）	待機時間（秒）: 3	
4	<input type="checkbox"/> エクセルシート削除	エクセル参照ID: エクセル シート名: Sheet1	

シナリオ例（シート操作 > 削除）の実行結果：

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2													
3													
4													

6.10.7. シート操作 > 切り替え

エクセルシートを切り替える。

エクセルシート切り替え	
エクセル参照ID	
切り替え方法	シート名
シート名	Sheet1
メモ	
× キャンセル ✓ OK	

エクセル参照ID	
切り替え方法	次のシート
メモ	

エクセル参照ID	
切り替え方法	何番目のシート
何番目	1

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
切り替え方法	シートを切り替える方法を指定する
シート名	シート名を指定する 切り替え方法で「シート名」を選択したときに表示される
何番目	何番目を指定する 切り替え方法で「何番目のシート」を選択したときに表示される

シナリオ例（シート操作 > 切り替え）：

新規シート「new_sheet」作成後にシート「Sheet1」に切り替えるシナリオ。

1 エクセルブックを開く (新規ブックを作成) x
 x ファイル場所: エクセル
 ウィンドウ最大化: 無し
 パスワード:

2 新規エクセルシート (new_sheet を作成) x
 x エクセル参照ID: エクセル
 シート名: new_sheet

3 エクセルシート切り替え (Sheet1へ切り替える) x
 x エクセル参照ID: エクセル
 切り替え方法: シート名, シート名: Sheet1

シナリオ例（シート操作 > 切り替え）の実行結果：

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2													
3													
4													

new_sheet Sheet1

6.10.8. シート操作 > 移動・コピー

エクセルシートを移動またはコピーする。

エクセルシート移動・コピー

エクセル参照ID

シート名

☰

挿入先
 シート名
 頭
 末尾

挿入先シート名

☰

コピー

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する
挿入先	シートの移動先を選択する
挿入先シート名	挿入先のシート名を入力する
コピー	チェック有り：シートをコピーする チェック無し：シートを移動する

シナリオ例（シート操作 > 移動・コピー）：

新規シート「new_sheet」作成後、「new_sheet」を末尾にコピーして、シート名「copy_sheet」を作成するシナリオ。

1
☐ エクセルブックを開く (新規エクセルを開く)
✕

📄 ファイル場所:
 ウィンドウ最大化: 無し
 パスワード: 🔒

エクセル

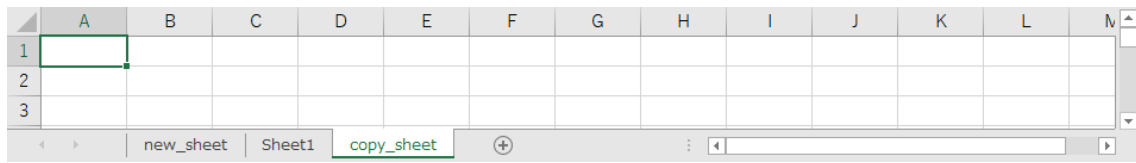
2
☐ 新規エクセルシート (シート「new sheet」を新規作成)
✕

📄 エクセル参照ID: **エクセル**
 シート名: new_sheet

3
☐ エクセルシート移動・コピー (new_sheetを末尾にコピー※シート名: copy_sheet)
✕

📄 エクセル参照ID: **エクセル**
 対象シート名: new_sheet, 挿入先: 末尾, 操作: コピー
 コピー後のシート名: copy_sheet

シナリオ例（シート操作 > 移動・コピー）の実行結果：



6.10.9. シート操作 > 名前取得

エクセルのシート名を取得する。

エクセルシート名取得

エクセル参照ID

データ参照ID

メモ

※選択されているシートの名前を取得します。

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

6.10.10. シート操作 > 名前変更

エクセルシートの名前を変更する。

エクセルシート名変更

エクセル参照ID

変更対象シート名

☰

変更名

☰

メモ

【注意】 変更対象シート名が指定されていない場合、実行時に選択されているシートが適用されます

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
変更対象シート名	名前変更したいシート名を入力する
変更名	シートの新しい名前を入力する

シナリオ例（シート操作 > 名前変更）：

現在のシートと指定シートの名前を変更するシナリオ。

1 エクセルブックを開く (新規エクセルを開く) ✕
 ファイル場所: 📁
 ウィンドウ最大化: 無し 📄
 パスワード: 🔑 エクセル

2 エクセルシート名変更 (現在のシートを「rename1」に変更) ✕
 エクセル参照ID: エクセル
 変更対象シート名: , 変更名: rename1

3 新規エクセルシート (シート「new sheet」を新規作成) ✕
 エクセル参照ID: エクセル
 シート名: new sheet

4 エクセルシート名変更 (シート「new sheet」を「rename2」へ名前変更) ✕
 エクセル参照ID: エクセル
 変更対象シート名: new sheet, 変更名: rename2

シナリオ例（シート操作 > 名前変更）の実行結果：

Excel spreadsheet showing columns A-J and rows 1-3. The active sheet is 'rename1'.

6.10.11. セル操作 > 範囲指定

エクセルで範囲を指定する。

エクセル範囲指定

エクセル参照ID

選択範囲
☰

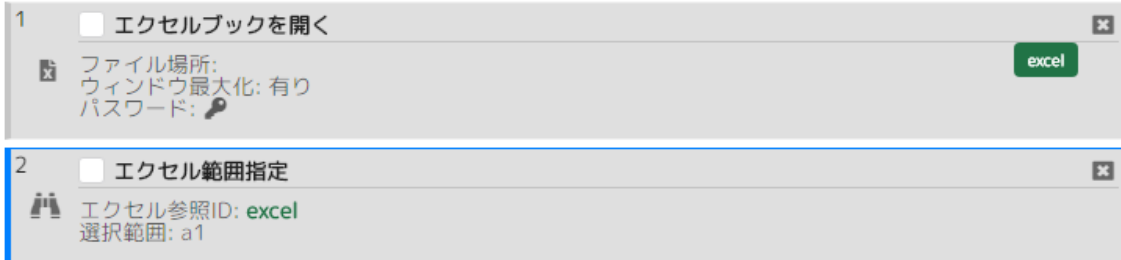
メモ

✕ キャンセル
✓ OK

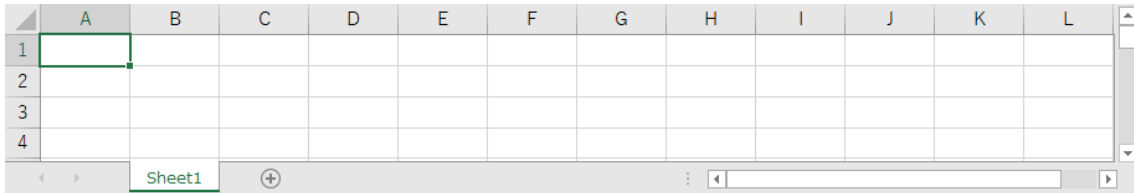
名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
選択範囲	1つ、もしくは2つのセル行列番号を指定する

シナリオ例 1 (セル操作 > 範囲指定) :

新規エクセルを開いて A1 を選択するシナリオ。

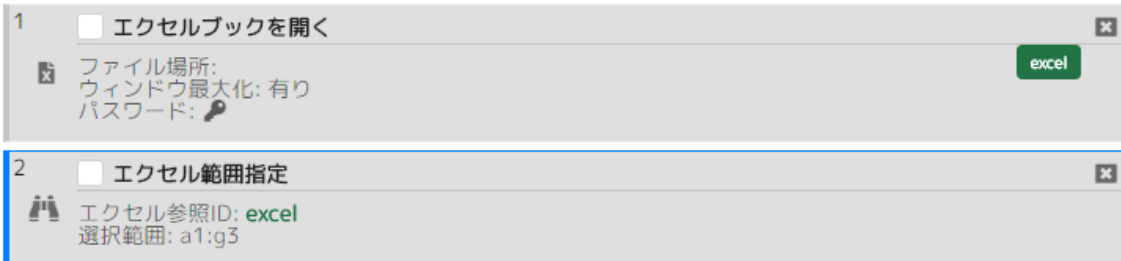


シナリオ例 1 (セル操作 > 範囲指定) の実行結果 :

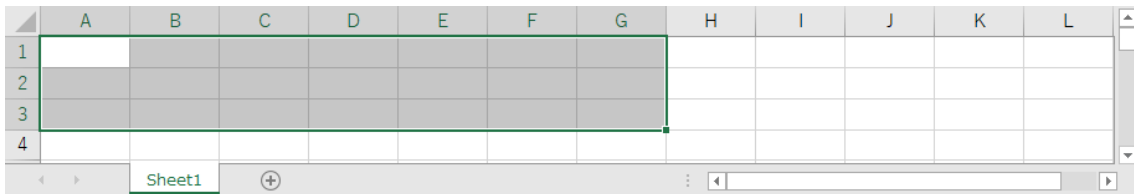


シナリオ例 2 (セル操作 > 範囲指定) :

新規エクセルを開いて A1:G3 を選択するシナリオ。



シナリオ例 2 (セル操作 > 範囲指定) の実行結果 :



6.10.12. セル操作 > 指定範囲の移動

エクセルで指定した範囲を移動する。

エクセル指定範囲の移動

エクセル参照ID

選択範囲移動（横） 0

選択範囲移動（縦） 0

メモ

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
選択範囲移動（横）	横移動する数値を指定する。
選択範囲移動（縦）	縦移動する数値を指定する

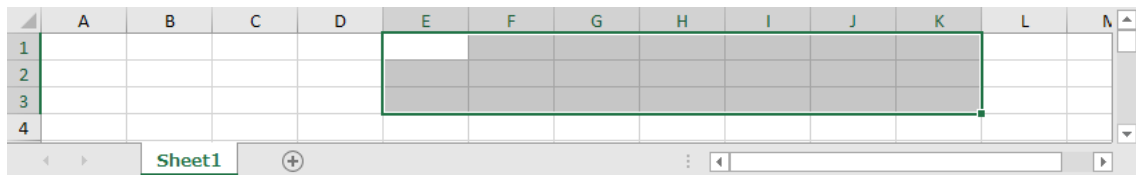
シナリオ例（セル操作 > 指定範囲の移動）：

新規エクセルブックを開き、選択範囲（A1:G3）を右に4つ移動するシナリオ。

The screenshot shows a list of three scenarios:

- 1** エクセルブックを開く
ファイル場所: エクセル
- 2** エクセル範囲指定
Excel参照ID: エクセル
選択範囲: a1:g3
- 3** エクセル範囲指定の移動
Excel参照ID: エクセル
移動: 4, 0

シナリオ例（セル操作 > 指定範囲の移動）の実行結果：



6.10.13. セル操作 > 指定範囲の削除

エクセルで指定した範囲を削除する。

エクセル指定範囲を削除

エクセル参照ID

指定範囲 ☰

シフト方向 上方向 左方向 行全体を削除 列全体を削除

メモ

【注意】 指定セル欄が未入力の場合、実行時に選択されている範囲が適用されます

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
指定範囲	2つのセル行列番号を指定する
シフト方向	削除後に残ったセルを詰める方向（上・左） または削除範囲（行・列）を指定する

シナリオ例（セル操作 > 指定範囲の削除）：

新規エクセルブックに文字を入力し、選択範囲（A1:B2）を削除（上方向にシフト）する。

	A	B	C
1	a	b	c
2	d	e	f
3	g	h	i

1 エクセルブックを開く ✕

📄 ファイル場所:
ウィンドウ最大化: 無し エクセル

2 エクセルのセル値を入力 ✕

📄 エクセル参照ID: **エクセル**
セル数: 複数セル (タブ・改行区切り)
指定セル: a1

3 エクセル指定範囲を削除 ✕

📄 エクセル参照ID: **エクセル**
指定範囲: a1:b2
シフト方向: 上方向

※入力値の空白（ab 間、bc 間など）はタブです

エクセルのセル値を入力

エクセル参照ID エクセル ▼

入力値

```
a   b   c
d   e   f
g   h   i
```

☰

セル数 単一セル 複数セル (タブ・改行区切り)

指定セル a1 ☰

シナリオ例（セル操作 > 指定範囲の削除）の実行結果：

A1:B2 が削除され、A1:B2 の下にあった g と h が上方向に移動(シフト)した。

	A	B	C
1	g	h	c
2			f
3			i

6.10.14. セル操作 > 指定範囲にセルを挿入

指定範囲した箇所にセルを挿入する。

エクセル指定範囲にセルを挿入

エクセル参照ID

挿入指定範囲 例) A2:C10

シフト方向 右方向 下方向 行を挿入 列を挿入

メモ

【注意】 指定セル欄が未入力の場合、実行時に選択されている範囲が適用されます

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
挿入指定範囲	2つのセル行列番号を指定する
シフト方向	挿入時にセルを詰める方向（右・下） または挿入方向（行・列）を指定する

シナリオ例（セル操作 > 指定範囲にセルを挿入・右にシフト）：

値を入力したエクセルの A1:B2 にセルを挿入（右シフト）する。

※セル値を入力コマンドは [6.10.12](#) を参照してください

1 エクセルブックを開く

ファイル場所:
ウィンドウ最大化: 無し

2 エクセルのセル値を入力

エクセル参照ID: **エクセル**
セル数: 複数セル (タブ・改行区切り)
指定セル: a1

3 エクセル指定範囲にセルを挿入

エクセル参照ID: **エクセル**
挿入指定範囲: a1:b2
シフト方向: 右方向

シナリオ例（セル操作 > 指定範囲にセルを挿入・右にシフト）の実行結果：

	A	B	C	D	E	F
1			a	b	c	
2			d	e	f	
3	g	h	i			
4						
5						
6						

シナリオ例（セル操作 > 指定範囲にセルを挿入・列挿入）：

値を入力したエクセルにセル列 B（B1:B1）を挿入する。

- エクセルブックを開く
ファイル場所: エクセル
ウィンドウ最大化: 無し
- エクセルのセル値を入力
Excel参照ID: エクセル
セル数: 複数セル (タブ・改行区切り)
指定セル: a1
- エクセル指定範囲にセルを挿入
Excel参照ID: エクセル
挿入指定範囲: b1:b1
シフト方向: 列を挿入

シナリオ例（セル操作 > 指定範囲にセルを挿入・列挿入）の実行結果：

	A	B	C	D	E	F
1	a		b	c		
2	d		e	f		
3	g		h	i		
4						
5						
6						

6.10.15. セル操作 > 値を取得

セルの値または数式を取得し、データ参照 ID に記憶する。

エクセルのセル値を取得

エクセル参照ID	エクセル
指定セル	例) A1
内容	表示通りの値
データ参照ID	データ
メモ	

【注意】 指定セル欄が未入力の場合、実行時に指定されている範囲内にある左上のセルが適用されます。
【ヒント】 セル内の改行を取り除く方法
セル内が数値ではなく文字列で、改行が含まれる場合は【文字抽出→改行・空白を削除】コマンドを使い改行を取り除いて下さい。

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
指定セル	セルの行列番号を指定する
内容	取得したいセルの内容を選択する（補足事項あり）
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

補足事項

項目「内容」の各選択肢の詳細について下記に示す。

選択肢	内容
表示通りの値	表示通りの値を取得する
値	書式なしの値を取得する
数式	数式を取得する

例えば、下図のようなセルの場合、各選択肢は下表のように値を取得する。

A1		=100+10			
	A	B	C	D	E
1	¥110				
2					

選択肢	取得値
表示通りの値	¥110
値	110
数式	=100+10

シナリオ例（セル操作 > 値を取得）：

4test_scenario.xlsx から A3 セルの値を取得し、メモ帳に入力するシナリオ。

The image shows a spreadsheet with the following content:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	This	is	a							
2	t	e	s	t						
3	data	.								

Below the spreadsheet is a scenario configuration window with the following steps:

- データの記憶（環境情報）
環境情報: デスクトップ デスクトップ
- エクセルブックを開く
ファイル場所: デスクトップ \tmp\4test_scenario.xlsx エクセル
ウィンドウ最大化: 無し
パスワード:
- エクセルのセル値を取得
エクセル参照ID: エクセル データ
指定セル: a3
- アプリ起動
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0.5
ウィンドウ最大化: 無し
- キーボード入力（貼り付け）
文字: データ
Enter: 無し

シナリオ例（セル操作 > 値を取得）の実行結果：

The image shows the same spreadsheet as above, and a Notepad window titled '*Untitled - Notepad' with the following content:

```
File Edit Format View Help
data
```


シナリオ例 2 (セル操作 > 値を取得) :

4test_scenario.xlsx から C7 セルの数式を取得して表示するシナリオ。

1 データの記憶 (環境情報) x
環境情報: デスクトップ デスクトップ

2 エクセルブックを開く x
ファイル場所: デスクトップ \4test_scenario.xlsx エクセル
ウィンドウ最大化: 無し
外部ソースへのリンクを更新しない
パスワード:

3 エクセルのセル値を取得 x
エクセル参照ID: エクセル データ
指定セル: C7 (数式)

4 続行確認 x
? 表示内容: データ

シナリオ例 2 (セル操作 > 値を取得) の実行結果 :

	A	B	C	D
1	This	is	a	
2	t	e	s	t
3	data	.		
4				
5		1	4	4
6		2	5	10
7		3	6	18
8				

おじどうさん

=A7*B7

はい(Y)

いいえ(N)

6.10.16. セル操作 > 値を入力

任意のセルに値を入力する。

エクセルのセル値を入力

エクセル参照ID

入力値

セル数 単一セル 複数セル (タブ・改行区切り)

指定セル

メモ

【注意】 指定セル欄が未入力の場合は、実行時の選択範囲に適用されます

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
入力値	入力する値
セル数	入力するセルの数を指定する
指定セル	セルの行列番号を指定する

シナリオ例（セル操作 > 値を入力）：

タブで区切った以下の内容を複数セルに入力するシナリオ。

氏名	電話番号	所属
太郎	080-1234-5678	株式会社テスト

1 Excelブックを開く
ファイル場所: excel

2 Excelのセル値を入力
Excel参照ID: excel
セル数: 複数セル (タブ・改行区切り)
指定セル: a1

シナリオ例（セル操作 > 値を入力）の実行結果：

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	氏名	電話番号	所属							
2	太郎	080-1234-	株式会社テスト							
3										

6.10.17. セル操作 > セルをコピー

セルをクリップボードにコピーする。

Excelのセルをコピー

Excel参照ID

コピー範囲

メモ

【注意】コピー範囲欄が未入力の場合は、実行時の選択されているセルに適用されます

キャンセル OK

名称	内容
Excel参照 ID	定義したExcel参照 ID を指定する
コピー範囲	コピーする範囲を指定する。指定されていない場合、実行時の選択されているセルに適用される。

シナリオ例（セル操作 > セルをコピー）：

4test_scenario.xlsx から A1:D3 をコピーし、F1 セルとメモ帳に貼り付けるシナリオ。

The screenshot shows a macro editor with the following steps:

- 1 データの記憶（環境情報）
環境情報: デスクトップ
- 2 エクセルブックを開く
ファイル場所: デスクトップ \tmp\4test_scenario.xlsx
ウィンドウ最大化: 無し
パスワード:
- 3 エクセルのセルをコピー
Excel参照ID: エクセル
コピー範囲: a1:d3
- 4 エクセル範囲指定 (F1セルへ移動)
Excel参照ID: エクセル
選択範囲: f1:f1
- 5 ショートカットキーを入力 (セルを貼り付け)
ショートカット: ctrl+v
- 6 アプリ起動
アプリの場所: notepad
待機時間(秒): 0.5
ウィンドウ最大化: 無し
- 7 ショートカットキーを入力 (セルを貼り付け)
ショートカット: ctrl+v

シナリオ例（セル操作 > セルをコピー）の実行結果：

The screenshot shows the execution result of the macro. The Excel spreadsheet shows the data from cells A1:D3 copied to cells F1:I3. The Notepad window shows the copied text:

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	This	is	a		This	is	a		
2	t	e	s	t	t	e	s	t	
3	data	.			data	.			

```
*Untitled - Notepad
File Edit Format View Help
This is a
t e s t
data .
```

6.10.18. セル操作 > セルを貼り付け

任意の場所にセルを貼り付ける。

エクセルのセルを貼り付け

エクセル参照ID

貼り付け先セル
例) A2
☰

貼り付けオプション
貼り付け
▼

メモ

【注意】 貼り付け先セル欄が未入力の場合は、実行時に選択されているセルに貼り付けます

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
貼り付け先セル	貼り付ける先のセルの行列番号を指定する 指定なしの場合は、実行時に選択されているセルに貼り付ける
貼り付けオプション	貼り付けの方法を選択する

シナリオ例（セル操作 > セルを貼り付け）：

4test_scenario.xlsx から A1:D3 をコピーし、F1 セルに貼り付けるシナリオ。

1
 データの記憶（環境情報）
 デスクトップ

2
 エクセルブックを開く
 エクセル

3
 エクセルのセルをコピー
 ✕

4
 エクセルのセルを貼り付け
 ✕

シナリオ例（セル操作 > セルを貼り付け）の実行結果：

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	This	is	a			This	is	a		
2	t	e	s	t		t	e	s	t	
3	data	.				data	.			

6.10.19. セル操作 > 位置を取得

現在のセルの位置をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。

エクセルのセル位置を取得

エクセル参照ID

位置記憶方法 通常 行列分割

データ参照ID データ

メモ

× キャンセル

位置記憶方法 通常 行列分割

データ参照ID (列) データ1

データ参照ID (行) データ2

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
位置記憶方法	セルの位置を記憶する方法を選択する。
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する。 位置記憶方法「通常」のときに表示される。
データ参照 ID (列)	セルの列情報を記憶するデータ参照 ID を定義する。 位置記憶方法「行列分割」のときに表示される。
データ参照 ID (行)	セルの行情報を記憶するデータ参照 ID を定義する。 位置記憶方法「行列分割」のときに表示される。

シナリオ例（セル操作 > セルを貼り付け）：

現在のセルの位置を取得し、メモ帳に貼り付けるシナリオ。

1 エクセルブックを開く ✕
📁 ファイル場所:
🖱️ ウィンドウ最大化: 有り
🔑 パスワード:
エクセル

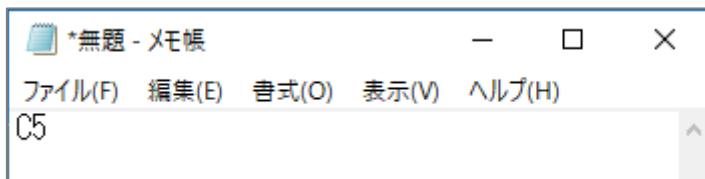
2 マウス移動（座標） ✕
🖱️ X（横）: 217 Y（縦）: 321
🖱️ 移動後のクリック: シングル

3 エクセルのセル位置を取得 ✕
📄 エクセル参照ID: エクセル データ

4 アプリ起動 ✕
📁 アプリの場所: notepad
🕒 待機時間（秒）: 1
🖱️ ウィンドウ最大化: 無し

5 キーボード入力（文字） ✕
🗣️ 文字: データ
🗣️ Enter: 無し

シナリオ例（セル操作 > セルを貼り付け）の実行結果：



6.10.20. セル操作 > 最終行取得

指定列またはシート全体の最終行を取得するコマンド。

※指定列またはシート全体に値がない場合も、データ参照 ID には 1 が記憶される。

エクセル最終行取得

エクセル参照ID

対象 列指定 シート全体

列名 例) A

データ参照ID 最終行

メモ

【注意】列名欄が未入力の場合は、実行時に選択中のセルの列が対象になります。
対象を「シート全体」にした場合、実行時のシートが対象になります。

対象 列指定 シート全体

データ参照ID 最終行

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
対象	最終行を取得する列もしくはシート全体を指定する
列名	最終行を取得する列名を指定する。
データ参照 ID	最終行を記憶するデータ参照 ID を定義する。

6.10.21. セル操作 > 最終列取得

指定行またはシート全体の最終列を取得するコマンド。

※指定行またはシート全体に値がない場合も、データ参照 ID には「A」が記憶される。

エクセル最終列取得

エクセル参照ID	
対象	<input checked="" type="radio"/> 行指定 <input type="radio"/> シート全体
行番号	例) 1 ☰
データ参照ID	最終列
メモ	

【注意】 行番号欄が未入力の場合は、実行時に選択中のセルの行が対象になります。
対象を「シート全体」にした場合、実行時のシートが対象になります。

✕ キャンセル ✓ OK

対象	<input type="radio"/> 行指定 <input checked="" type="radio"/> シート全体
データ参照ID	最終列

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
対象	最終列を取得する行もしくはシート全体を指定する
行番号	最終列を取得する行番号を指定する
データ参照 ID	最終列を記憶するデータ参照 ID を定義する

シナリオ例（セル操作 > 最終行取得）：

下記のシートの A 列の最終行を取得するシナリオ。

1 エクセルブックを開く ✕
 ファイル場所: Book1.xlsx エクセル
 ウィンドウ最大化: 有り
 パスワード:

2 エクセル最終行取得 ✕
 エクセル参照ID: エクセル A列の最終行
 列指定: A

3 アプリ起動 ✕
 アプリの場所: notepad
 待機時間 (秒): 3
 ウィンドウ最大化: 無し

4 キーボード入力 (貼り付け) ✕
 文字: A列の最終行: A列の最終行
 Enter: 無し

	A	B	C	D
1	ID	Email	住所	備考
2	1	test1@example.com	東京都	
3	2	test2@example.com	神奈川県	
4	3	test3@example.com		
5	4	test4@example.com	静岡県	
6	5	test5@example.com		
7	6	test6@example.com	北海道	
8	7	test7@example.com		
9	8		福岡県	
10	9	test9@example.com	千葉県	
11	10	test10@example.com		

シナリオ例（セル操作 > セルを貼り付け）の実行結果：

*無題 - Notepad

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

A列の最終行: 11

6.10.22. セル操作 > 最終列取得

指定行またはシート全体の最終列を取得するコマンド。

※指定行またはシート全体に値がない場合も、データ参照 ID には「A」が記憶される。

エクセル最終列取得

エクセル参照ID

対象 行指定 シート全体

行番号 例) 1

データ参照ID 最終列

メモ

【注意】行番号欄が未入力の場合は、実行時に選択中のセルの行が対象になります。
対象を「シート全体」にした場合、実行時のシートが対象になります。

対象 行指定 シート全体

データ参照ID 最終列

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
対象	最終列を取得する行もしくはシート全体を指定する
行番号	最終列を取得する行番号を指定する
データ参照 ID	最終列を記憶するデータ参照 ID を定義する

6.10.23. セル操作 > 列計算

エクセルの列の計算を行うコマンド。

エクセルの列を計算

基準列	例) A	☰
演算子	+	▼
列数	例) 1	☰
データ参照ID	計算列	
メモ		

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
基準列	基準となる列を指定する
演算子	加算または減算記号を選択する
列数	基準列からの差分となる列数を指定する
データ参照ID	計算した列名を記憶するデータ参照IDを定義する

シナリオ例（エクセル列計算）：

Z列に2列足した列を計算してメモ帳に出力するシナリオ

1 アプリ起動
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し

2 エクセルの列を計算
計算列: Z + 2 計算列

3 キーボード入力 (文字)
文字: Z列から2列目は計算列列です
Enter: 無し

シナリオ例（エクセル列計算）の実行結果：

*無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
Z列から2列目はAB列です

6.10.24. セル操作 > マクロ実行

指定のマクロを実行するコマンド。

エクセルマクロ実行

エクセル参照ID

マクロ名

[詳細非表示]

引数 +

値

データ参照ID (戻り値) 例) データ

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
マクロ名	マクロを指定する
引数	マクロ実行時の引数を指定する
値	引数の値を指定する
データ参照 ID (戻り値)	マクロの実行結果を格納するデータ参照 ID を指定する

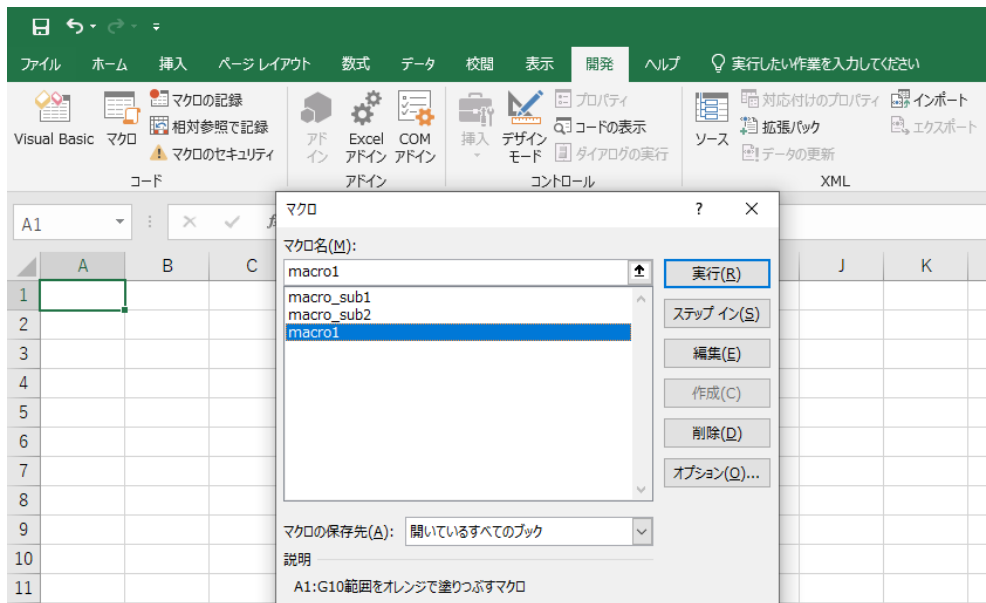
注意事項

- 引数は上から順に第 1 引数、第 2 引数、第 3 引数、、となる
- 引数を空欄で指定すると、マクロには空文字として渡される
- マクロへ渡す引数はすべて文字列 (String 型) として渡される
- マクロの戻り値はすべて文字列 (String 型) へ変換される

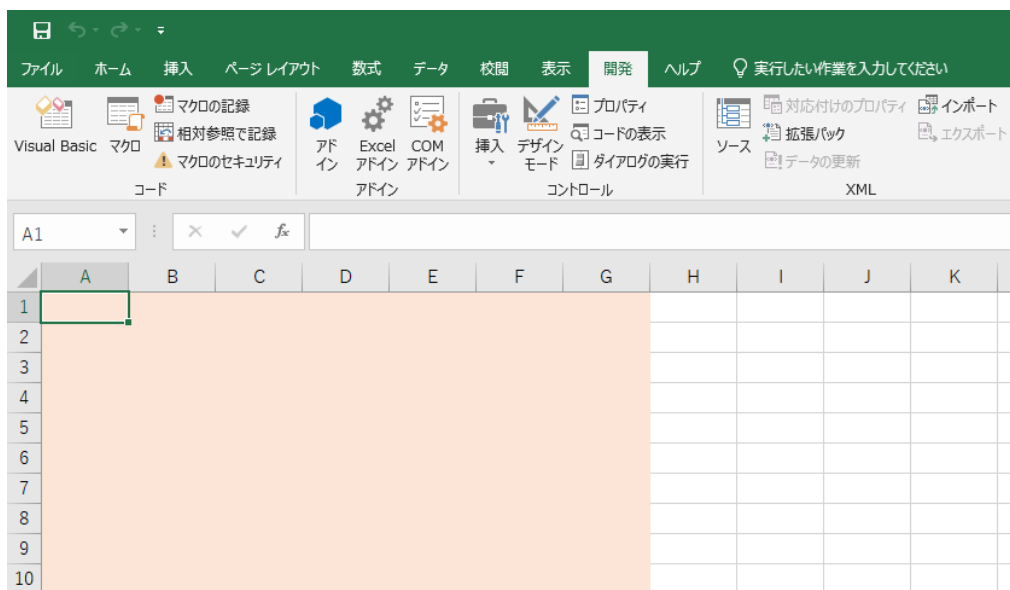
シナリオ例（セル操作 > マクロ実行）：

下記のエクセルのマクロ「macro1」を実行するシナリオ。

macro1 は A1:G10 範囲をオレンジで塗りつぶすマクロとする。



シナリオ例（セル操作 > マクロ実行）の実行結果：



6.10.25. セル操作 > 行ループ

指定の開始セル位置から指定の終了条件になるまで下方向へループするコマンド。ループするたびにセルが下方向へ移動し、セルの行番号と値を各データ参照 ID に記憶する。

エクセル行ループ

エクセル参照ID
エクセル

開始セル
A1
☰

終了条件

 指定行まで
 指定セル値まで
 指定回数
 無限

行番号
1
☰

データ参照ID (行番号)
行番号

データ参照ID (セル値)
セル値

[詳細非表示]

セル値取得オプション
表示通りの値

メモ

【注意】 開始セル欄が未入力の場合、実行時に選択されている範囲からループが開始されます。

✕ キャンセル
✓ OK

終了条件

 指定行まで
 指定セル値まで
 指定回数
 無限

指定セル値

☰

終了条件

 指定行まで
 指定セル値まで
 指定回数
 無限

回数
1
☰

終了条件

 指定行まで
 指定セル値まで
 指定回数
 無限

データ参照ID (行番号)
行番号

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
開始セル	ループの開始セルを指定する
終了条件	ループの終了条件を選択する
行番号	ループを終了する行番号を指定する 終了条件「指定行まで」のときに表示される
指定セル値	ループを終了するセル値を指定する 終了条件「指定セル値」のときに表示される

名称	内容
回数	ループ回数を指定する 終了条件「指定回数」のときに表示される
データ参照 ID (行番号)	セルの行番号を記憶するデータ参照 ID を定義する。 ループするたび、選択されているセルの行番号で更新される。
データ参照 ID (セル値)	セル値を記憶するデータ参照 ID を定義する。 ループするたびに、選択されているセル値で更新される。
セル値取得オプション	セル値を取得するオプションを選択する。各選択肢の挙動の違いについては こちらの補足事項 を参照ください。

6.10.26. セル操作 > 列ループ

指定の開始セル位置から指定の終了条件になるまで右方向にループするコマンド。ループするたびにセルが右方向へ移動し、セルの列名と値を各データ参照 ID に記憶する。

エクセル列ループ

エクセル参照ID エクセル

開始セル A1

終了条件
 指定列まで
 指定セル値まで
 指定回数
 無限

列名 A

データ参照ID (列名) 列名

データ参照ID (セル値) セル値

[詳細非表示]

セル値取得オプション 表示通りの値

メモ

【注意】 開始セル欄が未入力の場合、実行時に選択されている範囲からループが開始されます。

✕ キャンセル
✓ OK

終了条件
 指定行まで
 指定セル値まで
 指定回数
 無限

指定セル値

終了条件
 指定行まで
 指定セル値まで
 指定回数
 無限

回数 1

終了条件 <input type="radio"/> 指定行まで <input type="radio"/> 指定セル値まで <input type="radio"/> 指定回数 <input checked="" type="radio"/> 無限	
名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
開始セル	ループの開始セルを指定する
終了条件	ループの終了条件を選択する
列名	ループを終了する列名を指定する
指定セル値	ループを終了するセル値を指定する
回数	ループ回数を指定する
データ参照 ID (列名)	セルの列名を記憶するデータ参照 ID を定義する。 ループの度に選択されているセルの列名で更新される。
データ参照 ID (セル値)	セル値を記憶するデータ参照 ID を定義する。 ループの度に選択されているセル値で更新される。
セル値取得オプション	セル値を取得するオプションを選択する。各選択肢の挙動の違いについては こちらの補足事項 を参照ください。

6.10.27. CSV 読込ループ

CSV ファイルを読み込み、最後の行まで 1 行ずつ繰り返すコマンド。
指定した列番号の値をデータ参照 ID に記憶する。

CSV読込ループ

CSVファイル場所
例) C:\Users\...
D
☰

先頭行を除く

列番号とデータ参照ID +

列番号 1	データ参照ID CSV1
---	--

メモ

× キャンセル
✓ OK

名称	内容
CSV ファイル場所	CSV ファイルパスを指定する
先頭行を除く	チェックなし：1 行目を読み込む チェックあり：1 行目の読み込みをスキップする
列番号とデータ参照 ID	列番号：CSV から読み込みたい列番号を指定する データ参照 ID：データ参照 ID を定義する

シナリオ例（CSV 読込ループ）：


CSV ファイルから Email, Name, User Id を読み込み、メモ帳に入力する。

A	B	C	D
Email	Name	Country	User Id
Charlotte@carey.tv	Otho	Turkmenistan	1
Mack@coty.org	Lewis	Guinea	2
Roger@zakary.org	Orland	Kyrgyzstan	3
Mckenzie@kenyatta.tv	Murphy	Cyprus	4
Vivienne_Kunde@casimer.me	Delilah	Eritrea	5


The screenshot displays a workflow configuration interface with the following steps:


- 1 アプリ起動**
 - アプリの場所: notepad
 - 待機時間 (秒): 0
 - ウィンドウ最大化: 無し
- 2 データの記憶 (環境情報)**
 - 環境情報: デスクトップ (desktop)
- 3 CSV読込ループ**
 - CSVファイル場所: desktop \tmp\csv_test_data.csv
 - 先頭行を除く: 有り
 - 抽出された列: Email, Name, UID
- 4 キーボード入力 (文字)**
 - 文字: 名前: Name User ID: UID Email: Email
 - Enter: 有り

CSV読み込みループ

CSVファイル場所  

先頭行を除く

列番号とデータ参照ID 

列番号	<input type="text" value="1"/>	データ参照ID	<input type="text" value="Email"/>	
列番号	<input type="text" value="2"/>	データ参照ID	<input type="text" value="Name"/>	
列番号	<input type="text" value="4"/>	データ参照ID	<input type="text" value="UID"/>	

キーボード入力 (文字)

文字  

名前: \${Name}
User ID: \${UID}
Email: \${Email}

入力後に「Enter」

シナリオ例 (CSV 読み込みループ) の実行結果:

※User Id は 001, 002, … の表示が正しいです

エクセルで開くと先頭の 0 が自動的に非表示にされます

```

*無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
名前: Otho
User ID: 001
Email: Charlotte@carey.tv

名前: Lewis
User ID: 002
Email: Mack@coty.org

名前: Orland
User ID: 003
Email: Roger@zakary.org

名前: Murphy
User ID: 004
Email: Mckenzie@kenyatta.tv

名前: Delilah
User ID: 005
Email: Vivienne_Kunde@casimer.me

```

6.11. スプレッドシート

※注意点

- スプレッドシートコマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要です。
- スプレッドシートコマンドの動作は画面には表示されません。
動作を目視確認するにはブラウザ（Google Chrome や Microsoft Edge など）でスプレッドシートを開く必要があります。
- スプレッドシートへの変更は自動的に Google ドライブへ保存されます。
- Google スプレッドシート、Google ドライブの仕様変更によりコマンドの挙動が変わる可能性があります。
- Google スプレッドシートの仕様により、スプレッドシートコマンドには短期間に実行できる回数に制限があります。回数制限によりエラーとなる場合には、スプレッドシートコマンドの後に「待機」コマンドで 1 分待機すると改善する場合があります。

6.11.1. スプレッドシート > 作成

スプレッドシートを作成する。作成されたスプレッドシートは自動的に Google ドライブに保存される。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。

スプレッドシートを作成

Googleアカウント	OAuth2アカウント登録済みのGoogleアカウントを入力
スプレッドシート名	例) スプレッドシート名 ☰
スプレッドシート参照ID	スプレッドシート
メモ	

【注意】 シナリオ一覧画面のメニュー「OAuth2アカウント管理」にて、Google SpreadsheetアカウントのOAuth2登録が必要です。
【メモ】 スプレッドシートはGoogle Driveの最上位フォルダに作成されます。

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
Google アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Google アカウントを入力する
スプレッドシート名	作成するスプレッドシート名を入力する
スプレッドシート参照 ID	スプレッドシート参照 ID を定義する

6.11.2. スプレッドシート > 読み込む

Google ドライブにあるスプレッドシートを読み込むコマンド。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。

スプレッドシートを読み込む

Googleアカウント	OAuth2アカウント登録済みのGoogleアカウントを入力
指定方法	URL
URL	例) https://docs.google.com/spreadsheets/d/1k0wgu.../edit#gid=0
スプレッドシート参照ID	スプレッドシート
メモ	

【注意】 シナリオ一覧画面のメニュー「OAuth2アカウント管理」にて、Google SpreadsheetアカウントのOAuth2登録が必要です。
【注意】 「スプレッドシート名」で指定した場合、最初にヒットしたスプレッドシートが記憶されます。

× キャンセル ✓ OK

指定方法	スプレッドシート名
スプレッドシート名	例) スプレッドシート
スプレッドシート参照ID	スプレッドシート


指定方法	ID
ID	例) 1k0wgu...
スプレッドシート参照ID	スプレッドシート

名称	内容
Google アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Google アカウントを入力する
指定方法	スプレッドシートを指定する方法を選択する
URL	指定方法「URL」のときに表示されるスプレッドシートの URL を入力する
スプレッドシート名	指定方法「スプレッドシート名」のときに表示されるスプレッドシートの名前を入力する
ID	指定方法「ID」のときに表示されるスプレッドシートの ID を入力する
スプレッドシート参照 ID	エクセル参照 ID を定義する

シナリオ例（スプレッドシート > 読み込む）：


Google ドライブに保存しているスプレッドシートを読み込み、C3セルに値を入力する。

1 **スプレッドシートを読み込む** ✕






 Googleアカウント: example@gmail.com スプレッドシート

URL: https://docs.google.com/spreadsheets/d/\$...

2 **スプレッドシートのセル値を入力** ✕

 **スプレッドシート参照ID: スプレッドシート**

セル数: 単一セル
指定セル: C3

 **sample** ☆   Saved to Drive   Share




File Edit View Insert Format Data Tools Extensions Help Last edit wa...




🏠 🔄 🖨️ 📄 100% | \$ % .0_ .00 123 | Default (Ari... | 10 | **B** *I* 🔒 A | ...

A1 | fx | Googleドライブに保存しているスプレッドシートです。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	Googleドライブに保存しているスプレッドシートです。							
2								
3								
4								
5								

シナリオ例（スプレッドシート > 読み込む）の実行結果：

 無題のスプレッドシート ☆  

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ    共有

🔍 🏠 🔄 🖨️ 📄 100% | ¥ % .0_ .00 123 | デフォ... | - 10 + | **B** *I* 🔒 A | :

C3 | fx | おじどうさんが入力しました！

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	Googleドライブに保存しているスプレッドシートです。								
2									
3			おじどうさんが入力しました！						
4									
5									
6									
7									
8									

6.11.3. スプレッドシート > 削除

スプレッドシートを完全に削除する。本コマンドを利用するには [OAuth2 アカウント登録](#)が必要である。

スプレッドシートを削除

Googleアカウント OAuth2アカウント登録済みのGoogleアカウントを入力

指定方法 URL

URL 例) <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1k0wgu.../edit#gid=0>

メモ

【注意】シナリオ一覧画面のメニュー「OAuth2アカウント管理」にて、Google SpreadsheetアカウントのOAuth2登録が必要です。
【注意】「スプレッドシート名」で指定した場合、最初にヒットしたスプレッドシートが削除されます。

× キャンセル ✓ OK

指定方法 スプレッドシート名

スプレッドシート名 例) スプレッドシート名

メモ

指定方法 ID

ID 例) 1k0wgu...

メモ

名称	内容
Google アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Google アカウントを入力する
指定方法	スプレッドシートを指定する方法を選択する
URL	指定方法「URL」のときに表示される スプレッドシートの URL を入力する
スプレッドシート名	指定方法「スプレッドシート名」のときに表示される スプレッドシートの名前を入力する
ID	指定方法「ID」のときに表示される スプレッドシートの ID を入力する

6.11.4. スプレッドシート > 名前変更

スプレッドシートの名前を変更する。本コマンドを利用するには [OAuth2 アカウント登録](#)が必要である。

スプレッドシート名を変更

Googleアカウント

指定方法

URL

☰

変更名

☰

メモ

【注意】 シナリオ一覧画面のメニュー「OAuth2アカウント管理」にて、Google SpreadsheetアカウントのOAuth2登録が必要です。
 【注意】 「スプレッドシート名」で指定した場合、最初にヒットしたスプレッドシートの名前が変更されます。

✕ キャンセル
✓ OK

指定方法

スプレッドシート名

☰

変更名

☰

指定方法

ID

☰

変更名

☰

名称	内容
Google アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Google アカウントを入力する
指定方法	スプレッドシートを指定する方法を選択する
URL	指定方法「URL」のときに表示される スプレッドシートの URL を入力する
スプレッドシート名	指定方法「スプレッドシート名」のときに表示される スプレッドシートの名前を入力する
ID	指定方法「ID」のときに表示される スプレッドシートの ID を入力する
変更名	変更後のスプレッドシートの名前を入力する

6.11.5. スプレッドシート > URL 取得

スプレッドシートの URL を取得する。

スプレッドシートのURL取得

スプレッドシート参照ID

データ参照ID

メモ

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

6.11.6. シート > 新規作成

スプレッドシートのシートを新規作成する。

新規シート

スプレッドシート参照ID

シート名

メモ

【注意】 新規シートは末尾に作成されます。

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	作成するシート名を入力する

シナリオ例（シート > 新規作成）：

スプレッドシートを読み込んでシート「new_sheet」を新規作成するシナリオ。

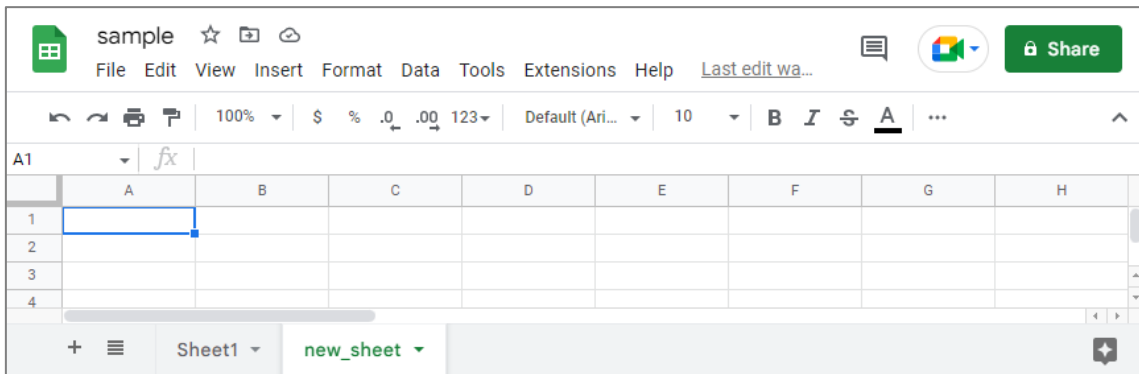
1 **スプレッドシートを読み込む**

G Googleアカウント: example@gmail.com
URL: https://docs.google.com/spreadsheets/d/1 ...

2 **新規シート**

G スプレッドシート参照ID: **スプレッドシート**
シート名: new_sheet

シナリオ例（シート > 新規作成）の実行結果：



6.11.7. シート > 削除

スプレッドシートのシートを削除する。

シート削除

スプレッドシート参照ID

シート名 ☰

メモ

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	削除するシート名を入力する

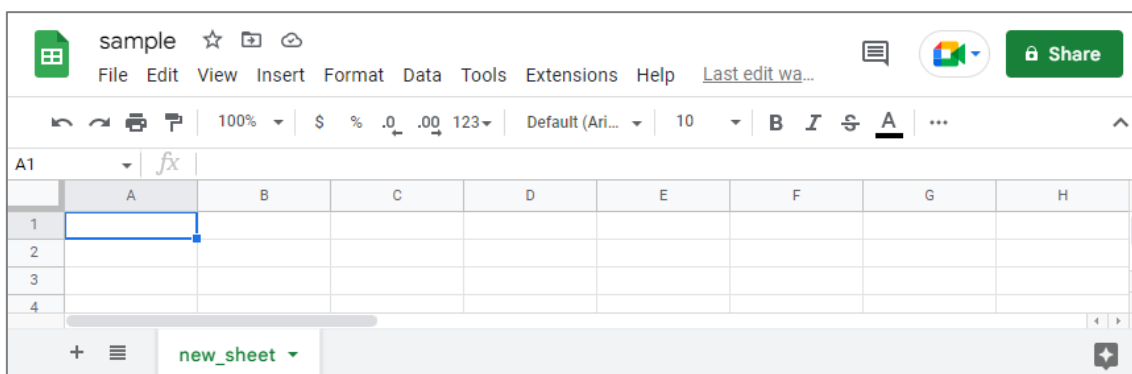
シナリオ例（シート > 削除）：

新規シート「new_sheet」作成後にシート「Sheet1」を削除するシナリオ。

※シート削除を目視確認するために待機コマンドを入れています



シナリオ例（シート > 削除）の実行結果：



6.11.8. シート > 移動

スプレッドシートのシートを移動する。

スプレッドシートのシート移動

スプレッドシート参照ID

対象シート名 ☰

挿入先 指定シートの前 先頭 末尾

指定シート名 ☰

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
対象シート名	移動するシート名を指定する
挿入先	シートの移動先を選択する
指定シート名	挿入先「指定シートの前」のときに表示される挿入先のシート名を入力する

6.11.9. シート > コピー

スプレッドシートのシートをコピーする。

スプレッドシートのシートコピー

スプレッドシート参照ID

対象シート名

挿入先スプレッドシート

コピー後のシート名

メモ

【注意】コピー先を同じスプレッドシートに指定した場合、シートは先頭に作成されます。
コピー先を別のスプレッドシートに指定した場合、シートは末尾に作成されます。

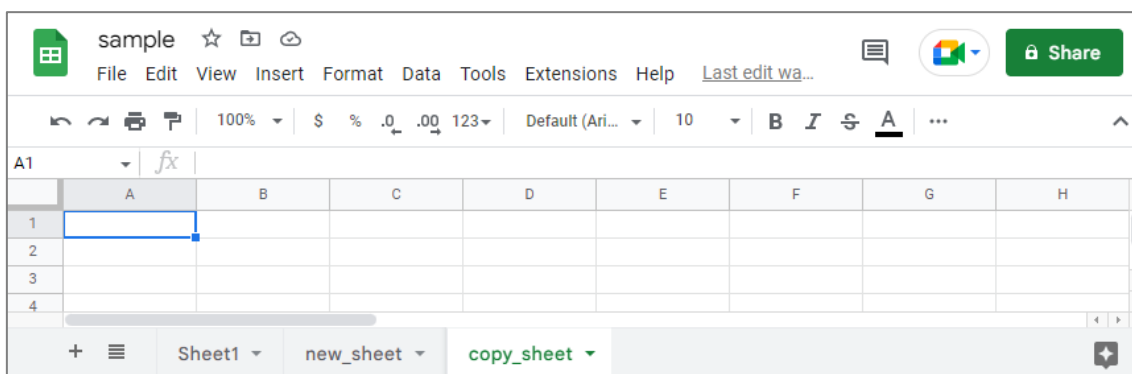
名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
対象シート名	コピーするシート名を指定する
挿入先スプレッドシート	挿入先のスプレッドシート参照 ID を選択する
コピー後のシート名	コピー後のシート名を入力する

シナリオ例 (シート > コピー) :

新規シート「new_sheet」作成後、「new_sheet」を「copy_sheet」としてコピーして、「copy_sheet」を末尾に移動するシナリオ。

1	<input type="checkbox"/> スプレッドシートを読み込む	<input type="button" value="×"/>
	 Googleアカウント: example@gmail.com URL: https://docs.google.com/spreadsheets/d/1 ...	<input type="button" value="スプレッドシート"/>
2	<input type="checkbox"/> 新規シート	<input type="button" value="×"/>
	 スプレッドシート参照ID: スプレッドシート シート名: new_sheet	
3	<input type="checkbox"/> スプレッドシートのシートコピー	<input type="button" value="×"/>
	 スプレッドシート参照ID: スプレッドシート 対象シート名: new_sheet, 挿入先スプレッドシート: スプレッドシート	
4	<input type="checkbox"/> スプレッドシートのシート移動	<input type="button" value="×"/>
	 スプレッドシート参照ID: スプレッドシート 対象シート名: copy_sheet, 挿入先: 末尾	

シナリオ例（シート操作 > 移動・コピー）の実行結果：



6.11.10. シート > 名前取得

スプレッドシートのシート名を取得する。

スプレッドシートのシート名取得

スプレッドシート参照ID

シートの位置 何番目 先頭 末尾

何番目

データ参照ID

メモ

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シートの位置	取得するシートの位置を選択する
何番目	シートの位置「何番目」のときに表示される 取得するシートの位置を入力する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

6.11.11. シート > 名前変更

スプレッドシートのシートの名前を変更する。

スプレッドシートのシート名変更

スプレッドシート参照ID

変更対象シート名 例) 変更対象シート名

変更名 例) 変更名

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
変更対象シート名	名前変更したいシート名を入力する
変更名	新しいシート名を入力する

6.11.12. セル操作 > 指定範囲の削除

スプレッドシートで指定した範囲を削除する。

スプレッドシート指定範囲を削除

スプレッドシート参照ID

シート名 例) Sheet1

指定範囲 例) A2:C10

シフト方向 行全体を削除 列全体を削除

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する
指定範囲	1 つまたは 2 つのセル行列番号を指定する
シフト方向	削除範囲（行または列）を指定する

シナリオ例（セル操作 > 指定範囲の削除）：

1~3 行目を削除する。

The screenshot shows a Google Sheets interface for a document named 'sample'. The spreadsheet has columns A through H and rows 1 through 4. The data is as follows:

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	1	5	9					
2	2	6	10					
3	3	7	11					
4	4	8	12					

The range A1:C3 is selected, and the formula bar shows '1'. The status bar at the bottom right indicates 'Sum: 54'.

- スプレッドシートを読み込む
G Googleアカウント: example@gmail.com
URL: https://docs.google.com/spreadsheets/d/1 ... スプレッドシート
- スプレッドシート指定範囲を削除
G スプレッドシート参照ID: **スプレッドシート**
指定範囲: A1:A3
シフト方向: 行全体を削除

シナリオ例（セル操作 > 指定範囲の削除）の実行結果：

The screenshot shows the same Google Sheets interface after deleting rows 1-3. The data from row 4 is now in row 1:

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	4	8	12					
2								
3								
4								

The formula bar shows 'C2'. The status bar at the bottom right indicates 'Sum: 54'.

6.11.13. セル操作 > 指定範囲にセルを挿入

指定範囲した箇所にセルを挿入する。

スプレッドシート指定範囲にセルを挿入

スプレッドシート参照ID

シート名 

挿入指定範囲 

シフト方向 行を挿入 列を挿入

メモ

【注意】 指定セル欄が未入力の場合、実行時に選択されている範囲が適用されます。


名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する
挿入指定範囲	1 つまたは 2 つのセル行列番号を指定する
シフト方向	挿入方向（行または列）を指定する


6.11.14. セル操作 > 値を取得


セルの値または数式を取得し、データ参照 ID に記憶する。

スプレッドシートのセル値を取得

スプレッドシート参照ID

シート名 

指定セル 

内容 

データ参照ID

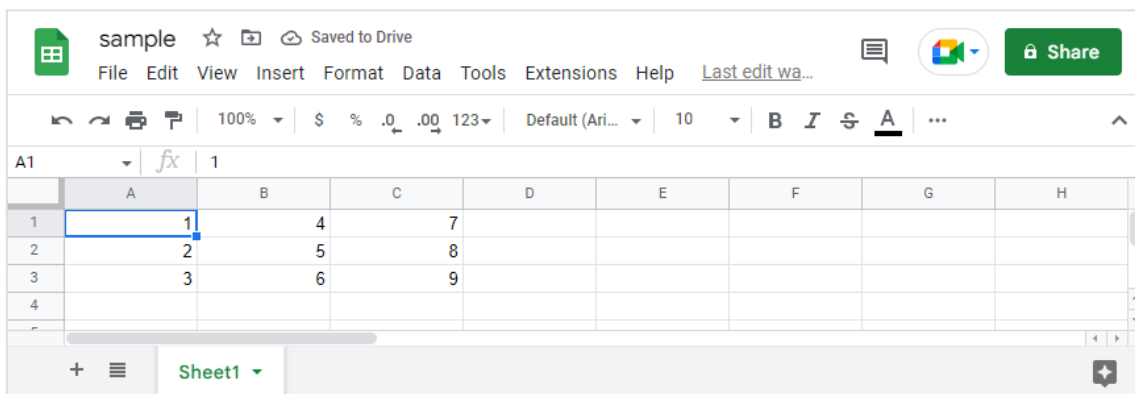
メモ

【ヒント】 指定セル欄には、「1,1」のような行列形式での指定が可能です。
例えば、「1,1」はA1セル、「1,2」はB1セルを示します。

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する
指定セル	セルを A1 表記または行列表記で指定する (A1 表記の例) A1 (行列表記の例) 1,1
内容	取得したいセルの内容を選択する。
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

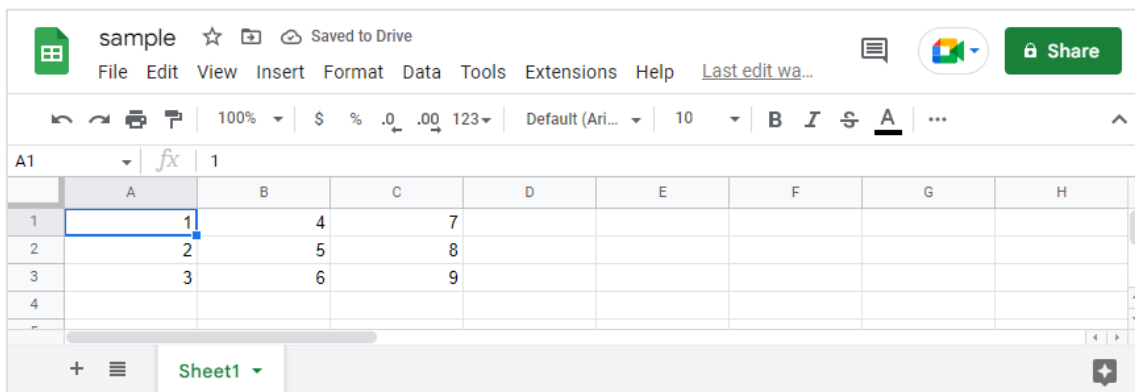
シナリオ例 1 (セル操作 > 値を取得) :

A1 からセル値を取得するシナリオ。



シナリオ例 2 (セル操作 > 値を取得) :

A 列から C 列、1 行目から 3 行目へと移動しながら、A1~C3 のセル値を取得するシナリオ。



6.11.15. セル操作 > 値を入力

任意のセルに値を入力する。

スプレッドシートのセル値を入力

スプレッドシート参照ID

シート名 ☰

入力値 ☰

セル数 単一セル 複数セル (タブ・改行区切り)

指定セル ☰

メモ

【ヒント】 指定セル欄には、「1,1」のような行列形式での指定が可能です。
例えば、「1,1」はA1セル、「1,2」はB1セルを示します。

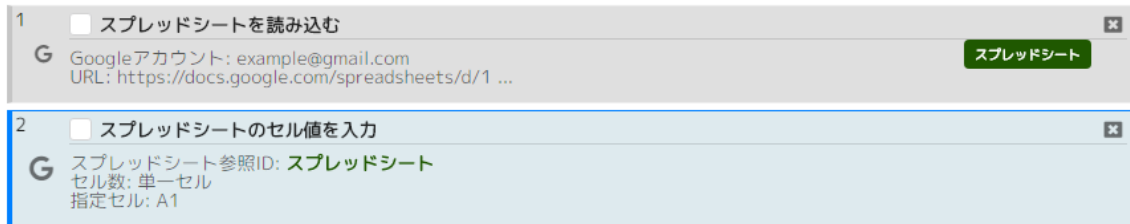
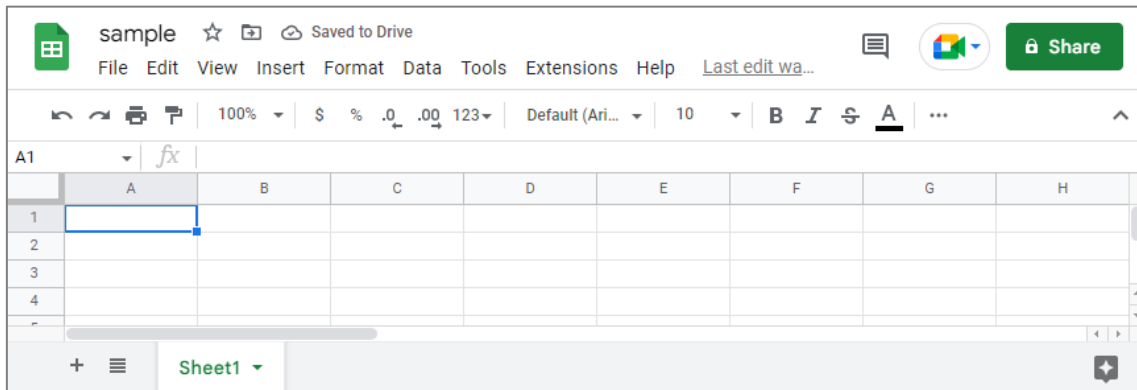
✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する

シート名	シート名を指定する
入力値	入力する値
セル数	入力するセルの数を指定する
指定セル	セルを A1 表記または行列表記で指定する (A1 表記の例) A1 (行列表記の例) 1,1

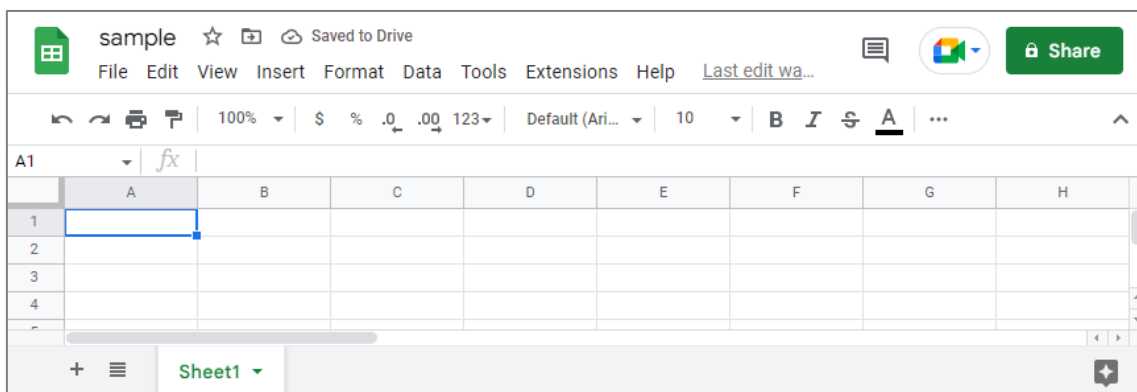
シナリオ例 1 (セル操作 > 値を入力) :

A1 セルに値を入力するシナリオ。



シナリオ例 2 (セル操作 > 値を入力) :

A 列から C 列、1 行目から 3 行目へと移動しながら、A1~C3 セルに値を入力するシナリオ。



1 スプレッドシートを読み込む
 Google アカウント: example@gmail.com
 URL: https://docs.google.com/spreadsheets/d/1 ... スプレッドシート

2 データの記憶 (文字)
 文字: 1 行番号

3 繰り返し
 回数: 3

4 データの記憶 (文字)
 文字: 1 列番号

5 繰り返し
 回数: 3

6 スプレッドシートのセル値を入力
 スプレッドシート参照ID: スプレッドシート
 セル数: 単一セル
 指定セル: 行番号 列番号

7 計算結果を記憶
 演算式: 列番号 + 1 列番号

8 計算結果を記憶
 演算式: 行番号 + 1 行番号

シナリオ例 2 (セル操作 > 値を入力) の実行結果:

sample ☆ Saved to Drive Share

File Edit View Insert Format Data Tools Extensions Help [Last edit wa...](#)

100% | \$ % .0 .00 123 | Default (Ari... | 10 | **B** *I* ~~U~~ A | ...

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	値入力	値入力	値入力					
2	値入力	値入力	値入力					
3	値入力	値入力	値入力					
4								

+ Sheet1

6.11.16. セル操作 > セルをコピー・貼り付け

任意のセルをコピーして、指定のセルへ貼り付けする。

スプレッドシートのセルをコピー・貼り付け

スプレッドシート参照ID	スプレッドシート	▼
コピー元のシート名	例) Sheet1	☰
コピー元のセル	例) A1、1,1	☰
コピー先のシート名	例) Sheet1	☰
コピー先のセル	例) A1、1,1	☰
貼り付けタイプ	貼り付け	▼
メモ		

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
コピー元のシート名	コピー元のシート名を指定する。
コピー元のセル	コピー元のセル範囲を指定する。 範囲指定の場合、「A1:A10」のように指定する。 R1C1 形式で指定することも可能である。
コピー先のシート名	コピー先のシート名を指定する。
コピー先のセル	コピー先のセル範囲を指定する。 範囲指定の場合、「A1:A10」のように指定する。 R1C1 形式で指定することも可能である。
貼り付けタイプ	貼り付けタイプを選択する。

6.11.17. セル操作 > 最終行取得

指定列またはシート全体の最終行を取得するコマンド。

※指定列またはシート全体に値がない場合も、データ参照 ID には 1 が記憶される。

スプレッドシート最終行取得

スプレッドシート参照ID

シート名 例) Sheet1

対象 列指定 シート全体

列名 例) A

データ参照ID 最終行

メモ

× キャンセル ✓ OK

対象 列指定 シート全体

データ参照ID 最終行

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する。
対象	最終行を取得する列もしくはシート全体を指定する
列名	最終行を取得する列名を指定する。
データ参照 ID	最終行を記憶するデータ参照 ID を定義する。

シナリオ例（セル操作 > 最終行取得）：

下記のシートの A 列の最終行を取得するシナリオ。

1 スプレッドシートを読み込む ✕
 Googleアカウント: example@gmail.com スプレッドシート
 スプレッドシート名: sample


2 スプレッドシート最終行取得 ✕
 スプレッドシート参照ID: スプレッドシート
 列指定: A A列の最終行

3 アプリ起動 ✕
 アプリの場所: notepad
 待機時間(秒): 3
 ウィンドウ最大化: 無し

4 キーボード入力（貼り付け） ✕
 文字: A列の最終行: A列の最終行
 Enter: 無し

	A	B	C	D
1	ID	Email	住所	備考
2	1	test1@example.com	東京都	
3	2	test2@example.com	神奈川県	
4	3	test3@example.com		
5	4	test4@example.com	静岡県	
6	5	test5@example.com		
7	6	test6@example.com	北海道	
8	7	test7@example.com		
9	8		福岡県	
10	9	test9@example.com	千葉県	
11	10	test10@example.com		

シナリオ例（セル操作 > 最終行取得）の実行結果：

 *無題 - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

A列の最終行: 11

6.11.18. セル操作 > 行ループ

指定の開始セル位置から指定の終了条件になるまで下方向へループするコマンド。ループする度に、下方向へ移動したセルの行番号と値を各データ参照 ID に記憶する。

スプレッドシート行ループ

スプレッドシート参照ID

シート名

☰

開始セル

☰

終了条件
 指定行まで
 指定セル値まで
 回数指定
 無限

行番号

☰

データ参照ID (行番号)

データ参照ID (セル値)

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

終了条件
 指定行まで
 指定セル値まで
 回数指定
 無限

セル値

☰

終了条件
 指定行まで
 指定セル値まで
 指定回数
 無限

回数

☰

終了条件
 指定行まで
 指定セル値まで
 指定回数
 無限

データ参照ID (行番号)

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する。
開始セル	ループを開始するセルを指定する。
終了条件	終了条件を選択する。
行番号	ループを終了する行番号を指定する。
セル値	ループを終了するセル値を指定する。
回数	ループする回数を指定する。
データ参照 ID (行番号)	行番号を記憶するデータ参照 ID を定義する。
データ参照 ID (セル値)	セル値を記憶するデータ参照 ID を定義する。

シナリオ例（セル操作 > 行ループ）：

下記のシートの B 列の値をすべて取得するシナリオ。

1 スプレッドシートを読み込む

Googleアカウント: dova.saganko@gmail.com
スプレッドシート名: sample

2 アプリ起動

アプリの場所: notepad
待機時間(秒): 3
ウィンドウ最大化: 無し

3 スプレッドシート行ループ

スプレッドシート参照ID: **スプレッドシート**
セル値:
開始セル: B1

4 キーボード入力(貼り付け)

文字: **セル値**
Enter: 有り

	A	B	C	D
1	ID	Email	住所	備考
2	1	test1@example.com	東京都	
3	2	test2@example.com	神奈川県	
4	3	test3@example.com		
5	4	test4@example.com	静岡県	
6	5	test5@example.com		
7	6	test6@example.com	北海道	
8	7	test7@example.com		
9	8	test8@example.com	福岡県	
10	9	test9@example.com	千葉県	
11	10	test10@example.com		

シナリオ例（セル操作 > 行ループ）の実行結果：

*無題 - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

test1@example.com
test2@example.com
test3@example.com
test4@example.com
test5@example.com
test6@example.com
test7@example.com
test8@example.com
test9@example.com
test10@example.com

6.11.19. セル操作 > 列ループ

指定の開始セル位置から指定の終了条件になるまで右方向にループするコマンド。ループする度に、右方向へ移動したセルの列名と値を各データ参照 ID に記憶する。

スプレッドシート列ループ

スプレッドシート参照ID

シート名
例) Sheet1
☰

開始セル
A1
☰

終了条件
 指定列まで
 指定セル値まで
 回数指定
 無限

列名
A
☰

データ参照ID (列名)

データ参照ID (セル値)

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

終了条件
 指定行まで
 指定セル値まで
 回数指定
 無限

セル値

☰

終了条件
 指定行まで
 指定セル値まで
 指定回数
 無限

回数
1
☰

終了条件
 指定行まで
 指定セル値まで
 指定回数
 無限

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する。
開始セル	ループを開始するセルを指定する。
終了条件	終了条件を選択する。
列名	ループを終了する列名を指定する。
セル値	ループを終了するセル値を指定する。
回数	ループする回数を指定する。
データ参照 ID (列名)	列名を記憶するデータ参照 ID を定義する。
データ参照 ID (セル値)	セル値を記憶するデータ参照 ID を定義する。

シナリオ例（セル操作 > 列ループ）：

下記のシートの2行目の値をすべて取得するシナリオ。

1 スプレッドシートを読み込む

Googleアカウント: dova.saganko@gmail.com スプレッドシート
 スプレッドシート名: sample

2 アプリ起動

アプリの場所: notepad
 待機時間(秒): 3
 ウィンドウ最大化: 無し

3 スプレッドシート列ループ

スプレッドシート参照ID: **スプレッドシート** 列名 セル値
 セル値:
 開始セル: A2

4 キーボード入力(貼り付け)

文字: セル値
 Enter: 有り

	A	B	C	D
1	ID	Email	住所	備考
2	1	test1@example.com	東京都	
3	2	test2@example.com	神奈川県	
4	3	test3@example.com		
5	4	test4@example.com	静岡県	
6	5	test5@example.com		
7	6	test6@example.com	北海道	
8	7	test7@example.com		
9	8	test8@example.com	福岡県	
10	9	test9@example.com	千葉県	
11	10	test10@example.com		

シナリオ例（セル操作 > 列ループ）の実行結果：

*無題 - XE帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

1
test1@example.com
 東京都

6.12. ウェブブラウザ

6.12.1. 起動

ブラウザを起動し、指定した URL へアクセスするコマンド。

※注意点

- ・ Google Chrome 及び Microsoft Edge は最新～旧バージョン 4 つをサポートする。
- ・ Microsoft Internet Explorer v11 および Microsoft Edge の IE モードを利用する場合は、追加設定（[2.6. Internet Explorer v11 操作のための設定](#)）が必要である。
- ・ Microsoft Edge HTML は 2021 年 3 月にサービス終了しているため、新しくインストール出来ない場合がある。

ブラウザ起動

ブラウザ	おじどうさんブラウザ
開始URL	例) https://www.google.com/
ウィンドウ最大化	<input checked="" type="checkbox"/>
ブラウザ参照ID	ブラウザ

[詳細表示]

メモ

× キャンセル ✓ OK

ブラウザ起動

ブラウザ	Google Chrome
ブラウザのパス	空の場合は自動取得
開始URL	例) https://www.google.com/
ウィンドウ最大化	<input checked="" type="checkbox"/>
調査モード拡張機能	<input type="checkbox"/>
ブラウザ参照ID	ブラウザ

[詳細表示]

ブラウザ起動

ブラウザ

ブラウザのパス

開始URL

ウィンドウ最大化

IEモード

調査モード拡張機能

ブラウザ参照ID

[詳細表示]

メモ

Microsoft Edge IEモードの自動化にはInternet Explorerの初期設定が必要です。
 マニュアルの「Internet Explorer 操作の設定」をご参照ください。

× キャンセル ✓ OK

[詳細非表示]

オプション引数

名称	内容
ブラウザ	ブラウザを選択する。使用できるブラウザは以下のとおり。 1. おじどうさんブラウザ 2. Google Chrome 3. Microsoft Internet Explorer (v11) 4. Microsoft Edge 5. Microsoft Edge HTML (v18) 6. Mozilla Firefox (32-bit) 7. Mozilla Firefox (64-bit)
ブラウザのパス	Mozilla Firefox、Google Chrome または Microsoft Edge を選択した場合に表示される。ブラウザのパスを入力する。
開始 URL	ブラウザ起動後のアクセスする URL を入力する
ウィンドウ最大化	チェックなし： ウィンドウを最大化しない チェックあり： ウィンドウを最大化する
IE モード	Microsoft Edge を選択した場合に表示される。 チェックなし： 通常モードで起動する チェックあり： IE モードで起動する
調査モード拡張機能	Microsoft Edge または Google Chrome を選択した場合に表示される。

	チェックなし： 拡張しない チェックあり： ブラウザに調査モードが表示される
ブラウザ参照 ID	ブラウザ参照 ID を定義する
オプション引数	ブラウザ起動時のオプション（引数）を入力する [詳細表示]をクリックすると表示される

[ブラウザのパス] 設定機能は Mozilla Firefox、Google Chrome または Microsoft Edge のウェブドライバーに対応している他のブラウザを起動する場合に有効である。

シナリオ例 1（起動）：

Google Chrome ドライバー対応の Brave Browser を起動する。

ブラウザ起動

ブラウザ

Google Chrome (Auto-detect) ▼

ブラウザのパス

C:\Program Files (x86)\BraveSoftware\Brave-Browser\Application\brave.exe

📄

開始URL

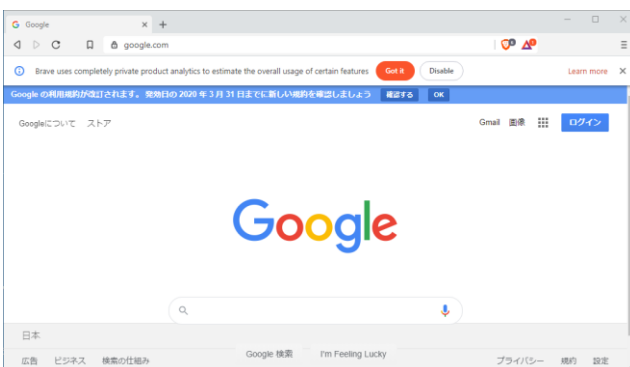
https://www.google.com

☰

ウィンドウ最大化

調査モード拡張機能

シナリオ例 1（起動）の実行結果：



シナリオ例2（起動）：

Mozilla Firefox (64-bit)をオプション引数「-private」を使って起動する。「-private」を使う事で Mozilla Firefox はプライベートモードで起動する。

ブラウザ起動

ブラウザ	Mozilla Firefox (64-bit)
ブラウザのパス	空の場合は自動取得
開始URL	https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/
ウィンドウ最大化	<input checked="" type="checkbox"/>
ブラウザ参照ID	ブラウザ

[詳細表示]

メモ	-private
----	----------

× キャンセル ✓ OK

シナリオ例2（起動）の実行結果：



6.12.2. 起動（ユーザ情報引継）

プロフィール（ブックマーク・自動入力データ・パスワード・閲覧履歴・ブラウザの設定・インストール済みの拡張機能など）を引き継いだ状態でブラウザを起動する。

※必須事項

- (1) 本コマンド使用前にブラウザで該当サービスにログインしてください
- (2) ログイン完了後はブラウザを閉じる
- (3) Microsoft Edge を使用する場合、本コマンド使用前に「Microsoft Edge のスタートアップブースト機能」を無効化してください

ブラウザ起動（ユーザ情報引継）

ブラウザ	Google Chrome
ブラウザのパス	空の場合は自動取得
プロフィールのパス	空の場合は自動取得
開始URL	例) https://www.google.com/
ウィンドウ最大化	<input checked="" type="checkbox"/>
ブラウザ参照ID	ブラウザ

[詳細表示]

メモ

当コマンドによりユーザ情報を引継いでブラウザを起動できます。
当コマンド実行前に、ブラウザをアプリ起動コマンド又は通常起動にて立ち上げ、
該当サービスにログインした状態でブラウザを閉じてください。

× キャンセル ✓ OK

[詳細非表示]

オプション引数

必要な場合は入力

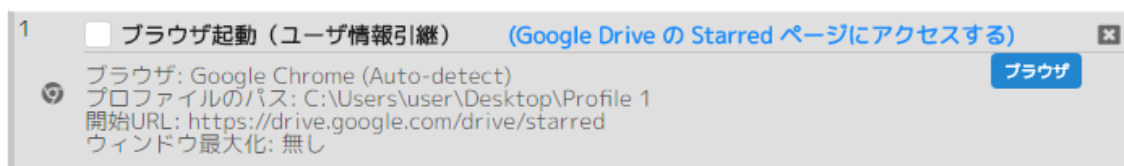
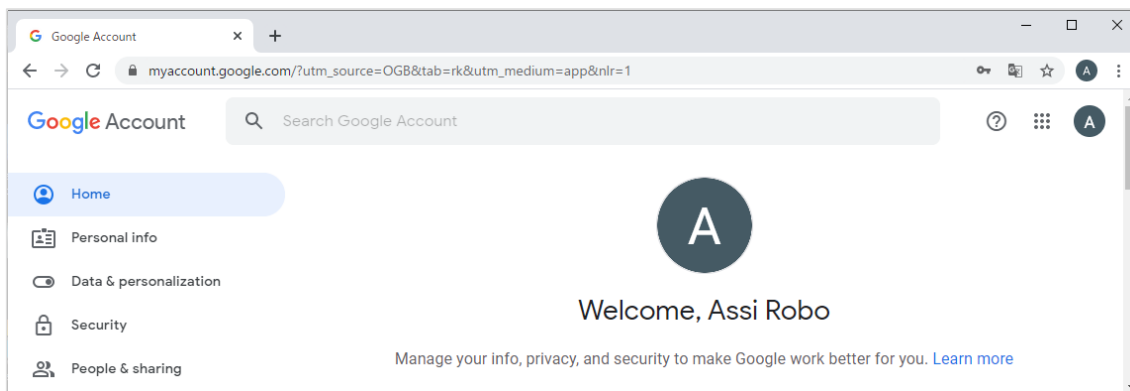
名称	内容
ブラウザ	ブラウザを選択する。使用できるブラウザは以下の通り。 1. Google Chrome 2. Microsoft Edge
ブラウザのパス	ブラウザのパスを入力する
プロフィールのパス	プロフィールのパスを入力する 詳細は 9.3.ブラウザプロフィールの使い方 ※ユーザ情報が引き継がれない場合は 9.3.2.その他のブラウザで

	<u>プロファイルを読み込みたい場合</u> の手順でご対応下さい
開始 URL	ブラウザ起動時にアクセスする URL を入力する
ウィンドウ最大化	ブラウザウィンドウを最大化するオプション
ブラウザ参照 ID	ブラウザ参照 ID を定義する
オプション引数	ブラウザ起動時のオプション（引数）を入力する [詳細表示]をクリックすると表示される

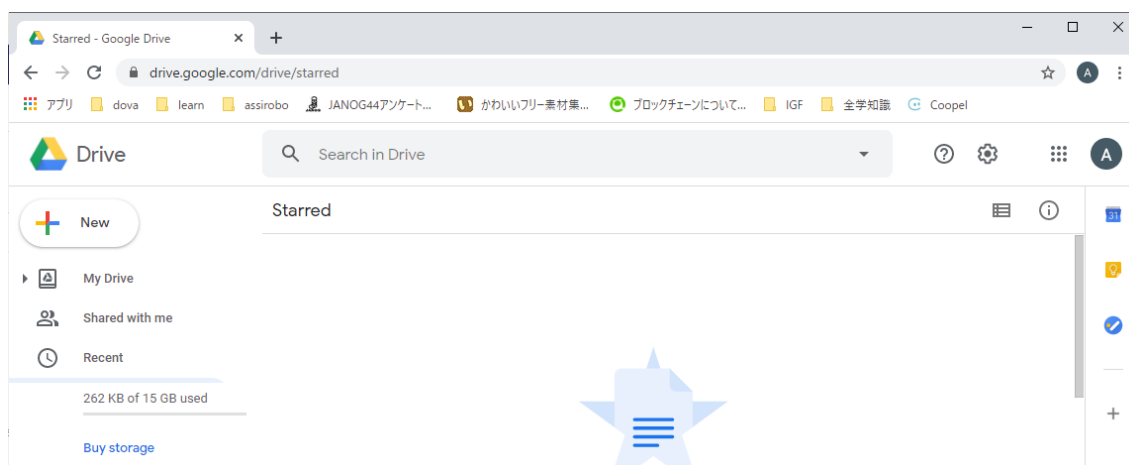
シナリオ例（起動（ユーザ情報引継））：

現在の Google Chrome のプロファイルを引き継いでブラウザを起動する。

※シナリオ実行前に Google Chrome を通常起動し、操作したいサービスへログインできたらブラウザを閉じてください



シナリオ例（起動（ユーザ情報引継））の実行結果：



6.12.3. 閉じる

ブラウザを閉じるコマンド。

ブラウザを閉じる

ブラウザ参照ID

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する

6.12.4. 派生ブラウザ画面記憶

おじどうさん実行中にできる新しいブラウザウィンドウを記憶するコマンド。

派生ブラウザ画面記憶

派生元ブラウザ

新ブラウザ参照ID

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
派生元ブラウザ	新しいブラウザウィンドウを派生する ブラウザ参照 ID を指定する
新ブラウザ参照 ID	新しいブラウザウィンドウのブラウザ参照 ID を定義する

シナリオ例（派生ブラウザ画面記憶）：

新しいブラウザから、問い合わせページにアクセスするシナリオ。

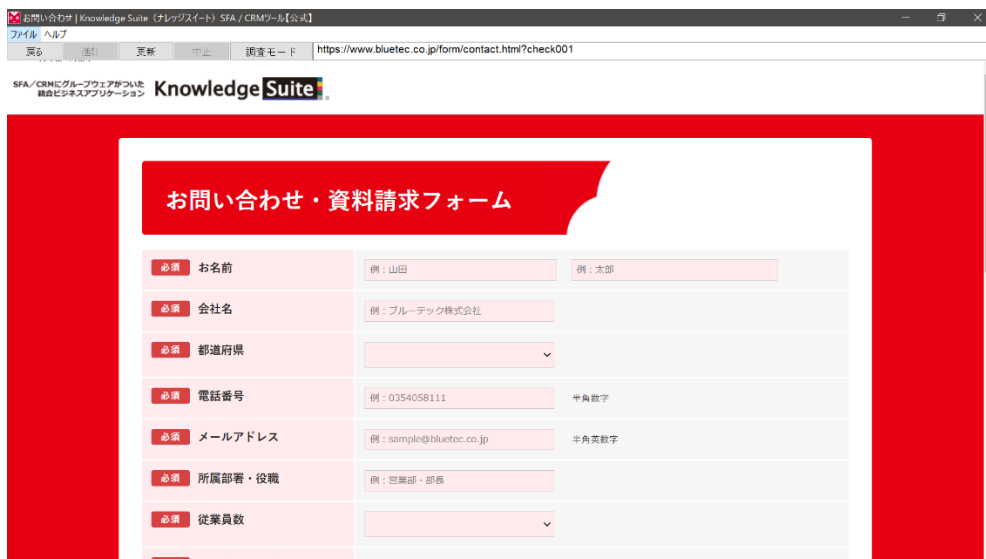
1	<input type="checkbox"/> ブラウザ起動	
	ブラウザ: おじどうさんブラウザ 開始URL: https://www.bluetec.co.jp/knowledgesuite ... ウィンドウ最大化: 有り	KS-サイト
2	<input type="checkbox"/> HTMLクリック (派生ブラウザがここで出てきます)	
	ブラウザ参照ID: KS-サイト HTMLエレメント: xpath HTMLターゲット: /html/body/div[1]/div[2]/div[2]/ul/li[3] ... クリックタイプ: シングル	
3	<input type="checkbox"/> 派生ブラウザ画面記憶 (「KS-サイト」ブラウザIDからの派生ブラウザを記憶)	
	派生元ブラウザ: KS-サイト	new-browser

シナリオ例（派生ブラウザ画面記憶）の実行結果：

派生元ブラウザ（下図）



派生ブラウザ（下図）



6.12.5. URL 移動

ブラウザで URL 移動をするコマンド。

ブラウザ URL移動

ブラウザ参照ID

URL

メモ

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
URL	移動先の URL を入力する

シナリオ例（URL 移動）：

ブラウザで <https://www.google.com> ページを起動後、<https://www.amazon.co.jp> へ移動するシナリオ。

1 ブラウザ起動 (Access to Google.com)

2 ブラウザURL移動 (Access to Amazon.co.jp)

シナリオ例（URL 移動）の実行結果：

<https://www.amazon.co.jp> が表示された。



6.12.6. URL 移動 (Basic 認証)

ブラウザで URL 移動と同時に Basic 認証するコマンド。

※注意点

- ・ 認証に失敗してもエラーが発生しない

ブラウザURL移動 (Basic認証)

ブラウザ参照ID

URL 例)

ユーザ名

パスワード設定方法

メモ

✕ キャンセル ✓ OK

パスワード設定方法

パスワード

パスワード設定方法

パスワード参照ID

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
URL	移動先の URL を入力する
ユーザ名	Basic 認証へ入力するユーザ名を指定する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1. パスワード無し 2. 直接入力 3. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される Basic 認証へ入力するパスワードを指定する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する

シナリオ例（URL 移動（Basic 認証））：

Basic 認証テストサイトへアクセスする。

The screenshot shows a test runner interface with four steps:

- 1** ブラウザ起動
ブラウザプログラム: Google Chrome (v70~72)
開始URL: https://www.yahoo.co.jp/ browser
- 2** ブラウザ URL 移動 (Basic 認証)
ブラウザ参照ID: browser
URL: http://leggiro.sakura.ne.jp/xxxxbasic_auth_testxxxx/secret/kaiin_page_top.htm
- 3** 待機 (秒)
待機時間: 3秒
- 4** ブラウザを閉じる
ブラウザ参照ID: browser

The screenshot shows a browser window with a login dialog box overlaid. The dialog box is titled "ログイン" (Login) and contains the following text and fields:

ログイン
http://leggiro.sakura.ne.jp
このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません

ユーザー名
パスワード

ログイン キャンセル

シナリオ例（URL 移動（Basic 認証））の実行結果：

Basic 認証に成功し、対象の URL へ移動した。

The screenshot shows a browser window with the following content:

秘密の会員ページトップ

← → 🔄 ⓘ 保護されていない通信 | leggiro.sakura.ne.jp/xxxxbasic_auth_testxxxx/secret/kaiin_page_top.htm ☆ 📄 🏠 ⋮

秘密の会員ページへようこそ！

6.12.7. Cookie を追加

ブラウザで Cookie 設定するコマンド。

ブラウザCookieを追加

ブラウザ参照ID	ブラウザ	▼
Name		☰
Value		☰
メモ		

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
Name	Cookie の Name を指定する
Value	Cookie の Value を指定する

注意事項

- Cookie は認証情報となりますのでお取り扱いにご注意ください。

シナリオ例 (Cookie を追加) :

ログインが必要なサイトで Cookie を利用してログインする。

The screenshot shows a test runner interface with three steps:

- 1 ブラウザ起動 (Cookieを追加するためにサイトへ移動する)**
ブラウザ: おじどうさんブラウザ
開始URL: https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/
ウィンドウ最大化: 有り
- 2 ブラウザCookieを追加 (Cookie情報を追加する)**
ブラウザ参照ID: ブラウザ
Name: Name1
- 3 ブラウザURL移動 (Cookie追加されている状態で再度サイトを読み込む)**
ブラウザ参照ID: ブラウザ
URL: https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/

6.12.8. ページ操作 > HTML クリック

ブラウザ上のコンテンツをクリックするコマンド。

HTMLクリック

ブラウザ参照ID:

HTMLエレメント: xpath

HTMLターゲット:

クリックタイプ: シングル ダブル 右

メモ:

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	クリックしたいエレメントの値を入力する
クリックタイプ	クリックのタイプを選択する

6.12.9. ページ操作 > HTML ショートカットキー

Web ページに対してショートカットキーを入力する。キーボード > ショートカットキーコマンドで操作できない場合に有効である。

HTMLショートカットキーを入力

ブラウザ参照ID	
自動入力フォーム	ショートカットキーを入力してください
キー 1	
キー 2	
キー 3	
キー 4	c
メモ	

✕ キャンセル ✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
自動入力フォーム	入力したキーを自動的にキー1～キー4 へ挿入する
キー1～キー3	特殊キーを 1 つ指定する (F1-F12、 Enter、 ctrl、 alt、 win 等)
キー4	キーを 1 文字のみ入力する

シナリオ例（ページ操作>HTMLショートカットキー）

Google スプレッドシートでフィルタメニューから「Sort Z→A」を選択する。

※必須事項： 事前に Google にログインしてブラウザを閉じる



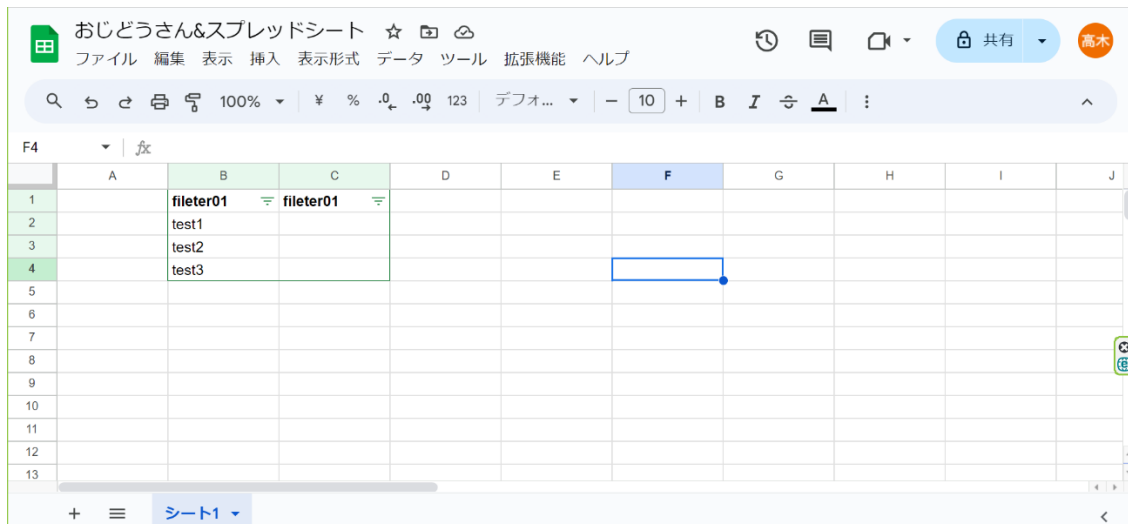
The image shows a Google Sheets interface and a list of browser actions. The spreadsheet has columns A through J and rows 1 through 13. The data in the spreadsheet is as follows:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		fileter01	fileter01							
2		test1								
3		test2								
4		test3								
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										

The browser actions list contains the following items:

- 1 ブラウザ起動（ユーザ情報引継） (Googleスプレッドシートへアクセス)
- 2 HTMLショートカットキーを入力 (対象セルへ移動)
- 3 HTMLショートカットキーを入力 (フィルタメニューを開く)
- 4 HTMLショートカットキーを入力 (「Sort Z→A」へ移動)
- 5 HTMLショートカットキーを入力
- 6 HTMLショートカットキーを入力 (「Sort Z→A」を選択)

シナリオ例（ページ操作>HTMLショートカットキー）の実行結果：



6.12.10. ページ操作 > HTML 選択

指定したエレメントにフォーカスを当てるコマンド。HTML クリックとは異なり、ブラウザ内で Tab キー移動するような効果がある。

HTML選択

ブラウザ参照ID

HTMLエレメント

HTMLターゲット

☰

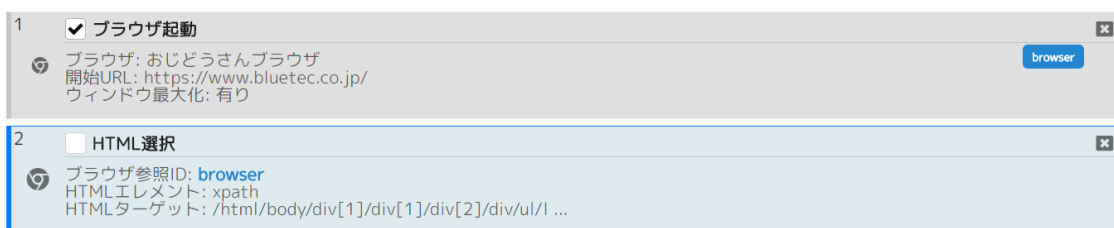
メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する

シナリオ例（ページ操作>HTML 選択・メニュー表示）：

<https://www.bluetec.co.jp/> のメニューボタン「製品紹介」にフォーカスを当て、サブメニューを表示する。



シナリオ例（ページ操作>HTML 選択・メニュー表示）の実行結果：

製品紹介にサブメニューが表示された。



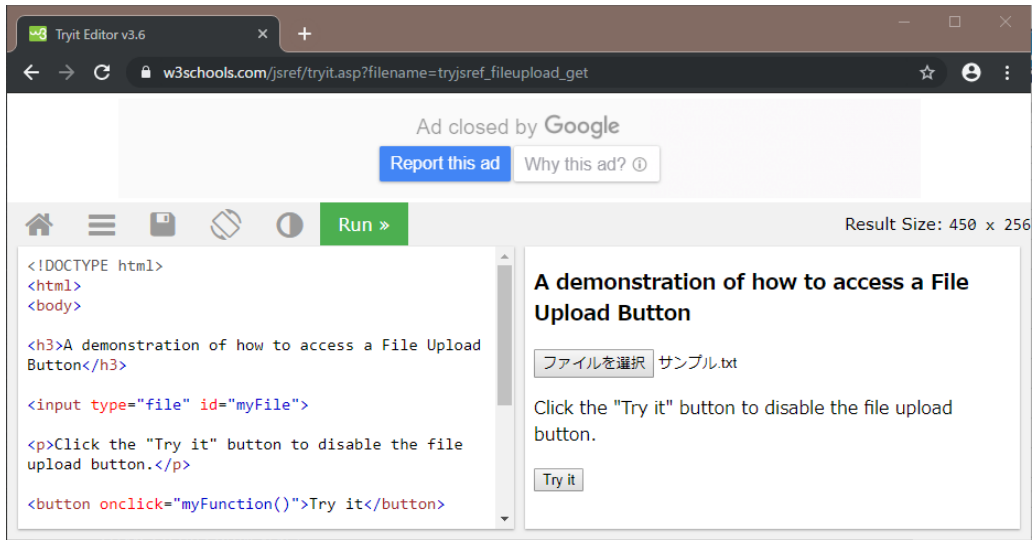
シナリオ例（ページ操作>HTML 選択・ファイルアップロード）：

https://www.w3schools.com/jsref/tryit.asp?filename=tryjsref_fileupload_get でファイルアップロードする。

1	<input checked="" type="checkbox"/> ブラウザ起動	ブラウザ: Google Chrome (v78) 開始URL: https://www.w3schools.com/jsref/tryit.asp?filename=tryj ...	<input type="button" value="browser"/>
2	<input checked="" type="checkbox"/> IFrameに入る	ブラウザ参照ID: browser IFrameのXPath: //*[@id="iframeResult"]	
3	<input checked="" type="checkbox"/> HTML選択（「ファイルを選択」にフォーカスを当てる）	ブラウザ参照ID: browser HTMLエレメント: id HTMLターゲット: myFile	
4	<input type="checkbox"/> 待機（秒）	待機時間: 2秒	
5	<input type="checkbox"/> ショートカットキーを入力（ダイアログボックスを表示する）	ショートカット: enter	
6	<input type="checkbox"/> キーボード入力（文字）（アップロード用のサンプルファイルを指定）	文字: C:\Users\user\Documents\サンプル.txt Enter: 有り	
7	<input type="checkbox"/> IFrameから出る	ブラウザ参照ID: browser	
8	<input type="checkbox"/> マウス移動（座標）（テスト用のマウス移動）	X: 500 Y: 500 移動後のクリック: 無し	

シナリオ例（ページ操作>HTML 選択・ファイルアップロード）の実行結果：

iFrame 内の「ファイルを選択」ボタンにフォーカスを当てダイアログボックスを開き、サンプル.txt をアップロードした。



6.12.11. ページ操作 > HTML チェック確認

ブラウザ上のチェックボックスやラジオボタンからチェックの有無を確認する。チェックが有る場合とない場合とで処理を分ける。

HTMLチェック確認

ブラウザ参照ID

HTMLエレメント

HTMLターゲット

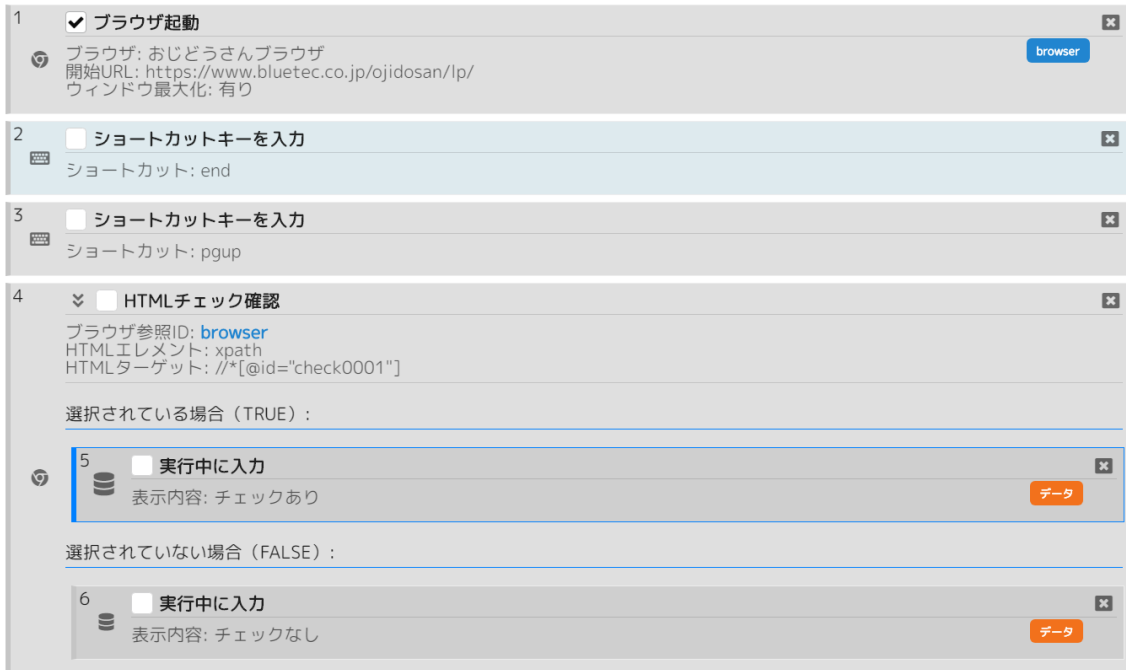
メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する

シナリオ例（ページ操作>HTML チェック確認）：

「おじどうさん資料請求 (<https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/>)」の「問い合わせ・ご依頼内容」のボックス入力有無を確認する。



シナリオ例（ページ操作>HTML チェック確認）の実行結果：

チェックボックスに入力されていないことを確認した。「OK」ボタンをクリックしてシナリオを終了する。



6.12.12. ページ操作 > HTML キーボード入力

ブラウザ内で文字列を入力する。

HTMLキーボード入力

ブラウザ参照ID

HTMLエレメント

HTMLターゲット

入力文字

上書き入力

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
入力文字	ブラウザに入力したい文字列を入れる
上書き入力	チェック有り： ターゲットを一度空にして入力する チェック無し： ターゲットへ追記する

シナリオ例（ページ操作>HTML キーボード入力）：

https://www.google.co.jp ページの検索フォームに「test」を入力するシナリオ。

※ HTML ターゲットの xpath を取得する方法は後述の [7.3. 調査モード](#) に記載しています。

1 ブラウザ起動 ✕

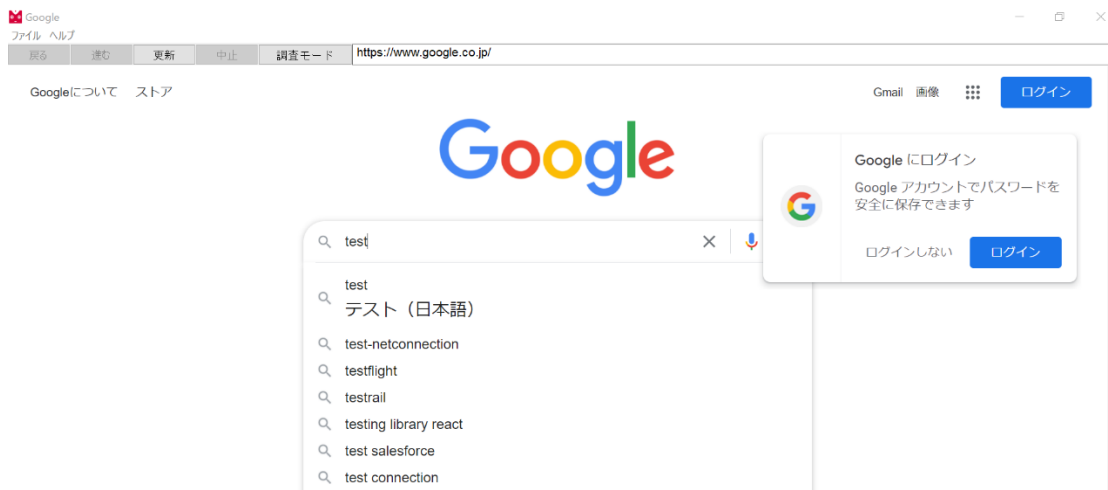
ブラウザ: おじどうさんブラウザ
開始URL: https://www.google.co.jp
ウィンドウ最大化: 有り browser

2 HTMLキーボード入力 ✕

ブラウザ参照ID: browser
HTMLエレメント: xpath
HTMLターゲット: /*[@id="APjFqb"]
入力文字: test
上書き入力: 無し

シナリオ例（ページ操作>HTML キーボード入力）の実行結果：

google ページの検索フォームに「test」が入力された。



6.12.13. ページ操作 > HTML キーボード入力 (パスワード)

ブラウザ上でパスワードを入力するコマンド。シナリオ上で表示させたくない数値や文字列を入力する際に使用する。入力した数値や文字列はマスク処理され、入力内容が全て「●」となる。

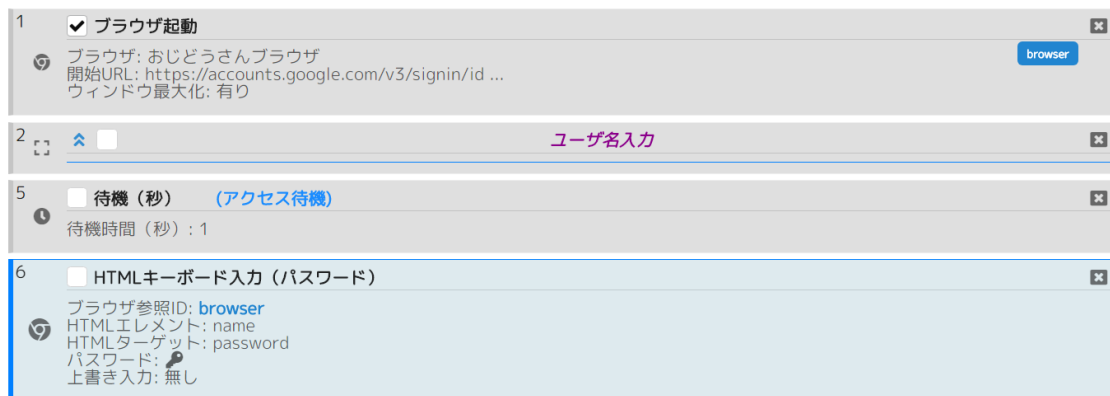
HTMLキーボード入力 (パスワード)

ブラウザ参照ID	
HTMLエレメント	xpath
HTMLターゲット	
パスワード設定方法	直接入力
パスワード	
上書き入力	<input type="checkbox"/>
メモ	

✕ キャンセル
✓ OK

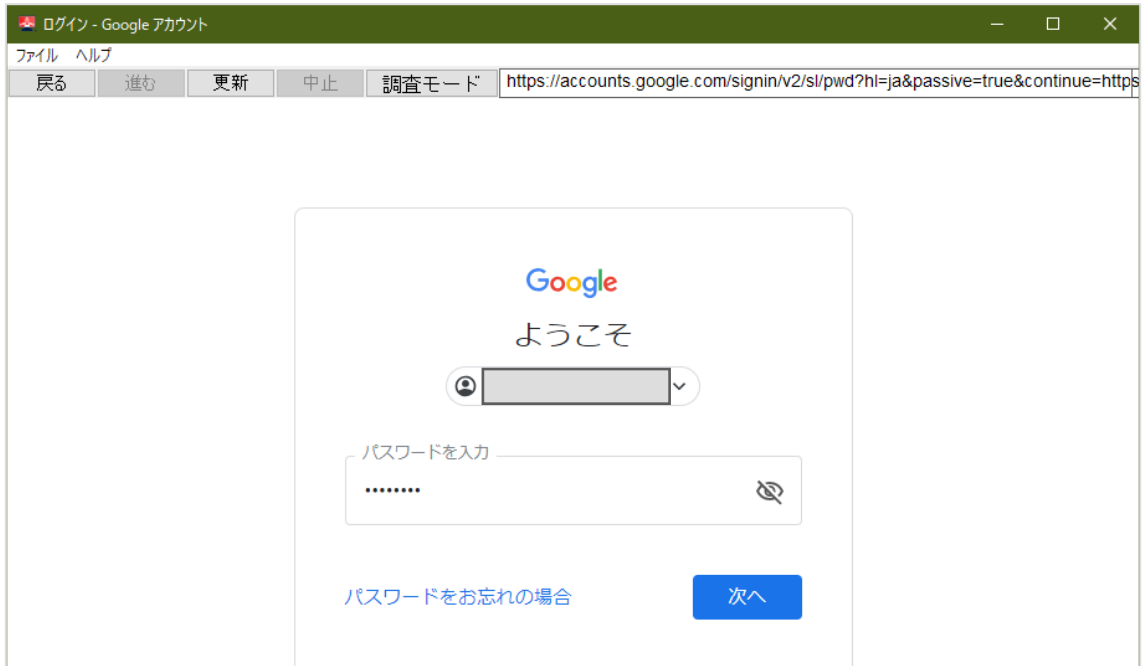
パスワード設定方法	パスワード参照IDから
パスワード参照ID	パスワード

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エlement	HTML エlementを指定する
HTML ターゲット	指定したElementの値を入力する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1. 直接入力 2. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される パスワード等の表示させたくない数値や文字列を入力する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する
上書き入力	チェック有り： ターゲットを一度空にして入力する チェック無し： ターゲットへ追記する



シナリオ例（ページ操作>HTML キーボード入力（パスワード））の実行結果：

Google のログインページでパスワードを入力した。



6.12.14. ページ操作 > HTML ドロップダウン操作

ブラウザ上のドロップダウンを選択するコマンド。

HTMLドロップダウン操作

ブラウザ参照ID		▼
HTMLエレメント	xpath	▼
HTMLターゲット		☰
値の指定方法	テキスト	▼
値	例) ドロップダウンテキスト	☰
複数選択	<input type="checkbox"/>	
メモ		

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
値の指定方法	値の指定方法を「テキスト」「value 属性」「何番目」から選択する
値	選択するドロップダウンの値 (テキスト、value 属性、何番目) を

	入力する
複数選択	チェック有り：選択済みのもの+対象値を選択する チェック無し：対象値を選択する

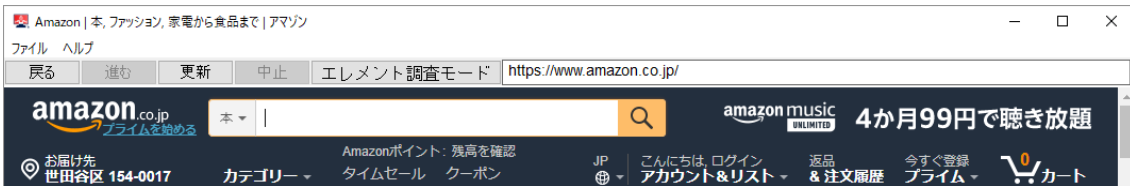
シナリオ例（ページ操作>HTML ドロップダウン操作）：

amazon ページの検索フォームのドロップダウンから「本」を選択するシナリオ。

- ブラウザ起動 (amazon.co.jpへアクセス)
 - ブラウザ: おじどうさんブラウザ
 - 開始URL: https://amazon.co.jp
 - ウィンドウ最大化: 有り
- HTMLドロップダウン操作 (検索対象を「本」に設定)
 - ブラウザ参照ID: browser
 - HTMLエレメント: id
 - HTMLターゲット: searchDropDownBox
 - 値の指定方法: テキスト, 値: 本
 - 複数選択: 無し

シナリオ例（ページ操作>HTML ドロップダウン操作）の実行結果：

ドロップダウンから「本」が選択された。



6.12.15. ページ操作 > HTML 文字列抽出

ブラウザにて、指定したエレメントの文字列を抽出するコマンド。抽出した文字列はデータ参照 ID に記憶される。

HTML文字列抽出

ブラウザ参照ID

HTMLエレメント xpath

HTMLターゲット

ドロップダウン全項目取得

データ参照ID 抽出文字

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
ドロップダウン 全項目取得	ドロップダウンの全項目の文字を取得する場合にチェックする
データ参照 ID	取得した文字列を記憶するデータ参照 ID を定義する

シナリオ例（ページ操作>HTML 文字列抽出）：

yahoo ページのニュース 1 番目の文字列を取得して、メモ帳に入力するシナリオ。

※例のような HTML ターゲットの xpath を取得する方法は、後述の 7. おじどうさんに記載しています。

HTML 文字列抽出の HTML ターゲット：

/html/body/div[1]/div/main/div[2]/div[1]/article/div/section/div/div[1]/ul/li[1]/article/a/div/div/h1/spa

1 ブラウザ起動 (yahoo.co.jpへアクセス) ✕
ブラウザ: おじどうさんブラウザ
開始URL: https://yahoo.co.jp
ウィンドウ最大化: 有り browser

2 HTML文字列抽出 (ヤフーニュース1番目のタイトルを取得) ✕
ブラウザ参照ID: browser html-text
HTMLエレメント: xpath
HTMLターゲット: /html/body/div[1]/div/main/div[2]/div[1] ...
ドロップダウン全項目取得: 無し

3 アプリ起動 ✕
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 有り

4 キーボード入力 (文字) ✕
文字: html-text
Enter: 無し

シナリオ例（ページ操作>HTML 文字列抽出）の実行結果：

ニュース 1 番目の文字列がメモ帳に記載された。

Yahoo! JAPAN
ファイル ヘルプ
戻る 進む 更新 中止 エレメント調査モード https://www.yahoo.co.jp/
ホームページに設定する
Yahoo! BB まっず版 アプリ版
トラベル ヤフオク ショッピング
YAHOO! JAPAN
プレミアム カード メール
ウェブ 画像 動画 知恵袋 地図 リアルタイム 求人 一覧
検索
日本の世界遺産への旅 みどころやオススメの宿を紹介 >>> ぐじで防災/浦和隊が全巻読めるチャンス
主なサービス 一覧
ショッピング ヤフオク LOHACO トラベル 一休.com 一休.comレストラン ニュース 天気・災害
11時23分更新
九州大雨 昼にかげピーク予想
大雨 100万人以上に避難勧告
68日間拘束も 裁判員の難しさ
三菱電機 鉄道業界で風
喫煙=サボリ? 社会の模索続く
ホンダV 接触で審議1時間45分
君の名は。CMでも入れ替わり
日本人初の世界1位
7月1日8時39分配信
福井新聞ONLINE
YAHOO! JAPAN
e-ルマーケット
Yell Market since 2011

↓

無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
九州大雨 昼にかげピーク予想写真

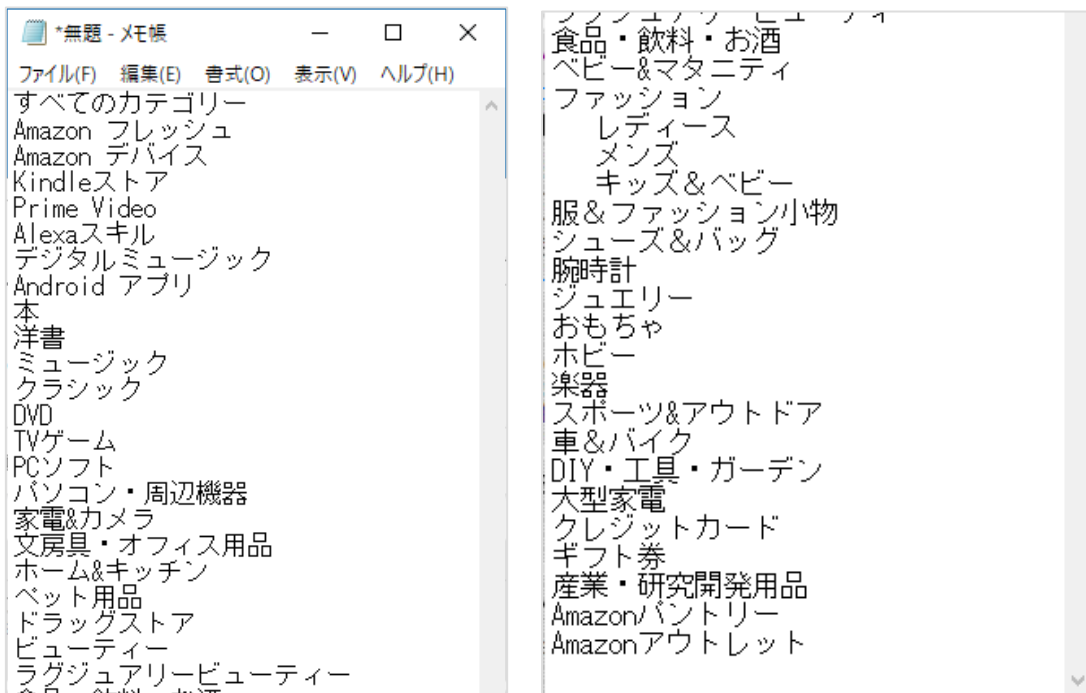
シナリオ例（ページ操作>HTML文字列抽出・ドロップダウン全項目取得）：

Amazon ページの検索フォームのドロップダウンから全項目を取得し、メモ帳に入力するシナリオ。

※例のような HTML ターゲットの xpath を取得する方法は、後述の 7. おじどうさんに記載しています。



シナリオ例（ページ操作>HTML文字列抽出・ドロップダウン全項目取得）の実行結果：



6.12.16. ページ操作 > HTML リンク抽出

ブラウザにて、指定したエレメントのリンク (URL) を抽出するコマンド。抽出したリンクはデータ参照 ID に記憶される。

HTMLリンク抽出

ブラウザ参照ID	<input type="text"/>
HTMLエレメント	xpath
HTMLターゲット	<input type="text"/>
データ参照ID	リンク
メモ	<input type="text"/>

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
データ参照 ID	取得した文字列を記憶するデータ参照 ID を定義する

シナリオ例（ページ操作>HTMLリンク抽出）：

おじどうさん公式ホームページのメニュー「お問合せ・資料請求」の文字列とリンクを取得して、メモ帳に入力するシナリオ。

※例のような HTML ターゲットの xpath を取得する方法は、後述の 7. おじどうさんに記載しています。

1 ブラウザ起動

ブラウザ: おじどうさんブラウザ
開始URL: https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/
ウィンドウ最大化: 無し

2 HTML文字列抽出

ブラウザ参照ID: browser
HTMLエレメント: xpath
HTMLターゲット: /html/body/div[1]/div[2]/div/div/ul/li[2] ...
ドロップダウン全項目取得: 無し

3 HTMLリンク抽出

ブラウザ参照ID: browser
HTMLエレメント: xpath
HTMLターゲット: /html/body/div[1]/div[2]/div/div/ul/li[2] ...

4 アプリ起動

アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し

5 キーボード入力 (文字)

文字: html-text html-link
Enter: 無し

おじどうさん | ブルーテック株式会社

おじどうさん
Robotic Process Automation

03-5405-8111 受付時間 9:00~18:00 (土日祝日を除く)

お問い合わせ・資料請求

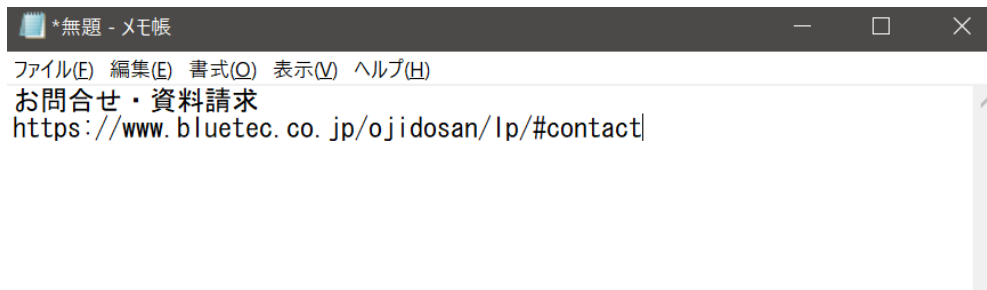
挫折しないRPA

ブルーテックは、RPAツールと導入支援をワンストップで提供し、お客様の業務自動化に伴走します。

このメニューボタンの文字列とリンクを抽出します。

シナリオ例（ページ操作>HTML リンク抽出）の実行結果：

「お問合せ・資料請求」の文字列とリンクがメモ帳に記載された。



6.12.17. ページ操作 > HTML 画像 URL 抽出

ブラウザにて、指定したエレメントの画像 URL を抽出するコマンド。抽出した画像 URL はデータ参照 ID に記憶される。

HTML画像URL抽出

ブラウザ参照ID	
HTMLエレメント	xpath
HTMLターゲット	
データ参照ID	画像URL
メモ	

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
データ参照 ID	取得した文字列を記憶するデータ参照 ID を定義する

シナリオ例（ページ操作>HTML 画像 URL 抽出）：

おじどうさん公式ホームページから「トップ画面」の画像 URL を取得して、メモ帳に入力するシナリオ。

※例のような HTML ターゲットの xpath を取得する方法は、後述の 7. おじどうさんに記載しています。

The image shows a sequence of four steps in a scenario configuration tool:

- 1 ブラウザ起動**: ブラウザ: おじどうさんブラウザ
開始URL: <https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/>
ウィンドウ最大化: 無し
- 2 アプリ起動**: アプリの場所: notepad
待機時間(秒): 1
ウィンドウ最大化: 無し
- 3 HTML画像URL抽出**: ブラウザ参照ID: browser
HTMLエレメント: xpath
HTMLターゲット: /html/body/div[1]/div[3]/div[1]/div[1]/d ...
- 4 キーボード入力(文字)**: 文字: html-src
Enter: 有り

Below the configuration is a screenshot of the browser displaying the "おじどうさん" (Ojidosan) website. A blue box highlights the image URL <https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/images/0001/mv.png> on the page.

シナリオ例（ページ操作>HTML 画像 URL 抽出）の実行結果：

「トップ画面」の画像 URL がメモ帳に記載された。

The screenshot shows a Notepad window titled "*無題 - メモ帳". The address bar contains the URL: <https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/images/0001/mv.png>

6.12.18. ページ操作 > HTML 画像ダウンロード

ブラウザにて、指定したエレメントの画像をダウンロードするコマンド。画像は指定のダウンロード先に保存される。

※ダウンロード先に同じ名前のファイルがある場合は上書きされる。

HTML画像ダウンロード

ブラウザ参照ID	
HTMLエレメント	xpath
HTMLターゲット	
ダウンロード先	例) C:\Users\...
メモ	

× キャンセル ✓ OK

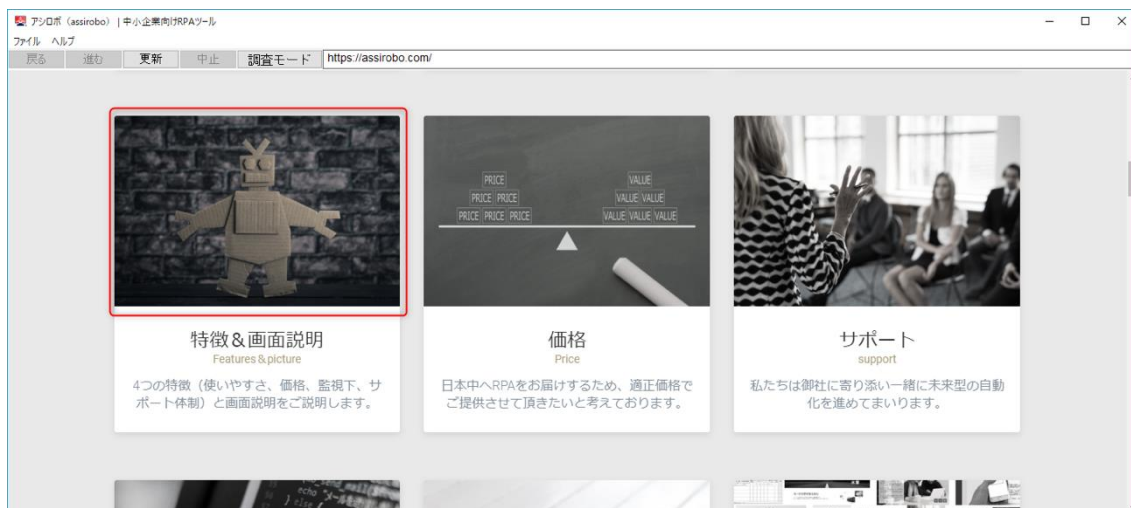
名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
ダウンロード先	画像を保存する場所を指定する。

シナリオ例（ページ操作>HTML 画像ダウンロード）：

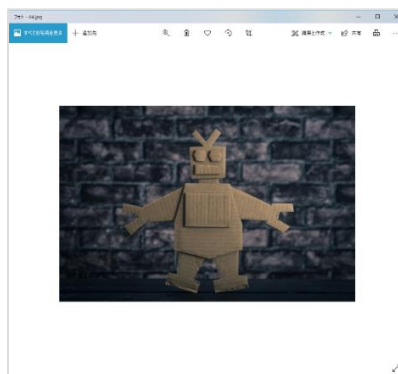
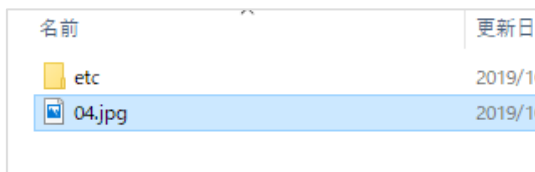
おじどうさん公式ホームページから「特徴&画像説明」の画像をダウンロードするシナリオ。

※例のような HTML ターゲットの xpath を取得する方法は、後述の 7. おじどうさんに記載しています。

- データの記憶（環境情報）
環境情報: ダウンロード ダウンロード
- ブラウザ起動
ブラウザ: おじどうさんブラウザ
開始URL: https://www.assirobo.com
ウィンドウ最大化: 無し browser
- HTML画像ダウンロード
ブラウザ参照ID: browser
HTMLエレメント: xpath
HTMLターゲット: /html/body/div[1]/div/div/div[1]/div[1]
ダウンロード先: ダウンロード
- フォルダを開く
フォルダ場所: ダウンロード



シナリオ例（ページ操作>HTML 画像ダウンロード）の実行結果：
「特徴&画像説明」の画像がダウンロードフォルダに保存された。



6.12.19. ページ操作 > HTML 表ダウンロード (CSV)

Web ページ内の表を取得し、CSV ファイルとしてダウンロードするコマンド。

HTML表ダウンロード (CSV)

ブラウザ参照ID

HTMLエレメント xpath

HTMLターゲット

ダウンロード先 例) C:\Users\...

メモ

【注意】同一ファイルがある場合は上書きされます

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エlement	HTML エlementを指定する ※Elementのタグが table, th, tr, td のいずれかであること
HTML ターゲット	指定したElementの値を入力する
ダウンロード先	CSV ファイルを指定する ※既存の CSV ファイルを指定した場合は「上書き」されます

※新規ファイルとしてダウンロードする場合は、ファイル選択ウィンドウで保存先フォルダを開いた状態から、ファイル名フォームに新規ファイル名を入力することを推奨します。

シナリオ例（ページ操作 > HTML 表ダウンロード（CSV））：

全国名字ランキング（<https://myoji-yurai.net/prefectureRanking.htm>）20 位までの表を test.csv としてダウンロードするシナリオ。

The screenshot shows a scenario editor with the following steps:

- 1** ブラウザ起動
ブラウザ: おじどうさんブラウザ
開始URL: <https://myoji-yurai.net/prefectureRanking.htm>
ウィンドウ最大化: 無し
- 2** HTML表ダウンロード (CSV)
ブラウザ参照ID: ブラウザ
HTMLElement: xpath
HTMLターゲット: /html/body/div[3]/div[1]/div[3]/ul/li[3] ...
ダウンロード先: C:\Users\y.takagi\OneDrive - ナレッジスイートグルー ...
- 3** ブラウザを閉じる
ブラウザ参照ID: ブラウザ
- 4** エクセルブックを開く
ファイル場所: C:\Users\y.takagi\OneDrive - ナレッジスイートグルー ...
ウィンドウ最大化: 無し
パスワード:

シナリオ例（ページ操作 > HTML 表ダウンロード（CSV））の実行結果：

	A	B	C	D
1	順位	名字	人数	
2	1位	佐藤	およそ1,871,000人	
3	2位	鈴木	およそ1,797,000人	
4	3位	高橋	およそ1,411,000人	
5	4位	田中	およそ1,335,000人	
6	5位	伊藤	およそ1,074,000人	
7	6位	渡辺	およそ1,063,000人	
8	7位	山本	およそ1,050,000人	
9	8位	中村	およそ1,044,000人	
10	9位	小林	およそ1,028,000人	
11	10位	加藤	およそ887,000人	
12	11位	吉田	およそ829,000人	
13	12位	山田	およそ814,000人	
14	13位	佐々木	およそ673,000人	
15	14位	山口	およそ643,000人	
16	15位	松本	およそ627,000人	
17	16位	井上	およそ614,000人	
18	17位	木村	およそ576,000人	
19	18位	林	およそ545,000人	
20	19位	斎藤	およそ542,000人	
21	20位	清水	およそ532,000人	
22				

6.12.20. ページ操作 > HTML 属性抽出

Web ページから HTML 属性の値を抽出する。

例を以下に示す。本コマンドでは下記表の「属性値」を取得する。

```
<span class="Fam1ne EBe2gf" aria-label="5 点中 5.0 点の評価、" role="img" style="width:70px">☆☆☆☆☆</span>
```

	HTML 属性	属性値
1	class	Fam1ne EBe2gf
2	aria-label	5 点中 5.0 点の評価、
3	role	Img
4	style	width:70px

HTML属性抽出

ブラウザ参照ID

HTMLエレメント

HTMLターゲット
☰

HTML属性
☰

データ参照ID

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
HTML 属性	抽出する HTML 属性を入力する
データ参照 ID	取得した文字列を記憶するデータ参照 ID を定義する

シナリオ例（ページ操作 > HTML 属性抽出）：

横浜ランドマークタワーの Google 口コミ評価をメモ帳に入力する。

The screenshot shows a sequence of steps in a test automation tool:

- 1. ブラウザ起動 (ブラウザ: おじどうさんブラウザ, 開始URL: https://google.com)
- 2. HTMLキーボード入力 (HTML要素: name, ターゲット: q, 入力文字: 横浜ランドマークタワー)
- 3. HTMLクリック (HTML要素: xpath, ターゲット: /html/body/div[5]/div/div[12]/div[2]/div ...)
- 4. アプリ起動 (場所: notepad, 待機時間: 3秒)
- 5. データの記録 (文字: 1)
- 6. 繰り返し (回数: 3)
 - 7. HTML属性抽出 (HTML要素: xpath, ターゲット: /html/body/span[2]/g-lightbox/div/div[2] ...)
 - 8. キーボード入力 (文字: Google口コミ評価, Enter: 有り)
 - 9. 計算結果を記憶 (演算式: 評価 + 1)

シナリオ例（ページ操作 > HTML 属性抽出）の実行結果：

The screenshot shows a Notepad window with the following text:

```
Google 口コミ 評価1: 5 点中 5.0 点の評価、
Google 口コミ 評価2: 5 点中 4.0 点の評価、
Google 口コミ 評価3: 5 点中 5.0 点の評価、
```

6.12.21. ページ操作 > HTML ポップアップクリック

ブラウザに表示されたポップアップのボタンをクリックするコマンド。

HTMLポップアップクリック

ブラウザ参照ID

ポップアップボタン OK キャンセル

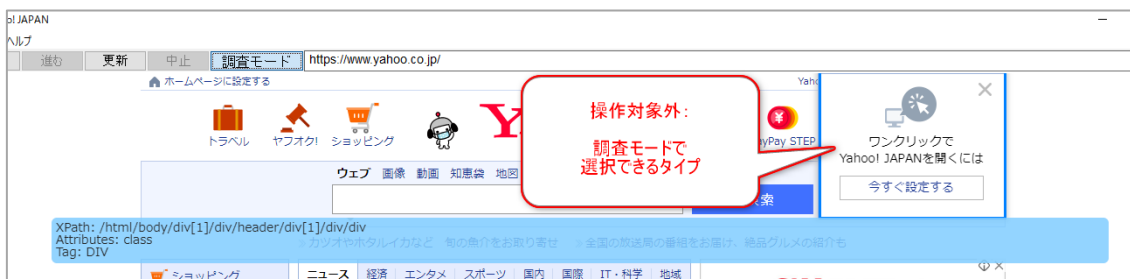
メモ

【注意】 ファイル操作時のダイアログは対象外です。

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
ポップアップボタン	クリックしたいボタンを選択する

※注意点

- ・ ファイル操作時のダイアログは対象外です。
- ・ 調査モードで選択できるポップアップは操作の対象外です



※シナリオ例は直下の 6.11.21. HTML ポップアップ内容抽出に記載する。

6.12.22. ページ操作 > HTML ポップアップ内容抽出

ブラウザに表示されたポップアップの内容を抽出するコマンド。

HTMLポップアップ内容抽出

ブラウザ参照ID

データ参照ID

メモ

【注意】ファイル操作時のダイアログは対象外です。

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
データ参照 ID	取得した文字を記憶するデータ参照 ID を定義する

※注意点

- ・ ファイル操作時のダイアログは対象外です。
- ・ 調査モードで選択できるポップアップは操作の対象外です



シナリオ例 (ページ操作>HTML ポップアップクリック、HTML ポップアップ内容抽出) :
ポップアップの文字を抽出して閉じるシナリオ。

1 ブラウザ起動
ブラウザ: おじどうさんブラウザ
開始URL: https://www.jquery-az.com/javascript/dem ...
ウィンドウ最大化: 無し

2 HTMLクリック
ブラウザ参照ID: ブラウザ
HTMLエレメント: xpath
HTMLターゲット: /html/body/div[3]/table/tbody/tr[2]/td[2 ...
クリックタイプ: シングル

3 HTMLポップアップ内容抽出
ブラウザ参照ID: ブラウザ

4 HTMLポップアップクリック
ブラウザ参照ID: ブラウザ
ポップアップボタン: OK

5 続行確認
表示内容: ポップアップの内容: ポップアップ内容

A demo to create and trigger simple alert
ファイル ヘルプ
戻る 進む 更新 中止 調査モード https://www.jquery-az.com/javascript/demo.php?ex=151.0_1

JavaScript Demo

JavaScript / HTML/ CSS Code

```
<!DOCTYPE html>  
<html>  
<head>  
</head>  
<body>  
<button onclick="JSAlert(  
<script type="text/javascript"  
function JSAlert(){  
  alert("This is a simple JavaScript alert!");
```

Output
Click here to trigger JS alert

JavaScript Alert - https://www.jquery-az.com
This is a simple JavaScript alert!
OK

シナリオ例の実行結果:

アシロボ

ポップアップの内容:
This is a simple JavaScript alert!

はい(Y) いいえ(N)

6.12.23. ページ操作 > HTML エlement出現を待つ

ブラウザ上のElement (ボタンや画像等) の出現を待つCommand。Elementが出現したかそうで無いかで処理を分けることができる。

HTML Element出現を待つ

ブラウザ参照ID	
HTML Element	xpath
HTMLターゲット	
検索時間 (秒)	10
メモ	

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML Element	HTML Elementを指定する
HTML ターゲット	指定したElementの値を入力する
検索時間 (秒)	検索時間を指定する。最大検索時間は 3600 秒。Elementが出現した場合は検索時間の経過を待たずに次の処理を実行する。

シナリオ例（ページ操作>HTML エレメント出現を待つ）：

https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/ から存在するエレメント（ボタン「お問合せ・資料請求」）の出現を待ち、その結果を表示するシナリオ。

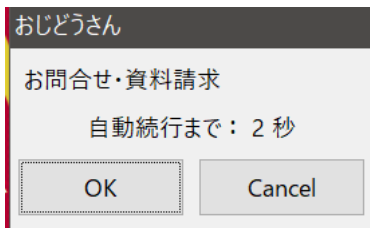
The screenshot shows a configuration window for a test scenario. It contains five steps:

- 1 ブラウザ起動**
ブラウザ: おじどうさんブラウザ
開始URL: https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/
ウィンドウ最大化: 無し
- 2 HTMLエレメント出現を待つ**
ブラウザ参照ID: ブラウザ
HTMLエレメント: xpath
HTMLターゲット: /html/body/div[1]/div[2]/div/div/ul/li[2 ...
検索時間 (秒): 10
HTMLエレメントが出現した場合 (TRUE) :
- 3 HTML文字列抽出**
ブラウザ参照ID: ブラウザ
HTMLエレメント: xpath
HTMLターゲット: /html/body/div[1]/div[2]/div/div/ul/li[2 ...
ドロップダウン全項目取得: 無し
- 4 タイマー付き続行確認**
表示内容: 抽出文字
待機時間 (秒): 3
HTMLエレメントが出現しなかった場合 (FALSE) :
- 5 タイマー付き続行確認**
表示内容: HTMLエレメントがありません。
待機時間 (秒): 3



シナリオ例（ページ操作>HTML エレメント出現を待つ）の実行結果：

ボタン「お問合せ・資料請求」の出現を検知したときは文字「お問合せ・資料請求」を抽出し、エレメントが出現しなかった場合は「HTML エレメントがありません。」と表示した。



6.12.24. ページ操作 > JavaScript 実行

※本コマンドは技術者向けです。

Web ページに対して JavaScript を実行し、その結果（戻り値）をデータ参照 ID に記憶するコマンド。

JavaScript実行

ブラウザ参照ID

JavaScript

データ参照ID（戻り値）

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する。
JavaScript	実行したい JavaScript を入力する。
データ参照 ID（戻り値）	JavaScript 実行結果（戻り値）を記憶する、データ参照 ID を定義する。

シナリオ例（ページ操作>JavaScript 実行）：

おじどうさんの公式ページ（<https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/>）に対して、セレクトタが「span class」である HTML タグによってレンダリングされた文字を取得し、その内容をメモ帳に入力する。

- 1 ブラウザ起動 ✕
 ブラウザ: おじどうさんブラウザ
 開始URL: https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/
 ウィンドウ最大化: 無し ブラウザ
- 2 JavaScript実行 ✕
 ブラウザ参照ID: ブラウザ 戻り値
 JavaScript: var text = document.querySelector("span ...
- 3 アプリ起動 (メモ帳起動) ✕
 アプリの場所: notepad
 待機時間 (秒): 3
 ウィンドウ最大化: 無し
- 4 キーボード入力 (貼り付け) (JavaScript実行コマンドの結果「戻り値」を入力) ✕
 文字: 戻り値
 Enter: 無し

JavaScript実行

ブラウザ参照ID	ブラウザ
JavaScript	<pre>var text = document.querySelector("span class"); return text.innerText;</pre>
データ参照ID (戻り値)	戻り値
メモ	

✕ キャンセル ✓ OK

シナリオ例（ページ操作＞JavaScript 実行）の実行結果：

The image shows a screenshot of a web browser window displaying the BlueTec website. The browser's address bar shows the URL <https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/p/>. The website header includes the logo for "おじどうさん Robotic Process Automation" and the phone number "03-5405-8111" with the text "受付時間 9:00~18:00 (土日祝日を除く)". A red button labeled "お問合せ・資料請求" is visible in the header.

The main content area features a large red banner with the text "挫折しないRPA" in yellow. Below this, it states: "ブルーテックは、RPAツールと導入支援をワンストップで提供し、お客様の業務自動化に伴走します。" To the right of the text is an image of a laptop displaying a software interface. Below the text are three statistics: "8つのカテゴリに無料で利用できるサポート", "稼働率 98%", and "3分で作業の手順を登録!".

At the bottom of the banner, it says "60秒で入力完了できます" and "お問合せ・資料請求". A handwritten note "みんなが悩んでる" with an arrow points to the "お問合せ・資料請求" button.

Overlaid on the right side of the browser window is a Notepad window titled "無題 - メモ帳". The Notepad contains the text "03-5405-8111".

6.12.25. IFrame 移動 > IFrame に入る

Web ページ内に埋め込まれた別の Web ページ(IFrame)にアクセスするコマンド。

IFrameに入る

ブラウザ参照ID

IFrameエレメント

IFrameターゲット
☰

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する。
IFrame エレメント	IFrame エレメントを指定する。
IFrame ターゲット	操作したい IFrame エレメントの値を指定する。

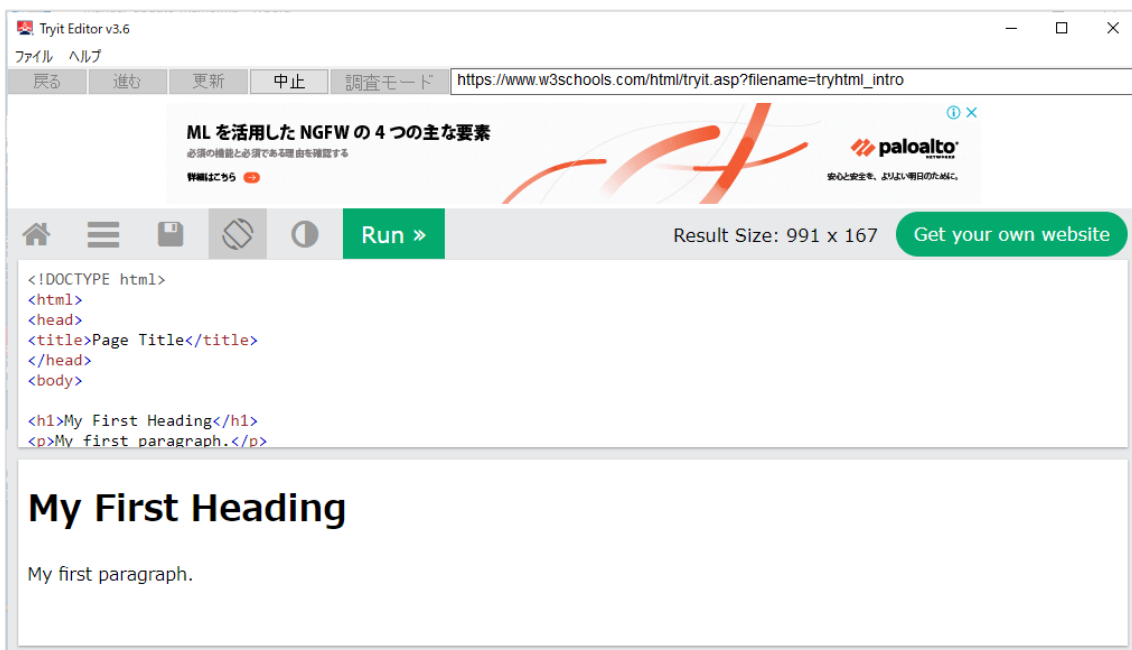
シナリオ例 (IFrame 移動 > IFrame に入る、IFrame 移動 > IFrame から出る) :

IFrame 内の文字をメモ帳に転記するシナリオ。

The screenshot shows the Tryit Editor interface. The top part displays a web page with a header and a main content area. The main content area contains the text "My First Heading" and "My first paragraph." Below the web page, the HTML source code is visible, showing the structure of the page with the heading and paragraph elements.

- 1 ブラウザ起動
 - ブラウザ: おじどうさんブラウザ
 - 開始URL: https://www.w3schools.com/html/tryit.asp ...
 - ウィンドウ最大化: 無し
- 2 IFrameに入る
 - ブラウザ参照ID: browser
 - IFrameエレメント: xpath
 - IFrameターゲット: /*[@id="iframeResult"]
- 3 HTML文字列抽出
 - ブラウザ参照ID: browser
 - HTMLエレメント: xpath
 - HTMLターゲット: /html/body/p
 - ドロップダウン全項目取得: 無し
- 4 IFrameから出る
 - ブラウザ参照ID: browser
- 5 アプリ起動
 - アプリの場所: notepad
 - 待機時間(秒): 3
 - ウィンドウ最大化: 無し
- 6 キーボード入力(文字)
 - 文字: html-text
 - Enter: 無し

シナリオ例 (IFrame 移動>IFrame に入る、IFrame 移動>IFrame から出る) の実行結果：
メモ帳に IFrame 内の文字を転記した。



6.12.26. IFrame 移動 > IFrame から出る

IFrame から出て、ページ操作対象を Web ページ全体に戻すコマンド。

IFrameから出る

ブラウザ参照ID

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する

シナリオ例は前項の [6.11.12. IFrame 移動 > IFrame に入る](#)を参照せよ。

6.13. メール

6.13.1. 送信

メールを送信するコマンド。

※メール設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

※下記は設定例です。

メールを送信

送信サーバ	smtp.bluetec.co.jp
ポート	587
通信セキュリティ	STARTTLS
送信者アカウント	xxx@bluetec.co.jp
パスワード設定方法	パスワード無し
送信者名	おじどうさん<xxx@bluetec.co.jp>
宛先アドレス (To)	aaa@bluetec.co.jp
宛先アドレス (CC)	例) rpa3@example.com, rpa4@example.com
宛先アドレス (BCC)	例) rpa5@example.com, rpa6@example.com
件名	test
本文	テストメールです。

添付ファイル **+**

ファイルが存在しない場合 送信 エラー終了

ファイル 例) C:\Users\... **📄** **☰** **✕**

メモ

✕ キャンセル **✓** OK

パスワード設定方法 **直接入力**

パスワード

パスワード設定方法	パスワード参照IDから
パスワード参照ID	パスワード

名称	内容
送信サーバ	送信サーバを指定する
ポート	ポートを指定する
通信セキュリティ	通信セキュリティを指定する
送信者アカウント	送信アドレスを指定する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1. パスワード無し 2. 直接入力 3. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される送信ユーザのパスワードを指定する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示されるパスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する
送信者名	送信者名のメールアドレスを指定する 日本語名の表記方法： 氏名 <メールアドレス>
宛先アドレス (To)	宛先 To のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス (CC)	宛先 CC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス (BCC)	宛先 BCC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
件名	件名を入力する
本文	本文を入力する
添付ファイル	添付ファイルを指定する
ファイルが存在しない場合	送信： ファイルが無くても送信する エラー終了： ファイルが無かったらエラーで終了する

6.13.2. 受信

受信したメール一通一通に処理を行うコマンド。受信メールが複数ある場合は受信日時が過去のものから順にループ処理を行う。

※メール設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

※Yahoo!Japan メール利用時の一般的な設定は下図のようになります。

メール受信

受信サーバ	imap.mail.yahoo.co.jp
ポート	993
通信セキュリティ	SSL/TLS ▼
受信者アカウント	xxxxxxxx@yahoo.co.jp
パスワード設定方法	パスワード無し ▼
添付ファイル保存先	C:\Users\user\Downloads 📁 ☰

フィルター +

未読メールのみ受信 受信後既読にする 受信後フラグを立てる

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

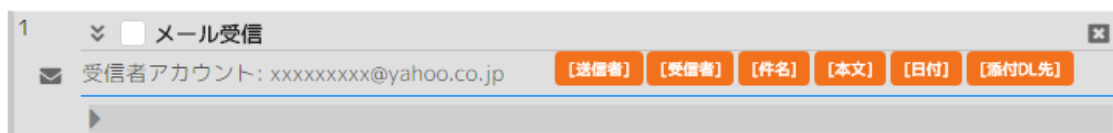
パスワード設定方法	直接入力 ▼
パスワード	

パスワード設定方法	パスワード参照IDから ▼
パスワード参照ID	パスワード ▼

名称	内容
受信サーバ	受信サーバを指定する ※POP 未対応
ポート	ポートを指定する
通信セキュリティ	通信セキュリティを指定する
受信者アカウント	受信アドレスを指定する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1. パスワード無し 2. 直接入力 3. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される

	認証の際に必要なパスワードを設定する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示されるパスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する
添付ファイル保存先	添付ファイル保存先を指定する
フィルター	メール受信時のフィルター条件を設定する 【注意点】 ・フィルターにフォルダ名が設定されていない場合、INBOXフォルダーのみを検索する
未読メールのみ受信	チェックすると未読メールのみ受信する
受信後既読にする	チェックすると受信メールに既読の処理をする
受信後フラグを立てる	チェックすると受信メールにフラグを立てる

メールの送信者や件名等の情報はメール受信コマンド内のデータ参照 ID に格納される(下図)。



シナリオ例 (メール受信) :

未読メールの本文をメモ帳に入力するシナリオ。

下記フィルター条件

- 「Sent Messages」内のメール
- 件名に「test」を含む



メール受信

受信サーバ	imap.mail.yahoo.co.jp		
ポート	993		
通信セキュリティ	SSL/TLS		
受信者アカウント	abc_def@yahoo.co.jp		
パスワード		
添付ファイル保存先	\${ダウンロード}		 

フィルター 

未読メールのみ受信
 受信後既読にする
 受信後フラグを立てる

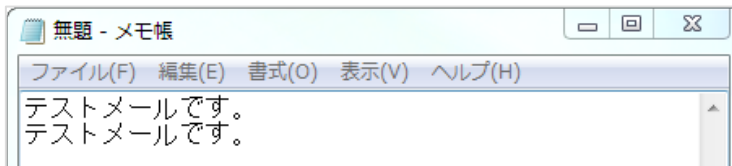
項目	フォルダ	条件	含む	文字列	Sent Messages		
項目	件名	条件	含む	文字列	test		

メモ

 キャンセル
  OK

シナリオ例（メール受信）の実行結果：

メモ帳に対象メール 2 通の本文が記載された。



6.13.3. 送信 (Gmail)

Gmail を送信する。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。

メールを送信 (Gmail)

Gmailアカウント

宛先アドレス (To)

☰

宛先アドレス (CC)

☰

宛先アドレス (BCC)

☰

件名

☰

本文☰

添付ファイル +

ファイルが存在しない場合
 送信
 エラー終了

ファイル

📎
☰
✕

メモ

【注意】シナリオ一覧画面のメニュー「OAuth2アカウント管理」にて、GmailアカウントのOAuth2登録をする必要があります。

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
Gmail アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Gmail アカウントを入力する
宛先アドレス (To)	宛先 To のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス (CC)	宛先 CC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス (BCC)	宛先 BCC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
件名	件名を入力する
本文	本文を入力する

名称	内容
添付ファイル	添付ファイルを指定する
ファイルが存在しない場合	送信： ファイルが無くても送信する エラー終了： ファイルが無かったらエラーで終了する

6.13.4. 受信 (Gmail)

Gmail を受信する。受信メールが複数ある場合は受信日時が新しいのものから順にループ処理を行う。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。

※Gmail の仕様変更により本コマンドの挙動が変わる可能性があります。

メール受信 (Gmail)

Gmailアカウント OAuth2アカウント登録済みのGmailアカウントを入力

添付ファイル保存先

📁
☰

フィルター +

未読メールのみ受信
 受信後既読にする
 受信後フラグを立てる

[\[詳細非表示\]](#)

添付ファイルの種類
 インラインファイル
 非マルチパートのファイル

メモ

【注意】シナリオ一覧画面のメニュー「OAuth2アカウント管理」にて、GmailアカウントのOAuth2登録をする必要があります。

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
Gmail アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Gmail アカウントを入力する
添付ファイル保存先	添付ファイル保存先を指定する
フィルター	メール受信時のフィルター条件を設定する 【注意点】 <ul style="list-style-type: none"> ・フィルターにフォルダ名が設定されていない場合、全フォルダを検索する ・全角スペースが含まれるフォルダはフィルターで指定できない ・サブフォルダをフィルター対象にする場合、下記のような書き方をする必要がある 文字列： 親フォルダ名/子フォルダ名
未読メールのみ受信	チェックすると未読メールのみ受信する
受信後既読にする	チェックすると受信メールに既読の処理をする

受信後フラグを立てる	チェックすると受信メールにフラグを立てる
添付ファイルの種類	ダウンロードする添付ファイルの種類をチェックする

メールの送信者や件名等の情報は本コマンド内のデータ参照 ID に格納される（下図）。



6.13.5. 送信 (Microsoft)

Microsoft Mail(Microsoft Outlook, Microsoft Exchange)を送信する。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。

メールを送信 (Microsoft)

Microsoftアカウント

OAuth2アカウント登録済みのMicrosoftアカウントを入力

宛先アドレス (To)

例) rpa@example.com, rpa2@example.com

☰

宛先アドレス (CC)

例) rpa3@example.com, rpa4@example.com

☰

宛先アドレス (BCC)

例) rpa5@example.com, rpa6@example.com

☰

件名

☰

本文

☰

添付ファイル

+

ファイルが存在しない場合

送信
 エラー終了

ファイル

例) C:\Users\...

📎

☰

✕

メモ

【注意】シナリオ一覧画面のメニュー「OAuth2アカウント管理」にて、MicrosoftアカウントのOAuth2登録をする必要があります。

✕ キャンセル

✓ OK

名称	内容
Microsoft アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Microsoft アカウントを入力する
宛先アドレス (To)	宛先 To のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス (CC)	宛先 CC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス (BCC)	宛先 BCC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
件名	件名を入力する
本文	本文を入力する
添付ファイル	添付ファイルを指定する
ファイルが存在しない場合	送信： ファイルが無くても送信する エラー終了： ファイルが無かったらエラーで終了する

6.13.6. 受信 (Microsoft)

Microsoft Mail(Microsoft Outlook, Microsoft Exchange)を受信する。受信メールが複数ある場合は受信日時が新しいのものから順にループ処理を行う。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。

※Microsoft Mail の仕様変更により本コマンドの挙動が変わる可能性があります。

メール受信 (Microsoft)

Microsoftアカウント OAuth2アカウント登録済みのMicrosoftアカウントを入力

添付ファイル保存先

フィルター +

未読メールのみ受信 受信後既読にする 受信後フラグを立てる

項目 フォルダ 条件 含む 文字列

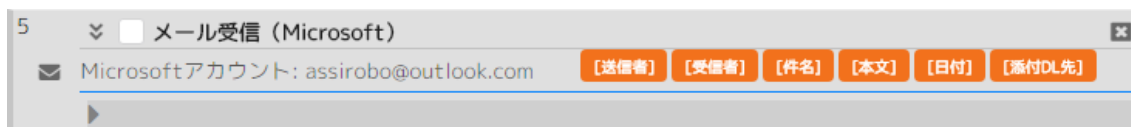
メモ

【注意】シナリオ一覧画面のメニュー「OAuth2アカウント管理」にて、MicrosoftアカウントのOAuth2登録をする必要があります。

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
Microsoft アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Microsoft アカウントを入力する
添付ファイル保存先	添付ファイル保存先を指定する
フィルター	メール受信時のフィルター条件を設定する 【注意点】 ・フィルターにフォルダ名が設定されていない場合、全フォルダーを検索する
未読メールのみ受信	チェックすると未読メールのみ受信する
受信後既読にする	チェックすると受信メールに既読の処理をする
受信後フラグを立てる	チェックすると受信メールにフラグを立てる

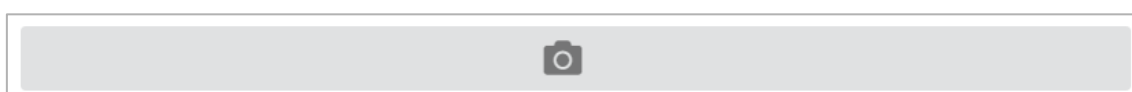
メールの送信者や件名等の情報は本コマンド内のデータ参照 ID に格納される (下図)。



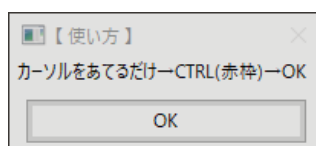
6.14. 特殊アプリ操作

特殊アプリ操作とは、ウィンドウズアプリを操作する事に特化したコマンド。アプリ内の様々な UI 要素（ボタン、メニュー項目、ラジオボタン等）を、座標や形状関係なく認識し、操作できるのが特徴。UIAutomation という技術を使って実現している。

特殊アプリ操作のコマンドを含んだシナリオを構築する際には、おじどうさんの「UI キャプチャー」機能を利用する。UI キャプチャー機能とは、操作したいアプリの UI 要素にマウスカーソルをあてる事で、その UI 要素を簡易的に記憶する機能である。特殊アプリ操作の全てのコマンド設定画面に、UI キャプチャーを開始するボタンが搭載されている。ボタンは、下記の形状をしている。

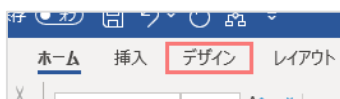


ボタンを押すと、下記の UI キャプチャーウィンドウが立ち上がり、UI キャプチャーモードに移行する。



UI キャプチャーモードでは、マウスと「CTRL」キーのみを利用する。マウスカーソルを操作対象の UI 要素にあてて CTRL キーを押すと、マウスカーソル直下の UI 要素に赤い枠が表示される。赤い枠が表示されれば、その UI 要素が記憶された合図である。この状態で UI キャプチャーウィンドウの「OK」ボタンを押すと設定完了となり、特殊アプリ操作コマンドの各設定項目に対して、UI 要素の識別データが自動的に書き込まれる。

例として、マイクロソフトワードの「デザイン」タブ項目にマウスをあて、CTRL を押したものが下記画像である。この状態で上記画像の UI ウィンドウにて OK ボタンを押すと、「デザイン」の UI 要素設定を自動で行い、コマンドにてクリック等をする事が可能になる。



特殊アプリ操作コマンドは Win32、WinForms、WPF、Metro などのフレームワークで開発されたウィンドウズアプリを操作する事を得意とするが、それ以外のアプリも操作可能な場合がある。しかし、本機能と相性が悪いアプリも存在するため、本コマンドが利用できるかの判断については、実際にコマンド設定を行い動作するか試す必要がある。

UI キャプチャーモードでは UI 要素 5 つの詳細情報を自動取得する。「操作対象」、「フレームワーク ID」、「クラス名」、「AutomationID」、「名称/ラベル」が対象である。

「操作対象」とは、UI 要素の種類である。「ボタン」や「メニュー項目」など例で、現在 40 種類ある。UIAutomation では、コントロールタイプと同じものである。

「フレームワーク ID」とは、その UI 要素が生成されたフレームワークの名称を指す。

「クラス名」とは、操作対象のアプリ内においてのその UI 要素の種類である。

「AutomationID」とは、その UI 要素の識別子である。

「名称／ラベル」とは、その UI 要素に表示されているラベルの文言などである。

上記項目については UI キャプチャー時に自動設定されるため、シナリオを簡単に組むことができる。これらの設定を手動で設定することもできるが、自動設定することができるため、初期状態では非表示としている。

6.14.1. クリック


指定のアプリウィンドウの UI 要素をクリックするコマンド。ウィンドウはウィンドウ参照 ID から選ぶ。クリックの種類は、「クリック」と「マウス移動」を含んだクリックを選ぶ。「クリック」に対応している操作対象は以下の通り。

ボタン	チェックボックス	コンボボックス
データ項目	ヘッダーアイテム	ハイパーリンク
リスト項目	メニュー項目	ラジオボタン
セマンティックズーム	スプリットボタン	タブアイテム
ツリーアイテム		

上記以外の項目に対して、「クリック」が効かない場合、「マウス移動+クリック」を行うと動作する場合がある。

クリック対象の設定は、「詳細表示」から設定できる。この詳細設定で表示される項目は UI キャプチャーモードから自動的に取得できる。

アプリをクリック



【使い方】

1. カーソルをあてる (だけ)
2. CTRL (赤枠が表示)
3. OKボタンを押す
4. 設定完了

ウィンドウ参照ID [最初のウィンドウ]

クリックタイプ クリック

[詳細表示]

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ウィンドウ参照 ID	定義したウィンドウ参照 ID を設定する。ウィンドウ参照 ID 以外に、[最前のウィンドウ]、もしくは[全てのウィンドウ]を選択可能。
クリックタイプ	クリックの種類を選択する。種類は以下のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> 1. クリック 2. マウス移動+シングルクリック 3. マウス移動+ダブルクリック 4. マウス移動+トリプルクリック 5. マウス移動+右クリック
[詳細表示] の項目	
操作対象	クリック対象の UI 要素の種類を 40 種類から選ぶ。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
フレームワーク ID	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
クラス名	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
識別子の種類	種類は以下のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 名称/ラベル 2. AutomationID 3. なし シナリオを実行する時に、AutomationID または名称/ラベルの探索を設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
名称/ラベル	識別子の種類で「名称/ラベル」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
AutomationID	識別子の種類で「AutomationID」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
何番目	シナリオを実行する時に、似た UI 要素が複数あった場合、何番目の要素に対してクリックするかを設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

シナリオ例（クリック）：

電卓で「1」「+」「2」「=」のボタンを操作する。

1	<input type="checkbox"/> アプリ起動 (電卓を起動)	✕
	アプリの場所: calc 待機時間 (秒): 1 ウィンドウ最大化: 無し	
2	<input type="checkbox"/> 画面切り替え (名前) (電卓のウィンドウを最前に持ってくる)	✕
	文字列: 電卓	
3	<input type="checkbox"/> アプリをクリック (「1」ボタンをクリック)	✕
	ウィンドウ参照ID: [最前のウィンドウ] 操作対象: ボタン クリックタイプ: クリック	
4	<input type="checkbox"/> アプリをクリック (「+」ボタンをクリック)	✕
	ウィンドウ参照ID: [最前のウィンドウ] 操作対象: ボタン クリックタイプ: クリック	
5	<input type="checkbox"/> アプリをクリック (「2」ボタンをクリック)	✕
	ウィンドウ参照ID: [最前のウィンドウ] 操作対象: ボタン クリックタイプ: クリック	
6	<input type="checkbox"/> アプリをクリック (「=」ボタンをクリック)	✕
	ウィンドウ参照ID: [最前のウィンドウ] 操作対象: ボタン クリックタイプ: クリック	

シナリオ例（クリック）の実行結果：



6.14.2. 文字入力

指定のアプリの UI 要素に文字入力するコマンド。ウィンドウはウィンドウ参照 ID から選ぶ。文字入力に対応している操作対象は以下の通り：

- ドキュメント
- 編集

文字入力対象の設定は、「詳細表示」から設定できる。この詳細設定で表示される項目は UI キャプチャーモードから自動的に取得できる。

アプリ文字入力



【使い方】

1. カーソルをあてる (だけ)
2. CTRL (赤枠が表示)
3. OKボタンを押す
4. 設定完了

ウィンドウ参照ID [最初のウィンドウ]

文字 文字

[詳細表示]

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
ウィンドウ参照 ID	定義したウィンドウ参照 ID を設定する。 ウィンドウ参照 ID 以外に、[最初のウィンドウ]、もしくは [全てのウィンドウ]を選択可能。
文字	UI 要素に対して入力する文字を設定する。
[詳細設定] の項目	
操作対象	文字入力対象の UI 要素の種類を 40 種類から選ぶ。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
フレームワーク ID	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

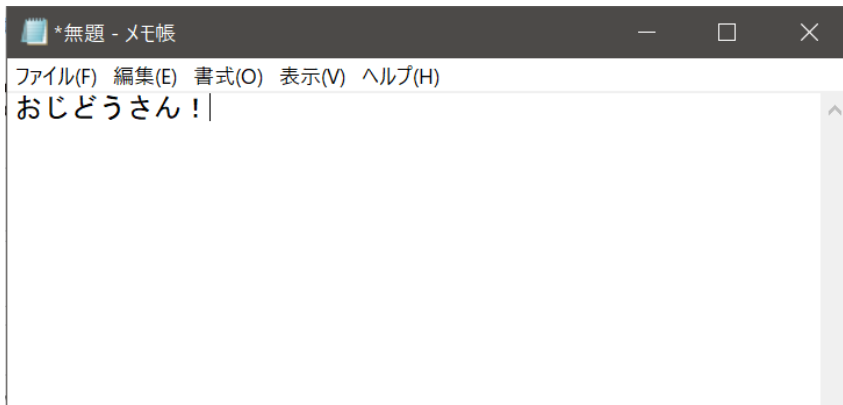
クラス名	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
識別子の種類	種類は以下のとおり。 1. 名称／ラベル 2. AutomationID 3. なし シナリオを実行する時に、AutomationID または名称／ラベルの探索を設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
名称／ラベル	識別子の種類で「名称／ラベル」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
AutomationID	識別子の種類で「AutomationID」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
何番目	シナリオを実行する時に似た UI 要素が複数あった場合、何番目の要素に対して文字入力するかを設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

シナリオ例（文字入力）：

メモ帳に「おじどうさん！」と文字入力する。

1	<input type="checkbox"/> アプリ起動	✕
	<input type="checkbox"/> アプリの場所: notepad 待機時間 (秒): 3 ウィンドウ最大化: 無し	
2	<input type="checkbox"/> 画面切り替え (名前)	✕
	<input type="checkbox"/> 文字列: メモ帳	
3	<input type="checkbox"/> アプリ文字入力	✕
	<input type="checkbox"/> ウィンドウ参照ID: 【最前のウィンドウ】 操作対象: 編集 文字: おじどうさん!	

シナリオ例（文字入力）の実行結果：



6.14.3. 座標取得

指定のアプリの UI 要素の画面上の座標 (X 軸と Y 軸) を記憶するコマンド。ウィンドウはウィンドウ参照 ID から選ぶ。ほとんどの UI 要素に対して座標を取得できる。座標はそれぞれ、データ参照 ID に記憶される。

座標取得対象の設定は、「詳細表示」から設定できる。この詳細設定で表示される項目は UI キャプチャーモードから自動的に取得できる。

アプリ座標取得

【使い方】

1. カーソルをあてる (だけ)
2. CTRL (赤枠が表示)
3. OKボタンを押す
4. 設定完了

ウィンドウ参照ID [最初のウィンドウ] ▼

データ参照ID (X) X

データ参照ID (Y) Y

[詳細表示]

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

名称	内容
ウィンドウ参照 ID	定義したウィンドウ参照 ID を設定する。ウィンドウ参照 ID 以外に、[最初のウィンドウ]、もしくは[全てのウィンドウ]を選択可能。
データ参照 ID (X)	取得した座標の X 軸を記憶するデータ参照 ID を定義する

データ参照 ID (Y)	取得した座標の Y 軸を記憶するデータ参照 ID を定義する
[詳細設定] の項目	
操作対象	座標取得対象の UI 要素の種類を 40 種類から選ぶ。UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
フレームワーク ID	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
クラス名	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
識別子の種類	種類は以下のとおり。 1. 名称／ラベル 2. AutomationID 3. なし シナリオを実行する時に、AutomationID または名称／ラベルの探索を設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
名称／ラベル	識別子の種類で「名称／ラベル」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
AutomationID	識別子の種類で「AutomationID」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
何番目	シナリオを実行する時に、似た UI 要素が複数あった場合、何番目の要素の座標を取得するかを設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

シナリオ例（座標取得）：

メモ帳の「ファイルメニュー」の座標を記憶し、そこにマウスを移動し、クリックする。

The screenshot shows a sequence of four steps in a scenario editor:

- 1 アプリ起動 (メモ帳を起動)**
 アプリの場所: notepad
 待機時間 (秒): 1
 ウィンドウ最大化: 無し
- 2 画面切り替え (名前)** (メモ帳のウィンドウを最前に持ってくる)
 文字列: メモ帳
- 3 アプリ座標取得** (メニュー項目のクリック座標を記憶)
 ウィンドウ参照ID: [最前のウィンドウ]
 操作対象: メニュー項目
- 4 マウス移動 (座標)** (メニュー項目の座標にマウスカーソルを移動し、クリックする)
 X (横): X Y (縦): Y
 移動後のクリック: シングル

シナリオ例（座標取得）の実行結果：



6.14.4. 文字取得

指定アプリの UI 要素の文字を取得するコマンド。文字はデータ参照 ID に記憶される。

文字取得対象の設定は「詳細表示」から設定できる。この詳細設定で表示される項目は UI キャプチャーモードから自動的に取得できる。

アプリ文字取得



【使い方】

1. カーソルをあてる (だけ)
2. CTRL (赤枠が表示)
3. OKボタンを押す
4. 設定完了

ウィンドウ参照ID [最初のウィンドウ]

データ参照ID 取得文字

[詳細表示]

メモ

✕ キャンセル ✓ OK

名称	内容
ウィンドウ参照 ID	定義したウィンドウ参照 ID を設定する。 ウィンドウ参照 ID 以外に、[最初のウィンドウ]、もしくは [全てのウィンドウ]を選択可能。
データ参照 ID	取得した文字を記憶するデータ参照 ID を定義する。
[詳細表示] の項目	
操作対象	座標取得対象の UI 要素の種類を 40 種類から選ぶ。UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
フレームワーク ID	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
クラス名	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
識別子の種類	種類は以下のとおり。 1. 名称／ラベル 2. AutomationID 3. なし シナリオを実行する時に、AutomationID または 名称／ラベルの探索を設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

名称／ラベル	識別子の種類で「名称／ラベル」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
AutomationID	識別子の種類で「AutomationID」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
何番目	シナリオを実行する時に、似た UI 要素が複数あった場合、何番目の要素の座標を取得するかを設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

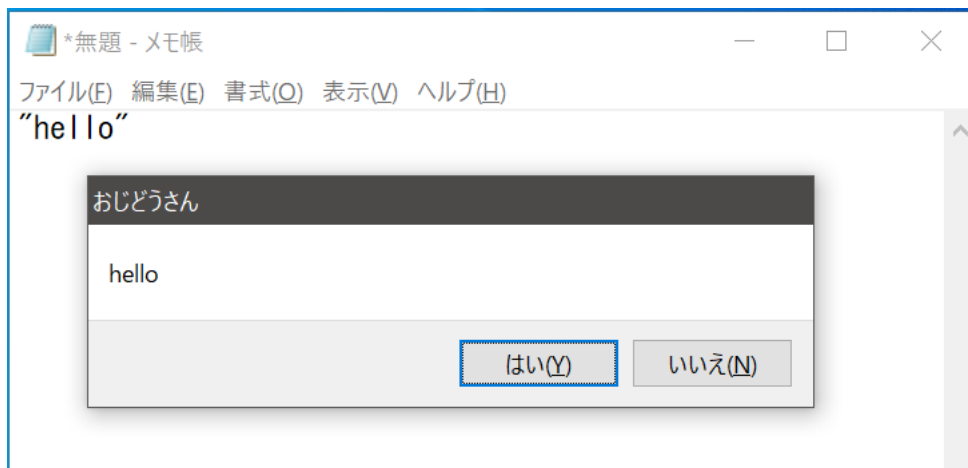
シナリオ例（文字取得）：

メモ帳内の文字を取得するシナリオ。メモ帳には「"hello"」が入力されている。

The screenshot shows a scenario editor with five steps:

- 1 データの記憶（環境情報）
環境情報: デスクトップ (desktop)
- 2 ファイルを開く
ファイル場所: desktop \tmp\ 1.txt
待機時間 (秒): 1
ウィンドウ最大化: 無し
- 3 最前画面を覚える
file
- 4 **アプリ文字取得 (テキストのテキストを取得)**
ウィンドウ参照ID: file
操作対象: 編集
取得文字
- 5 続行確認
表示内容: 取得文字


シナリオ例（文字取得）の実行結果：

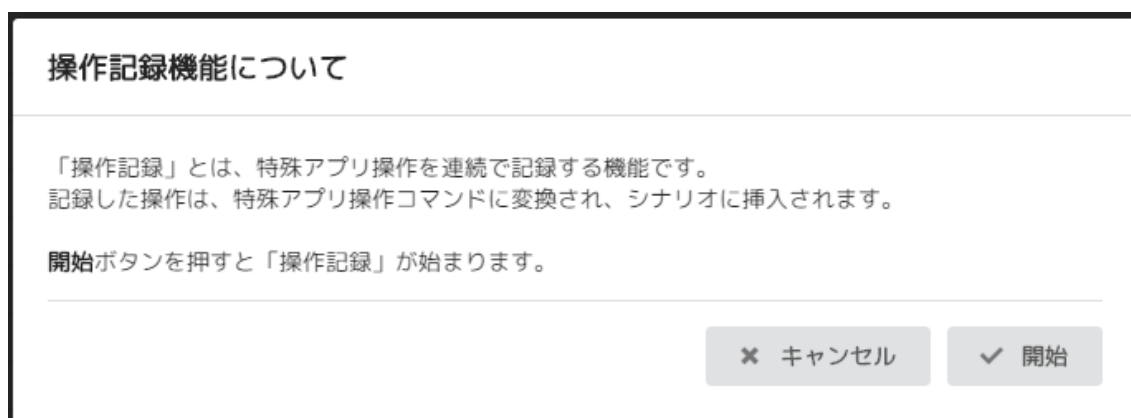
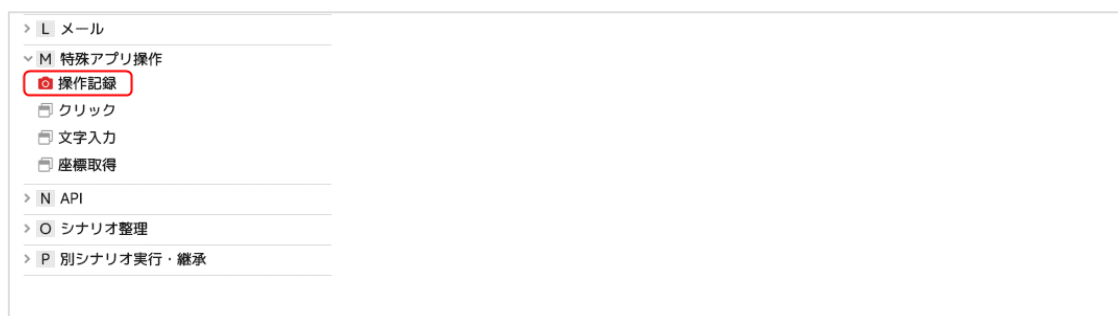


6.14.5. 操作記録

操作記録とは、おじどうさんがユーザの特殊アプリ操作を連続で記録し、記録した操作からシナリオを部分的に自動生成してくれる便利機能である。現在おじどうさんが記録できる操作の種類は、[6.13.1](#)の特殊アプリ「クリック」、[6.13.2](#)の特殊アプリ「文字入力」、そして[6.1.4](#)の「ウィンドウ切り替え（名前）」である。

操作記録画面の起動方法

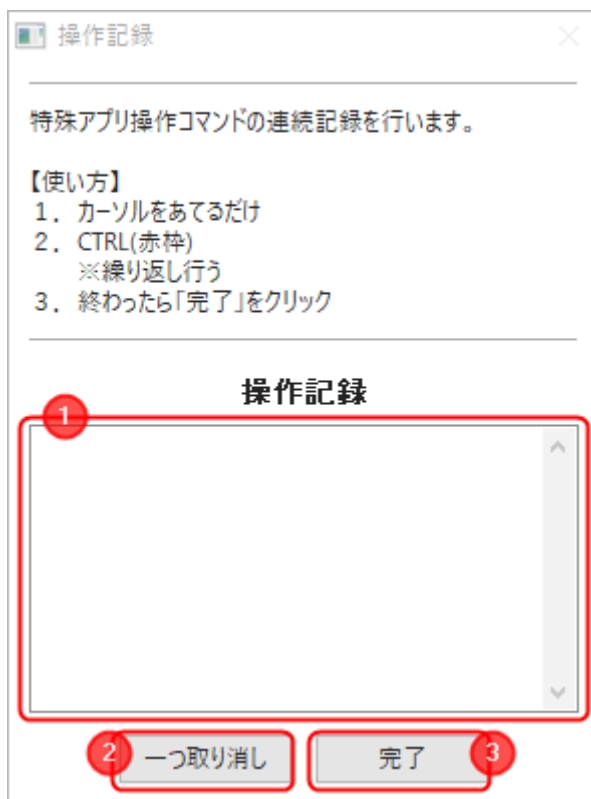
特殊アプリ操作メニューの赤い「 操作記録」ボタンをクリックすると、操作記録の説明画面が起動する。



説明画面の「開始」ボタンを押すと、操作記録画面が起動する。操作記録画面が表示されると同時に、おじどうさんの編集画面は自動的に閉じ、おじどうさんはユーザの操作を連続記録する体勢に入る。

操作記録の画面説明

以下が操作記録画面である。この画面が表示されている間は、おじどうさんはユーザの操作を記録する体勢にある。この画面には、主に三つの要素がある。①操作記録のテキストボックス、②「一つ取り消し」ボタン、そして③「完了」ボタンである。



操作記録テキストボックス

①の操作記録テキストボックスには、おじどうさんが記録したユーザの操作が追記表示される。例えば、ユーザがアプリのボタンをクリックする操作を記録すれば、このテキストボックスには「ボタンをクリック」という文字が追記される。

「一つ取り消し」ボタン

②の「一つ取り消し」ボタンとは、ユーザが間違った操作を記録してしまった時のためのボタンである。例えば、ユーザがアプリのボタンをクリックする操作を記録したが、それが誤操作だった場合、「一つ取り消し」ボタンをクリックする事でその記録が取り消される。取り消されると同時に、その誤動作は①の操作記録テキストボックスに表示されなくなる。

「完了」ボタン

③の「完了」ボタンをクリックすると操作記録画面は消え、おじどうさんの編集画面に戻る。編集画面に戻ると同時に、記録された操作が全ておじどうさんの RPA コマンドに変換され、シナリオに自動的に追加される。

操作の記録の仕方

操作記録の仕方は、6.13.1 や 6.13.2 などの特殊アプリ操作系コマンドの使い方に似ている。記録できる操作の種類は、6.13.1 の特殊アプリ「クリック」、6.13.2 の特殊アプリ「文字入力」、そして 6.1.4 の「ウィンドウ切り替え（名前）」である。ダブルクリックや右クリックは現在記録対象外である。

シングルクリック操作の記録の仕方

シングルクリック操作をおじどうさんに記録させる手順は以下の通りである：

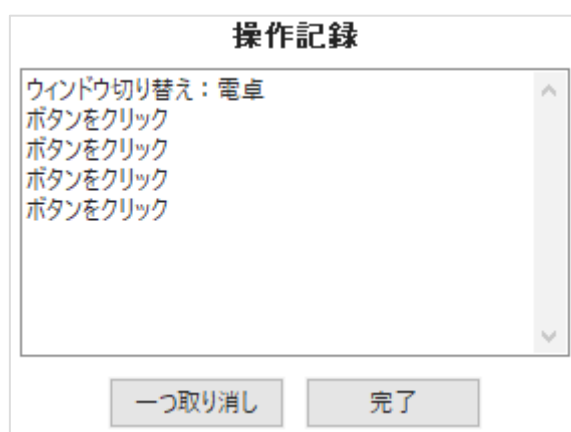
- 1) クリック対象にマウスをあてる
- 2) 実際にクリックせず、キーボードの「CTRL」キーを押す

「CTRL」キーを押すと、クリック対象に赤い枠が表示される。赤い枠が表示されれば、無事クリック操作が記録された合図である。操作記録テキストボックスにも、クリック操作が表示される。

例えば、ウィンドウズ OS に標準搭載されている「電卓」プログラムに、「2」「+」「2」「=」ボタンを連続でクリックする操作をおじどうさんに記録させるためには、以下の手順を実践する：

- 1) 電卓の「2」ボタンにマウスをあてる。
- 2) 「CTRL」キーを押し、「2」ボタンに赤い枠が表示されるのを確認する。
- 3) 電卓の「+」ボタンにマウスをあてる。
- 4) 「CTRL」キーを押し、「+」ボタンに赤い枠が表示されるのを確認する。
- 5) 電卓の「2」ボタンにマウスをあてる。
- 6) 「CTRL」キーを押し、「2」ボタンに赤い枠が表示されるのを確認する。
- 7) 電卓の「=」ボタンにマウスをあてる。
- 8) 「CTRL」キーを押し、「=」ボタンに赤い枠が表示されるのを確認する。
- 9) 操作記録画面の「完了」ボタンを押す。

上記の手順を実践すると、操作記録画面は以下のようになる。



上記の手順でおじどうさんが自動生成するシナリオは以下のように見える。

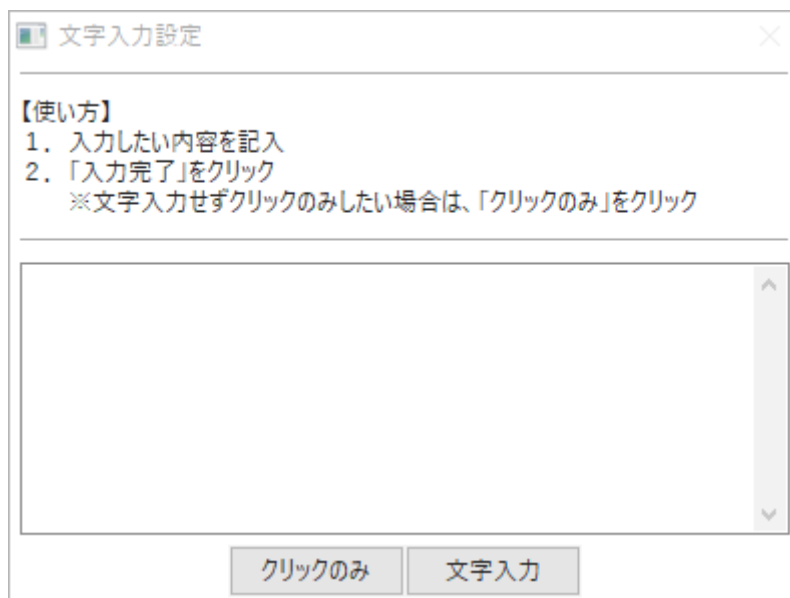
The screenshot shows the 'おじどうさん' (Ojidosan) RPA software interface. The main window displays a scenario named 'test - コピー - コピー' with a final update date of 2024/02/19 10:05:14. The interface includes a left sidebar with a command list, a top navigation bar with buttons like 'シナリオ一覧に戻る', '表示切替', '移動', '置換', 'ログ', '保存', and '実行'. Below the navigation bar are control buttons for '一部実行', '参照ID確認', '無効化', '有効化', and '開'. The main area shows a list of 7 steps in the scenario:

- 1 操作記録開始
- 2 画面切り替え (名前)
文字列: 電卓
- 3 アプリをクリック
ウィンドウ参照ID: [最前のウィンドウ]
操作対象: ボタン
クリックタイプ: マウス移動+シングルクリック
- 4 アプリをクリック
ウィンドウ参照ID: [最前のウィンドウ]
操作対象: ボタン
クリックタイプ: マウス移動+シングルクリック
- 5 アプリをクリック
ウィンドウ参照ID: [最前のウィンドウ]
操作対象: ボタン
クリックタイプ: マウス移動+シングルクリック
- 6 操作記録終了
- 7 続行確認
表示内容: hello

文字入力操作の記録の仕方

文字入力操作を記録する手順は以下の通りである：

- 1) 文字入力対象にマウスをあてる。
- 2) 「CTRL」キーを押す。文字入力可能であれば、以下の文字入力画面が表示される：

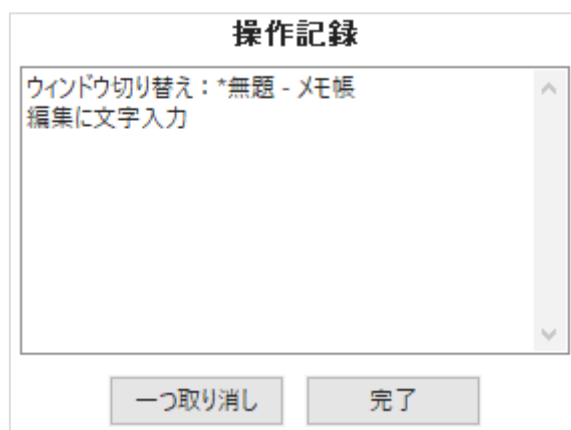


- 3) 上記の文字入力画面が表示されたら、その文字入力画面に、入力したい文字を入力する。
- 4) 文字入力画面の「文字入力」ボタンを押す。(文字入力せずをクリックのみをしたい場合は、「クリックのみ」ボタンを押す。)

例えば、ウィンドウズ OS に標準搭載されている「メモ帳」プログラムに、「おじどうさん」という文字を入力する操作をおじどうさんに記録させるためには、以下の手順を実践する：

- 1) メモ帳の文字入力部分にマウスをあてる。
- 2) 「CTRL」キーを押し、メモ帳の文字入力部分に赤い枠が表示される事、そして上記の文字入力画面が表示されるのを確認する。
- 3) 文字入力画面に「おじどうさん」と記入し、「文字入力」ボタンをクリックする。
- 4) 操作記録画面の「完了」ボタンを押す。

上記の手順を実践すると、操作記録画面は以下のようになる。



上記の手順でおじどうさんが自動生成するシナリオは以下のように見える。



ウィンドウ切り替え操作の記録の仕方

ウィンドウ切り替え操作の記録にはユーザの特別な操作は必要なく、おじどうさんが自動的にしてくれる。クリックや文字入力操作を記録する際に、おじどうさんはクリック対象や文字入力対象のウィンドウを確認し、ウィンドウが変わったのを検知したらウィンドウ切り替えを自動的に記録する。

自動生成されるシナリオについて

本章の操作記録機能で自動生成されるコマンドは、「シングルクリック」、「文字入力」そして「ウィンドウ切り替え」の三種類である。「シングルクリック」と「文字入力」に使われているコマンドはマウスの座標コマンドやキーボード入力コマンドではなく、6.13の「特殊アプリ操作」系のコマンドである。座標などに頼らずクリック対象や文字入力対象を記録するため、正確にユーザが記録した操作をコマンド化する事を実現している。

しかし、自動生成されたシナリオは、待機時間までは記録しないため、クリック間に待機などが必要だった場合、手動で待機コマンドをいれる必要がある。また、ウィンドウ切り替えには、操作記録時のウィンドウ名を基準に、6.1.4の「ウィンドウ切り替え（名前）」コマンドが自動生成される。操作記録時のウィンドウ名と、シナリオ実行時のウィンドウ名が異なる場合は、シナリオを調整する必要もある。

6.15. API

6.15.1. Web API

Web API (REST API) を利用して Web サービスと連携するコマンド。

※API の仕様については各サービスにお問い合わせください。

Web API

メソッド	GET	▼
テンプレート	自由入力	▼
URL	https://...	☰
クエリパラメータ	+	
ヘッダ	+	
ボディ	<input checked="" type="radio"/> Form-Data <input type="radio"/> JSON <input type="radio"/> Text	
Form-Data	+	
タイムアウト (秒)	10	☰
メモ		

【注意】 API仕様については各サービスにお問い合わせください。

× キャンセル ✓ OK

ボディ	<input type="radio"/> Form-Data <input checked="" type="radio"/> JSON <input type="radio"/> Text	
JSON	JSON	☰

ボディ Form-Data JSON Text

Text

名称	内容
メソッド	以下の選択肢からメソッドを選択する POST・GET・PUT・DELETE
テンプレート	自由入力またはテンプレートを選択する テンプレートを選択すると必須項目を自動的に入力する
URL	URL （エンドポイント）を入力する
クエリパラメータ	クエリパラメータを入力する
ヘッダ	ヘッダを入力する
ボディ	ボディの入力方式を選択する
Form-Data	ボディで「 Form-Data 」を選択すると表示される ボディの内容を入力する
JSON	ボディで「 JSON 」を選択すると表示される ボディの内容を入力する
Text	ボディで「 Text 」を選択すると表示される ボディの内容を入力する
タイムアウト（秒）	指定秒数の間レスポンスを待機する

5 Web API ✕

🌐 メソッド: POST URL: [応答ステータス] [応答ヘッダ] [応答データ]

名称	内容
[応答ステータス]	レスポンスのステータス
[応答ヘッダ]	レスポンスのヘッダ情報
[応答データ]	レスポンスのデータ

6.15.2. JSON > JSON 値取得

JSON から任意の値を取得するコマンド。

JSON値取得

取得元データ参照ID

取得値の型
 オブジェクト (Object)
 配列 (Array)
 自由入力

キー名

☰

取得先データ参照ID

メモ

✕ キャンセル
✓ OK

取得値の型
 オブジェクト (Object)
 配列 (Array)
 自由入力

何番目

☰

取得値の型
 オブジェクト (Object)
 配列 (Array)
 自由入力

自由入力

☰

名称	内容
取得元データ参照 ID	JSON を記憶しているデータ参照 ID を選択する
取得値の型	取得したい値の型を選択する
キー名	取得値の型が「オブジェクト」のときに表示される オブジェクトのキー名を入力する
何番目	取得値の型が「配列 (Array)」のときに表示される 配列の位置を入力する
自由入力	取得値の型が「自由入力」のときに表示される キー名・配列が複数続く場合に利用する (入力例) オブジェクトの場合: ["キー名"] (入力例) 配列の場合: [添字] (入力例) オブジェクトと配列の場合: ["キー名"] [添字] ※添字は 0 から始まります
取得先データ参照 ID	取得値を保存するデータ参照 ID を定義する

シナリオ例 (API > JSON > JSON 値取得) :

シンプルな JSON、配列、複雑な JSON を定義し、それぞれから値を取得するシナリオ。

The screenshot shows a sequence of 8 steps in a workflow editor:

- 1 アプリ起動**: アプリの場所: notepad, 待機時間 (秒): 0, ウィンドウ最大化: 無し
- 2 データの記憶 (文字)**: 文字: {"キー1": "値1", "キー2": "値2", "キー3": ...} (JSON (シンプル))
- 3 データの記憶 (文字)**: 文字: [1,2,3] (配列)
- 4 データの記憶 (文字)**: 文字: {"キー1 (オブジェクト)": {"キー1-1 (文字列)": "...}} (JSON (複雑))
- 5 JSON値取得 (JSON (シンプル) のキー1の値を取得)**: 取得元データ参照ID: JSON (シンプル), 取得値の型: オブジェクト (Object), キー名: キー1 (JSON (シンプル) の値)
- 6 JSON値取得 (配列の2番目の値を取得)**: 取得元データ参照ID: 配列, 取得値の型: 配列 (Array), 何番目: 2 (配列の値)
- 7 JSON値取得 (JSON (複雑) のキー2の配列2番目の値を取得)**: 取得元データ参照ID: JSON (複雑), 取得値の型: 自由入力 (JSON (複雑) の値)
- 8 キーボード入力 (貼り付け)**: 文字: JSON (シンプル) のキー1の値: JSON (シンプル) の値 配列の2番目の ... Enter: 有り

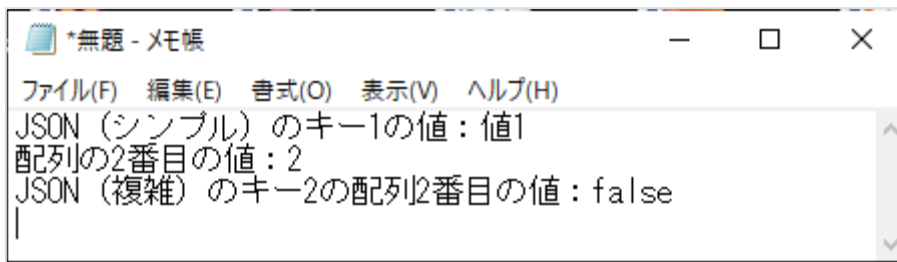
各データの記憶 (文字) コマンドの設定内容は以下のとおり。

データ参照 ID 名	文字
JSON (シンプル)	{"キー1": "値 1", "キー2": "値 2", "キー3": "値 3"}
配列	[1,2,3]
JSON (複雑)	{"キー1 (オブジェクト)": {"キー1-1 (文字列)": "こんにちは", "キー1-2 (真偽)": true}, "キー2 (配列)": [23, false, null]}

各 JSON 値取得コマンドの設定内容は以下のとおり。

取得元 ID	取得値の型	キー名/何番目/自由入力	取得先 ID
JSON (シンプル)	オブジェクト	キー1	JSON (シンプル) の値
配列	配列	2	配列の値
JSON (複雑)	自由入力	["キー2 (配列)"][1]	JSON (複雑) の値

シナリオ例（API > JSON > JSON 値取得）の実行結果：



6.15.3. JSON > JSON 型確認

JSON の値の型を確認するコマンド。

JSON型確認

データ参照ID

取得値の型 オブジェクト (Object) 配列 (Array) 自由入力

キー名 例) データ

確認する型 文字列 (String)

※例. 文字列: "RPA", 数値: 123, オブジェクト: {}, 配列: [], 真偽: true / false

メモ

× キャンセル ✓ OK

取得値の型 オブジェクト (Object) 配列 (Array) 自由入力

何番目 1

取得値の型 オブジェクト (Object) 配列 (Array) 自由入力

自由入力 ["key-2"][1]

名称	内容
取得元データ参照 ID	JSON を記憶しているデータ参照 ID を選択する
取得値の型	取得したい値の型を選択する
キー名	取得値の型が「オブジェクト」のときに表示される オブジェクトのキー名を入力する
何番目	取得値の型が「配列 (Array)」のときに表示される 配列の位置を入力する
自由入力	取得値の型が「自由入力」のときに表示される キー名・配列が複数続く場合に利用する (入力例) オブジェクトの場合: ["キー名"] (入力例) 配列の場合: [添字] (入力例) オブジェクトと配列の場合: ["キー名"] [添字] ※添字は 0 から始まります
確認する型	取得値の型を選択する

シナリオ例 (API > JSON > JSON 型確認):

以下の内容の JSON から 3 つの値を取得し、型が一致するか確認するシナリオ。

The screenshot displays a sequence of steps in a testing tool:

- Step 1:** アプリ起動 (App Start). Sub-steps: アプリの場所: notepad, 待機時間 (秒): 0, ウィンドウ最大化: 無し.
- Step 2:** データの記憶 (文字) (Data Memory (Text)). Text: {"キー1 (オブジェクト)": {"キー1-1 (文字列)": " ...". A "JSON" button is visible.
- Step 3:** JSON型確認 (「キー1 (オブジェクト)」の型確認) (JSON Type Confirmation (Key 1 (Object) Type Confirmation)). Data reference ID: JSON, 取得値の型: オブジェクト (Object), キー名: キー1 (オブジェクト), 確認する型: オブジェクト (Object).
- Step 6:** JSON型確認 (「キー1-2 (真偽)」の型確認) (JSON Type Confirmation (Key 1-2 (Boolean) Type Confirmation)). Data reference ID: JSON, 取得値の型: 自由入力, 確認する型: boolean.
- Step 9:** JSON型確認 (「キー2 (配列)」の1番目の型確認) (JSON Type Confirmation (Key 2 (Array) 1st Type Confirmation)). Data reference ID: JSON, 取得値の型: 自由入力, 確認する型: 数値 (Number). Below this, it shows "一致した時 (TRUE):" followed by a horizontal line.
- Step 10:** キーボード入力 (貼り付け) (Keyboard Input (Paste)). Text: 文字: 「キー2 (配列)」の1番目は数値です。 Enter: 有り.
- Step 11:** キーボード入力 (貼り付け) (Keyboard Input (Paste)). Text: 文字: 「キー2 (配列)」の1番目は数値ではありません。 Enter: 有り.

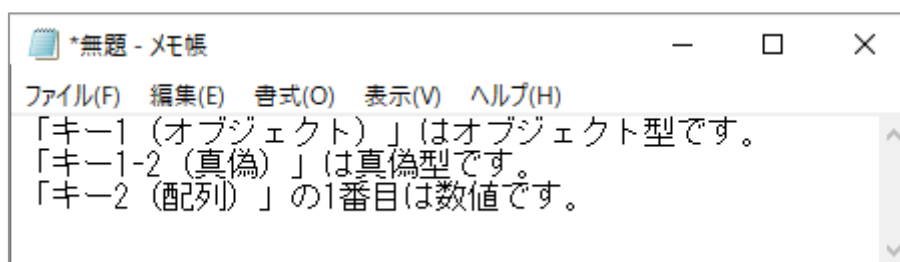
データの記憶（文字）コマンドの設定内容は以下のとおり。

データ参照 ID 名	文字
JSON	{"キー1 (オブジェクト)": {"キー1-1 (文字列)": "こんにちは", "キー1-2 (真偽)": true}, "キー2 (配列)": [23, false, null]}

各 JSON 型確認コマンドの設定内容は以下のとおり。

データ参照 ID	取得値の型	キー名/何番目/自由入力	確認する型
JSON	オブジェクト	キー1 (オブジェクト)	JSON (シンプル) の値
JSON	自由入力	2	配列の値
JSON	自由入力	["キー2 (配列)"][0]	JSON (複雑) の値

シナリオ例 (API > JSON > JSON 型確認) の実行結果：



6.16. シナリオ整理

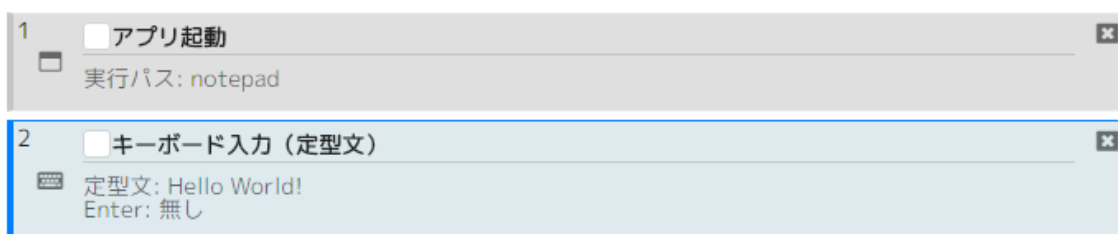
6.16.1. グループ化

連続したコマンド群をグループにしてまとめるコマンド。

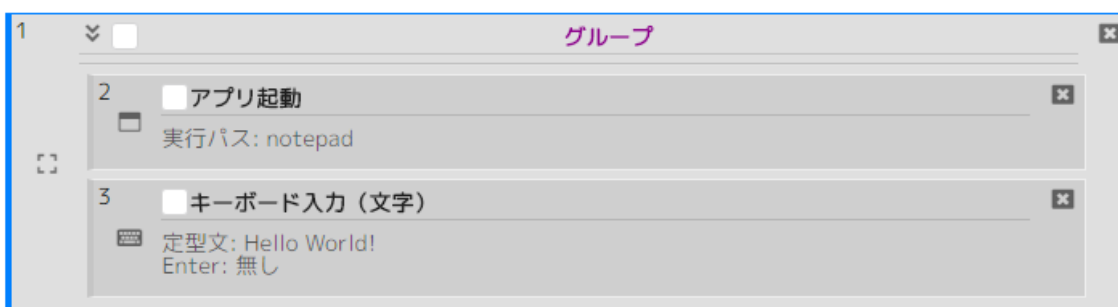
何度も使用するコマンド群がある場合にそれらをグループ化し、グループ化コマンドを選択してコピー＆ペーストすることで、シナリオ編集効率が向上する。

ctrl を押しながらかlickしたコマンド群、または **shift** を押しながらかlickしたコマンド群を、ショートカットキー [**ctrl + g**] にてグループ化することができる。

※コマンドを選択するとコマンドの枠が青く変化します。



上図をグループ化すると下図のようになる。下図の状態から再度ショートカットキー [**ctrl + g**] を入力するとグループ化を解除できる。



グループ化コマンドを畳むことでシナリオ編集パネル内を整理することができる (下図)。



6.16.2. メモ

シナリオメモ用のコマンド。シナリオの区切りやメモとして使用できる。

1 **メモコマンドです。**

2 **アプリ起動 (メモ帳起動)**
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 3
ウィンドウ最大化: 無し

3 **キーボード入力 (貼り付け)**
文字: Hello, World!
Enter: 無し

6.16.3. 通知音を再生

通知音を再生するコマンド。

通知音を再生

通知音 **ビープ音**

メモ

× キャンセル ✓ OK

通知音 [音声ファイルを選択]

ファイル場所 (*.wav) 例) C:\Users\...

名称	内容
サウンド	音を選択する。
ファイル場所 (*.wav)	wav 形式の音声ファイルを選択する。 通知音「音声ファイルを選択」を選ぶと表示される。

6.17. 別シナリオ実行・継承

6.17.1. 別シナリオ実行

別のシナリオを呼び出すコマンド。

別シナリオの実行が成功した場合と失敗した場合で処理を分けることができる。

別のシナリオを実行

シナリオ名

メモ

× キャンセル ✓ OK

名称	内容
シナリオ名	実行する別シナリオを選択する

シナリオ例（別シナリオ実行）：

フォルダ内の全ファイル名の先頭に日付付与する外部シナリオを実行した結果を、メモ帳に入力するシナリオ。

名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17

シナリオ一覧 新しい仕事 フォルダ作成 スケジュール一覧 カレンダー表示 シナリオ名・番号

1 メモ帳起動

ロック設定 実行 編集 スケジュール ログ エクスポート 複製 削除

シナリオ名: メモ帳起動
最終変更日: 2022/02/09 17:23:53

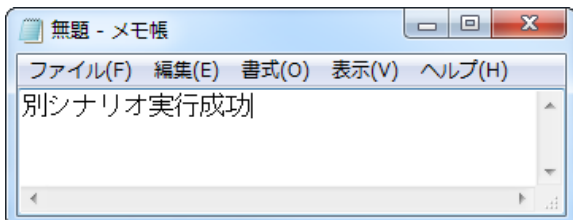
メモ



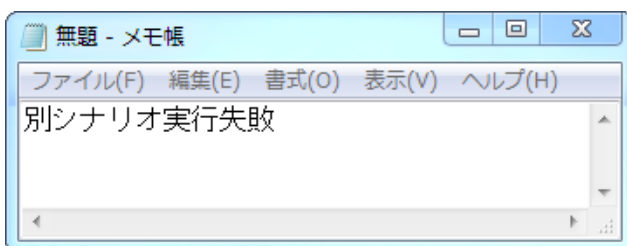
シナリオ例（別シナリオ実行）の実行結果：

ファイル名変更完了後、メモ帳に成功の旨が入力された。

名前	更新日時	作成日時
2019-01-28_1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2019-01-28_2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
2019-01-28_3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2019-01-28_4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2019-01-28_5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17



対象フォルダが存在しなかった場合の結果（下図）。



6.17.2. 親シナリオからデータを継承

親シナリオ A から別シナリオ実行コマンドで呼び出された子シナリオ B へ、データ参照 ID を継承するコマンド。本コマンドは子シナリオ B で使用する。

※注意点

- ・子シナリオ B でデータ参照 ID の値を変更すると、親シナリオ A にもその変更が反映される。そのため、継承したデータ参照 ID の値に変更を加えたくない場合は新しいデータ参照 ID にコピーすることを推奨する。
- ・親シナリオ実行前はシナリオを保存すること

親シナリオからデータを継承

継承する対象	1つのデータ参照ID
継承データ参照ID	データ
メモ	

× キャンセル ✓ OK

継承する対象	全てのデータ参照ID
シナリオ名	
メモ	

名称	内容
継承する対象	継承したいデータの数を選択する。
継承データ参照 ID	継承対象が「1つのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオで定義されたデータ参照 ID 名を入力する。
シナリオ名	継承対象が「すべてのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオを選択する。

シナリオ例（親シナリオからデータを継承・1つの参照 ID）：

親シナリオ A で定義したデータ参照 ID 「data」 を、子シナリオ B に継承する。継承したデータ参照 ID をメモ帳に入力する。また、継承したデータ参照 ID の値を変更し、親シナリオ A でメモ帳に入力させ、その変更が反映されたことを確認する。

キーボード入力（文字）コマンドでは高度データ参照 ID 呼び出し機能（ $\{\}$ ）を利用している。

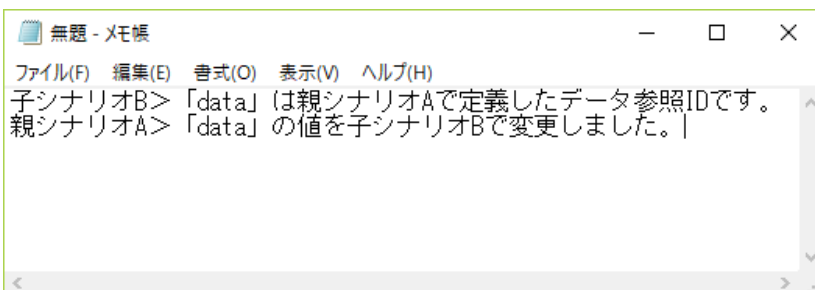
シナリオ名:親シナリオA
最終変更日: 2021/10/08 10:03:28

- 1 データの記憶 (文字) ✕
文字: 「data」はシナリオAで定義したデータ参照IDです。 data
- 2 別のシナリオを実行 ✕
シナリオ名: 子シナリオB
正常に終了した時 (TRUE) :
エラーで終了した時 (FALSE) :
- 3 キーボード入力 (文字) ✕
文字: 親シナリオA> data
Enter: 無し

シナリオ名:子シナリオB
最終変更日: 2021/10/08 10:04:17

- 1 アプリ起動 (メモ帳起動) ✕
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し
- 2 親シナリオからデータを継承 ✕
継承する対象: 1つのデータ参照ID data
- 3 キーボード入力 (文字) ✕
文字: 子シナリオB> data
Enter: 有り
- 4 データの記憶 (文字) ✕
文字: 「data」の値を子シナリオBで変更しました。 data

シナリオ例 (親シナリオからデータを継承) の実行結果:



シナリオ例（親シナリオからデータを継承・すべての参照 ID）：

親シナリオの全てのデータ参照 ID を継承し、子シナリオ側でそれらのデータ参照 ID をメモ帳に入力する。

シナリオ名:親シナリオA
最終変更日: 2021/10/08 10:22:02

- 1 データの記憶 (文字) data
文字: 「data」はシナリオAで定義したデータ参照IDです。
- 2 日付を記憶 日付
本日より (日) : 0, 日付の形式: yyyy-mm-dd, 先頭の0削除: 無し
- 3 曜日を記憶 曜日
本日より (日の曜日) : 0, 曜日の形式: 月曜日
- 4 別のシナリオを実行 子シナリオB
シナリオ名: 子シナリオB
正常に終了した時 (TRUE) :
エラーで終了した時 (FALSE) :

シナリオ名:子シナリオB
最終変更日: 2021/10/08 10:23:44

- 1 アプリ起動 (メモ帳起動)
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒) : 0
ウィンドウ最大化: 無し
- 2 親シナリオからデータを継承
継承する対象: 全てのデータ参照ID
シナリオ名: 親シナリオA
- 3 キーボード入力 (文字)
文字: 親から以下のデータ参照IDを継承しました。 data: data 日付: ...
Enter: 有り

シナリオ例（親シナリオからデータを継承・すべての参照 ID）の実行結果：

*無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
親から以下のデータ参照IDを継承しました。
data: 「data」はシナリオAで定義したデータ参照IDです。
日付: 2021-10-08
曜日: 金曜日

6.17.3. 親シナリオからパスワードを継承

親シナリオ A から別シナリオ実行コマンドで呼び出された子シナリオ B へ、パスワード参照 ID を継承するコマンド。本コマンドは子シナリオ B で使用する。

親シナリオからパスワードを継承	
継承する対象	1つのパスワード参照ID
継承パスワード参照ID	パスワード
メモ	
<input type="button" value="× キャンセル"/> <input type="button" value="✓ OK"/>	

継承する対象	全てのパスワード参照ID
シナリオ名	
メモ	

名称	内容
継承する対象	継承したいパスワードの数を選択する。
継承ウィンドウ参照 ID	継承対象が「1つのパスワード参照 ID」のときに表示される。 親シナリオで定義されたパスワード参照 ID を指定する。
シナリオ名	継承対象が「全てのパスワード参照 ID」のときに表示される。 親シナリオを選択する。

6.17.4. 親シナリオからウィンドウを継承

親シナリオ A から別シナリオ実行コマンドで呼び出された子シナリオ B へ、ウィンドウ参照 ID を継承するコマンド。本コマンドは子シナリオ B で本コマンドを使用する。

親シナリオからウィンドウを継承

継承する対象 1つのウィンドウ参照ID

継承ウィンドウ参照ID ウィンドウ

メモ

× キャンセル ✓ OK

継承する対象 全てのウィンドウ参照ID

シナリオ名

メモ

名称	内容
継承する対象	継承したいウィンドウの数を選択する。
継承ウィンドウ参照 ID	継承対象が「1つのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオで定義されたウィンドウ参照 ID を指定する。
シナリオ名	継承対象が「全てのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオを選択する。

シナリオ例（親シナリオからウィンドウを継承・1つの参照 ID）：

親シナリオ A で定義したウィンドウ参照 ID「メモ帳ウィンドウ」を子シナリオ B から本コマンドを利用して継承する。親シナリオ A でメモ帳を画面右へ移動し、子シナリオ B で左に移動する。

シナリオ名: ウィンドウ継承_親シナリオA
最終変更日: 2021/12/07 17:19:36

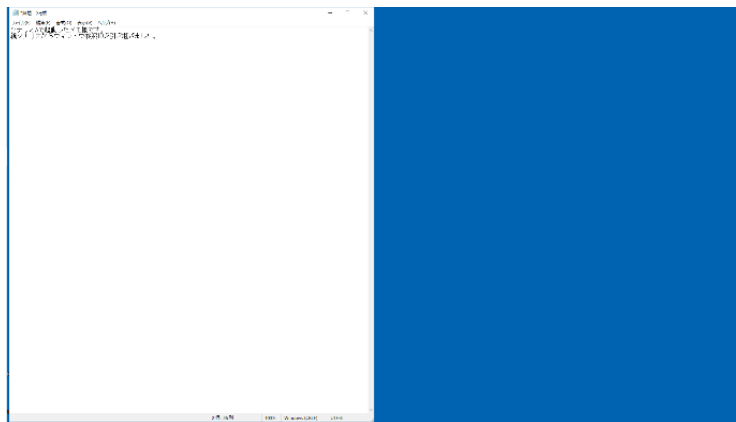
- アプリ起動 (メモ帳起動) ✕
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 1
ウィンドウ最大化: 無し
- ウィンドウを移動 ✕
移動先: 右
- 最前画面を覚える ✕ Aのメモ帳
- キーボード入力 (貼り付け) ✕
文字: シナリオAで起動したメモ帳です。
Enter: 有り
- 別のシナリオを実行 ✕
シナリオ名: ウィンドウ継承_子シナリオB
正常に終了した時 (TRUE):
エラーで終了した時 (FALSE):

シナリオ名: ウィンドウ継承_子シナリオB
最終変更日: 2021/12/07 17:19:25

- 親シナリオからウィンドウを継承 ✕
継承する対象: 1つのウィンドウ参照ID Aのメモ帳
- ウィンドウを移動 ✕
移動先: 左
- キーボード入力 (貼り付け) ✕
文字: 親シナリオからウィンドウ参照IDを引き継ぎました。
Enter: 無し

シナリオ例（親シナリオからウィンドウを継承・1つの参照 ID）の実行結果：

メモ帳が画面右から左へと移動した。子シナリオ B でメモ帳ウィンドウが継承されたことが確認できる。



シナリオ例（親シナリオからウィンドウを継承・全ての参照 ID）：

親シナリオの全てのウィンドウ参照 ID（メモ帳）を継承し、子シナリオ側で全てのウィンドウを移動して文字を入力するシナリオ。

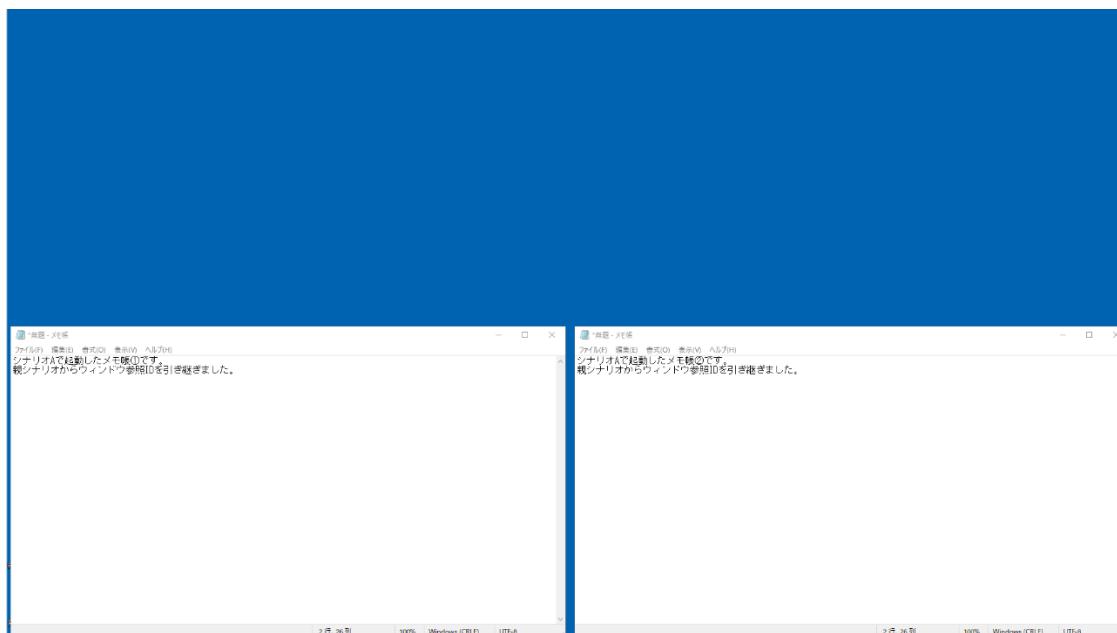
シナリオ名: ウィンドウ継承ALL_親シナリオA
最終変更日: 2021/12/07 17:31:47

- アプリ起動 (メモ帳起動)
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 1
ウィンドウ最大化: 無し
- ウィンドウを移動
移動先: 左上
- 最前画面を覚える Aのメモ帳1
- キーボード入力 (貼り付け)
文字: シナリオAで起動したメモ帳①です。
Enter: 有り
- アプリ起動 (メモ帳起動)
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 1
ウィンドウ最大化: 無し
- ウィンドウを移動
移動先: 右上
- 最前画面を覚える Aのメモ帳2
- キーボード入力 (貼り付け)
文字: シナリオAで起動したメモ帳②です。
Enter: 有り
- 別のシナリオを実行
シナリオ名: ウィンドウ継承ALL_子シナリオB

シナリオ名: ウィンドウ継承ALL_子シナリオB
最終変更日: 2021/12/07 17:29:11

- 親シナリオからウィンドウを継承
継承する対象: 全てのウィンドウ参照ID, シナリオ名: ウィンドウ継承ALL_親シナリオA
- 最前画面切り替え
ウィンドウ参照ID: Aのメモ帳1
- ウィンドウを移動
移動先: 左下
- キーボード入力 (貼り付け)
文字: 親シナリオからウィンドウ参照IDを引き継ぎました。
Enter: 無し
- 最前画面切り替え
ウィンドウ参照ID: Aのメモ帳2
- ウィンドウを移動
移動先: 右下
- キーボード入力 (貼り付け)
文字: 親シナリオからウィンドウ参照IDを引き継ぎました。
Enter: 無し

シナリオ例（親シナリオからウィンドウを継承・全ての参照ID）の実行結果：
画面の左上と右上に開いたメモ帳を、子シナリオ側で左下と右下に移動し文字を入力した。



6.17.5. 親シナリオからエクセルを継承

親シナリオ A から別シナリオ実行コマンドで呼び出された子シナリオ B へ、エクセル参照 ID を継承するコマンド。本コマンドは子シナリオ B で利用する。

親シナリオからエクセルを継承

継承する対象	1つのエクセル参照ID
継承エクセル参照ID	エクセル
メモ	

× キャンセル ✓ OK

継承する対象	全てのエクセル参照ID
シナリオ名	
メモ	

名称	内容
継承する対象	継承したいデータの数を選択する。
継承エクセル参照 ID	親シナリオで定義されたエクセル参照 ID を指定する
シナリオ名	継承対象が「すべてのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオを選択する。

シナリオ例（親シナリオからエクセルを継承・1つの参照ID）：

親シナリオ A で定義したエクセル参照 ID「エクセル A」を子シナリオ B から本コマンドを利用して継承する。親シナリオ A でエクセルを起動し、子シナリオ B で編集する。

シナリオ名: エクセル継承_親シナリオA
最終変更日: 2021/12/07 17:54:54

- エクセルブックを開く
ファイル場所:
ウィンドウ最大化: 無し
パスワード:
- 別のシナリオを実行
シナリオ名: エクセル継承_子シナリオB
正常に終了した時 (TRUE) :
エラーで終了した時 (FALSE) :

シナリオ名: エクセル継承_子シナリオB
最終変更日: 2021/12/07 17:56:28

- 親シナリオからエクセルを継承
継承する対象: 1つのエクセル参照ID
- エクセルのセル値を入力
エクセル参照ID: エクセルA
セル数: 単一セル
指定セル: C5

シナリオ例（親シナリオからエクセルを継承・1つの参照ID）の実行結果：

エクセルを編集した。つまり、子シナリオ B でエクセル参照 ID が継承されたことが確認できる。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2										
3										
4										
5			abc							
6										

シナリオ例（親シナリオからエクセルを継承・全ての参照 ID）：

親シナリオで新規エクセル A と B を開き、子シナリオ側で編集するシナリオ。

シナリオ名: エクセル継承ALL_親シナリオA
最終変更日: 2021/12/07 18:01:04

- エクセルブックを開く
ファイル場所:
ウィンドウ最大化: 無し
パスワード:
- エクセルブックを開く
ファイル場所:
ウィンドウ最大化: 無し
パスワード:
- 別のシナリオを実行
シナリオ名: エクセル継承ALL_子シナリオB

シナリオ名: エクセル継承ALL_子シナリオB
最終変更日: 2021/12/07 17:58:57

- 親シナリオからエクセルを継承
継承する対象: 全てのエクセル参照ID, シナリオ名: エクセル継承ALL_親シナリオA
- エクセルのセル値を入力
エクセル参照ID: **エクセルA**
セル数: 単一セル
指定セル: C5
- 新規エクセルシート
エクセル参照ID: **エクセルB**
シート名: NewSheet

シナリオ例（親シナリオからエクセルを継承・全ての参照 ID）の実行結果：

The image displays two side-by-side screenshots of Microsoft Excel. The left screenshot shows a window titled 'Book1 - Excel' with 'Sheet1' selected. The active cell is C5, and it contains the text 'abc'. The right screenshot shows a window titled 'Book2 - Excel' with 'NewSheet' selected. The active cell is A1, which is highlighted with a green border, indicating the result of the scenario execution.

6.17.6. 親シナリオからブラウザを継承

親シナリオ A から別シナリオ実行コマンドで呼び出された子シナリオ B へ、ブラウザ参照 ID を継承するコマンド。本コマンドは子シナリオ B で使用する。

親シナリオからブラウザを継承

継承する対象	1つのブラウザ参照ID
継承ブラウザ参照ID	ブラウザ
メモ	

× キャンセル ✓ OK

継承する対象	1つのブラウザ参照ID
継承ブラウザ参照ID	ブラウザ
メモ	

名称	内容
継承する対象	継承したいデータの数を選択する。
継承ブラウザ参照 ID	親シナリオで定義されたブラウザ参照 ID を指定する
シナリオ名	継承対象が「すべてのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオを選択する。

シナリオ例（親シナリオからブラウザを継承・1つの参照ID）：

親シナリオ A で定義したブラウザ参照 ID 「browser」 を子シナリオ B から本コマンドを利用して継承する。親シナリオ A でおじどうさんブラウザを起動および Google へアクセスし、子シナリオ B で Amazon へ移動する。

シナリオ名: ブラウザ継承ALL_親シナリオA

最終変更日: 2024/02/19 17:51:57

The screenshot shows a configuration interface for a scenario named 'ブラウザ継承ALL_親シナリオA'. It contains three steps:

- 1 ブラウザ起動**
ブラウザ: おじどうさんブラウザ
開始URL: https://www.google.com
ウィンドウ最大化: 無し
ボタン: ブラウザA
- 2 ブラウザ起動**
ブラウザ: Mozilla Firefox (64-bit)
開始URL: https://www.assirobo.com
ウィンドウ最大化: 無し
ボタン: ブラウザB
- 3 別のシナリオを実行**
シナリオ名: ブラウザ継承ALL_子シナリオB

シナリオ名: ブラウザ継承_子シナリオB

最終変更日: 2021/12/07 18:18:56

The screenshot shows a configuration interface for a scenario named 'ブラウザ継承_子シナリオB'. It contains two steps:

- 1 親シナリオからブラウザを継承**
継承する対象: 1つのブラウザ参照ID
ボタン: ブラウザA
- 2 ブラウザ URL 移動**
ブラウザ参照ID: ブラウザA
URL: https://www.amazon.co.jp

シナリオ例（親シナリオからブラウザを継承・1つの参照ID）の実行結果：

Amazon へアクセスした。つまり、子シナリオ B でブラウザ参照 ID が継承されたことが確認できる。



シナリオ例（親シナリオからブラウザを継承・全ての参照 ID）：

親シナリオ A でブラウザを起動し、子シナリオ B で操作するシナリオ。

シナリオ名: ブラウザ継承ALL_親シナリオA
最終変更日: 2021/12/07 18:29:18

- 1 ブラウザ起動
ブラウザ: アシロボブラウザ
開始URL: https://www.google.com
ウィンドウ最大化: 無し ブラウザA
- 2 ブラウザ起動
ブラウザ: Mozilla Firefox (64-bit)
開始URL: https://www.assirobo.com
ウィンドウ最大化: 無し ブラウザB
- 3 別のシナリオを実行
シナリオ名: ブラウザ継承ALL_子シナリオB

シナリオ名: ブラウザ継承ALL_子シナリオB
最終変更日: 2021/12/07 18:30:00

- 1 親シナリオからブラウザを継承
継承する対象: 全てのブラウザ参照ID, シナリオ名: ブラウザ継承ALL_親シナリオA
- 2 ブラウザ URL移動
ブラウザ参照ID: ブラウザA
URL: https://www.amazon.co.jp
- 3 HTMLクリック
ブラウザ参照ID: ブラウザB
HTMLエレメント: xpath
HTMLターゲット: /html/body/div[3]/section[1]/div/nav/ul/ ...
クリックタイプ: シングル

シナリオ例（親シナリオからブラウザを継承・全ての参照 ID）の実行結果：



7. ブラウザ操作

7.1. おじどうさんブラウザ起動方法

おじどうさんブラウザを起動する方法は2通りある。

1. デスクトップ上にあるおじどうさんブラウザのショートカットから起動する
※おじどうさんのインストールと同時に、おじどうさんブラウザのショートカットがデスクトップ上に作成されます



2. ブラウザ起動コマンドからおじどうさんブラウザを起動する



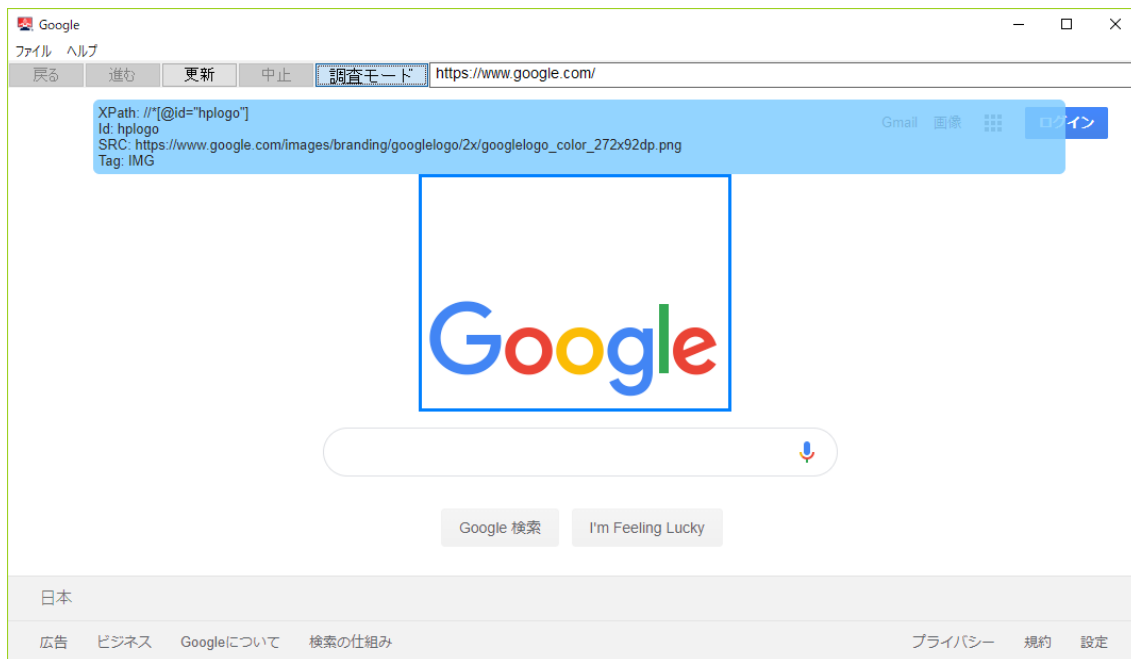
7.2. おじどうさんブラウザ画面説明



名称	内容
調査モード	HTML 内のエレメント調査モードに切り替える
URL 入力フォーム	URL を入力する

7.3. おじどうさんブラウザの調査モード

おじどうさんブラウザを調査モードに切り替え、マウスを HTML のエレメント上に移動すると HTML エレメント情報が表示される（下図）。



上図のように取得したい HTML エレメント上で右クリックをするとそのエレメントの XPath がコピーされる。上図の例ではコピー内容は下記となる。

```
//*[@id="hplogo"]
```

また、エレメント上で **Ctrl + 右クリック** すると任意の HTML エレメント情報をコピーできる。



再度エレメント調査モードをクリックすることで通常モードに切り替わる。

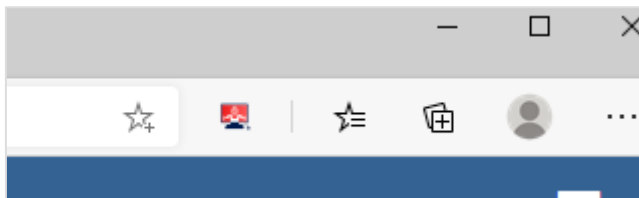
このようにおじどうさんブラウザの調査モードを活用することで、ウェブブラウザのページ操作コマンドの作成が簡易になります。

7.4. おじどうさんブラウザ以外の調査モード

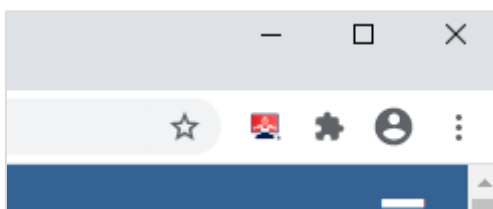
調査モードは Microsoft Edge と Google Chrome でも利用できる。

調査モード起動方法一覧

1. ブラウザ起動： Microsoft Edge、調査モード拡張機能を☑



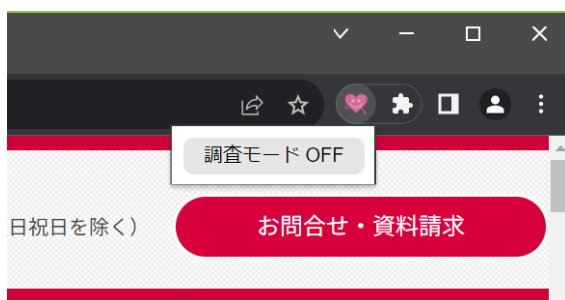
2. ブラウザ起動： Google Chrome、調査モード拡張機能を☑



3. ブラウザ起動（ユーザ情報引継）



- 4.



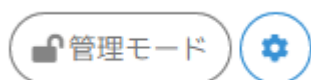
調査モードの操作はおじどうさんブラウザでの使い方と同様である。

8. アクセス制御機能

8.1. 管理・制限モード

おじどうさんには以下の操作権限モードがある。

1. 管理モード：すべての機能を利用できる



2. 制限モード：シナリオの実行・スケジューリング・ログ表示のみ実行可能



管理・制限モードの有効化

管理モードにパスワードを設定することで、管理・制限モードを有効化する。

※管理・制限モードを有効化すると、おじどうさん起動時は制限モードで開くようになります。

管理・制限モードボタンが「制限モード」の場合にクリックすると管理モード切替えモーダル(下図)が表示される。このモーダルから管理モードのパスワードを入力・変更できる。

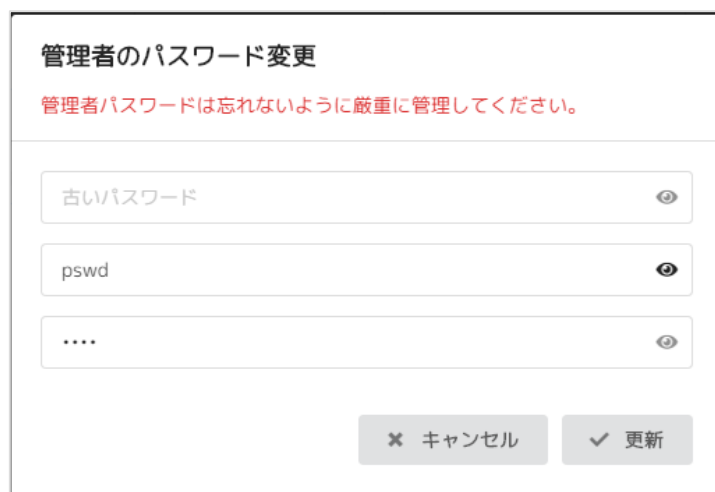
※管理者の初期パスワードは設定されていません(空パスワード)

管理モード

管理モード：全ての機能を利用できます。
制限モード：シナリオの実行・スケジューリング・ログ表示を利用出来ます。

パスワード

パスワード変更のフォーム右側のアイコンをクリックすることで入力したパスワードを確認できる。(初期の古いパスワードは空パスワードとなる)



管理・制限モードの無効化

管理モードのパスワードを空にすることで、管理・制限モードを無効化する。

8.2. シナリオロック

おじどうさん管理者はシナリオ一つ一つに対してロックをかけることができる。この機能をシナリオロックと呼称する。本機能は制限モードを利用するユーザに対して柔軟な利用権限をシナリオ毎に付与することができる。

制限モードのユーザがシナリオのロックを解除できる場合は管理モードと同様の権限が、そうでない場合の権限はシナリオロックの制御レベルに依存する。制御レベルの詳細は [8.2.2. 制御レベル](#) に記載する。

8.2.1. シナリオロックの権限とデフォルト設定

シナリオロック設定権限は管理者モードを利用できるユーザのみである。

新規のシナリオはデフォルトで制御レベル 2 が適用される。

※注意点

・シナリオロックがデフォルト設定の場合、制限モードのユーザはロック解除が利用できません。詳しくは [8.2.4. 管理・制限モードとシナリオロック UI](#) の違いに記載します。

8.2.2. 制御レベル

シナリオロックのレベルとその制限内容については以下のとおりである。

制御レベル 2 のシナリオに対して、制限モードのユーザが利用できる機能はシナリオ実行・スケジューリング・ログ表示のみとなる。

制御レベル 1：全操作可能

制御レベル 2：シナリオ実行・スケジューリング・ログ表示

制御レベル 3：全操作拒否

8.2.3. シナリオロックの設定と初期化

シナリオロックを設定するにはまず、おじどうさん操作権限モードを管理モードに変更する。



次に、シナリオのシナリオ操作メニューから[ロック設定]を選択する（下図）。



[ロック設定]を選択するとシナリオの制御レベル設定モーダル（下図）が表示される。このモーダルで以下の手順を踏む。

1. 制御レベルを選択
2. パスワードを入力
3. [更新]をクリック

シナリオの制御レベル設定

パスワードは忘れないように厳重に管理してください。

制御レベル1: 全操作可能

制御レベル2: ロック解除、実行、スケジュール、ログ

制御レベル3: ロック解除のみ可能

パスワードを設定すると制御モード時にロック・ロック解除が有効になります。
パスワードが空の場合はロック・ロック解除が無効となります。

新しいパスワード

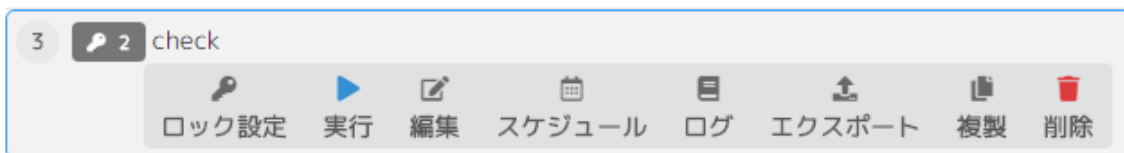
新しいパスワード (確認)

初期値に戻す キャンセル 更新

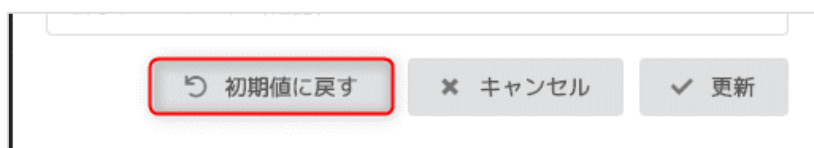
※注意点

1. パスワードは厳重に管理してください
2. パスワードが空（パスワード設定なし）の場合はロック・ロック解除が無効となります

ロックが設定されたシナリオには [🔑 制御レベル]が表示される。制御レベル2を設定したシナリオだと下図のようになる。



シナリオロックの設定を初期化する場合はシナリオの制御レベル設定モーダルから[初期値に戻す]をクリックする（下図）。



8.2.4. 管理・制限モードとシナリオロック UI

シナリオロックの UI (見た目) は管理・制限モードで異なる。

管理モードでシナリオ名のとおりシナリオロックを設定したシナリオ一覧を下図に示す。



これを制限モードにすると UI が下図のように変化する。



制限モードにすると、「新しい仕事」「フォルダ作成」「インポート」「エクスポート (全)」の機能が使用不可になる。

鍵アイコンが緑色のものは「権限が全操作可能である状態」を意味している。つまりロックを解除すると同様に鍵アイコンが灰色→緑色に変化する。再度ロックすると灰色のアイコンに戻る。

また、フォルダ名の編集と削除ができなくなる。

また、シナリオ操作メニューは下図のように変化する。



ここで「シナリオロックレベル (デフォルト)」「省略 (1)」「省略 (2・パスワード無し)」に注目してほしい。この 3 つのシナリオにはシナリオ操作メニューに[ロック解除]が表示されていない。その理由は 2 つある。

1. シナリオロックのパスワードを設定していないため
2. シナリオロックの制御レベルが 1 (全操作可能) であるため

ロックレベルが「デフォルト」「2・パスワード無し」は理由 1 に該当し、「1」は理由 2 に該当するため、シナリオ操作メニューに[ロック解除]が非表示となる。

9. 上級者向け操作

9.1. 高度データ参照 ID 呼び出し機能

おじどうさんには高度なデータ参照 ID 呼び出し機能 $\{\}$ が存在する。本機能は定型文とデータ参照 ID を柔軟に組み合わせて利用するために用意されている。

・使い方

$\{\{\text{データ参照 ID}\}\}$

シナリオ例(高度データ参照 ID 呼び出し機能 1)

キーボード入力 (文字)

文字

- ・更新日が1番目に新しいファイルパス
 $\{\text{file_path}\}$
- ・作成日時が1番目に古いファイルパス
 $\{\text{folder_path}\}$

入力後に「Enter」

- アプリ起動
アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 0
ウィンドウ最大化: 無し
- データの記憶 (環境情報)
環境情報: デスクトップ デスクトップ
- 最新ファイル・フォルダを取得
検索フォルダ: デスクトップ \tmp file_path
取得対象: ファイル, 確認基準: 更新日時が新しい順, 何番目: 1
- 最新ファイル・フォルダを取得
検索フォルダ: デスクトップ \tmp folder_path
取得対象: フォルダ, 確認基準: 作成日時が新しい順, 何番目: 1
- キーボード入力 (文字)
文字: ・更新日が1番目に新しいファイルパス file_path ・作成日時が1 ...
Enter: 有り

シナリオ例(高度データ参照 ID 呼び出し機能 2)

エクセルに記載された人全員にテンプレートメールを送信するシナリオ。

	A	B	C	D
1	氏名	メールアドレス	メッセージ内容1	メッセージ内容2
2	山田	yamada@hogehoge.com	ご当選されましたのでお知らせ致します。	以下のリンク先の手続きに従ってください。 http://www.hogefugafoobar.com/tousen
3	佐藤	satou@fugafuga.com	誠に残念ですが落選となりました。	お断りせざるを得ない状況になり、 誠に申し訳ございません。
4	金城	kinjou@foofoo.com	ご当選されましたのでお知らせ致します。	以下のリンク先の手続きに従ってください。 http://www.hogefugafoobar.com/tousen
5	比嘉	higa@barbar.com	ご当選されましたのでお知らせ致します。	以下のリンク先の手続きに従ってください。 http://www.hogefugafoobar.com/tousen

The screenshot displays a workflow editor with the following steps:

- 1** エクセル準備 (Excel Preparation)
- 4** 繰り返し (Loop) - 回数: 4 (Number of iterations: 4)
 - 5** 氏名・メアド・メッセージ1・メッセージ2を取得 (Get Name, Email Address, Message 1, Message 2)
 - 8** メールを送信 (Send Email)
 - 送信者名: rpa@example.com
 - 送信者アカウント: rpa@example.com
 - 宛先アドレス (To): メールアドレス (Email Address)
 - 件名: 抽選結果 (Subject: Lottery Results)

メールを送信

送信サーバ	smtp.example.com
ポート	587
通信セキュリティ	STARTTLS
送信者アカウント	rpa@example.com
パスワード
送信者名	rpa@example.com
宛先アドレス (To)	\${メールアドレス}
宛先アドレス (CC)	例) rpa3@example.com, rpa4@example.com
宛先アドレス (BCC)	例) rpa5@example.com, rpa6@example.com
件名	抽選結果
本文	<p>\${氏名} 様</p> <p>〇〇セミナーにお申し込みいただき誠にありがとうございました。</p> <p>厳選に抽選させていただいた結果、 \${メッセージ1}</p> <p>\${メッセージ2}</p> <p>今後ともどうぞよろしくお願い致します。</p>
添付ファイル	+
メモ	

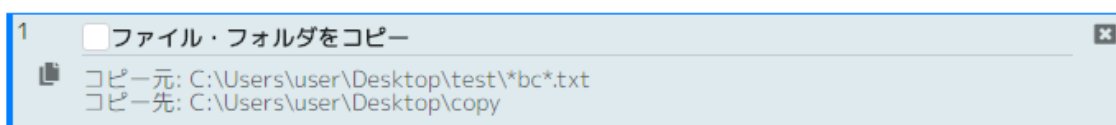
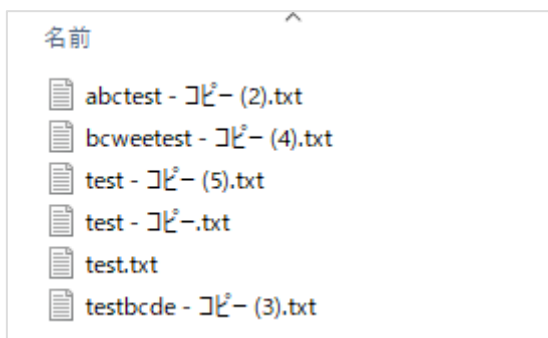
9.2. ワイルドカード (*)

一部のファイル操作コマンドではワイルドカード(*)が利用できる。対象のコマンドを以下に示す。

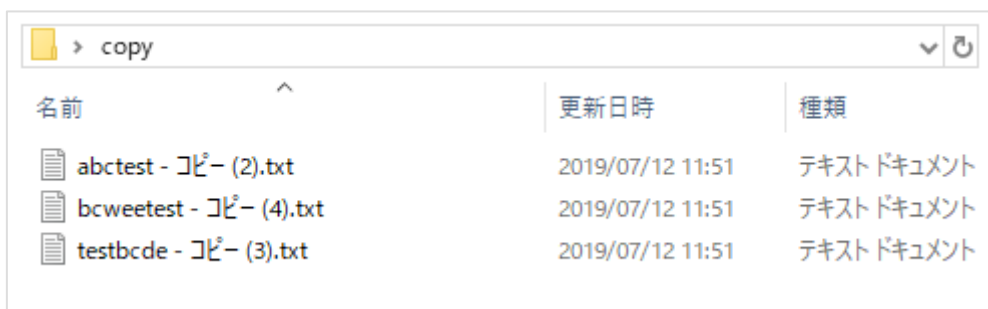
1. 分岐 > ファイル・フォルダの有/無を確認
2. ファイル・フォルダ > ファイル > 移動
3. ファイル・フォルダ > ファイル名変更 (先頭に挿入) > 参照 ID
4. ファイル・フォルダ > ファイル・フォルダをコピー
5. ファイル・フォルダ > ファイル・フォルダを削除

シナリオ例（ワイルドカード(*)）：

条件「*bc*.txt」に該当するファイルをコピーする。



シナリオ例（ワイルドカード(*)）の実行結果：



9.3. ブラウザプロファイルの使い方

「ブラウザ起動コマンド」はブラウザのログイン情報を利用、表示したくない場合に有効である。逆に、ログイン状態を引き継いだブラウザを操作したい場合に「ブラウザ起動（ユーザ情報引継）コマンド」を使うと便利である。

・ブラウザプロファイルに含まれる情報

ブックマーク	自動入力データ	パスワード	閲覧履歴
ブラウザの設定	インストール済みの拡張機能		

参考：<https://support.google.com/chrome/a/answer/7349337?hl=ja>

※デフォルトのプロファイルとは

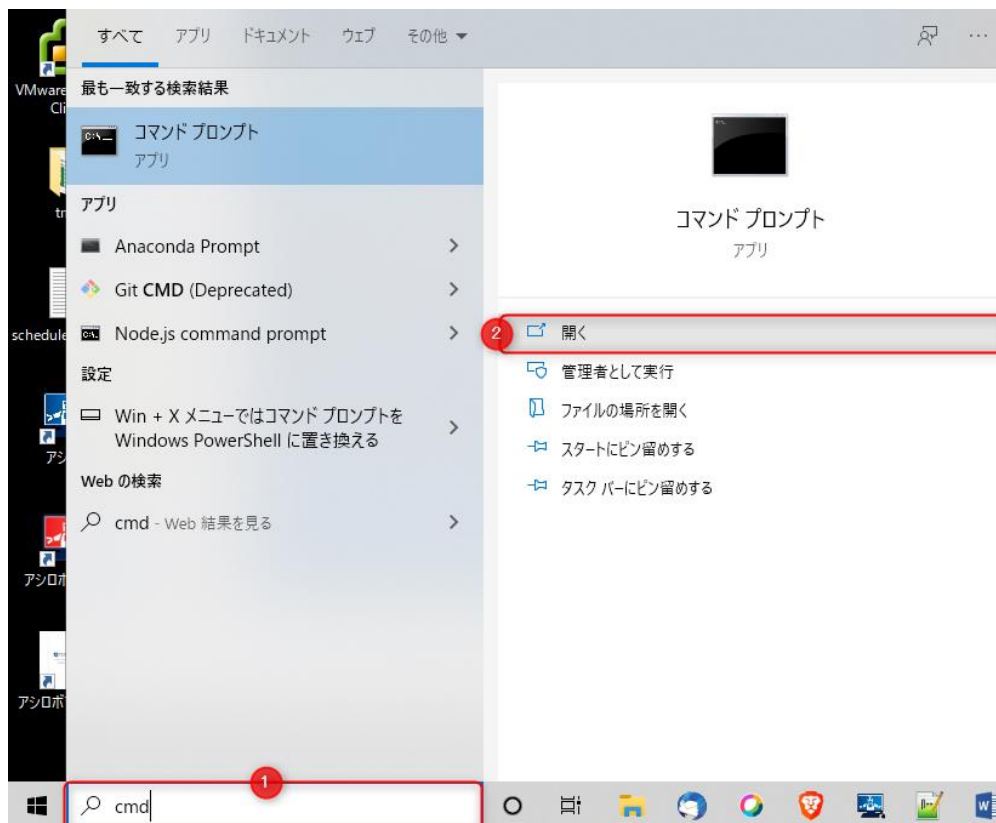
おじどうさんを使わない、通常起動（ブラウザアイコンをクリック）したときに読み込まれるプロファイルのことを指します。

9.3.1. デフォルト以外のプロファイルを利用したい場合

[手順 01] プロファイル保存用のフォルダを新規作成する

[手順 02] コマンドプロンプトを起動する

タスクバーから「cmd」を検索し、「開く」を選択する



[手順 03] コマンドプロンプトで以下を入力して実行する

```
"C:¥Program Files (x86)¥Google¥Chrome¥Application¥chrome.exe" "--user-data-dir=
プロファイル保存場所"
```

[手順 04] コマンドプロンプトから起動したブラウザで操作対象サービスにログインする
ログイン後はブラウザを閉じる

[手順 05] ブラウザ起動（ユーザ情報引継）コマンドで以下のように設定する
プロファイルのパス： プロファイル保存場所

9.3.2. その他のブラウザでプロファイルを読み込みたい場合

その他のブラウザ (Brave Browser, Chrome Beta 等) のプロファイルを自動的に取得することができないため、この場合は個別にプロファイルのパスを設定する必要がある。

[手順 01] その他のブラウザのプロファイル保存場所を調べる

各ブラウザの URL に以下を入力するとプロファイルのパスを確認できる。

[Chrome] chrome://version	[Firefox] about:profiles
[MS Edge] edge://version	[Brave] brave://version

Google Chrome の場合は以下の通り。



[手順 02] その他のブラウザのファイルパスを取得する

ブラウザアイコンを右クリック→「ファイル場所を開く」からファイルの場所を探す。

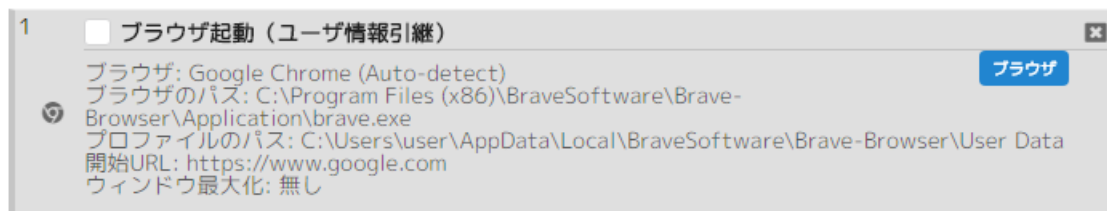
[手順 03] ブラウザ起動 (ユーザ情報引継)コマンドで以下のように設定する

ブラウザのパス: 手順 02 で取得したブラウザのファイルパス

プロファイルのパス: 手順 01 で調べたファイルパス

シナリオ例 (その他のブラウザでプロファイルを読込&起動):

Brave Browser (Chrome 系のブラウザ) を、ユーザ情報を読み込んだ状態で起動する。



シナリオ例 (その他のブラウザでプロファイルを読込&起動) の実行結果:

ユーザの Google アカウントでログインした状態の Brave Browser が起動した。

10. おじどうさん利用における注意点

10.1. シナリオ行数の推奨値は 1,000 行

端末に依存せず安定して動作するシナリオ行数の推奨値は 1,000 行である。この推奨値を大きく超えると「動作が重くなる」「おじどうさんがフリーズする」などの現象に陥る可能性が高くなる。

なお、1,000 行以上のシナリオを動作させる必要がある場合は、「別シナリオ実行」コマンド（詳細：6.10.4）を利用してシナリオを分割することを推奨する。また、同一処理が連続している場合は「繰り返し」コマンド（詳細：6.6）を活用してシナリオ数を減らすことができる。

10.2. デスクトップの背景色を単色に

画像抽出コマンド等を利用する際、座標によって抽出できない現象を防ぐためにデスクトップの背景色を単色にすることを推奨する。

10.3. 画像探索系コマンドのざっくり検索について解説

10.3.1. ざっくり検索%（色：RGB）の考え方

ざっくり検索（色：RGB）では色のズレに注目している。例えば、

色を表す数値：	0~255
画像の色：	(Red, Green, Blue) = (100, 30, 0)
色一致率：	99%

とした場合、

$$\text{色の最大値} \times \text{色一致率} = 255 \times 0.99 = 252.45$$

色の最大値と一致率との差は

$$255 - 252.45 = 2.55 \rightarrow 2 \text{ (小数点切り捨て)}$$

である。この計算から、検索する画像の色の数値が

Red	：	98~102
Green	：	28~32
Blue	：	0~2

であれば、色が一致していると判断する。

この色の数値確認を、検索画像 1 ピクセル毎に実施している。

10.3.2. ざっくり検索% (ピクセル) の考え方

ざっくり検索 (色: RGB) が 1 つ 1 つのピクセルの色の数値で判断する一方、ざっくり検索 (ピクセル) は検索画像のピクセル一致数で判断する。

検索画像: 100px
ピクセル一致率: 99%

である場合、

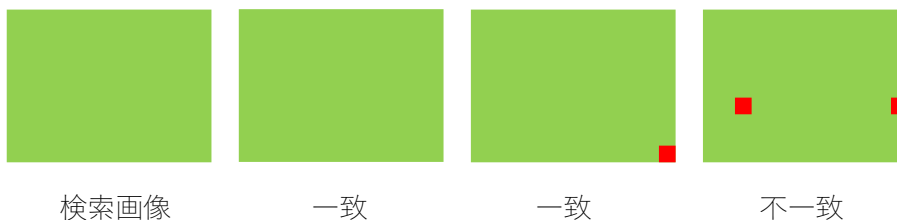
$$\text{一致ピクセル数} = 100\text{px} \times 0.99 = 99\text{px}$$

つまり、検索画像 100px のうち 99px が一致する場合は「画像全体が一致」と判断する。
また逆に、

$$\begin{aligned} & \text{不一致ピクセル数} \\ & = (\text{検索画像のピクセル数}) - (\text{一致ピクセル数}) \end{aligned}$$

と考えるため、例題では 1px (100px-99px) 以上不一致の場合、「画像全体が不一致」と判断する。

例題を画像にすると以下の通りである。赤画像は 1px とする。



10.4. 入力値の制限

各コマンドのフォームに入力できる値は以下のように制限されている。

入力フォーム名	制限内容
データ参照 ID	最大 24 文字かつ半角スペース禁止
ウィンドウ参照 ID	最大 24 文字かつ半角スペース禁止
ブラウザ参照 ID	最大 24 文字かつ半角スペース禁止
各コマンドのメモ	最大 32 文字
拡張子	最大 16 文字
キー4	最大 1 文字
プロンプト・グループ名・ユーザ名・値・文字列 (ウィンドウ切り替え (名前)・文字ファイル名の先頭に)	最大 128 文字
宛先アドレス・受信者アカウント・件名・添付ファイル・パスワード	最大 1024 文字
文字 (キーボード入力 (貼り付け)・データの記憶 (文字)・文字比較)・ファイル名・HTML ターゲット・本文・入力文字・ファイル・フォルダ場所	最大 31999 文字
何マッチ目	1~1024 以内の整数
回数	0~9999 以内の整数
X, Y(マウス移動 (距離))	-9999~9999 以内の整数
X, Y(マウス移動 (座標))・開始 X, Y・終了 X, Y・スクロール回数・リトライ回数	0~9999 以内の整数
待機時間 (コマンド間の待機時間を変更)	0~5 以内の数値
待機時間 (画面出現を待つ・タイマー付き続行確認・直前のコマンドのエラーを確認処理)	0~600 以内の数値
待機時間 (待機 (秒))	0~21600 以内の数値
ポート	1~65535 以内

その他の入力制限は以下のとおりである。

入力項目	制限内容
シナリオ名	最大 1024 文字

11. Google Services (Self-Registration)の事前準備

11.1. 概要

Google 社のポリシー変更に伴い、2024 年 4 月以降、おじどうさんの Google API の OAuth 認証手順が変わる。新規で Google アカウントをおじどうさんで OAuth 認証するユーザ様は新しい手順で登録する必要がある。

なお、2024 年 4 月現在、すでにおじどうさんで Gmail や Google Sheets 機能を利用するために OAuth アカウント登録を済ませているアカウントは、本章の手順で再登録する必要はない。引き続き、変更なくそのアカウントを利用できる。

新しい OAuth 登録手順には、大まかに下記のステップが含まる。

- ① Google アカウントで Google Cloud Console (<https://console.cloud.google.com/>) にログインする
- ② おじどうさんを Google プロジェクトとして登録する
- ③ ②で登録した Google プロジェクトに、Google API を有効化する
- ④ OAuth クライアント ID を発行し、ダウンロードする
- ⑤ おじどうさんにクライアント ID を読み込ませ、OAuth 認証する

11.2. 詳細手順

11.2.1. Google Cloud Console にログインする

ブラウザから Google Cloud Console (<https://console.cloud.google.com>) を訪問し、Google アカウントでログインする。

Google

ログイン

Google Cloud Platform に移動する

メールアドレスまたは電話番号

[メールアドレスを忘れた場合](#)

ご自分のパソコンでない場合は、ゲストモードを使用して非公開でログインしてください。
[ゲストモードの使い方の詳細](#)

[アカウントを作成](#)

次へ

日本語 ▼ ヘルプ プライバシー 規約

11.2.2. おじどうさんを Google アプリとして登録します

Google Cloud Console にログインすると、ダッシュボードが表示される。左上のメニューボタンから、「IAM と管理」 → 「プロジェクトを作成」をクリックする。



Google プロジェクト作成画面で、任意のプロジェクト名を入力する。入力後、「作成」ボタンをクリックする。

新しいプロジェクト



割り当てには6つのプロジェクトが残っています。プロジェクトの追加または削除をリクエストします。[もっと詳しく知る](#)

[クォータの管理](#)

プロジェクト名*

ojidousan-RPA



プロジェクト ID: nodal-listener-422000。後で変更することはできません。 [編集](#)

位置*

No organization

[ブラウズ](#)

親組織またはフォルダー

作成する

キャンセル

プロジェクト作成完了までに、数秒かかる事がある。作成完了次第、右上に通知が表示される。

通知

✔ プロジェクトの作成: ojidousan-RPA
プロジェクトの選択

ちょうど今

11.2.3. 作成した Google プロジェクトの API を有効化する

先ほど作成した Google プロジェクトを選択する。画面上部のプロジェクト選択用のボタンをクリックする。



クリックすると、これまで Google アカウントで作成したプロジェクト一覧が表示される。ここで、プロジェクト名をクリックする。

プロジェクトを選択してください 🔧 新しいプロジェクト

プロジェクトとフォルダーを検索する

[最近の](#) [スター付き](#) [全て](#)

	名前	ID
✓ ☆ 🌐	おじどうさん-RPA ?	rpa-421101
☆ 🌐	おじどうさん-RPA ?	<input type="text"/>

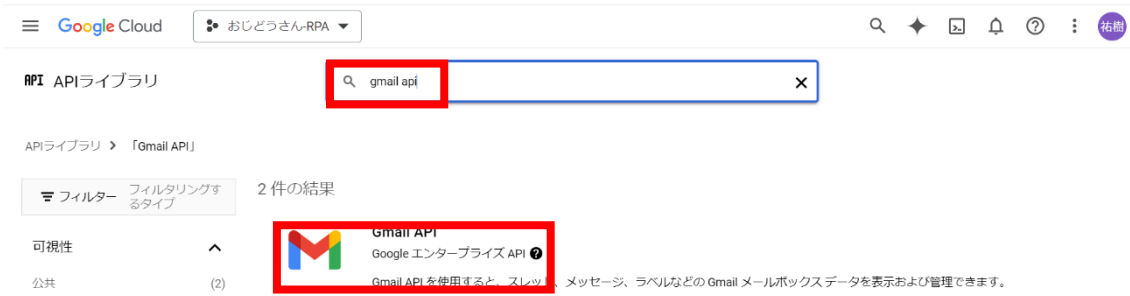
次に、このアカウントおよびプロジェクトで利用する API を有効化するために、左上メニューから「API とサービス」 → 「有効な API とサービス」をクリックする。



API とサービス画面に遷移し、画面上部の「+ ENABLE APIS AND SERVICES」というボタンをクリックする。



おじどうさんから Google API を利用するには、「Gmail API」、「Google Drive API」、そして「Google Sheets API」を有効化する必要がある。それぞれを検索ボックスに入力し、「有効にする」ボタンをクリックする。



1つ目設定後は、画面上部の「API/ サービスの詳細」の左隣の「←」をクリックすると「+ ENABLE APIS AND SERVICES」が表示されるので、2つ目以降を検索ボックスで入力し設定する。

← 製品の詳細



Google Drive API

[Google Enterprise API](#)

Create and manage resources in Google Drive.

有効にする

[この API を試す](#)

← 製品の詳細



Google Sheets API

[Google Enterprise API](#)

Read and write Google Sheets data

有効にする

[この API を試す](#)

次に、OAuth 認証を行う際の OAuth 同意画面の設定をする。「API とサービス」メニューから、「OAuth 同意画面」をクリックする。



「外部」ラジオボタンを選択、「作成」ボタンをクリックする。

OAuth 同意画面

アプリをどのように構成および登録するか（ターゲットユーザーを含む）を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは1つだけです。

User Type

内部 [?](#)

組織内のユーザーのみが使用できます。確認を受けるためにアプリを送信する必要はありません。 [ユーザーの種類の詳細](#)

外部 [?](#)

Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができれば、アプリの確認が必要となる場合があります。 [ユーザーの種類の詳細](#)

Google の OAuth に関する [ご意見やご要望をお聞かせください](#)。

ここからは、OAuth 同意画面で表示する必須内容を設定する。

まずは、アプリ名を設定する。本ドキュメントでは、「おじどうさん」と設定する。ユーザーサポートメール入力欄では、ログインしている Google アカウントを選択する。

1 OAuth同意画面 — 2 スコープ — 3 テストユーザー —

4 まとめ

アプリ情報

これは同意画面に表示され、エンドユーザーがあなたを知り、連絡するのに役立ちます。

アプリ名*
おじどうさん
同意を求めるアプリの名前

ユーザーサポートメール*
ユーザーが同意に関する質問をするためにあなたに連絡するため。 [もっと詳しく知る](#)

画面下部に、デベロッパーの連絡先の入力欄がある。ここには任意のメールアドレスを入力し、「保存して次へ」ボタンをクリックする。

デベロッパーの連絡先情報

メールアドレス*

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

保存して次へ キャンセル

次は、「おじどうさん」の Google API における利用許可範囲（スコープ）を設定する。おじどうさんの RPA コマンドにおいて必要なスコープは、下記の通り：

- <https://www.googleapis.com/auth/gmail.modify>
- <https://www.googleapis.com/auth/spreadsheets>
- <https://www.googleapis.com/auth/drive>

それぞれのスコープを追加するために、まずは「スコープを追加または削除」ボタンをクリックする。



クリックすると、画面の右側に追加できるスコープの一覧が表示される。スコープ一覧から、上記三つのスコープを探し、チェックボックスにチェックを入れる。API名は同じ場合があるが、範囲とユーザ向けの説明が同じものを選択する。

API名	範囲	ユーザ向けの説明
Gmail API	../auth/gmail.modify	Gmail アカウントのメールの閲覧、作成、送信
Google Drive API	../auth/drive	Google ドライブの全てのファイルの表示、編集、作成、削除
Google Sheets API	../auth/spreadsheets	Google スプレッドシートの全てのスプレッドシートの参照、編集、作成、削除

≡ フィルタ プロパティ名または値を入力 ?

	API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
<input type="checkbox"/>	Cloud Trace API	../auth/trace.append	プロジェクトまたはアプリケーションのトレースデータの書き込み
<input type="checkbox"/>	Gmail API	https://mail.google.com/	Gmail のすべてのメールの閲覧、作成、送信、完全な削除
<input checked="" type="checkbox"/>	Gmail API	../auth/gmail.modify	Gmail アカウントのメールの閲覧、作成、送信
<input type="checkbox"/>	Gmail API	../auth/gmail.compose	下書きの管理とメールの送信
<input type="checkbox"/>	Gmail API	../auth/gmail.addons .current.action.compose	アドオン操作時の下書きの管理とメールの送信
<input type="checkbox"/>	Gmail API	../auth/gmail.addons .current.message.action	アドオンの操作時にメール メッセージを表示
<input type="checkbox"/>	Gmail API	../auth/gmail.metadata	ラベル、ヘッダーなど、メールメッセージのメタデータの表示（メール本文は表示されません）
<input type="checkbox"/>	Gmail API	../auth/gmail.insert	Gmail のメールボックスへのメールの追加
<input type="checkbox"/>	Gmail API	../auth/gmail.addons .current.message.metadata	アドオンの実行時にメールメッセージのメタデータを表示
<input type="checkbox"/>	Gmail API	../auth/gmail.addons .current.message.readonly	アドオンの実行時にメールメッセージを表示

ページあたりの行数: 10 ▼ 21 - 30 / 55 ◀ ▶

	Google Drive API	../auth/drive	Google ドライブのすべてのファイルの表示、編集、作成、削除
<input checked="" type="checkbox"/>	Google Drive API	../auth/drive	Google ドライブのすべてのファイルの表示、編集、作成、削除
<input type="checkbox"/>	Google Drive API	../auth/drive.appdata	Google ドライブでのアプリ独自の設定データの参照、作成

	Google Sheets API	../auth/spreadsheets	Google スプレッドシートのすべてのスプレッドシートの参照、編集、作成、削除
<input checked="" type="checkbox"/>	Google Sheets API	../auth/spreadsheets	Google スプレッドシートのすべてのスプレッドシートの参照、編集、作成、削除

もしスコープが一覧に表示されていない場合は、手動で追加する必要がある。下部の入力欄に、スコープをそれぞれカンマ区切りで入力し、「テーブルに追加」ボタンをクリックすることで追加できる。

- <https://www.googleapis.com/auth/gmail.modify>
- <https://www.googleapis.com/auth/spreadsheets>
- <https://www.googleapis.com/auth/drive>

スコープの手動追加

追加したいスコープが上のテーブルに表示されない場合は、ここから入力することができます。各スコープは別の行に入力するか、カンマで区切って入力する必要があります。スコープの文字列全体（「https://」で始まる）を指定してください。完了したら、[テーブルに追加] をクリックします。

`https://www.googleapis.com/auth/gmail.modify,https://www.googleapis.com/auth/spreadsheets,https://www.googleapis.com/auth/drive`

テーブルに追加

三つのスコープにチェックボックスを入れた後に、「更新」 ボタンをクリックする。

テーブルに追加

更新

うまく更新できた場合、画面に三つのスコープが下記のように表示される。表示されている事を確認し、「保存して次へ」ボタンをクリックする。

非機密のスコープ

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

🔒 機密性の高いスコープ

機密性の高いスコープとは、プライベートユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明	
	.. ./auth/spreadsheets	Google スプレッドシートのすべてのスプレッドシートの参照、編集、作成、削除	🗑

🔒 制限付きのスコープ

制限付きのスコープとは、機密性の高いユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

ドライブのスコープ

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明	
	.. ./auth/drive	Google ドライブのすべてのファイルの表示、編集、作成、削除	🗑

Gmail のスコープ

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明	
	.../auth/gmail .modify	Gmail アカウントのメールの閲覧、作成、送信	🗑

保存して次へ キャンセル

次の画面では、「おじどうさん」を通して OAuth 認証をする際に、どの Google アカウトに認証許可をするかを設定する。「+ ADD USERS」ボタンをクリックし、認証したい Google アカウトを追加する。

アプリ登録の編集

✓ OAuth 同意画面 — ✓ スコープ — **3 テストユーザー** — 4 概要

テストユーザー

公開ステータスが「テスト中」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は 100 で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。 [詳細](#)

+ ADD USERS

≡ フィルタ プロパティ名または値を入力 ?

ユーザー情報

表示する行がありません

保存して次へ キャンセル

すると、右側に Google アカウントを入力する欄が表示される。認証許可をしたい Google アカウントをカンマ区切りで入力し、「追加」ボタンをクリックする。

× ユーザーを追加

⚠ 公開ステータスが「テスト」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は 100 で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。

[LEARN MORE](#)

0 / 100

追加

アカウント追加を出来次第、「保存して次へ」ボタンをクリックする。

表示する行がありません

保存して次へ キャンセル

最後は、設定内容の確認画面で内容を確認する。設定に問題なければ、「ダッシュボードに戻る」ボタンをクリックする。

ダッシュボードに戻る

11.2.4. OAuth クライアント ID を発行し、ダウンロードする

これまでの設定内容でおじどうさんに OAuth 認証を可能にするために、OAuth クライアント ID を発行する必要がある。おじどうさんにその OAuth クライアント ID を読み込ませる事で、初めて認証可能になる。

発行するには、左メニューの「認証情報」をクリックします。続いて、画面上部の「+ 認証情報を作成」→「OAuth クライアント ID」をクリックする。



次の画面で、おじどうさんのアプリケーションの種類と、名前（クライアント ID の識別子）を設定する。アプリケーションの種類には「デスクトップアプリ」を選択し、名前は任意のものを入力する。最後に、「作成」ボタンをクリックする。

← OAuthクライアントIDの作成

クライアントIDは、GoogleのOAuthサーバーに対して単一のアプリを識別するために使用されます。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアントIDが必要になります。[「OAuth 2.0のセットアップ」](#)を参照してください。[詳細については、もっと詳しく知る](#) [OAuthクライアントの種類](#)について。

アプリケーションタイプ*
デスクトップアプリ ▼

名前*
おじどうさん

OAuth 2.0クライアントの名前。この名前は、コンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

注: 設定が有効になるまでに5分から数時間かかる場合があります。

作成する キャンセル

OAuthクライアントIDが発行され次第、画面に下記のメッセージが表示される。ここには、おじどうさんに読み込ませる認証情報ファイルをダウンロードするボタンがある。「JSONをダウンロード」ボタンをクリックし、端末にファイルをダウンロードする。ダウンロードできたら「OK」ボタンをクリックする。

OAuth クライアントを作成しました

クライアント ID とシークレットには、常に API とサービスの認証情報からアクセスできます

i OAuth アクセスは、[OAuth 同意画面](#)に表示されている[テストユーザー](#)に制限されます

クライアント ID

クライアントシークレット

作成日

ステータス

✔ 有効

↓ JSON をダウンロード

OK

Google Cloud Console での操作は以上で完了。

11.2.5. おじどうさんにクライアント ID を読み込ませ、OAuth 認証する

おじどうさんの OAuth2 アカウント登録画面の「サービス」のドロップダウンメニューの「Google Services (Self-Registration)」を選択する。すると、下記画面のように「クライアント ID ファイル」の入力欄が表示される。インポートボタンを押し、前記手順でダウンロードした JSON ファイルを指定する。アカウント名に **Google** アカウントを入力し、「アプリの認証」ボタンをクリックすることで認証を行うことができる。あとは、本マニュアルの [4.2.3.4 章](#) の手順に沿って、アカウント登録を進める。

OAuth2アカウント登録

サービス	Google Services (Self-Registration)	
クライアントIDファイル	5-ddmmhfssut0pc2a7g7md4loc81obql23.apps.googleusercontent.com.json	インポート
アカウント		アプリの認証

メールアドレスを入力して、【アプリの認証】のボタンをクリックして認証を行います。
ブラウザにてログイン後に「許可」選択してください。

× 閉じる